令和５年９月27日
全員協議会資料
財政課・戦略企画課

令　和　4　年　度　決　算

主　要　施　策　成　果　報　告　書

第六次鳴門市総合計画 実施計画

令和４年(2022年)度－令和６年(2024年)度

実績 兼 評価シート まとめ

鳴　　門　　市

目　次

１．主要施策成果報告書及び第六次鳴門市総合計画実施計画における令和４年度実績及び令和５年度行政評価について

（１）主要施策成果報告書　・・・　1

（２）鳴門市総合計画実施計画　令和４年度実績　・・・　1

（３）令和５年度　鳴門市行政評価　・・・・・・　2

（４）総合計画体系図　・・・・・・　3

（５）成長戦略　・・・・・・　5

２．令和４年度決算の概要

（１）各会計の決算額の状況　・・・・・・　7

（２）普通会計決算の概要　・・・・・・　8

① 普通会計決算規模等　・・・・・・　8

② 各種財政指標の推移　・・・・・・　11

（３）令和４年度行財政改革における取組実績　・・・　12

３．実施計画兼評価シート

（１）実施計画兼評価シートの見方　・・・・・・　14

（２）事業一覧表【組織機構順】　・・・・・・　16

（３）各実施計画兼評価シート

- 企 画 総 務 部
- 市 民 生 活 部
- 環 境 共 生 部
- 健 康 福 祉 部
- 都 市 建 設 部
- 産 業 振 興 部
- 消　防　本　部
- 企　　業　　局
- 教 育 委 員 会

【参考】令和４年度決算における入湯税及び引上げ分の地方消費税交付金充当事業一覧

１.主要施策成果報告書及び第六次鳴門市総合計画実施計画における令和４年度実績及び令和５年度行政評価について

（１）主要施策成果報告書

地方自治法第２３３条第５項に基づき、「決算に係る主要施策の成果報告書」を議会に提出するものである。主要施策の個別事業は、本市の最上位計画である第六次鳴門市総合計画に基づき、令和４年度末時点における実績や進捗状況、今後の方向性等を明示し、従来の成果報告の内容に、PDCAサイクルの考え方を踏まえ、進捗管理の要素を加えた総合計画実施計画兼評価シートとして取りまとめたものである。

（２）鳴門市総合計画実施計画　令和４年度実績

本市では、第六次鳴門市総合計画に基づき、計画的かつ効率的な行財政運営を進めるため、向こう３か年の具体的施策・事業を示した実施計画を策定している。実施計画の進捗状況を把握し、必要に応じ所要の見直しを行うため、総合計画実施計画兼評価シートにより令和４年度末時の進捗状況をまとめたものである。

◆推進体制

①事務事業担当部署による内部評価
　事業担当課による総合計画実施計画兼評価シートの作成。
②総合計画策定委員会による内部評価
　総合計画実施計画兼評価シートを策定委員会において審議し、内部評価の最終決定とする。
③総合計画審議会による外部評価
　策定委員会を経た後、総合計画審議会において外部の視点からの評価を受ける。
④市議会への報告による外部評価
　市議会において外部評価を受ける。
⑤最終的な評価の決定
　策定委員会及び総合計画審議会等の結果をもとに、評価の決定を行う。

（3）令和５年度　鳴門市行政評価

◆ねらい

継続的な点検評価サイクルを確立し、成果主義の考え方に基づき行政活動の課題や問題点を明確化し、今後の改善策を打ち出すとともに、評価結果を市民に公表することにより、市民ニーズの市政への反映につなげる。

＜鳴門市行政評価の4つのねらい＞
①市民の視点に立ち、成果を重視した行政運営
②市民への説明責任を果たすことによる行政運営の透明性の向上
③事業の効果的で効率的な執行
④職員の意識改革による政策形成能力の向上

◆令和５年度実施方針

① 公正の確保と透明性向上のため市民との情報の共有化を推進する。
② 鳴門市自治基本条例第２５条に定める行政評価結果を予算編成に反映させる。
③ 市民にとって分かりやすく、シンプルな行政評価を実施する。
ⅰ 評価の対象：事務事業
ⅱ 評価の機関：内部
ⅲ 評価の時期：令和４年度に実施した事務事業に対する事後評価

◆評価対象となる事務事業

令和４年度総合計画実施計画に掲載されている事務事業　　１２６事業

◆令和６年度の予算及び事業の推進との関係

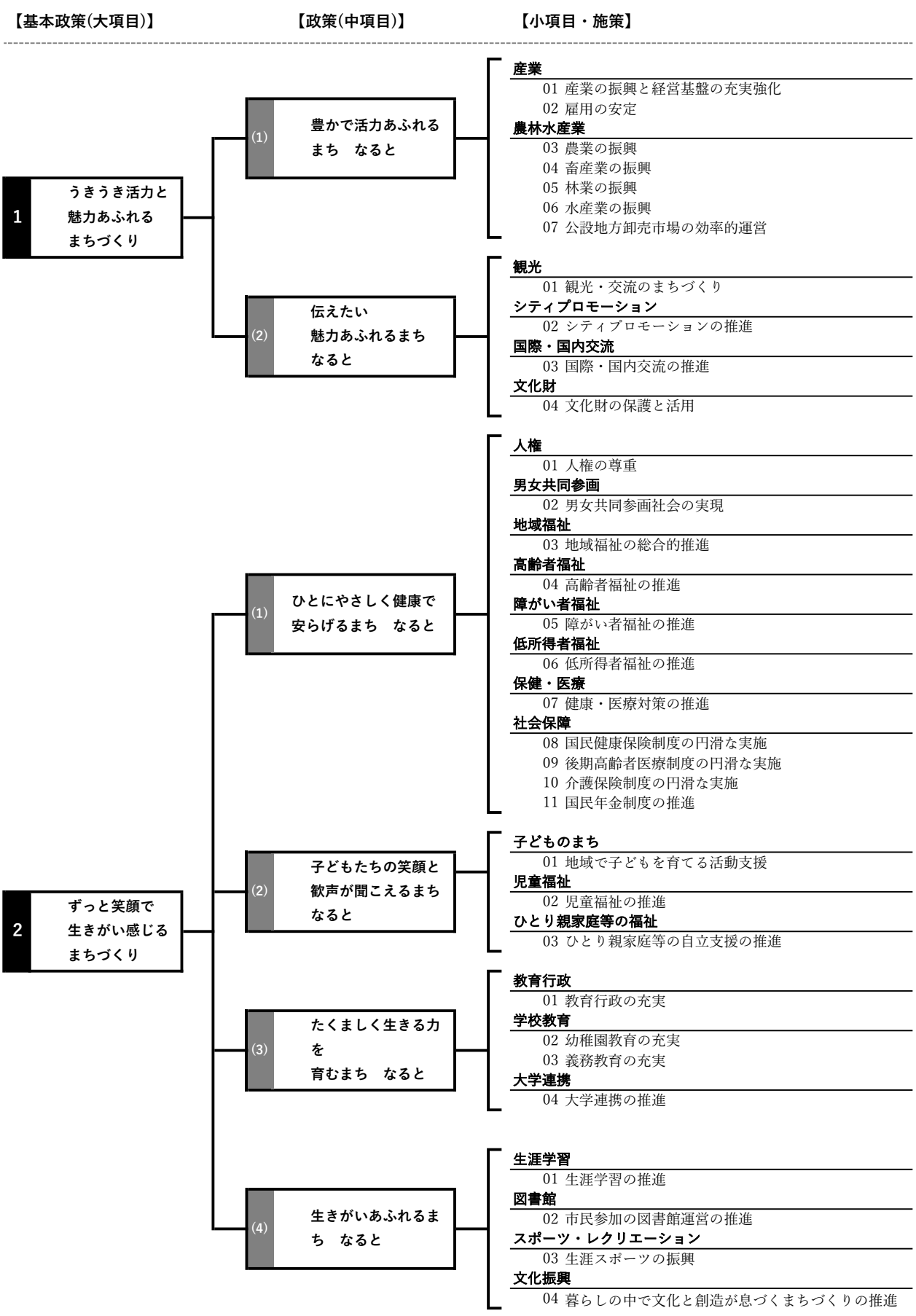
行政評価結果については、令和６年度の予算編成及びその事業の推進に反映する。

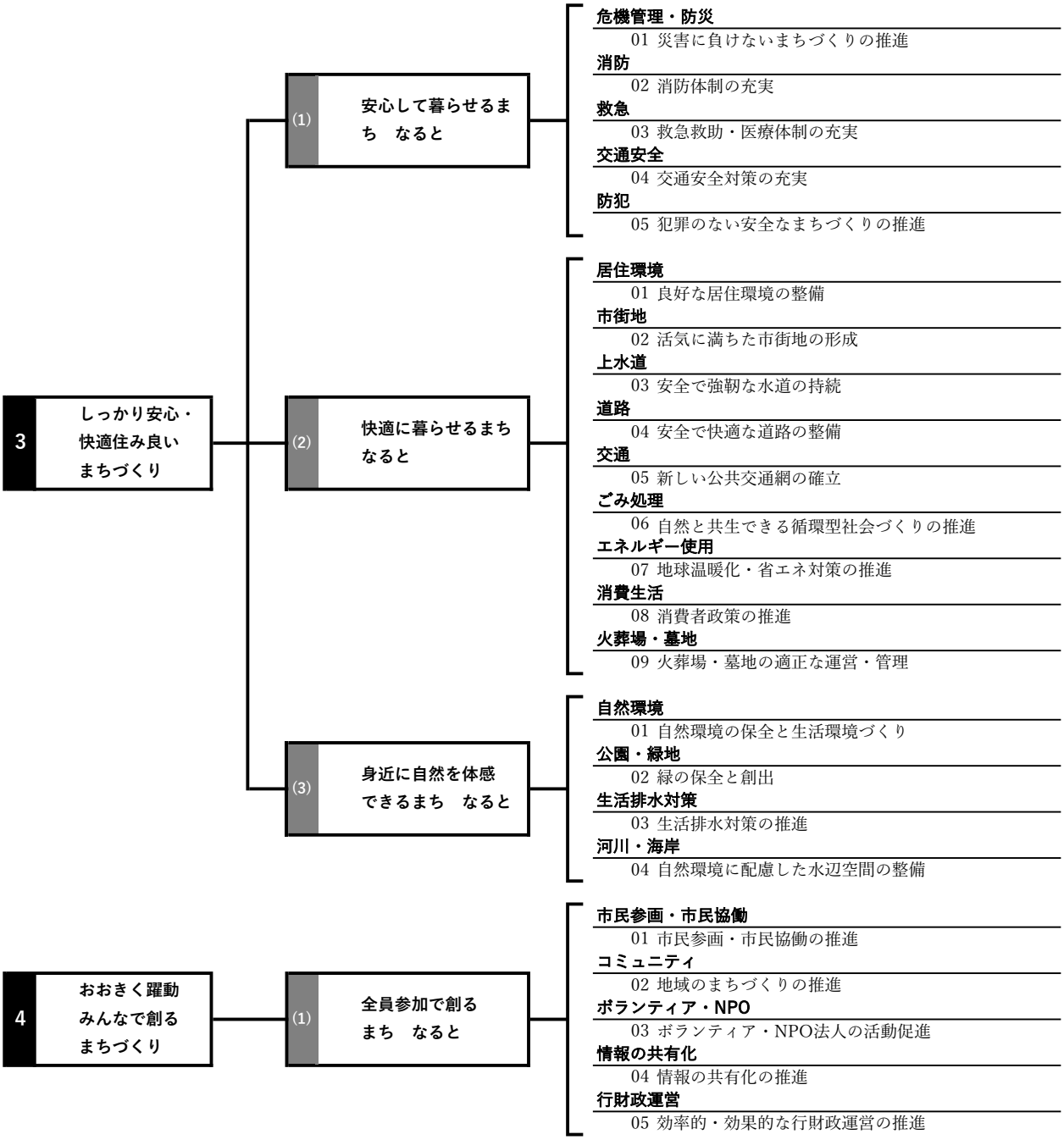
◆評価結果の公表

市議会及び市公式ウェブサイト等にて公表する。

（4）総合計画体系図

将来都市像　結びあう絆が創る　笑顔と魅力うずまく鳴門




3 しっかり安心・快適住み良いまちづくり
(1) 安心して暮らせるまち なると
危機管理・防災
01 災害に負けないまちづくりの推進
消防
02 消防体制の充実
救急
03 救急救助・医療体制の充実
交通安全
04 交通安全対策の充実
防犯
05 犯罪のない安全なまちづくりの推進
(2) 快適に暮らせるまち なると
居住環境
01 良好な居住環境の整備
市街地
02 活気に満ちた市街地の形成
上水道
03 安全で強靭な水道の持続
道路
04 安全で快適な道路の整備
交通
05 新しい公共交通網の確立
ごみ処理
06 自然と共生できる循環型社会づくりの推進
エネルギー使用
07 地球温暖化・省エネ対策の推進
消費生活
08 消費者政策の推進
火葬場・墓地
09 火葬場・墓地の適正な運営・管理
(3) 身近に自然を体感できるまち なると
自然環境
01 自然環境の保全と生活環境づくり
公園・緑地
02 緑の保全と創出
生活排水対策
03 生活排水対策の推進
河川・海岸
04 自然環境に配慮した水辺空間の整備
4 おおきく躍動 みんなで創るまちづくり
(1) 全員参加で創るまち なると
市民参画・市民協働
01 市民参画・市民協働の推進
コミュニティ
02 地域のまちづくりの推進
ボランティア・NPO
03 ボランティア・NPO法人の活動促進
情報の共有化
04 情報の共有化の推進
行財政運営
05 効率的・効果的な行財政運営の推進

（５）成長戦略

戦略１　地域の資源を活かし市民が誇れる　魅力づくり

～地域の魅力があふれるまち　なると～

1　ブランド力の向上

1　鳴門の魅力づくり

① 鳴門海峡の渦潮の世界遺産化推進
② 観光ブランドづくり
③ 農水産物のブランド化の推進
④ アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクトの推進
⑤ 四国八十八箇所霊場と遍路道、世界遺産化への協力

2　鳴門の魅力発信

① 「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション
② イメージアップの推進
③ 鳴門ブランドの情報発信強化

3　イベント等の活用

① 鳴門市阿波おどり・花火大会のさらなる活性化
② 民間事業者との連携強化
③ 大型イベント等の誘致・開催の検討

2　誘客の促進とにぎわいと交流の創出

1　基盤整備

① 鳴門駅周辺の整備
② 外国人観光客の誘客促進
③ 文化財の保護と活用
④ 公園の整備

2　誘客の促進

① 体験型・滞在型観光の振興
② にぎわいと交流の創出
③ 国際・国内交流の推進
④ コンベンションの誘致

戦略２　住んでみたい　住み続けたいまちづくり

～ だれもが満足するまち　なると ～

1　いきいきと働くことができるまちづくり

1　新たな産業の創出

① まちづくりエリア活用による雇用創出
② 企業誘致の推進
③ 新たなビジネス展開
④ 農漁業における新たな商品開発と六次産業化の推進

2　市内産業の振興

① エコノミックガーデニングの推進
② ブランド産地生産増進対策
③ 農業の高度化
④ 農業・漁業経営の安定化
⑤ ふるさと納税を活用した地場産品のＰＲ
⑥ 広域連携による産業振興
⑦ 道の駅の活用と設置の検討

3　雇用支援と後継者対策

① 市内企業への就職支援
② 農漁業の後継者対策

2　住み心地の良いまちづくり

1　移住者への支援

① 移住交流の促進
② 政府関係機関の誘致及び企業本社機能の移転誘致

2　社会資本等の整備

① 危機管理・防災体制の強化
② 消防・救急体制の充実
③ 道路の整備・維持管理
④ 公共下水道事業の推進と水洗化率の向上
⑤ 合併処理浄化槽の普及促進
⑥ 浸水対策の実施
⑦ 安心・快適な給水の確保

3　住環境の整備

① 公共交通機関の確保と整備
② 住宅ストックの有効活用
③ 住宅のリフォーム支援の実施
④ 木造住宅の耐震診断支援・改修支援の実施
⑤ 空き家の適正管理及び除却の促進
⑥ 都市計画マスタープランの推進
⑦ 商店街等の基盤強化
⑧ 公共施設等総合管理の検討
⑨ 地域医療を考える医療連携強化（鳴門病院等）

4　循環型社会の形成

① 循環型社会への取り組み
② 地球温暖化・省エネ対策の推進

戦略３　健やかで元気に 笑顔あふれる ひとづくり

～ 一人ひとりが主役のまち　なると ～

1 健やかで元気に 笑顔あふれる　ひとづくり

1　恋愛・出産の支援
① 恋活・婚活の支援
② 妊産婦健康管理事業
③ 出産前の子育てサポート

2　子育ての環境支援
① 子ども・子育て支援事業計画の推進
② 子育て相談・支援のワンストップ窓口の設置
③ 子どものまちの推進

3　保護者への支援
① 子どもの医療費助成
② 女性子ども支援センター事業の推進
③ 子育て施策のＰＲ
④ 保育料の軽減

4　仕事と子育ての両立支援
① 保育所・認定こども園における子どもの発達支援
② 民間保育施設の施設整備への支援
③ 保育環境のさらなる充実
④ 健診・発達相談の実施
⑤ 幼児教育の推進
⑥ 児童クラブでの児童の預かり支援

5　市民の健康づくり
① 健康なると21の推進
② がん検診の実施
③ 特定健診・特定保健指導の推進
④ 国民健康保険被保険者に対する保健事業の実施

6　福祉サービスの充実
① 高齢者福祉の推進
② 地域包括ケアシステムの構築
③ 障がい者福祉の推進

2 鳴門のまちを担う ひとづくり

1　教育の充実
① 教育行政の充実
② 就学前教育の充実
③ 義務教育の充実
④ 校種間連携の充実
⑤ 小中学校における学力向上の取り組み

2　教育環境の充実
① 鳴門教育大学と連携した教育環境の整備
② 多様な教育環境の研究
③ 学校や幼稚園での防災
④ 幼・小・中における給食の実施
⑤ 学校（園）施設の耐震化及び教育環境の改善等

3　生きがいづくり
① 生涯学習の推進
② 各種学級（女性・成人・高齢者学級）の開設
③ スポーツ活動の推進

3 人が輝く仕組みづくり

1　環境づくり
① 市民参画・協働の推進
② 情報の共有化の推進
③ 男女共同参画社会の実現

2　活動の促進
① ボランティア・NPO法人の活動促進
② コミュニティビジネスの推進
③ 大学連携の推進

２．令和４年度決算の概要

令和４年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策をはじめ、市民生活や地域活動等への支援、地域経済対策などを優先課題として取り組んだ結果、過去３番目となる決算規模となった。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大やワクチン接種等へ迅速かつ的確に対応しつつ、9回にわたる補正予算を編成し、多くの緊急支援策や物価高騰対策を打ち出した。

また、ウィズコロナやアフターコロナを見据える中で、引き続き本市の将来都市像の実現に向け、「第六次鳴門市総合計画」や「なると未来づくり総合戦略２０２０」に基づく施策についても積極的に取り組むとともに、新庁舎整備事業や鳴門市・北島町共同浄水場整備事業といった大規模事業を実施するなど、市政発展に資する事業に重点をおいて取り組んだ。

（１）各会計の決算額の状況

（単位：千円）

年度 ＼ 会計区分	令和４年度			令和３年度		
	歳入決算額	歳出決算額	差引残高	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
一般会計	30,634,765	29,457,621	1,177,144	35,742,061	34,513,375	1,228,686
特別会計	23,509,812	22,819,567	690,245	23,289,561	22,844,095	445,466
国民健康保険事業特別会計	7,149,360	7,068,200	81,160	7,250,255	7,188,121	62,134
後期高齢者医療特別会計	1,053,476	1,013,931	39,545	985,253	951,575	33,678
介護保険事業特別会計	7,081,912	6,512,372	569,540	6,903,575	6,553,921	349,654
光熱水費等支出特別会計	750,577	750,577	-	564,096	564,096	-
給与費等管理特別会計	4,792,834	4,792,834	-	4,808,885	4,808,885	-
公債費管理特別会計	2,681,653	2,681,653	-	2,777,497	2,777,497	-
合　計	54,144,577	52,277,188	1,867,389	59,031,622	57,357,470	1,674,152

（２）普通会計決算の概要

① 普通会計決算規模等

令和４年度普通会計（地方財政統計上便宜的に用いられる会計区分として総務省が定めたもの。）の歳入決算額は、約３０６億３千万円であり、前年度に比べて約５１億円の減となった。その主な要因については、ボートレース事業収益金（４８億円減）、国庫支出金（約１４億１千万円減）、市債（約３億９千万円減）などが挙げられる。

一方、歳出決算額は、約２９４億５千万円であり、前年度に比べて約５０億５千万円の減となっている。その主な要因は、国の施策である臨時特別給付金事業等による扶助費（約５億９千万円減）や、財政調整基金等への積立金（約３６億５千万円減）、道の駅「くるくる なると」整備事業などによる投資的経費（約９億円減）などの影響が挙げられる。

以上の要因により、歳入決算額と歳出決算額との差引額である形式収支は約１１億８千万円の黒字、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額である実質収支は約８億８千万円の黒字となった。また、実質収支から前年度実質収支を差し引いた額である単年度収支は約７百万円の赤字となっており、単年度収支から実質的な黒字要素や赤字要素を加除した額である実質単年度収支は、約６億８千万円の黒字となった。

積立金残高は約９５億円であり、前年度に比べて約３億６千万円の増となった。その一方で、地方債現在高は新庁舎整備事業等の大型事業に係る借入の影響により、約２８０億９千万円で約４億６千万円の増、臨時財政対策債を除く地方債現在高は約１７９億５千万円であり約１０億４千万円の増となった。

（単位：千円）

区　分	令和４年度	令和３年度	令和２年度
歳入決算額（A）	30,631,172	35,732,895	33,519,827
歳出決算額（B）	29,454,028	34,504,209	32,476,014
歳入歳出差引額【形式収支】（C） （A）－（B）	1,177,144	1,228,686	1,043,813
翌年度へ繰り越すべき財源（D）	300,662	345,554	189,658
実質収支（E） （C）－（D）	876,482	883,132	854,155
単年度収支（F） （E）－前年度（E）	▲ 6,650	28,977	133,012
財政調整基金への積立（G）	1,610,745	1,810,081	713,531
地方債繰上償還金（H）	-	-	-
財政調整基金からの取崩（I）	925,295	300,000	1,025,927
実質単年度収支 （F）＋（G）＋（H）－（I）	678,800	1,539,058	▲ 179,384
積立金残高（年度末時点）	9,502,172	9,142,493	4,480,417
地方債現在高（年度末時点）	28,088,706	27,626,566	26,856,560
※臨時財政対策債除く	17,946,657	16,903,544	16,313,181

◆普通会計歳入決算額

（単位：千円）

区　分	令和４年度 A	構成比	令和３年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
市　　税	7,415,116	24.2%	7,194,896	220,220	3.1%
地方譲与税	205,530	0.7%	207,249	▲ 1,719	▲ 0.8%
利子割交付金	4,371	0.0%	7,900	▲ 3,529	▲ 44.7%
配当割交付金	60,914	0.2%	72,817	▲ 11,903	▲ 16.3%
株式譲渡所得割交付金	45,183	0.1%	75,816	▲ 30,633	▲ 40.4%
地方消費税交付金	1,276,163	4.2%	1,265,298	10,865	0.9%
ゴルフ場利用税交付金	49,856	0.2%	44,100	5,756	13.1%
自動車税環境性能割交付金	15,531	0.1%	11,490	4,041	35.2%
法人事業税交付金	107,653	0.4%	120,119	▲ 12,466	▲ 10.4%
地方特例交付金	40,078	0.1%	153,889	▲ 113,811	▲ 74.0%
地方交付税	4,959,151	16.2%	5,168,235	▲ 209,084	▲ 4.0%
うち普通交付税	4,507,634	14.7%	4,687,419	▲ 179,785	▲ 3.8%
うち特別交付税	451,517	1.5%	480,816	▲ 29,299	▲ 6.1%
交通安全対策特別交付金	7,730	0.0%	8,809	▲ 1,079	▲ 12.2%
分担金及び負担金	76,640	0.3%	125,659	▲ 49,019	▲ 39.0%
使　用　料	146,599	0.5%	144,800	1,799	1.2%
手　数　料	103,924	0.3%	102,672	1,252	1.2%
国庫支出金	5,250,436	17.1%	6,665,013	▲ 1,414,577	▲ 21.2%
県支出金	1,950,997	6.4%	2,205,379	▲ 254,382	▲ 11.5%
財産収入	320,694	1.0%	301,930	18,764	6.2%
寄　附　金	487,744	1.6%	418,409	69,335	16.6%
繰　入　金	3,282,871	10.7%	1,626,251	1,656,620	101.9%
繰　越　金	1,228,686	4.0%	1,043,813	184,873	17.7%
諸　収　入	562,205	1.8%	5,341,151	▲ 4,778,946	▲ 89.5%
地　方　債	3,033,100	9.9%	3,427,200	▲ 394,100	▲ 11.5%
合　計	30,631,172	100.0%	35,732,895	▲ 5,101,723	▲ 14.3%

◆普通会計歳出決算額（性質別）

（単位：千円）

区　分	令和４年度 A	構成比	令和３年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
義務的経費	14,119,217	47.9%	14,785,054	▲ 665,837	▲ 4.5%
人件費	4,829,631	16.4%	4,809,818	19,813	0.4%
扶助費	6,607,933	22.4%	7,197,738	▲ 589,805	▲ 8.2%
公債費	2,681,653	9.1%	2,777,498	▲ 95,845	▲ 3.5%
物件費	3,843,601	13.1%	3,765,736	77,865	2.1%
維持補修費	328,273	1.1%	405,397	▲ 77,124	▲ 19.0%
補助費等	1,981,566	6.7%	2,232,783	▲ 251,217	▲ 11.3%
うち水道事業会計への繰出金	1,654	0.0%	2,304	▲ 650	▲ 28.2%
うちモーターボート競走事業会計への繰出金	2,034	0.0%	2,136	▲ 102	▲ 4.8%
うち下水道事業会計への繰出金	447,560	1.5%	451,256	▲ 3,696	▲ 0.8%
積立金	2,435,752	8.3%	6,085,603	▲ 3,649,851	▲ 60.0%
うち財政調整基金への積立金	1,610,745	5.5%	1,810,081	▲ 199,336	▲ 11.0%
うち減債基金への積立金	210	0.0%	1,670,146	▲ 1,669,936	▲ 100.0%
投資及び出資金・貸付金	579,200	2.0%	117,412	461,788	393.3%
繰出金	2,796,517	9.5%	2,845,530	▲ 49,013	▲ 1.7%
投資的経費	3,369,902	11.4%	4,266,694	▲ 896,792	▲ 21.0%
うち普通建設事業費	3,369,902	11.4%	4,266,694	▲ 896,792	▲ 21.0%
うち災害復旧事業費	-	-	-	-	-
合　計	29,454,028	100.0%	34,504,209	▲ 5,050,181	▲ 14.6%

◆普通会計歳出決算額（目的別）

（単位：千円）

区　分	令和４年度 A	構成比	令和３年度 B	差引増減額 A－B＝C	増減率 C／B×100
議　会　費	230,913	0.8%	226,017	4,896	2.2%
総　務　費	6,601,889	22.4%	10,256,420	▲ 3,654,531	▲ 35.6%
民　生　費	10,608,103	36.0%	11,260,523	▲ 652,420	▲ 5.8%
衛　生　費	3,041,584	10.3%	2,803,568	238,016	8.5%
労　働　費	761	0.0%	662	99	15.0%
農林水産業費	536,245	1.8%	574,204	▲ 37,959	▲ 6.6%
商　工　費	271,875	0.9%	690,191	▲ 418,316	▲ 60.6%
土　木　費	2,049,831	7.0%	2,409,399	▲ 359,568	▲ 14.9%
消　防　費	1,029,486	3.5%	822,519	206,967	25.2%
教　育　費	2,399,654	8.2%	2,681,072	▲ 281,418	▲ 10.5%
災害復旧費	-	-	-	-	-
公　債　費	2,681,653	9.1%	2,777,498	▲ 95,845	▲ 3.5%
諸　支　出　金	2,034	0.0%	2,136	▲ 102	▲ 4.8%
合　計	29,454,028	100.0%	34,504,209	▲ 5,050,181	▲ 14.6%

② 各種財政指標の推移

区　分	令和４年度	令和３年度	令和２年度
経常収支比率 （財政構造の弾力性。低いほど良い）	97.8%	93.9%	97.3%
財政力指数（３カ年平均） （財政力の強さ。高いほど良い）	0.61	0.62	0.64
実質収支比率 （財政の健全性。３～５％が望ましい）	6.4%	6.2%	6.2%
実質公債費比率（３カ年平均） （地方債返済額等の大きさを指標化し、資金繰りの程度を表す指標。低いほど良い）	12.3%	12.5%	13.2%
将来負担比率 （地方債など将来負担すべき実質的な負債の現時点での残高を表す指標。低いほど良い）	89.7%	87.6%	127.7%

（３）令和４年度行財政改革における取組実績

まちづくりの展望を切り開き、第七次鳴門市総合計画に掲げる将来都市像を実現していくため、行財政改革への取組をより一層強力に推進するため、令和５年３月に「シン・スーパー改革プラン」（以下、「本計画」という）を策定いたしました。計画期間は令和５年度～令和８年度の４年間であり、令和４年度については、計画期間外でありますが、今後の計画推進のため、本計画掲載項目における令和４年度実績をとりまとめましたので、報告いたします。

なお、令和４年度実績については、計画期間外であり、数値目標等の設定を行っていないため、令和３年度実績との比較といたします。

各項目における令和４年度実績（主な実施項目抜粋）

実施項目名	令和４年度実績
課税客体の的確な把握と市税徴収率の向上	市税徴収率　９７.１％（前年度比０.２ポイント増） 累積滞納額　１億 9,439 万２千円（前年度比 639 万７千円減）
ふるさと納税寄附金等の推進	ふるさと納税寄附金受入額　４８１百万円 （前年度比６７百万円増）
業務改善の推進	時間外勤務抑制への意識の徹底を図るため、研修の実施や BPR 推進による業務改善等により、時間外勤務前年度比 7%の抑制。 職員数（普通会計 R5.4.1 時点）４８９人（前年比１０人減）
将来負担の適正化	・令和４年度公債費（臨時財政対策債除く）１,８１２百万円 （前年度比１３４百万円減） ・令和４年度末基金残高９,５０２百万円 （前年度比３６０百万円増）
モーターボート競走事業会計	経営戦略アクションプラン２０２１に基づく各種施策を推進し、事業利益７７億円を確保。 ・ブレイキン全国大会「THE JAM inNARUTO」をウズホールで開催 ・デジタルアート体験型イベント「チームラボ★学ぶ！未来の遊園地」をウズホールで開催 ・吉野川市にボートレースチケットショップ阿波かもじまを開設　など

BPR 推進パッケージ事業の推進	・業務の改廃見直し調査　　提案件数４４件 市職員表彰の廃止や幼稚園教諭との連絡調整に Logo チャット導入など。 ・事務改善アイデアボックス　　提案件数２０件 事務用品の一括管理への検討を行うとともに、各所属の計画などの資料データを１つにまとめた電子書庫を全庁共有内に設置。
デジタル技術を活用した市民サービスの向上	・ぴったりサービスでの新たな手続きの受付開始など行政手続きのオンライン化を進め、市民の負担軽減及び利便性向上に努めた。 ・市公式 Twitter での市長メッセージ動画などを継続的に実施するとともに、新たに YouTube チャンネル「鳴門市 KoHo さん」を立ち上げ、情報発信を強化。
民間活力の導入による行政運営の効率化	・これまで直営で行ってきた、資源ごみ収集運搬業務のうちビン・ペットボトル収集業務や、鳴門市火葬場の運営について令和 5 年度からの民間への事務委託に向け進めた。 ・令和 4 年 4 月 29 日開駅の「道の駅くるくる なると」の運営について、指定管理者制度を活用し、民間活力を導入。

3.実施計画兼評価シート

（1）実施計画兼評価シートの見方

個別の事業ごとに「実施計画兼評価シート（令和４年度事業分）」により、「計画ベース」と「実績ベース」として整理を行った。

①【計画ベース】の見方

ⅰ　基本情報について

新規事業又は継続事業の別や総合計画体系中の分類など、事業の基本的な情報を示している。

ⅱ　事業概要について

事業の目的・指針・内容等を示したもの。また、事業の評価指標となる、成果指標等の目標値を示している。

ⅲ　事業費について

事業費を示している。なお、令和５年度及び令和６年度の事業費については、実施計画策定時における事業費を示している。

②【実績ベース】の見方

ⅰ　実施結果について

令和４年度に実施した事業の内容、成果、今後の目標等について示したもの。なお、「事業費推移」中の「最終事業費」については、「決算額（前年度からの繰越額含む）」と「令和５年度への繰越額」の合計額を示したもの。

ⅱ　進捗状況欄の評価区分について

令和４年度に実施した事業の内容、結果についての評価を示したもの。なお、「今年度の進捗状況欄」及び「事業全体の進捗状況欄」における進捗状況の区分については、次のとおりである。

⑴ 前倒し実施
　次年度以降の目標を前倒しで達成したもの
⑵ 計画どおり
　当初の取組目標や計画内容が、達成されたもの（事業全体の進捗状況については、「達成に向かっているもの」と読み替える）
⑶ ほぼ計画どおり
　当初の予定よりは達成状況がやや下回っているが、目標や計画内容の達成が見込まれるもの
⑷ 遅れている（事業全体の進捗状況欄のみに適用）
　当初の予定より達成状況が下回っており、目標や計画内容の達成が困難と見込まれるもの
⑸ 未達成
　取組目標や計画内容が達成できなかったもの
⑹ 未着手
　計画内容に着手できなかったもの
⑺ 完了（事業全体の進捗状況欄のみに適用）
　令和４年度で事業が完了したもの
⑻ 終了（事業全体の進捗状況欄のみに適用）
　事業の見直し等を行い、令和４年度で事業が終了したもの

ⅲ　成果指標に対する評価区分について(成果指標の目標達成率目安)

A:目標を達成できた(１００%以上のもの)

B:おおむね目標を達成できた(７０%を上回るもの)

C:あまり目標を達成出来なかった(５０%～７０%のもの)

D:目標を達成出来なかった(５０%を下回るもの)

ⅳ　今後の方向性について

令和４年度の事業全体の課題を記入するとともに、向こう２年間の事業の方向性を下記の５区分により示したもの。

1.廃止：事業の廃止を検討するもの。

2.要改善：事業の対象・目標・内容が適切でなく、見直し（縮小）の必要があるもの。

3.現状維持：事業の対象・目標・内容等が概ね適切であるもの。

4.現状維持(新型コロナ)：令和４年度は新型コロナウィルス感染症の影響により、事業が中止又は縮小実施となったが、今後も事業を継続することで、目的を達成することが期待できるもの。

5.拡充：成果向上のため事業の対象・目標・内容等を拡大又は充実すべきもの。

（２）掲載事業一覧表【組織機構順】

総事業数	126事業
前倒し実施	0事業
計画どおり	63事業
ほぼ計画どおり	57事業
未達成	3事業
未着手	0事業
完了	3事業
終了	0事業

成果指標に対する評価	
A	70事業
B	38事業
C	10事業
D	8事業

今後の方向性	
廃止	0事業
要改善	0事業
現状維持	68事業
現状維持(新型コロナ)	29事業
拡充	26事業
令和4年度完了(終了)事業	3事業

No.	担当課	事務事業名	R4年度事業費 計画ベース (単位:円)	R4年度事業費 決算額 (単位:円)	今年度の進捗状況	成果指標に対する評価	今後の方向性
1	総務課	情報公開・個人情報保護事務	4,044,000	**3,987,746**	計画どおり	A	拡充
2	総務課・デジタル戦略課	電子申請等共同受付システム構築事業	576,000	**575,672**	ほぼ計画どおり	B	拡充
3	契約検査室	入札改革推進事業	2,795,000	**2,598,800**	計画どおり	A	現状維持
4	人事課	職員人財育成研修事業	12,567,000	**9,650,478**	計画どおり	B	現状維持
5	税務課	市税徴収率向上対策事業	7,585,000	**7,584,080**	計画どおり	A	現状維持
6	秘書広報課	広報活動の充実	15,630,000	**15,283,200**	計画どおり	B	現状維持
7	秘書広報課	イメージアップ戦略推進事業	748,000	**547,987**	計画どおり	B	現状維持
8	デジタル戦略課	電子自治体情報化戦略推進事業	ー	**ー**	計画どおり	A	現状維持
9	戦略企画課	地方創生推進事業(人材育成等施策の実施)	10,400,000	**10,025,000**	計画どおり	A	現状維持
10	戦略企画課	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業(新婚・移住定住支援)	60,500,000	**58,484,519**	計画どおり	A	拡充
11	戦略企画課	地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業(ふるさと納税寄附金等推進事業)	374,168,000	**292,747,310**	計画どおり	A	拡充
12	戦略企画課	四国のゲートウェイ推進事業(道の駅整備)	162,850,000	**150,878,500**	完了	A	ー
13	地域交通推進室	公共交通対策事業	171,906,000	**165,959,721**	計画どおり	A	現状維持
14	地域交通推進室	サイクリングツーリズムを中心とした地域活性化推進事業	12,945,000	**9,090,093**	ほぼ計画どおり	B	拡充
15	特定事業推進課	新庁舎整備事業	2,403,249,000	**1,235,530,636**	ほぼ計画どおり	A	現状維持
16	特定事業推進課	鳴門市文化会館耐震化調査事業	11,051,000	**11,012,000**	計画どおり	A	現状維持
17	危機管理課	地震等災害対策普及啓発事業	3,701,000	**3,317,140**	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
18	危機管理課	新型コロナウイルス感染症対策事業	5,227,000	**2,840,522**	ほぼ計画どおり	A	現状維持(新型コロナ)
19	危機管理課	自主防災組織活動促進事業	3,921,000	**3,117,831**	ほぼ計画どおり	A	現状維持
20	危機管理課	災害用備蓄事業	5,161,000	**5,006,342**	ほぼ計画どおり	B	現状維持
21	市民協働推進課	消費者相談窓口充実事業	7,834,000	**6,240,105**	ほぼ計画どおり	B	現状維持
22	市民協働推進課	市民協働のまちづくり推進事業	856,000	**504,614**	計画どおり	A	現状維持(新型コロナ)
23	スポーツ課	「頑張れ！徳島ヴォルティス」なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業	3,478,000	**1,148,836**	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
24	スポーツ課	スポーツコミッション活動推進事業	5,327,000	**4,999,100**	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
25	スポーツ課	市民総参加型スポーツイベント実施事業	300,000	**300,000**	計画どおり	A	現状維持
26	スポーツ課	マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業	1,800,000	**1,800,000**	計画どおり	A	現状維持
27	文化交流推進課・学校教育課	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業	1,150,000	**936,726**	ほぼ計画どおり	A	現状維持(新型コロナ)
28	文化交流推進課・ドイツ館	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業	2,901,000	**2,728,371**	計画どおり	A	現状維持
29	文化交流推進課・観光振興課	国際・国内交流事業	3,988,000	**1,240,009**	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
30	文化交流推進課	文化振興事業	1,136,000	**1,109,522**	ほぼ計画どおり	B	現状維持
31	文化交流推進課	ドイツ村公園トイレ整備事業	2,700,000	**1,925,000**	ほぼ計画どおり	B	現状維持
32	文化交流推進課	福永家住宅・塩田保存活用事業	2,724,000	**2,457,351**	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
33	文化交流推進課	史跡等地域文化財保存活用事業	2,849,000	**1,903,445**	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
34	環境政策課	環境学習推進事業	926,000	**658,378**	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
35	環境政策課	地球温暖化対策実行計画推進事業	247,000	**228,260**	計画どおり	A	拡充
36	環境政策課	「なると環境プラン推進計画2022」策定事業	302,000	**ー**	未達成	D	拡充
37	環境政策課	いぬねこ愛護推進事業	1,511,000	**1,390,500**	ほぼ計画どおり	B	拡充
38	環境政策課	水域環境改善・浄化対策事業	2,694,000	**2,205,161**	ほぼ計画どおり	D	現状維持
39	クリーンセンター廃棄物対策課	ごみ減量対策事業	59,947,000	**53,171,361**	ほぼ計画どおり	A	現状維持
40	クリーンセンター廃棄物対策課	資源ごみ対策事業	13,281,000	**10,420,205**	ほぼ計画どおり	A	現状維持
41	クリーンセンター廃棄物対策課	不法投棄監視市民パトロール支援事業	820,000	**236,870**	計画どおり	A	現状維持
42	保険課	国民健康保険料収納対策事業	5,852,000	**5,153,150**	計画どおり	A	現状維持
43	保険課	国保保健事業	22,587,000	**18,766,715**	計画どおり	B	現状維持
44	保険課	特定健診・特定保健指導事業	61,670,000	**41,478,031**	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
45	健康増進課	市民の健康づくり対策事業	1,141,000	**979,166**	ほぼ計画どおり	B	拡充
46	健康増進課	がん検診事業	22,124,000	**21,919,417**	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
47	健康増進課	子育て世代支援事業(鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業)	97,808,000	**68,427,431**	計画どおり	B	現状維持
48	健康増進課	子どもの発達支援事業	1,298,000	**1,196,800**	計画どおり	A	現状維持
49	健康増進課	救急医療対策事業	36,706,000	**32,841,112**	ほぼ計画どおり	B	現状維持
50	健康増進課	地域医療連携強化事業	656,000	**3,243,802**	計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
51	長寿介護課	高齢者無料バス優待事業	6,225,000	**6,099,940**	ほぼ計画どおり	B	現状維持
52	長寿介護課	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)	224,189,000	**192,295,055**	ほぼ計画どおり	A	現状維持
53	長寿介護課	地域支援事業(包括的支援事業及び任意事業)	132,148,000	**105,582,980**	計画どおり	A	現状維持
54	長寿介護課・社会福祉課	避難行動要支援者登録制度推進事業	1,307,000	**1,012,502**	ほぼ計画どおり	C	現状維持
55	人権推進課	人権啓発推進事業	976,000	**804,884**	ほぼ計画どおり	B	現状維持
56	人権推進課	男女共同参画推進事業	383,000	**206,192**	計画どおり	A	現状維持
57	人権推進課	女性子ども支援事業	13,373,000	**11,873,444**	計画どおり	A	現状維持
58	人権福祉センター	人権文化祭開催事業	1,215,000	**526,752**	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
59	社会福祉課	地域生活支援事業	94,663,000	**84,093,497**	計画どおり	A	現状維持
60	社会福祉課	心身障がい者等無料バス優待事業	1,677,000	**1,378,750**	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
61	社会福祉課	生活困窮者自立支援事業	33,522,000	**30,609,407**	ほぼ計画どおり	B	拡充
62	子どもいきいき課	子どものまち推進事業	240,000	**216,800**	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
63	子どもいきいき課	放課後児童健全育成事業	143,936,000	**135,491,300**	計画どおり	A	拡充
64	子どもいきいき課	子育て支援体制整備事業(保育所における巡回相談事業)	664,000	**586,000**	計画どおり	A	現状維持

No.	担当課	事務事業名	R4年度事業費 計画ベース （単位：円）	R4年度事業費 決算額 （単位：円）	今年度の進捗状況	成果指標に 対する評価	今後の方向性
65	子どもいきいき課	保育士人材確保推進事業	14,650,000	**9,681,000**	計画どおり	A	現状維持
66	子どもいきいき課	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業	96,504,000	**87,611,180**	計画どおり	B	拡充
67	子どもいきいき課	地域子育て支援拠点事業（民間施設活用）	15,142,000	**15,142,000**	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
68	子どもいきいき課	ファミリーサポートセンター事業	9,599,000	**9,599,000**	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
69	子どもいきいき課	子どもの居場所づくり推進事業	1,529,000	**621,914**	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
70	まちづくり課	住宅ストックの有効活用	55,443,000	**55,423,500**	計画どおり	A	現状維持
71	まちづくり課	木造住宅耐震化促進事業	42,934,000	**32,055,126**	計画どおり	A	拡充
72	まちづくり課	住宅安心リフォーム支援事業	10,015,000	**9,822,012**	計画どおり	A	拡充
73	まちづくり課	空家等対策事業	10,964,000	**8,149,200**	ほぼ計画どおり	B	拡充
74	まちづくり課	都市計画マスタープランの見直し及び立地適正化計画の策定	16,467,000	**16,467,000**	完了	A	ー
75	土木課	排水機場樋門整備事業（長寿命化事業）	156,550,000	**49,800,000**	計画どおり	A	現状維持
76	土木課	排水機場樋門整備事業（新設・改良事業）	161,562,000	**82,418,800**	計画どおり	A	現状維持
77	土木課	トリプルR事業（道路維持補修事業+道路舗装補修事業）	157,777,000	**148,596,967**	計画どおり	A	現状維持
78	土木課	道路橋梁長寿命化事業	483,342,000	**397,946,020**	計画どおり	A	拡充
79	土木課	河川改良事業	12,900,000	**12,723,700**	計画どおり	A	現状維持
80	下水道課	公共下水道維持管理事業（雨水）	285,375,000	**117,649,327**	ほぼ計画どおり	B	現状維持
81	下水道課	公共下水道整備事業（汚水）	600,525,000	**486,113,761**	ほぼ計画どおり	B	現状維持
82	下水道課	下水道普及促進事業	17,000,000	**10,381,300**	計画どおり	A	現状維持
83	下水道課	合併処理浄化槽普及促進事業	16,922,000	**8,978,356**	ほぼ計画どおり	B	拡充
84	公園緑地課	ドイツ村公園整備事業	2,289,000	**1,813,969**	計画どおり	A	現状維持
85	公園緑地課	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業	88,000	**88,000**	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
86	商工政策課	地域経済活性化推進事業（エコノミックガーデニング）	9,562,000	**8,729,358**	計画どおり	A	現状維持
87	商工政策課	地場産品振興対策事業	2,095,000	**1,361,919**	計画どおり	A	現状維持
88	商工政策課	就職マッチング事業	1,069,000	**712,051**	計画どおり	A	現状維持
89	商工政策課	企業誘致推進事業	28,266,000	**25,226,382**	計画どおり	A	現状維持
90	商工政策課	移住交流支援事業	7,868,000	**6,883,704**	計画どおり	A	拡充
91	商工政策課	中心市街地活性化推進事業	700,000	**550,000**	計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
92	商工政策課	なるとビジネスプランコンテスト開催事業	1,050,000	**889,885**	ほぼ計画どおり	A	拡充
93	観光振興課	なると観光ブランド化推進事業（鳴門海峡の世界遺産化に向けて）	3,000,000	**2,185,060**	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
94	観光振興課	阿波踊り振興事業	600,000	**400,000**	未達成	D	現状維持(新型コロナ)
95	観光振興課	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業	6,027,000	**5,075,970**	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
96	観光振興課	広域観光推進事業	3,260,000	**3,250,000**	ほぼ計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
97	観光振興課	コンベンション誘致支援事業	2,000,000	**1,140,000**	ほぼ計画どおり	C	現状維持(新型コロナ)
98	観光振興課	『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業	28,750,000	**21,747,000**	計画どおり	A	現状維持
99	観光振興課	四国のゲートウェイ推進事業（イベント開催支援等）	6,179,000	**6,179,000**	ほぼ計画どおり	A	現状維持
100	農林水産課	鳴門ブランドの強化	56,631,000	**56,042,946**	ほぼ計画どおり	A	拡充
101	農林水産課	コウノトリブランド推進事業	2,880,000	**701,292**	ほぼ計画どおり	A	拡充
102	農林水産課	連携型の六次化（産直市・道の駅との連携）	2,425,000	**1,380,200**	計画どおり	A	拡充
103	農林水産課	多面的機能支払交付金事業	54,715,000	**54,630,504**	ほぼ計画どおり	B	現状維持
104	農林水産課	鳥獣被害対策事業（捕獲檻等の設置）	1,894,000	**1,689,310**	計画どおり	A	現状維持
105	水産振興室	海面環境保全推進事業	4,529,000	**3,376,447**	ほぼ計画どおり	C	現状維持
106	水産振興室	ブランド産地推進事業（水産）	18,702,000	**18,387,308**	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
107	消防総務課	消防団車両・資機材等整備事業	21,615,000	**21,549,000**	計画どおり	A	現状維持
108	消防総務課	消防団安全装備品整備事業	3,581,000	**3,557,400**	計画どおり	A	現状維持
109	消防総務課	消防施設耐震化推進事業	6,258,000	**3,166,230**	計画どおり	A	現状維持
110	警防課	救急救命士等養成事業	3,352,000	**2,907,805**	計画どおり	A	拡充
111	警防課	高機能消防通信指令システム・消防救急デジタル無線システム全面更新整備事業	256,000,000	**253,000,000**	完了	A	ー
112	水道企画課	水道事業経営基盤強化推進事業	ー	**ー**	計画どおり	A	現状維持
113	浄水場	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	2,261,824,000	**2,261,823,300**	計画どおり	A	現状維持
114	ボートレース企画課・ボートレース事業課	モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業	ー	**ー**	計画どおり	A	現状維持
115	教育総務課	地場産品の活用と食育の推進事業	40,000	**26,010**	ほぼ計画どおり	B	現状維持
116	学校教育課	学校づくり計画推進事業	3,537,000	**2,184,395**	ほぼ計画どおり	C	現状維持
117	学校教育課	学力向上対策推進事業	2,843,000	**2,364,693**	ほぼ計画どおり	A	拡充
118	学校教育課	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業	755,000	**650,925**	計画どおり	A	現状維持
119	学校教育課	学園都市化構想連携協力推進事業	424,000	**165,230**	計画どおり	A	現状維持
120	総合教育人権課	人権教育推進事業	2,466,000	**2,377,511**	ほぼ計画どおり	D	現状維持(新型コロナ)
121	総合教育人権課	各種学級（女性・成人・高齢者学級）開設事業	535,000	**428,785**	計画どおり	A	現状維持
122	総合教育人権課	公民館活用推進事業	29,213,000	**28,276,647**	計画どおり	A	現状維持
123	総合教育人権課	放課後子供教室推進事業	7,013,000	**5,747,255**	計画どおり	B	現状維持(新型コロナ)
124	総合教育人権課	鳴門まちなか絵本図書館事業	736,000	**621,000**	ほぼ計画どおり	A	現状維持
125	教育支援室	外国語教育推進事業	8,593,000	**7,476,468**	ほぼ計画どおり	B	拡充
126	教育支援室	GIGAスクール構想推進事業	38,202,000	**38,201,970**	計画どおり	A	拡充
合計		**126事業**	9,346,921,000	7,264,769,610			

各実施計画兼評価シート

企　画　総　務　部

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.1

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	情報公開・個人情報保護事務	担当部署	企画総務部総務課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	鳴門市情報公開条例・鳴門市個人情報保護条例 鳴門市情報公開・個人情報保護審査会条例		
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間	開始	平成　14　年度
(小項目)		情報の共有化			
施策	4	情報の共有化の推進		終期	未定
基本事業	2	公正の確保と透明性の向上			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	公正で開かれた市政の推進のため、より利用しやすい情報公開制度の実現を図るとともに、個人情報保護制度の適正な運用に努める。	事業内容（R4）	①公文書の開示手続の円滑な執行に努めるとともに、不服申立て等に対し、情報公開・個人情報保護審査会を開催する。 ②公文書の管理について、ファイリングシステムの適正な運用を行い、文書の引継ぎ、書庫整備等に取り組む。
実施方針	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報公開開示請求件数	120	91	－	－	－	件
	2	保有個人情報開示請求件数	16	17	－	－	－	件

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	個人情報漏えい事故件数	0	0	0	0	0	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	①開示請求等に対する情報開示 ②適正な文書管理の推進 ③情報公開・個人情報保護審査会の開催	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	4,044		4,044	675	675

事務事業名	情報公開・個人情報保護事務

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	情報公開については106件、保有個人情報については9件（職員採用試験結果等4件の簡易開示含む）の開示請求に対し、開示等を行った。なお、情報公開に係る2件の諮問案件について、情報公開・個人情報保護審査会を開催し、1件の答申を出した。（他1件の諮問案件については、令和5年度に継続している） また、令和2年度より文書管理制度の再構築事業を継続しており、紙文書等の削減の実地指導及び作業に取り組み、第三者による各所属での制度運用状況の監査を行った。 一部の事務について、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」で義務付けられている「特定個人情報保護評価」を実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報公開開示請求件数	111	106	115	115	115	件
	2	保有個人情報開示請求件数	17	9	10	10	10	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		個人情報漏えい事故件数	0	0	0	0	0	件
		目標達成率(実績/目標)		0.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		**8,209,164**	**0**	**3,987,746**	**0**	**3,987,746**
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	45,350	0	45,080	0	45,080
		一般財源	8,163,814	0	3,942,666	0	3,942,666

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	**計画どおり**	**事業全体の進捗状況**	**ほぼ計画どおり**

成果指標に対する評価	**指標名**	**個人情報漏えい事故件数**		**成果指標に対する所見**	**漏えい事故は発生せず、個人情報の適正な取り扱いができた。個人情報保護法改正後も引き続き適正な取り扱いに努め、管理体制の見直しを図っていく。**
	目標	0	件		
	実績	0	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	個人情報保護法の全面改正により、個人情報の取扱について全国的に共通のルールが定められた。個人情報の有用性に配慮しつつ、安全管理措置の徹底や監査の実施等個人の権利利益を保護するため、改めて取組みを見直す。 また、文書管理制度の再構築事業を進めているが、各所属での運用状況にばらつきがみられる。新庁舎への移転に向け、執務室内の文書量の削減が必要となり、不要な紙文書の削減を行い、より効率的に業務が遂行でき、適正な文書管理を可能とした制度の再構築に向け引き続き指導を行っていく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	**令和5年度**	引き続き、開かれた行政の実現のため、適切な公文書の開示を行い、不服申立等に対する情報公開・個人情報保護審査会を開催する。 新庁舎移転に向け、不要な文書の削減を実施し、文書管理制度再構築後の維持管理指導を行う。 また、番号法における「特定個人情報保護評価」の実施が義務付けられている事務について、随時「特定個人情報保護評価」を実施又は必要に応じて修正する。
	令和6年度	引き続き、開かれた行政の実現のため、適切な公文書の開示を行い、不服申立等に対する情報公開・個人情報保護審査会の開催及び文書管理制度の維持管理指導を行う。 また、番号法における「特定個人情報保護評価」の実施が義務付けられている事務について、随時「特定個人情報保護評価」を実施又は必要に応じて修正する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.2

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	電子申請等共同受付システム構築事業	担当部署	企画総務部　総務課・デジタル戦略課

総合計画体系			根拠法令計画など		高度情報通信ネットワーク社会形成基本法
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	平成　14 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると			
（小項目）		情報の共有化		終期	未定
施策	4	情報の共有化の推進			
基本事業	3	ICTを活用した市民サービスの推進			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	行政上サービスの向上と行政事務の効率化・高度化のため、オンラインによる申請・届出システムを確立する。	事業内容（R4）	①電子申請が利用可能な手続の周知を行い、届出利用件数の増加を図る。 ②電子申請が利用可能な手続の拡大に取り組み、利用者の利便性の向上を図る。
実施方針	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	手続件数	36	36	37	38	39	件
	2							

	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	電子申請・届出利用件数	1,129	1,073	1,000	1,000	1,000	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	①電子申請利用の推進 ②電子申請手続メニュー増加に向けた検討	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	576		576	576	576

事務事業名	電子申請等共同受付システム構築事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	総務省作成の自治体DX推進計画において「特に国民の利便性向上に資する手続」とされた31の手続きのうち、子育て関係、介護関係等の22件について、ぴったりサービスによる受付開始に向け対応を進め、そのうち11件については令和4年度に申請受付を開始した。 また、転出届・転入予約の申請、消防に関する手続等の合わせて18件について、ぴったりサービスによる受付を開始した。 手続き内容にあわせ、徳島県の電子自治体共同システム、ぴったりサービスを使い分け、電子申請による利便性の向上を図った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	手続件数	36	59	60	65	70	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		電子申請・届出利用件数	1,409	321	324	351	378	件
		目標達成率(実績/目標)		32.1	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		575,672	0	575,672	0	575,672
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	575,672	0	575,672	0	575,672

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	電子申請・届出利用件数	成果指標に対する所見	令和3年度の利用件数をもとに目標利用件数を定めたところであるが、令和3年度単独事業や、利用者の利便性向上のためLoGoフォームへ受付を移行した手続きが多くあったため、目標件数に届かなかった。 しかし、令和3年度まで本本事業の対象であったが令和4年度にLoGoフォームへ移行した手続きにかかる申請件数は545件であり、あわせると866件であるため、概ね目標達成としたい。 手続件数は増加しており、進捗状況についても計画どおりと考える。
	目標	1,000　件		
	実績	321　件		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市においては、県の電子自治体共同システムでの電子申請の受付は既に手続きのひとつとして根付いているものであり、必要な手続きとなっている。 電子自治体共同システムでの受付以外に、ぴったりサービスでの受付を拡充した。手続きの性質に合わせ、手段を使い分けることにより、オンライン化できる手続きを増加させる必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	被災者支援関係手続のうち、罹災証明書の発行申請をぴったりサービスにおいて対応予定である。 その他オンライン化が可能な手続きについて、順次対応を検討する。
	令和6年度	オンライン化が可能な手続きについて、順次対応を検討していくほか、既存の手続きに関しても、利便性の向上に向け、受付方法の見直し等を図る。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.3

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	入札改革推進事業	担当部署	企画総務部　契約検査室

総合計画体系			根拠法令計画など		地方自治法
基本政策(大項目)	4	大きく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	平成　21　年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると			
（小項目）		情報の共有化		終期	年度
施策	4	情報の共有化の推進			
基本事業	2	公正の確保と透明性の向上			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①入札業務の透明性・公平性の確保 ②入札業務の競争性の確保	**事業内容（R4）**	①建設工事及び測量コンサルタント業務 ・電子入札による指名競争入札及び制限付一般競争入札の継続実施 ・建設工事等の発注情報の公表 ・入札情報および入札結果のウェブサイトでの公開 ②物品等 ・応募型指名競争入札又は制限付一般競争入札の継続実施 ・入札情報および入札結果のウェブサイトでの公開
実施方針	①建設工事及び測量・コンサルタント業務の電子入札を推進する ②入札情報及び入札結果の公表を推進する ③入札不調の低減に取り組む		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	工事等入札件数	203	200	200	200	200	件
	2	物品等入札件数	160	110	110	110	110	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	工事等の電子入札の割合		100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札情報および入札結果のウェブサイトでの公開	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札情報および入札結果のウェブサイトでの公開	①電子入札の実施 ②工事発注情報の公開 ③入札情報および入札結果のウェブサイトでの公開	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**2,795**		**2,795**	**2,848**	**2,795**

事務事業名	入札改革推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	建設工事及び測量・コンサルタント等業務においては、電子入札を継続し、金額や内容に応じて指名競争入札又は制限付一般競争入札における執行を継続した。また、入札情報や入札結果のウェブサイトでの公開を継続し、四半期ごとに発注情報を公開した。 物品等については、内容等に応じて応募型指名競争入札又は制限付一般競争入札による執行を継続した。また入札情報や入札結果のウェブサイトでの公開を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	工事等入札件数	158	162	200	200	200	件
	2	物品等入札件数	135	140	110	110	110	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		工事等の電子入札の割合	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		2,544,600	0	2,598,800	0	2,598,800
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,544,600	0	2,598,800	0	2,598,800
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	工事等の電子入札の割合		成果指標に対する所見	工事及び測量・コンサルタント等業務における電子入札の完全実施を継続することで、透明性・競争性・公平性が確保できた。
	目標	100	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市では、市内業者の振興及び育成の観点から、市内業者を優先した発注を行っているが、競争性を高めることと、市内業者の受注確保は相反するものであり、迅速な事業の執行の観点から、工事等の全ての案件で制限付一般競争入札を執行することは難しい。当面の間は、市内業者の受注機会確保を優先した運用を行う。				
今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	市内業者の受注機会の確保を優先しつつ、競争性・透明性・公平性の確保に取り組む。
	令和6年度	市内業者の受注機会の確保を優先しつつ、競争性・透明性・公平性の確保に取り組む。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.4

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	職員人材育成研修事業	担当部署	企画総務部　人事課
総合計画体系				根拠法令計画など	地方公務員法第39条 鳴門市「人財」育成基本方針
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり			
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間	開始	平成　12　年度
（小項目）	＼	行財政運営			
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進		終期	年度
基本事業	4	適正な人事管理の推進			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民満足度の高い行政サービスを提供できる職員を育成する。	事業内容（R4）	①市主催職員研修の実施 ・各職階に応じて求められるスキルを養う階層別研修 ・専門的知識を習得する職務別研修 ・公務員として習得すべき課題別研修 ②派遣研修の実施 ・県自治研修センター主催研修の活用 ・市町村・国際文化アカデミー、自治大学校等への派遣 ③自己啓発推進事業の実施 ・職務に関連する資格取得に係る経費の一部助成
実施方針	①研修計画に基づく市主催職員研修の実施 ②県自治研修センター等への派遣研修の実施 ③自己啓発推進事業の実施		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	派遣研修等への派遣職員数	174	170	170	170	170	人
	2	庁内研修の受講者数	2,056	1,900	1,900	1,900	1,900	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		受講者アンケートで、研修内容が「役立つ」又は「やや役立つ」と回答した割合	93.7	95	95	95	95	%

	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業の実施内容推移	各年度の実施（予定）内容	①研修計画に基づく市主催研修の実施 ②県自治研修センター等への職員派遣研修の実施 ※県外への派遣研修は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	①研修計画に基づく市主催研修の実施 ②県自治研修センター等への職員派遣研修の実施	①研修計画に基づく市主催研修の実施 ②県自治研修センター等への職員派遣研修の実施 ③自己啓発推進事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度		令和4年度			令和5年度	令和6年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）		12,567		12,567	12,567	12,567
	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	1,164	0	1,164	1,164	1,164
	一般財源	11,403	0	11,403	11,403	11,403

事務事業名	職員人材育成研修事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	第3次鳴門市『人財』育成基本方針に基づいた研修計画を策定し、接遇研修をはじめ、公務員倫理研修等、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、県自治研修センターが実施する研修に多くの職員が参加した。 また、これまでの集合型研修に加え、オンライン型研修も導入したことで、より効果的かつ効率的な研修体制の構築及び職場研修の充実を図るとともに、市町村アカデミー及び自治大学校等の外部研修機関が実施する研修へ職員を派遣し、専門的な知識の習得及び能力の向上を図った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	派遣研修等への派遣職員数	234	145	230	230	230	人
	2	庁内研修の受講者数	2,376	2,039	1,700	1,700	1,700	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		受講者アンケートで、研修内容が「役立つ」又は「やや役立つ」と回答した割合	92	92	95	95	95	%
		目標達成率(実績/目標)		96.8	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		**6,425,067**	**0**	**9,650,478**	**0**	**9,650,478**
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	263,440	0	392,076	0	392,076
		一般財源	6,161,627	0	9,258,402	0	9,258,402

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	受講者アンケートで、研修内容が「役立つ」又は「やや役立つ」と回答した割合	
	目標	95	%
	実績	92	%
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	目標値には若干届かなかったものの、より具体的に職員の研修ニーズを把握し、引き続き必要と思われる研修を効率的かつ効果的に実施していく必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	より市民満足度の高い行政サービスを提供するためには、専門的な知識の習得及び能力の向上を図ることが不可欠である。また、外部研修機関への派遣については、知識の習得だけでなく、他の自治体職員との交流を通して得られるものも多いことから、研修への参加の意義やメリット等を積極的に周知するとともに、研修内容の充実や研修機会の提供に努めるなど、一層効果的かつ効率的な内容の研修を計画・実施していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	引き続き、第3次鳴門市『人財』育成基本方針に基づき研修計画を策定し、状況に応じた市独自の研修を行うとともに、市町村アカデミー等の外部研修機関への職員派遣研修を行う。また、研修内容の充実を図るとともに、職員が率先して研修を受講するよう各研修の意義及びメリット等の周知を積極的に行うなど、効果的かつ効率的な研修となるよう、今後も検討していく。
	令和6年度	引き続き取り組みを継続する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.5

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市税徴収率向上対策事業	担当部署	企画総務部　税務課

総合計画体系			根拠法令計画など		国税徴収法、地方税法、鳴門市賦課徴収条例
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	平成　13　年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると			
（小項目）	＼	行財政運営			
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進		終期	未定
基本事業	2	財政の健全化			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	主要財源の安定的な確保及び税負担の公平性確保を目的とする。	事業内容（R4）	①徳島滞納整理機構等との連携や滞納処分の早期着手、現年度収入未済額の早期回収などにより、滞納繰越額の圧縮を進める。 ②口座振替の周知を行うなど口座振替加入率向上へ向けた継続的な取り組みを実施する。 ③未課税家屋について調査を進める。
実施方針	①納税義務者が市税を完納し、税負担の公平性を保つ。 ②税収が確保された状態をめざす。		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	現年度収入未済額	93,546	81,031	100,000	100,000	100,000	千円
	2	口座振替件数	49,774	49,800	53,000	53,000	53,000	件

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	市税徴収率（現年+滞繰）	96.1	96.8	95.0	95.0	95.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める	①収入未済額の縮減に努める。 ②特に、現年度収入未済額の早期回収に取り組む。 ③未課税家屋について調査を進める	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	7,464	121	7,585	7,464	7,464

事務事業名	市税徴収率向上対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①「県の税務職員の市町村長期派遣制度」により東部県税局の支援を受け、市県民税の未納者に県市の共同催告を実施した。高額・悪質案件については、徳島滞納整理機構と連携し未済額の回収に努めた。 ②新規の口座振替申込者を対象に景品を進呈する「口座振替推進キャンペーン」を実施した（新規登録：358件）。また、R5年度より開始される地方税統一QRコードについて、内容等を広報なるとや市公式ウェブサイトへ掲載し事前周知を図った。 ③未課税家屋について、年次計画を基に1班体制（家屋担当職員2名及び会計年度任用職員1名）で調査及び課税を実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	現年度収入未済額	64,889	81,356	100,000	100,000	100,000	千円
	2	口座振替件数	49,174	48,970	53,000	53,000	53,000	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市税徴収率（現年+滞繰）	96.9	97.1	96.7	96.7	96.8	%
		目標達成率(実績/目標)		102.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		**6,633,202**	**0**	**7,584,080**	**0**	**7,584,080**
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,633,202	0	7,584,080	0	7,584,080

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		**計画どおり**		**事業全体の進捗状況**	**計画どおり**
成果指標に対する評価	**指標名**	**市税徴収率（現年+滞繰）**		**成果指標に対する所見**	**徴収率向上については取り組み目標を達成できた。**
	目標	**95**	**%**		
	実績	**97**	**%**		
	評価	**A:目標を達成できた**			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現年度収入未済額を着実に減少させるとともに、滞納繰越額の更なる圧縮を図っていく必要がある。 限られた人員体制のなか現状の水準を維持できるよう、県東部県税局や徳島滞納整理機構との連携強化を図る必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	県と市町村の税務職員の相互併任制度を活用し、県との連携強化及び滞納整理に関する知識や技術の取得を目指す。また、口座振替の推進や地方税統一QRコードの周知を進め、納税の利便性の向上による現年度の未収額の減少を図っていく。 令和6年度の固定資産税の評価替えに向け未課税家屋の調査及び現況把握に努める。
	令和6年度	令和5年度に引き続き取り組みを進めていく。 また、令和7年度までの移行が予定されている税務システムの標準化への対応について、切り替えによる混乱等を抑えられるよう対応の検討や準備を進めていく。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.6

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	広報活動の充実	担当部署	企画総務部　秘書広報課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり			
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間	開始	昭和　26　年度
(小項目)		情報の共有化			
施策	4	情報の共有化の推進		終期	未定
基本事業	1	広報活動の充実			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市からの行政情報などをわかりやすく市民に周知するため、読みやすく魅力ある「広報なると」の紙面づくり、また、多くの市民に視聴してもらえる見やすく親しまれるテレビ広報番組づくりを行う。	事業内容（R4）	①市民等の市政に関する関心や満足度を高めるため、広報に関する市民のニーズを調査し、市民からの意見や要望等を把握することで、本市の広報活動における課題を検証する。 ②検証結果を生かし、市民の声を反映させた紙面・テレビ番組づくりを行うとともに、SNSや動画などを活用した情報発信についても調査・研究を進め、効果的な広報活動を推進する。
実施方針	効率的で見やすく、伝わりやすい広報活動の実施。		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	広報紙での市政の特集実施回数	14	21	12	12	12	回
	2	SNSを活用した動画配信回数	0	24	36	48	48	回

	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	広報モニターの肯定的評価	86.7	88.7	90.0	90.0	90.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	先進的な広報活動を行う他市町村の取り組みについての調査・研究。	広報に関する市民のニーズ調査の実施、調査結果の検証と検証結果を生かした広報活動の展開。	広報に関する市民のニーズ調査の実施、調査結果の検証と検証結果を生かした広報活動の展開。	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	15,172	458	15,630	15,172	15,172

事務事業名	広報活動の充実

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	令和元年度に改定した「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、より効率的かつ効果的な広報を実践できるよう複数の広報媒体を用いた情報発信を行った。広報紙やテレビ広報では、新型コロナワクチン接種などの重要な情報が幅広い世代に伝わるよう、写真やイラスト、図表などを用いて、できる限り分かりやすい情報発信を心掛けた。また、道の駅「くるくる なると」グランドオープンや「なると まるごと 子育て応援パッケージ」などの市の重点施策の紹介、消防団やインターハイといった市民の活躍を取り上げる機会を増やすなど、受け手の興味を引くような内容の構成にも努めた。さらに、SNSの利活用では、市長メッセージ動画の定期的な配信による即時性のある情報発信に加え、YouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」を新たに立ち上げるなど、主に若年層向けの情報発信にも取り組んだ。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	広報紙での市政の特集実施回数	23	19	12	12	12	回
	2	SNSを活用した動画配信回数	24	71	48	48	48	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		広報モニターの肯定的評価	88	84	90	90	90	%
		目標達成率(実績/目標)		93.3	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		13,182,950	0	15,283,200	0	15,283,200
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	881,511	0	881,891	0	881,891
		一般財源	12,301,439	0	14,401,309	0	14,401,309
補助制度（名称、補助率など）							

※その他特定財源＜歳入＞

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	広報モニターの肯定的評価		成果指標に対する所見	8割を超える肯定的評価をいただいており、目標は概ね達成とする。今後はSNSなどの活用も含め、若年層をターゲットとした広報活動にも力を注ぎ、広報媒体全体の内容により充実さを加え、市民や広報モニターからの評価を向上させるように努力する。
	目標	90	%		
	実績	84	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	広報媒体全体として、難しい内容や堅苦しいと捉えられる行政情報をいかに分かりやすく伝え、興味を持っていただけるかという点に課題がある。解決策として、広報紙では主に若年層向けの内容は文字を詰め込まず詳細はウェブサイトへ誘導することで読みやすさや見やすさを重視したり、YouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」を活用して、エンターテインメント性を盛り込んだ情報発信で行政情報に興味を持っていただくなど、受け手の世代に合わせた情報発信や市民等の視点に立った分かりやすい情報発信に取り組む必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。特にSNSによる情報発信を強化し、主に若年層をターゲットとしたYouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」などの媒体を活用し、市の魅力や施策の発信を行う。
	令和6年度	「鳴門市広報戦略プラン」及び「鳴門市パブリシティマニュアル」に基づき、効果的かつ分かりやすい情報発信に努め、広報・広聴活動のさらなる充実を図る。特にSNSによる情報発信を強化し、主に若年層をターゲットとしたYouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」などの媒体を活用し、市の魅力や施策の発信を行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.7

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	イメージアップ戦略推進事業	担当部署	企画総務部　秘書広報課
総合計画体系				根拠法令計画など	なし
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　27　年度
（小項目）		シティプロモーション			
施策	2	シティプロモーションの推進		終期	未定
基本事業	2	イメージアップの推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市のイメージアップ向上のため、小冊子の作成、配布等により、市内外にPRする。また、市外や県外向けのPRだけではなく、鳴門市民や近隣の方に対して鳴門・郷土に「誇り」と「愛着」を持ってもらい、定住人口を維持･向上させることを目的とする。	事業内容（R4）	①写真投稿アプリのInstagramを活用した参加型プロモーション事業である第7回写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」を実施する。 ②イメージアップカレンダーを作成し、市内外の各施設等へ配布する。 ③イメージアップ小冊子「鳴門やけん」について、市内の小学校5年生や市内外の各施設等に配布する。
実施方針	①写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」の実施 ②イメージアップカレンダーの作成 ③イメージアップ小冊子「鳴門やけん」の作成、配布		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	イメージアップ事業実施数	3	2	3	3	3	件
	2							

	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	「Narustagram」応募作品数	1,865	3,000	3,000	3,000	3,000	点

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①「Narustagram」の実施 ②イメージアップカレンダーの作成 ③「鳴門やけん」の作成	①「Narustagram」の実施 ②「鳴門やけん」の作成	①「Narustagram」の実施 ②イメージアップカレンダーの作成 ③「鳴門やけん」の配布	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額･繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	748		748	748	748

事務事業名	イメージアップ戦略推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①写真投稿アプリのInstagramを活用した参加型プロモーション事業である第7回写真動画コンテスト「Narustagram（ナルスタグラム）」を開催した。 ②イメージアップ小冊子「鳴門やけん」について、市内の小学校5年生や市内外の各施設等に配布した。 ③令和4年4月からYouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」を立ち上げ、公務員の堅いイメージを払拭した「面白さ」や「エンターテインメント性」のある動画制作に取り組み、主に若年層や子育て世代向けに情報発信を行うことで、鳴門市のイメージアップを図った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	イメージアップ事業実施数	2	3	4	4	4	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		「Narustagram」応募作品数	3,157	2,172	3,000	3,000	3,000	点
		目標達成率(実績/目標)		72.4	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		**1,526,008**	**0**	**547,987**	**0**	**547,987**
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,526,008	0	547,987	0	547,987

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		**計画どおり**		**事業全体の進捗状況**	**計画どおり**
成果指標に対する評価	**指標名**	「Narustagram」応募作品数		**成果指標に対する所見**	**様々な媒体を通して多角的な情報発信ができたと考える。今後も継続的に実施することにより、効果を高めていきたい。**
	目標	3,000	点		
	実績	2,172	点		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業実施8年目を終えて、鳴門市の主要な素材については、ある程度取り上げてきたことから、今後新たな素材の選定について検討を重ねる必要があると考えている。また、テーマについても大きく変更することも検討すべきであると考えている。投稿に関しては、写真に比べ動画の投稿数が伸び悩んでいることから、動画投稿の呼びかけも行う。加えて、新たな広報媒体による情報発信についても検討していく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	**令和5年度**	①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」新刊の発行、市内外への配布。②写真動画コンテスト「Narustagram」を開催。③YouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」で、鳴門市のイメージアップにつながる動画を制作し、主に若年層や子育て世代向けの情報発信を行う。 ④本市のイメージアップとシティプロモーションを推進するため、新たなイメージキャラクターを企画する。
	令和6年度	①イメージアップ小冊子「鳴門やけん」を市内外へ配布。②写真動画コンテスト「Narustagram」を開催。 ③YouTubeチャンネル「鳴門市KoHoさん」で、鳴門市のイメージアップにつながる動画を制作し、主に若年層や子育て世代向けの情報発信を行う。 ④新イメージキャラクターを用いて、本市のイメージアップとシティプロモーションを推進する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.8

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	電子自治体情報化戦略推進事業	担当部署	企画総務部　デジタル戦略課

総合計画体系			根拠法令計画など		なし
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	平成　24　年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると			
（小項目）	＼	行財政運営		終期	未定
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進			
基本事業	5	ICTを活用した行政運営の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	情報化による業務の高度化や効率化を推進するため、鳴門市情報化計画「第5次なるとeープラン」に基づき、情報システムの全体最適化等を図る。	事業内容（R4）	①「情報化投資事前協議書」等による情報化投資の一元管理体制の徹底を図る。 ②ICTを事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的なICT投資の推進に努める。
実施方針	①情報化投資の一元管理体制の徹底を図る。 ②全庁的な視点による効果的なICT投資の推進を行う。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報システム導入報告書により事後状態把握まで行った項目（事業）数	48	未定	未定	未定	未定	項目
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合	100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①情報化投資の一元管理体制の徹底 ②ペーパーレス会議システム導入	①情報化投資の一元管理体制の徹底 ②自治体向け申込み・アンケートフォーム及びビジネスチャット導入	①情報化投資の一元管理体制の徹底 ②次期情報化計画「第6次なるとeープラン（仮称）」の策定	情報化投資の一元管理体制の徹底	情報化投資の一元管理体制の徹底

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	―		―	―	―

事務事業名	電子自治体情報化戦略推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①「情報化投資事前協議書」等による情報化投資の一元管理体制の徹底を図った。 ②デジタル技術を徹底活用し、行政サービス改革を進め、市民生活をより良い方向へ変革するための基本方針や取り組みの方向性を記載した「鳴門市DX推進計画」（計画期間：令和5年度～令和8年度）を策定した。 ③音声で録音した会議内容を、AIが文字に起こす「AI議事録作成支援システム」を全庁に導入し、議事録作成に係る時間を削減し、事務改善・効率化を図った。 ④手作業で行っていた各種案内状や納付書等の封入作業をシステムで自動封入する「封入封函機」を導入し、事務作業の大幅な改善・効率化を図った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	情報システム導入報告書により事後状態把握まで行った項目（事業）数	48	60	未定	未定	未定	項目
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		0	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	事前協議を経て全庁的な視点から実施した情報化投資の割合	
	目標	100	%
	実績	100	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見
全庁的な視点での情報化投資の推進を図るとともに、今後4年間のデジタル施策の方向性を示した「鳴門市DX推進計画」についても予定通り策定することができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	国が目指すべきデジタル社会を実現するため、本市においても、便利で心地よいスマートシティを目指すべく、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	①「鳴門市DX推進計画」に基づき、様々なデジタル技術の活用にスピード感を持って取り組むことにより、市民の利便性向上や業務効率化を図っていく。 ②情報化投資の一元管理体制の徹底を図るなど、デジタル技術を事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的な情報化投資の推進に努める。
	令和6年度	①「鳴門市DX推進計画」に基づき、様々なデジタル技術の活用にスピード感を持って取り組むことにより、市民の利便性向上や業務効率化を図っていく。 ②情報化投資の一元管理体制の徹底を図るなど、デジタル技術を事務改善・効率化のツールとして有効活用できるよう、全庁的な視点による効果的な情報化投資の推進に努める。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.9

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	統合	事務事業名	地方創生推進事業 （人材育成等施策の実施）	担当部署	企画総務部　戦略企画課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市総合戦略
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じる　まちづくり			
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると		事業期間 開始	平成　27　年度
（小項目）	＼	子どものまち			
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援		終期	未定
基本事業	1	まちぐるみの子育て支援			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	地方創生を実現するため、地方版総合戦略を推進するにあたり、若い世代の出会いの機会創出・未来の鳴門市を担う人材育成に重点を置いた施策を実施することで、若い世代が「鳴門市に住み続けたい、帰ってきたい」と思えるまちづくりを目指す。	事業内容（R4）	①人材育成 ・地域おこし協力隊によるミュージカルを通じたコミュニケーション力や表現力の向上 ・大学と行政（市・教育委員会等）との連携強化 ②若い世代の出会いの場の創出 ・地域婚活事業を支援する補助金制度のPR及び活用促進
実施方針	①地域おこし協力隊によるミュージカルを活用した人材育成 ②大学との連携強化 ③地域婚活支援事業補助金の活用促進による若い世代の出会いの場の創出		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	地域おこし協力隊によるミュージカル公演数と婚活イベント支援数の合計	1	2	6	4	4	回

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①地域おこし協力隊によるミュージカル公演 ②大学連携事業の推進 ③地域婚活事業企画提案募集	①地域おこし協力隊によるミュージカル公演 ②大学連携事業の推進 ③地域婚活事業企画提案募集および補助金交付	①地域おこし協力隊によるミュージカル公演 ②大学連携事業の推進 ③地域婚活事業企画提案募集および補助金交付	①大学連携事業の推進 ②地域婚活事業企画提案募集および補助金交付	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	10,400		10,400	10,400	10,400

事務事業名	地方創生推進事業 （人材育成等施策の実施）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①人材育成 ・地域おこし協力隊員主導のもと、市民等から一般公募した演者によるオリジナルミュージカル公演を実施することにより、コミュニケーション力や表現力の向上に努めた。 ・鳴門教育大学との協力推進会議を開催し、更なる連携に向けた意見交換を行った。 ②若い世代の出会いの場の創出 ・結婚を望む男女への多様な出逢いの機会の創出が期待されるイベント提案を行った3団体に対して、補助金を交付し、鳴門市内でのイベント開催を支援し、合計3組のカップルが成立した。 ・マリッサとくしまと婚活イベントを共催し、合計6組のカップルが成立した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		地域おこし協力隊によるミュージカル公演数と婚活イベント支援数の合計	2	6	4	4	―	回
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		0	0	10,025,000	0	10,025,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	425,000	0	10,025,000

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	地域おこし協力隊によるミュージカル公演数と婚活イベント支援数の合計		成果指標に対する所見	ミュージカルを通じてコミュニケーション力や表現力の向上に努めるとともに、婚活イベントへの補助金交付などにより、若い世代の出会いの場の創出を支援した。
	目標	6	回		
	実績	6	回		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	若い世代の出会いの場の創出については、魅力的な婚活イベントを企画することにより参加者を確保するとともに、カップル成立に向けた効率的・効果的な婚活イベントを実施する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	関係機関と連携し、引き続き若い世代の出会いの機会創出、未来の鳴門市を担う人材育成に重点を置いた施策を実施する。
	令和6年度	令和5年度の状況を踏まえながら、継続して実施する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.10

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業（新婚・移住定住支援）	担当部署	企画総務部　戦略企画課		
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市総合戦略		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり					
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまちなると	事業期間	開始	令和	4	年度
（小項目）	＼	子どものまち					
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援		終期	令和	7	年度
基本事業	1	まちぐるみの子育て支援					

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	人口減少および晩婚化、少子高齢化が進む中、結婚から子育てまでの間を強力にサポートすることにより、これら課題の解決と、本市への移住定住を目指すことを目的とする。	事業内容（R4）	3つの補助金により若者を支援し、本市への移住定住を促進。 ①結婚新生活支援補助金 夫婦ともに39歳以下の新婚世帯の新生活スタートアップを支援。 敷金、礼金、仲介手数料、引っ越し費用など最大30万円 （所得400万円以上の場合最大15万円） ②新婚世帯家賃補助金 夫婦ともに39歳以下の新婚世帯を家賃補助により支援。 月々5千円（所得400万円未満の場合月々1万円まで） 最大24カ月支援 ③定住促進住宅取得補助金 夫婦いずれかが39歳以下の対象住宅を取得した世帯を支援。 子どもの数や市内業者での建設、親世帯との同居近居などの要件の組み合わせにより最大100万円を支援。
実施方針	初年度（令和4年度）については、他の子育て支援策と合わせて6月に事業を開始予定。新生活支援および住宅取得については単年補助。家賃補助については最大2年間の補助とする。 開始に当たっては、応援パッケージ全体のPRを大々的に行い、県内随一の子育て応援都市としてのブランディングを推進する。 令和7年度までの期間限定事業とし、令和8年度以降については実績やニーズを踏まえ検討する。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	補助件数				100	150	150	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容			各補助事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	54,500	6,000	60,500	60,440	60,440

事務事業名	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業 （新婚・移住定住支援）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①なると結婚新生活支援補助金 市内で新生活を開始する新婚世帯38世帯へ住居に係る初期費用等に対して6,221千円を交付 ②なると新婚世帯家賃補助金 民間の賃貸住宅に居住する新婚世帯50世帯の対象期間中に支払った家賃に対して1,605千円を交付 ③なると定住促進住宅取得補助金 市内に住宅を取得する夫婦のいずれかが39歳以下の86世帯に対して50,600千円を交付

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	補助件数			174	150	150	150	件
	目標達成率(実績/目標)			174.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計				58,484,519	0	58,484,519
	財源内訳	国庫支出金			0	0	0
		県支出金			0	0	0
		地方債			0	0	0
		その他			0	0	0
		一般財源	0	0	58,484,519	0	58,484,519

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	補助件数	
	目標	100	件
	実績	174	件
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見
事業全体で目標件数を大幅に上回ることができ、市内に居住する子育て世帯への支援につながったものと思われる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業全体として目標件数を大幅に上回る実績となり、移住定住促進施策としての側面は十分な結果を得られたと思われるが、子育て応援パッケージ事業全体の到達度として、子育て世帯支援施策の側面強化が望まれるところであり、特に国も促進している「結婚新生活支援事業」については、継続的な事業周知を行いつつ、次年度事業内容を拡充し、利用者の増加を図る必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	国の「結婚新生活支援事業」の条件拡充に合わせ、上限60万円（対象経費に家賃を含む）コースを追加し、既存事業に代わる新たな支援施策として確立させる。また、家賃補助金および住宅取得補助金についても、市内外の情勢を勘案しつつ、各種要件の拡充について検討する。
	令和6年度	令和5年度の実績や利用者アンケート結果、今後の国の「結婚新生活支援事業」の動向を踏まえ、事業内容のブラッシュアップを行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.11

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業（ふるさと納税寄附金等推進事業）	担当部署	企画総務部　戦略企画課

総合計画体系			根拠法令計画など		地方税法等の一部を改正する法律
基本政策(大項目)	4	大きく躍動みんなで創るまちづくり			
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間	開始	平成　20　年度
（小項目）	＼	行財政運営			
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進		終期	未定
基本事業	2	財政の健全化			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市を応援したいという納税者の気持ちを活かすことのできるようなわかりやすい「ふるさと納税寄附金制度」の運用を行うとともに、地域産業の活性化と持続可能な地域経済の実現を目指す。	**事業内容（R4）**	①道の駅（地域商社）との業務連携 ・道の駅（地域商社）と連携し、地場産品を活用した商品開発の実施 ②記念品の拡充による鳴門の地場産品のPR推進 ・市内事業所への記念品掲載の案内 ③ポータルサイト等での情報発信の強化 ・ポータルサイト内でのPR等プロモーションの推進 ④寄附金の事業化の推進 ・ガバメントクラウドファンディングの実施検討
実施方針	①道の駅「くるくる なると」開設に向けて運営事業者により設立された地域商社との連携 ②商品開発による記念品拡充と地場産品のPR推進 ③ポータルサイト等での情報発信の強化		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ふるさと納税寄附件数	18,169	22,000	22,000	27,000	－	件
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	寄附金額	337,928	400,000	400,000	500,000	－	千円

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	―	①道の駅（地域商社）との連携 ②記念品の拡充 ③情報発信の強化	①道の駅（地域商社）との連携 ②記念品の拡充 ③情報発信の強化	継続	―

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**253,026**	**121,142**	**374,168**	**314,602**	**―**

事務事業名	地域産業活性化「鳴門モデル」推進事業 （ふるさと納税寄附金等推進事業）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①道の駅（地域商社）と連携し、道の駅の売れ筋品をふるさと納税返礼品として取り扱いを開始した。 ②継続的に事業者からの提案を受け入れ、記念品の拡充を行うことで、鳴門の地場産品PRの推進を図った。 ③ポータルサイト内の情報発信力強化を目的としたSEO対策、サムネイル改善について継続しつつ、サイト内ランディングページの大幅改修、レビュー返答等の寄附者に対するフォローを行い訴求力を強化した。また、新たに利用可能なポータルサイトを3つ拡充し、かつ道の駅への現地決済型ふるさと納税導入を行うことで、幅広い寄附者層の獲得を可能にした。 ④1件のクラウドファンディング型ふるさと納税事業を採択し、寄附金の事業化を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ふるさと納税寄附件数	22,030	25,576	27,000	－	－	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	寄附金額		414,111	481,635	500,000	－	－	千円
	目標達成率(実績/目標)			120.4	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		**240,319,840**	**0**	**292,747,310**	**0**	**292,747,310**
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	240,319,840	0	292,747,310	0	292,747,310
		一般財源	0	0	0	0	0

補助制度（名称、補助率など）	ふるさと納税寄附金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	寄附金額		成果指標に対する所見	
	目標	400,000	千円		**目標額を上回り、右肩上がりの実績を維持できている。**
	実績	481,635	千円		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	全国的なふるさと納税市場は前年度を大きく上回る大規模なものとなり、継続して実績を上昇させるためには、漠然とした新規返礼品拡充等ではなく、今後のアクションプランを綿密に設計し、更に効果的な事業形態を目指す必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	**令和5年度**	道の駅「くるくる なると」と連携したオリジナル返礼品開発については、ふるさと納税市場におけるトレンドを踏まえて最適化した返礼品の拡充を、広報戦略・寄附者への対応力強化については、細やかな情報発信（メルマガ等）の最大限活用やレビュー施策（返答への工夫・キャンペーン化等）の展開を、他自治体との差別化を図ることを主眼にブラッシュアップした形で実施するよう努める。
	令和6年度	実績に繋がった取組みは継続しつつ、諸般の情勢を勘案し、ふるさと納税寄附金の拡充に向けた施策を進める。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.12

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業（道の駅整備）	担当部署	企画総務部　戦略企画課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		四国のゲートウェイ推進計画	
政策(中項目)	2	伝えたい魅力あふれるまちなると	事業期間	開始	平成　28　年度
（小項目）		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	令和　4　年度
基本事業	4	にぎわいと交流の創出			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「人が集い　出会い交流し　地域に広がる　笑顔と元気うずまく　道の駅」をコンセプトとした道の駅を整備する。	事業内容（R4）	道の駅を開駅し、施設の管理運営を行う。
実施方針	次の4点を満たす道の駅を整備する。 ①快適な道路休憩施設の整備 ②利用者や消費者が求める情報を発信し、ひとを呼び込む情報発信機能の整備 ③地域の特性を活かした地域活性化や交流拠点づくり ④安心・安全でまちの新たな顔となる拠点づくり		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	道の駅の整備	建築に係る実施設計図書の策定	建築工事等の竣工	開駅			

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①用地買収 ②建築に係る実施設計図書の策定 ③造成工事の開始	①建築工事の実施 ②開駅準備 ③竣工	開駅		

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	0	162,850	162,850	—	—

事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業（道の駅整備）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	施設整備を完了し、令和４年４月29日に開駅した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		道の駅の整備	竣工	開駅				―
		目標達成率(実績/目標)		―	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,531,392,313	150,878,500	0	0	150,878,500
	財源内訳	国庫支出金	499,168,000	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	848,200,000	71,200,000	0	0	71,200,000
		その他	55,270,000	0	0	0	0
		一般財源	128,754,313	79,678,500	0	0	79,678,500

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況	－

成果指標に対する評価	指標名	道の駅の整備		成果指標に対する所見	当初の予定どおり、国や関係機関等と連携しながら事業進捗を図ることができた。
	目標	開駅	―		
	実績	開駅	―		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	
	令和6年度	

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.13

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公共交通対策事業	**担当部署**	企画総務部　地域交通推進室	
総合計画体系				**根拠法令計画など**	道路運送法・鳴門市地域バス運行条例	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適　すみよい町づくり		**事業期間**	**開始**	平成　20　年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると				
(小項目)	＼	交通			**終期**	未定
施策	5	新しい公共交通網の確立				
基本事業	2	公共交通機関の確保と整備				

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民の日常生活の足を確保するため、効率的で持続可能な公共交通網の構築を図る。	**事業内容（R4）**	①地域公共交通計画の策定 ②地域バス及び協定路線について、継続的に利用状況の把握に努め、必要に応じて運行内容等の見直しを行う。
実施方針	①地域バス・協定路線（徳島バス）等の見直し ②新公共交通の検討		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		地域バス・協定路線乗車人数	163,760	—	150,000	150,000	150,000	人

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業の実施内容推移 各年度の実施（予定）内容	①地域バス及び協定路線の便数見直し検討 ②バス車両内における感染症対策 ③新公共交通の検討	①地域バス及び協定路線の便数見直し検討 ②バス車両内における感染症対策 ③新公共交通の検討	①地域バス及び協定路線の運行 ②バス車両内における感染症対策 ③地域公共交通計画策定	①地域公共交通計画の推進 ②地域バス及び協定路線の運行	継続

◎事業費

事業費推移（千円）	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	171,656	**250**	**171,906**	**171,656**	**171,656**

事務事業名	公共交通対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・地域バス3路線及び協定路線4路線の運行を行った。 ・令和5年2月に、地域公共交通政策を推進する際の今後の方向性を示す「鳴門市地域公共交通計画」を策定した。

			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	地域バス・協定路線乗車人数		166,475	173,521	150,000	150,000	150,000	人
	目標達成率(実績/目標)			115.7	ー	ー	ー	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		**165,163,187**	**0**	**165,959,721**	**0**	**165,959,721**
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	5,293,487	0	835,162	0	835,162
		一般財源	159,869,700	0	165,124,559	0	165,124,559

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	地域バス・協定路線乗車人数	成果指標に対する所見	地域バス路線と協定路線ともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準には戻っていないが、目標を達成することができた。
	目標	150,000 人		
	実績	173,521 人		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地域公共交通計画に基づき、多様化する利用者ニーズや地域特性に適応した公共交通サービスを提供するとともに、持続可能な公共交通ネットワークの実現に努める必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	地域公共交通計画に基づき、限られた財源や人材を有効活用し、公共交通空白地帯の解消に向けた取り組みを検討する。
	令和6年度	継続

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.14

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	名変	事務事業名	サイクルツーリズムを中心とした地域活性化推進事業	担当部署	企画総務部　地域交通推進室
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市総合戦略
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい魅力あふれるまちなると	事業期間	開始	平成　28　年度
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	未定
基本事業	4	にぎわいと交流の創出			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①交流人口の増加及び地域経済活性化 ②市民の健康増進、地域活性化	事業内容（R4）	①自転車輸送事業の確立 ・路線バスによる自転車輸送 ②サイクリングコースの周知啓発 ・PR動画を活用した周知 ③市民の自転車利用促進 ・レンタサイクルの利用促進 ・サイクリスト・企業等団体の活動への支援 ④大鳴門橋自転車道整備実現への取り組み ・徳島県、兵庫県、南あわじ市との連携、情報共有 ・大鳴門橋自転車道を想定した広域サイクリングコースの検討 ⑤自転車関連イベント実施 ・グルメライド等の実施 ⑥サイクリングに楽しさをプラスする「アクティビティ」の検討
実施方針	①自転車輸送事業の確立 ②サイクリングコースの周知啓発 ③市民の自転車利用を促進する ④大鳴門橋自転車道整備実現に向けて取り組む ⑤自転車関連イベントの実施 ⑥地域活性化起業人制度の活用		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	海峡またぎ（自転車輸送）利用者数	152	270	300	400	500	人
	2	レンタサイクル利用者数	271	300	300	300	300	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	関連イベントへの参加者数		423	570	2,000	2,000	2,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①推進計画の策定 ②協議会の設立 ③サイクルコースの調査 ④継続事業の実施	①路線バスでの自転車輸送 ②レンタサイクル継続 ③PR動画周知	①路線バスでの自転車輸送 ②レンタサイクル継続 ③関連イベント実施 ④PR動画周知 ⑤アクティビティ推進構想の策定	①路線バスでの自転車輸送 ②レンタサイクル継続 ③関連イベント実施 ④PR動画周知 ⑤アクティビティの検討	継続

◎事業費

年　度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	12,945		12,945	12,784	12,784

事務事業名	サイクルツーリズムを中心とした地域活性化推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①路線バスによる鳴門海峡自転車輸送、レンタサイクル事業を継続実施した。 ②おもてなしスポットの追加やサイクリングコースの周知啓発（PR動画）をASAサイクリング特設ウエブサイトにより実施した。 ③鳴門・南あわじ渦潮グルメライドは、新型コロナウィルス感染症が5類に移行する時期等を見据え、次年度実施とした。また、ASAサイクリングツーリズム推進補助金を2団体が活用し、サイクリングイベントの実施等を行った。 ④地域活性起業人発案事業により、初心者向けの新たなサイクリングコースの作成、また、それに伴う記念ライドイベントを実施した。 ⑤大鳴門橋自転車道整備実現に向けて、徳島県、兵庫県、南あわじ市との情報共有を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	海峡またぎ（自転車輸送）利用者数	297	258	300	400	500	人
	2	レンタサイクル利用者数	247	297	300	300	300	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		関連イベントへの参加者数	708	1,439	2,000	2,000	2,000	人
		目標達成率(実績/目標)		72.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,969,437	0	9,090,093	2,500,000	11,590,093
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,969,437	0	2,531,647	2,500,000	5,031,647
		一般財源	0	0	6,558,446	0	6,558,446

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	関連イベントへの参加者数		成果指標に対する所見	民間団体のイベント開催を補助金により支援することにより、サイクルツーリズムの機運醸成を図ることができた。
	目標	2,000	人		
	実績	1,439	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	大鳴門橋自転車道開通を見据え、徳島県、兵庫県、南あわじ市等の関係機関と情報共有を密に行うとともに、宿泊施設・自転車関係事業者との連携や自動車の交通マナーアップ等によるサイクリストの受け入れ環境の整備、積極的な広報活動やサイクリングイベントの実施等により「自転車フレンドリーなまちづくり」に向けた各種施策を計画的に推進していく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	サイクリストを呼び込むための環境整備や積極的な広報活動、関係イベント等の各種施策を引き続き行う。
	令和6年度	継続

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.15

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	新庁舎整備事業	担当部署	企画総務部　特定事業推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市新庁舎建設基本計画 鳴門市新庁舎建設工事基本設計書
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　29　年度
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進		終期	令和　6　年度
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「市民の安全安心をまもり、絆をはぐくむ鳴門らしい庁舎」を実現した新庁舎の建設	事業内容（R4）	① 新庁舎DB業務（工事着手） ② 施工段階CM業務 ③ オフィス環境整備業務 ④ 用地取得事業の推進 ⑤ 集密書架購入設置業務
実施方針	基本計画に掲げた五つの基本方針のもと、新庁舎建設を推進する。 ①誰もが利用しやすく、質の高い市民サービスを提供する庁舎 ②防災拠点にふさわしい、安全安心な庁舎 ③市民がつどい、親しまれる庁舎 ④経済的で将来の変化に対応できる庁舎 ⑤環境にやさしく、周辺環境と調和した庁舎		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	新庁舎の建設	基本設計策定 実施設計着手	実施設計の推進	実施設計の策定 工事着手	新庁舎完成	外構完成	

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①基本設計策定 ②DB事業者の選定 ③実施設計着手 ④周辺施設解体工事 ⑤用地取得事業	①実施設計の推進 ②周辺施設解体工事 ③用地取得事業	①実施設計の策定 ②工事着手 ③用地取得事業	①新庁舎完成 ②現庁舎等解体設計	①新庁舎への移転完了 ②現庁舎等解体工事着手 ③外構完成

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,150,000	253,249	2,403,249	4,181,723	617,612

事務事業名	新庁舎整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	令和4年5月より工事に着手し、令和6年1月の竣工に向けて着実に進捗している。また、並行して什器やサイン、各種設備の整備に向け、関係各課と連携しながら仕様などの調整を進めた。 そのほか、新庁舎周辺配水管実施設計や市役所東線側溝整備工事などの新庁舎周辺に係る業務を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		新庁舎の建設	実施設計策定	工事着手	工事竣工	開庁	―	―
		目標達成率(実績/目標)		―	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		265,527,099	253,773,283	981,757,353	1,162,071,000	2,397,601,636
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	221,700,000	178,900,000	838,200,000	1,045,800,000	2,062,900,000
		その他	35,621,099	0	137,000	0	137,000
		一般財源	8,206,000	74,873,283	143,420,353	116,271,000	334,564,636

補助制度（名称、補助率など）	地方債：市町村役場機能緊急保全事業債、一般事業 補助金：レジリエンス強化型ZEB実証事業（環境省）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	新庁舎の建設		成果指標に対する所見	令和4年5月より工事に着手し、計画どおり安全かつ着実に工事を進捗することができた。
	目標	実施設計の策定Ⅲ事着手			
	実績	工事着手			
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	引き続き安全かつ着実な工事の進捗に努めるとともに、開庁まで約1年となり、より市民等への情報発信を図っていくとともに庁内の文書量の削減等、引っ越しに向けての気運の醸成に努める。 また、什器やサイン、各種設備の整備に向け、関係各課と連携しながら業務を進める。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	工事竣工
	令和6年度	新庁舎へ引っ越し及び開庁

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.16

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	鳴門市文化会館耐震化調査事業	担当部署	企画総務部　特定事業推進課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると	事業期間	開始	令和　4　年度
（小項目）	＼	文化振興			
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	3	文化芸術活動の拠点施設等の充実			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市の文化活動の拠点となる施設の耐震化により、市民の文化活動の場を確保すること。	事業内容（R4）	京都大学工学研究科建築学専攻に研究委託をし、本市にふさわしい市文化会館の耐震補強案、改修費用などについて調査を行う。
実施方針	鳴門市文化会館は耐震性能を満たさないこと、設備等の老朽化が進んでいることから、令和3年3月から休館している。耐震改修の方向性で検討する方針であるが、県立ホールが建設が進んでおり、その影響も加味する必要がある。市文化会館の耐震改修について京都大学に委託をし、市文化会館の耐震改修について具体的な調査を始める。		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	市文化会館耐震化	内部検討	適正規模調査実施	耐震改修調査	未定	未定	＼

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	内部検討	適正規模調査実施	耐震改修調査	未定	未定

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	10,051	1,000	11,051	―	―

事務事業名	鳴門市文化会館耐震化調査事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	耐震性能を満たさず現在休館している鳴門市文化会館について耐震改修等の方針決定に向けて、国立大学法人京都大学へ「鳴門市文化会館耐震調査等業務」を委託し文化会館が抱える課題を整理するとともに耐震改修の方法及び費用、建物内部の利便性向上等の検討を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市文化会館耐震化	適正規模調査実施	耐震改修調査	基本設計策定	実施設計着手	工事着手	
		目標達成率(実績/目標)		―	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		―	0	11,012,000	0	11,012,000
	財源内訳	国庫支出金	―	0	0	0	0
		県支出金	―	0	0	0	0
		地方債	―	0	0	0	0
		その他	―	0	0	0	0
		一般財源	―	0	11,012,000	0	11,012,000

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	市文化会館耐震化		成果指標に対する所見	耐震改修の方法及び費用、建物内部の利便性向上等の検討を行うことができた。
	目標	耐震改修調査			
	実績	耐震改修調査			
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	耐震改修に係る基本設計の策定に向けて京都大学などと連携を図りながら、スケジュールが遅延することが無いよう着実に事業を進める。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	基本設計策定
	令和6年度	実施設計着手

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.17

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	統合	事務事業名	地震等災害対策普及啓発事業	担当部署	企画総務部　危機管理局　危機管理課
総合計画体系				根拠法令計画など	災害対策基本法・鳴門市地域防災計画
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　16　年度
（小項目）	＼	危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	1	危機管理・防災意識の高揚			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①防災意識の高揚を図る ②「自助」「共助」「近助」の意識の高揚を図る ③発災時に迅速かつ的確な避難行動に繋がるよう各種ハザードマップの見直しをする	事業内容（R4）	①各地区自主防災会での防災訓練実施 避難訓練、資機材等取扱訓練、避難所運営訓練等の実施 ②市総合防災訓練の実施 ③出前講座、地域出前防災教室の実施 ④広報なると、市公式ウェブサイト等による防災情報の発信 ⑤避難所等の表示板の設置・移設 ⑥津波避難マップ掲載情報の更新
実施方針	①各地区自主防災会への防災訓練実施の促進 ②市総合防災訓練の実施 ③出前講座や地域出前防災教室の実施 ④広報なると、市公式ウェブサイト等を活用した防災に関する情報発信の実施		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	防災関連周知・啓発回数	12	12	12	12	12	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	出前講座・地域出前防災教室開催		11	9	20	20	20	回

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①自主防災会防災訓練 ②出前講座・防災教室 ③防災情報発信 ④避難所表示板設置	①自主防災会防災訓練 ②市総合防災訓練 ③出前講座・防災教室 ④防災情報発信 ⑤避難所表示板設置 ⑥高潮ハザードマップの作成 ⑦土砂災害・洪水ハザードマップの更新	①自主防災会防災訓練 ②市総合防災訓練 ③出前講座・防災教室 ④防災情報発信 ⑤避難所表示板設置 ⑥津波避難マップの更新	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	3,826	△ 125	3,701	1,635	1,635

事務事業名	地震等災害対策普及啓発事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	市民等を対象に防災講演会を開催したほか、まちづくり出前講座や学校での防災授業を実施することにより、防災意識の高揚を図った。 自主防災会を中心に各地域において、防災訓練を実施したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、訓練の規模縮小や、やむを得ず中止した自主防災会も多くみられた。 9月1日の「市総合防災訓練」では、市災害対策本部訓練とボランティアセンター開設訓練を実施し、市および関係機関の発災時の対応能力の向上を図った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	防災関連周知・啓発回数	9	10	15	15	15	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		出前講座・地域出前防災教室開催	9	10	10	15	15	回
		目標達成率(実績/目標)		50.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		2,069,900	0	3,317,140	0	3,317,140
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	172,000	0	211,000	0	211,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,897,900	0	3,106,140	0	3,106,140

補助制度（名称、補助率など）	複合災害を迎え撃つ「とくしまゼロ作戦」推進事業費補助金　補助率：2分の1 避難路確保・緊急避難場所機能強化事業（1か所あたり上限250万円）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	出前講座・地域出前防災教室開催		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、出前講座等の目標回数を達成できなかった。
	目標	20	回		
	実績	10	回		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動を自粛した自主防災会もあるため、活動低下につながらないよう啓発と支援を続け、防災リーダーの創出と市民の主体的な活動を後押しする必要がある。また、地域全体の防災意識の高揚を図るために、若年層や女性の視点に立ったアプローチの強化にも努める。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	自主防災会を中心とした地域における防災訓練の実施を支援するとともに、各年代に応じた出前講座を実施するなど分かりやすい防災情報の周知・啓発を実施する。また、複合災害を想定した市総合防災訓練を実施するなど、より実践に即した内容を検討する。
	令和6年度	自主防災会を中心とした地域における防災訓練の実施を支援するとともに、各年代に応じた出前講座を実施するなど分かりやすい防災情報の周知・啓発を実施する。また、複合災害を想定した市総合防災訓練を実施するなど、より実践に即した内容を検討する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.18

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	担当部署	企画総務部　危機管理局　危機管理課
総合計画体系				根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始	令和　3　年度
（小項目）		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	1	危機管理・防災意識の高揚			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止	事業内容（R4）	①特に配慮が必要な市民向けに、事前避難先として「ホテル・旅館等」の活用を促すため、宿泊費の一部を補助する。 ②市職員等が新型コロナウイルスに感染した時の応急措置として、市役所庁舎の消毒作業を専門業者に委託する。
実施方針	①避難場所における3密回避のための分散避難の促進 ②市役所庁舎の衛生対策		

指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	WITH・コロナ事前避難促進事業の周知		推進	推進	推進	推進	

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容		自主防災会、広報誌、テレビ広報などによる制度周知	自主防災会、広報誌、テレビ広報などによる制度周知	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	6,849	△ 1,622	5,227	6,849	6,849

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	特に配慮が必要な市民向けに、事前避難先としてホテル・旅館等の活用を促すため、宿泊費の一部を補助する「WITH・コロナ事前避難促進事業」を、市公式ウェブサイトや広報誌において周知した。 市職員等が新型コロナウイルスに感染した場合に、感染拡大を防ぐため、外部委託により執務室や共用スペースを迅速に消毒した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		WITH・コロナ事前避難促進事業の周知	推進	推進	推進	推進	推進	
		目標達成率(実績/目標)		―	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		3,997,554	0	2,840,522	0	2,840,522
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	977,000	0	977,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,997,554	0	1,863,522	0	1,863,522
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	WITH・コロナ事前避難促進事業の周知			新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民への周知や市の体制を整備することで対策を講じた。
	目標	推進			
	実績	推進			
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「WITH・コロナ事前避難促進事業」については、市公式ウェブサイト、広報紙などにより広く周知を行ったが、災害の発生状況や補助対象となる者の条件が限定的であるため、申請者がいなかった。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行されたことにより、これまでの感染対策が見直されたが、引き続き効果的な事前避難の促進に向けた検討を行う。
	令和6年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.19

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	自主防災組織活動促進事業	担当部署	企画総務部　危機管理局　危機管理課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市地域防災計画・鳴門市地震津波対策推進計画
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　17　年度
(小項目)		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	2	危機管理・防災体制の強化			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①自主防災組織の活動活性化 ②防災意識の高揚、防災活動の推進 ③地域における防災力向上の担い手となりうる人材の育成	事業内容（R4）	①出水期前を目途とした、自主防災会連絡協議会の開催 ②自主防災組織活動推進事業助成金の交付 ③市内中学生高校生等の防災士資格取得に向けた制度周知及び費用の補助
実施方針	①出水期前を目途にした自主防災会連絡協議会の開催 ②自主防災組織の地域防災活動に対する支援 ③各地区自主防災会の活動促進 ④市内中学生・高校生等を対象とした防災士の資格取得の奨励		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	自主防災会連絡協議会開催	2	1	2	2	2	回
	2	防災士資格取得者	3	3	10	10	10	名
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		訓練・啓発等実施組織数	42	42	42	42	42	組織

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①自主防災組織活動推進事業助成事業 ②次世代防災リーダー育成事業	①自主防災組織活動推進事業助成事業 ②次世代防災リーダー育成事業	①自主防災組織活動推進事業助成事業 ②次世代防災リーダー育成事業	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	4,013	△ 92	3,921	4,013	4,013

事務事業名	自主防災組織活動促進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、自主防災組織活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の活性化を図った。また、「自主防災会連絡協議会」では、地域防災活動の充実強化につなげるため、災害情報の周知・啓発を図った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	自主防災会連絡協議会開催	0	1	2	2	2	回
	2	防災士資格取得者	4	9	10	10	10	名
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		訓練・啓発等実施組織数	42	42	42	42	42	組織
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		4,986,506	0	3,117,831	0	3,117,831
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,000,000	0	0	0	0
		一般財源	2,986,506	0	3,117,831	0	3,117,831

補助制度（名称、補助率など）	鳴門市自主防災組織活動推進事業助成金交付要綱 鳴門市次世代防災リーダー育成事業補助金交付要綱 ※コミュニティ助成金制度（(一財)自治総合センター・定額・30～200万）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	訓練・啓発等実施組織数	
	目標	42	組織
	実績	42	組織
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大のため、防災訓練等を中止した自主防災会もあったため、訓練実施は100%とならなかったが、市から継続的に防災に関する情報提供を行うことで啓発を図った。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルスの影響で活動を縮小した自主防災会もあるため、活動低下につながらないよう支援を行うとともに、自主防災会連絡協議会等を通じて、各地域の活動内容等の情報交換や共有を図り、地域の防災力に繋げていく。また、次世代防災リーダー育成の促進を図る。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	自主防災組織が行う組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の推進を図る。また、自主防災会の会合や訓練に参加し、活動意欲の高揚を図る。さらに、コミュニティ助成事業に推薦する組織を選定するため、次年度の組織選定に向け自主防災会連絡協議会において推薦する要件を示し、組織活動の活性化を図る。
	令和6年度	自主防災組織が行う組織運営や資機材整備、避難路等整備に係る助成金の交付を行うとともに、活動活性化助成金制度の活用を促し、組織活動の推進を図る。また、自主防災会の会合や訓練に参加し、活動意欲の高揚を図る。さらに、コミュニティ助成事業に推薦する組織を選定するため、次年度の組織選定に向け自主防災会連絡協議会において推薦する要件を示し、組織活動の活性化を図る。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.20

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	災害用備蓄事業	担当部署	企画総務部　危機管理局　危機管理課
総合計画体系				根拠法令計画など	災害対策基本法・市地域防災計画・市地震津波対策推進計画・南海トラフ地震等に対応した備蓄方針
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間 開始	平成　16　年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると			
（小項目）		危機管理・防災		終期	未定
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	災害時に避難所での生活を余儀なくされた市民等が少しでも安心して過ごせるよう、計画的に災害用備蓄物資を整備する。	事業内容（R4）	①災害用備蓄品の買い換え ②賞味期限切れ間近となったアルファ化米を防災訓練や出前講座等に活用した、災害用備蓄物資の啓発とローリングストックの推進
実施方針	①県と市町村の役割分担や備蓄目標を定めた「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に基づき、生命維持や生活に必要な食糧・飲料水等のほか、生理用品などの避難生活に必要な物資について備蓄を進める。 ②市民への災害用備蓄物資の啓発とローリングストックの推進、災害用備蓄資機材の整備等について継続して取り組む。		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ローリングストック配布団体数	15	22	25	25	25	団体
	2	アルファ化米ローリングストック数	8,800	10,000	8,600	10,900	8,800	食
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		災害用備蓄の啓発回数	26	31	45	45	45	団体

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	【購入】 ①携帯トイレ ②簡易ベッド ③テント型パーティション ④アルファ化米（備蓄） ⑤非常用発電機　等	【購入予定】 ①アルファ化米（備蓄） ②新型コロナ対策物資・資機材 ③非常用発電機 ④ゴミ袋　等	【購入予定】 ①アルファ化米（備蓄） ②ミルク（備蓄） ③長期保存水（備蓄） ④LPガス発電機 ⑤備蓄物資保護シート等	実施	実施

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	5,366	△ 205	5,161	5,366	5,366

事務事業名	災害用備蓄事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	県・市の備蓄目標や役割分担を定めた「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に基づき、整備している食糧・保存水・粉ミルクなどについて、賞味期限が近い物資から更新を行った。賞味期限が近づいたアルファ化米、保存水などの備蓄物資は、自主防災会などに配布し、地区での防災訓練に活用した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ローリングストック配布団体数	24	22	15	30	30	団体
	2	アルファ化米ローリングストック数	6,900	12,950	0	7,580	8,980	食
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		災害用備蓄の啓発回数	28	37	20	35	35	団体
		目標達成率(実績/目標)		82.2	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		7,284,418	0	5,006,342	0	5,006,342
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	1,047,000	0	1,230,000	0	1,230,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,630,000	0	2,000,000	0	2,000,000
		一般財源	3,607,418	0	1,776,342	0	1,776,342

補助制度（名称、補助率など）	「とくしまゼロ作戦」県土強靭化推進事業　補助率：2分の1 ①避難路・避難場所機能強化事業（1か所あたり上限250万円） ②避難所強靭化対策推進事業（1か所あたり上限250万円） ③自立的・快適避難所機能強化事業（上限250万円）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	災害用備蓄の啓発回数	
	目標	45	団体
	実績	37	団体
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見
ローリングストックの考え方に基づき、賞味期限が近付いた備蓄物については、自主防災組織などの団体に配布するなど、災害用備蓄の啓発に努めた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	災害時に被災した市民が避難所等で安心した生活が送れるように、備蓄計画にある物資以外の備蓄を含め、社会状況に応じて適切な備蓄配備を行う必要がある。 また、災害時に迅速に対応するためには、保管場所や運搬方法等について検討を要する。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	予算の確保に努め、従前より備蓄を行ってきた市災害対策本部13支部に加え、災害時に地域住民の避難所となる小中学校や福祉避難所に備蓄物資の充実を図る。
	令和6年度	予算の確保に努め、従前より備蓄を行ってきた市災害対策本部13支部に加え、災害時に地域住民の避難所となる小中学校や福祉避難所に備蓄物資の充実を図る。

各実施計画兼評価シート

市　民　生　活　部

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.21

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消費者相談窓口充実事業	担当部署	市民生活部　市民協働推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	消費者安全法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始	昭和　50　年度
(小項目)		消費生活			
施策	8	消費者政策の推進		終期	令和　年度
基本事業	1	消費生活センターの充実			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民の消費生活の安定と向上を図るため、市消費生活センターに、専門的知識を持った相談員を配置し、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供等を行う。	**事業内容（R4）**	①市消費生活センターにおいて、専門的知識を持った相談員が、市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供、あっせんを行う。 ②相談員の研修参加を継続するほか、広報等への啓発記事の掲載や市公式ウェブサイトでの周知・啓発、若者への啓発、相談員による出前講座や行政職員による講話の実施など、消費者トラブル未然防止のための啓発を行い、積極的に市消費生活センターを周知する。 ③地域の消費者問題への対応能力向上や消費者の自立支援のため、市内の関係機関・団体等と連携や情報交換等を行いながら、高齢者等の見守りネットワークをさらに充実させるほか、引き続き、新たな消費に関する課題である食品ロス削減やエシカル消費ついても普及・啓発を実施していく。
実施方針	市消費生活センターにおいて、専門的知識を持った相談員が、原則、常時2名体制で市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供を行うとともに、出前講座等を実施し、消費者トラブル防止に向けた啓発を行う。併せて、「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」を活用した見守り体制の強化を図る。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	研修会等への参加回数	19	21	20	20	20	回
	2	出前講座啓発活動等実施回数	6	5	10	10	10	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	消費生活センター相談件数		288	270	300	300	300	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①国民生活センター等での消費者研修の受講 ②出前講座の開催 ③集会等での啓発活動の実施 ④啓発グッズの作成 ⑤食品ロス削減やエシカル消費の普及・啓発	①国民生活センター等での消費者研修の受講 ②出前講座の開催 ③集会等での啓発活動の実施 ④啓発グッズの作成 ⑤食品ロス削減やエシカル消費の普及・啓発	①国民生活センター等での消費者研修の受講 ②出前講座の開催 ③集会等での啓発活動の実施 ④啓発グッズの作成 ⑤食品ロス削減やエシカル消費の普及・啓発	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	7,834		7,834	7,814	7,814

事務事業名	消費者相談窓口充実事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①市消費生活センターにおいて、専門的知識を持った相談員が市民から消費生活に関する苦情・相談を受け、解決に向けた助言や情報提供等を行った。また、同センター相談員による消費者行政に関する研修等への参加を積極的に行い、相談等に関する知識やスキルアップに努めた。 ②消費者被害防止見守りネットワークにおいて、悪質商法や特殊詐欺の現状を報告するとともに、同センターを活用していただくよう依頼し、消費生活協力団体への委嘱を行った。 ③広報なるとや市公式ウェブサイト等に啓発記事を掲載したほか、啓発グッズの作成・配付、相談員による出前講座、職員による講和等を実施し、消費者トラブル防止に向けた啓発を行った。 ※啓発グッズについては、市内中学生・保護者へ向けた啓発パンフレットの配布及び消費者教育に関するアンケート調査を実施した。 ④SDGs・食品ロス削減・エシカル消費等に関する出前講座や講演会を開催し、多くの市民に対し、消費者問題への関心を深めてもらうよう努めた。また、庁舎内設置のフードポストを活用しつつ、市内高校においても出張フードポストを設置するなど、「フードドライブ」を行えるよう努めた。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	研修会等への参加回数	20	19	20	20	20	回
	2	出前講座啓発活動等実施回数	6	7	8	10	10	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		消費生活センター相談件数	257	297	300	300	300	件
		目標達成率(実績/目標)		99.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		5,700,077	0	6,240,105	0	6,240,105
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	1,026,000	0	1,142,000	0	1,142,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,674,077	0	5,098,105	0	5,098,105
補助制度（名称、補助率など）			徳島県消費者行政強化事業補助金				

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	消費生活センター相談件数		成果指標に対する所見	消費生活センターへの架空請求や特殊詐欺の相談件数は減少し、通信販売・訪問販売等の契約に関するトラブルが主な相談となっている。目標値達成に至らなかったが、昨年度より相談件数は増加し、市民へ同センターの役割等が周知・浸透している結果と考えられる。
	目標	300	件		
	実績	297	件		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消費者安全法の改正により、市消費生活センターに「消費生活相談員（有資格者）」を置くことが法定化されていることから、相談員の継続的な確保（報酬の引き上げや代替要員等）が課題となる。また、相談に対応するだけでなく、市民がトラブルに遭わないよう、賢い消費者になることが必要であるため、広報なるとや市公式ウェブサイト等を活用した情報発信を強化するとともに、地域での出前講座やチラシ配付を行い、消費者教育の充実を継続して行う必要がある。さらに「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」の活用、消費生活協力団体の拡充による地域での見守り体制の確立や情報収集力の強化が必要となる。 啓発等に関して、現状、県の補助金を活用し、グッズ作成等を実施しているため、補助期間が終了した場合における予算の確保が必要となる。 同センターは主として、消費者トラブルへの相談、啓発等を行っているが、「消費生活」という分野において、SDGs・食品ロス削減・エシカル消費などにおいて、相談員にとっては、関連性が高いため、当該課題に関しても連携を図っていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	市消費生活センターにおいて、原則常時2名で相談に応じる体制を維持し、市民からの消費生活に関する苦情や相談について、早期の解決に向けた助言・情報提供等を行う。また、地域の集会等における出前講座や講話の実施、啓発グッズの配付、消費者トラブル防止に向けた啓発を行うとともに、「鳴門市消費者被害防止見守りネットワーク」活用や消費生活協力団体の拡充、見守り体制の強化を図る。 食品ロス削減に関し、市庁舎内に設置した「フードポスト」を活用するとともに、「出張フードポスト」の設置拡充や社会貢献につながるエシカル消費について、出前講座や講演会を開催するなど、積極的な周知・啓発を図る。
	令和6年度	令和5年度と同様

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.22

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業	担当部署	市民生活部　市民協働推進課

総合計画体系			根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	4	大きく躍動みんなで創るまちづくり		鳴門市自治基本条例 市民との協働のまちづくり行政行動指針 鳴門市ボランティアセンター活動補助金 鳴門市ボランティア連絡協議会活動補助金
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち　なると	事業期間	開始　平成　23　年度
(小項目)		市民参画・市民協働		
施策	1	市民参画・市民協働の推進		終期　未定
基本事業	3	協働によるまちづくりの推進		

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「協働によるまちづくり」を推進するため、自治基本条例の周知を図るとともに、地域課題の解決に向けて市民等と行政が適切な役割分担のもと、互いに補い合いながら協働事業に取り組んでいくための環境づくりを行う。
実施方針	①市民活動団体等が主体的に取り組む公益的活動・まちづくり活動の支援 ②自治基本条例や協働のまちづくりの周知啓発 ③地域活動への参加促進・人材発掘 ④ボランティア活動支援
事業内容（R4）	①公用車、音響機器、テント、手指消毒機器、パーテーションパネル等の無償貸し出し ②広報誌や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」による情報発信 ③市民活動交流研修会の開催 ④市民協働推進本部会議の開催と職場内研修の実施 ⑤飛び込み型出前市長室の開催 ⑥NPO法人の設立・運営や市民活動の相談支援 ⑦市公式ウェブサイト「地域デビュー」の更新 ⑧ボランティア活動にかかる補助金の交付

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	協働に関する庁内会議・研修会等開催回数	5	5	5	5	5	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	市民との協働事業数		161	150	150	150	150	事業

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①市民活動団体等の活動支援 ②自治基本条例や協働のまちづくりの啓発 ③地域活動への参加促進・人材発掘 ④ボランティア活動支援	①市民活動団体等の活動支援 ②自治基本条例や協働のまちづくりの啓発 ③地域活動への参加促進・人材発掘 ④ボランティア活動支援	①市民活動団体等の活動支援 ②自治基本条例や協働のまちづくりの啓発 ③地域活動への参加促進・人材発掘 ④ボランティア活動支援	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	856		856	856	856

事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①市民の地域活動を支援するため、公用車、音響機器、テントなどの備品を貸し出したほか、昨年度に引き続き、感染症対策用の備品（パーテーション、自動検温器付き手指消毒機器）も貸し出した。 ②広報紙や市公式ウェブサイト「市民協働のまちづくり」等を活用し、市民団体の活動予定や活動状況、会員・参加者の募集などの周知を行い、団体活動のサポートを行うなど、まちづくりに関する情報の集約・発信を行った。また、「町内会加入促進パンフレット」を配布し、町内会への加入や地域活動への参加促進に努めた。 ③市民活動交流研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意し、規模を縮小して、他のイベントと同時開催した。 ④市民協働推進本部会議及びワーキンググループを開催し、より効率的・効果的な職場内研修の実施内容等について検討した。また、子ども（小学6年生）向け自治基本条例パンフレットを市内小学校に配布し、今後のまちづくりの担い手となる子どもたちの自治基本条例に対する理解を深めた。 ⑤飛び込み型出前市長室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。 ⑥市ボランティアセンターなどに対し、補助金を交付するなど、市内のボランティア活動の普及推進等に努めた。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	協働に関する庁内会議・研修会等開催回数	5	5	5	5	5	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市民との協働事業数	154	161	150	150	150	事業
		目標達成率(実績/目標)		107.3	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		2,196,260	0	504,614	0	504,614
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	923,000	0	0	0	0
		一般財源	1,273,260	0	504,614	0	504,614

補助制度（名称、補助率など）	H17～ 鳴門市ボランティアセンター活動補助金・鳴門市ボランティア連絡協議会活動補助金 H22～ まちづくり出前市長室 H25～R3 WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金 H26～ 飛び込み型出前市長室

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	市民との協働事業数	成果指標に対する所見	今後も、市民との情報共有を図りながら各種事業を進めていきたい。
	目標	150 事業		
	実績	161 事業		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	○自治基本条例や協働の理念の浸透を図るため、引き続き、広く周知・啓発を行っていくとともに、職員についても研修の効率化や充実を図るなどにより協働に対する意識向上を進める。 ○地域活動への参加促進を図るための効果的な支援や周知、施策等を検討していく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	・広報紙や市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくりコーナー」等を通じて、まちづくりに関する情報の発信・集約を継続していく。 ・市民協働推進本部会議やワーキンググループ等を開催し、協働のまちづくりのさらなる拡充等について検討を行う。 ・「町内会加入促進パンフレット」の配布や町内会への取り次ぎを行うなど、加入や地域活動への参加促進に努める。 ・子どもの参画機会拡大のため、小学6年生を対象に実施している市民協働教育について、教材の見直しや施策等を行っていく。 ・企業と連携し、退職者の地域活動への参加促進に努める。
	令和6年度	令和5年度と同様。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.23

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「頑張れ！徳島ヴォルティス」なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業	担当部署	市民生活部　スポーツ課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市総合戦略
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間 開始	18　年度
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると			
（小項目）		観光		終期	年度
施策	1	観光・交流のまちづくり			
基本事業	4	にぎわいと交流の創出			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	徳島ヴォルティスやホームタウン協議会加盟市町と連携し、イベント出展やPR事業を行い、鳴門市民のみならず対戦チームのサポーターなど、他県から観光客が訪れることで新たな地域間交流の創出をめざす。	事業内容（R4）	①ホームゲーム開催時に観光資源や特産品など市の魅力をPRするイベントを実施する。 ②転入者のホームゲーム無料招待、JR鳴門駅をはじめとした市内の装飾など応援機運醸成を図る。 ③高齢者向けの健康教室や幼稚園児・小学生向けの運動教室を実施する。 ④ヴォルティスロードの整備を実施する。 ⑤市内交通拠点やスタジアムにおいて、ヴォルティスロードマップ・プロスポーツ観戦パスを配布する。 ⑥アウェイゲーム会場で市の特産品PRや観光パンフレット配布等を実施する。
実施方針	①ホームゲームイベント実施によるにぎわい創出 ②応援機運を醸成する企画の実施 ③ヴォルティスロードの整備 ④サポーター受入環境の整備・魅力発信		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	イベント等応援機運醸成	13	8	8	8	8	回
	2	サポーター受入環境整備・魅力発信	5	4	4	4	4	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	ホームゲーム平均観客数		3,101	5,631	6,400	6,800	7,200	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①応援機運を醸成する企画の実施 ②ヴォルティスロードの整備 ③サポーター受入環境の整備・魅力発信	①ホームゲームイベント実施によるにぎわい創出 ②応援機運を醸成する企画の実施 ③ヴォルティスロードの整備 ④サポーター受入環境の整備・魅力発信	①ホームゲームイベント実施によるにぎわい創出 ②応援機運を醸成する企画の実施 ③ヴォルティスロードの整備 ④サポーター受入環境の整備・魅力発信	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	3,478		3,478	3,478	3,478

事務事業名	「頑張れ！徳島ヴォルティス」なると観光ブランド化・ホームタウン連携事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	例年実施している鳴門市民デーでのブース出展、転入者へのホームゲーム無料招待、幼稚園・小学校での運動教室などに加え、令和4年度については新庁舎建設工事フェンスの装飾、大道銀天街タペストリーの更新など、様々な周知・啓発活動を実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	イベント等応援機運醸成	8	10	8	8	8	回
	2	サポーター受入環境整備・魅力発信	4	3	4	4	4	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ホームゲーム平均観客数	5,631	4,224	6,800	7,200	7,600	人
		目標達成率(実績/目標)		66.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		3,039,874	0	1,148,836	0	1,148,836
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	3,039,874	0	1,148,836	0	1,148,836
		一般財源	0	0	0	0	0
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	ホームゲーム平均観客数			2022シーズンはJ1リーグからJ2リーグに降格したことや、新型コロナウイルス感染拡大による影響で、目標には届かなかった。
	目標	6,400	人		
	実績	4,224	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	チームのJ2降格や新型コロナウイルス感染拡大により観客動員数が減少したため、ホームゲームの周知や誘客、応援機運の醸成について新規企画の検討などに取り組む必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	アフターコロナを見据え、アウェイサポーターの受け入れ環境整備・魅力発信に注力するとともに、鳴門市民デー・徳島県民デーなどホームイベントにおける賑わい創出、市民の応援機運を盛り上げる企画などを実施する。
	令和6年度	令和5年度と同様

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.24

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	名変	事務事業名	スポーツコミッション活動推進事業	担当部署	市民生活部　スポーツ課
総合計画体系				根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間 開始	令和　元　年度
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると			
（小項目）		観光		終期	未定
施策	1	観光・交流のまちづくり			
基本事業	4	にぎわいと交流の創出			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	スポーツ大会・イベント・合宿の誘致・開催やスポーツツーリズムの推進により、交流人口の拡大に取り組むとともに、地域資源や既存産業とスポーツを組み合わせるなど、スポーツを「産業」と捉え、スポーツを通じた地域活性化を図る。	事業内容（R4）	①関西圏の旅行代理店訪問や市内スポーツ団体との連携により、スポーツ大会・合宿を誘致・開催するとともに、新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら、インバウンド合宿誘致や里崎智也杯U-9少年野球大会の開催に取り組む。 ②県・市卓球協会、バスケットボール協会と連携しながら、本市での「Tリーグ」「Bリーグ」公式戦の誘致・開催をすすめる。 ③武道と神社仏閣等での日本文化体験を組み合わせた武道ツーリズムについて、インバウンドを含めた域外からの誘客、地域の魅力を再発見するマイクロツーリズムの両側面から推進する。 ④スポーツと既存産業を結びつけ、新たに開発した「スポーツ足袋」「スポーツフード」の販売・PRを推進する。
実施方針	①スポーツ大会・合宿の誘致・開催 ②プロスポーツをはじめとしたスポーツイベントの誘致・開催 ③スポーツツーリズムの推進 ④スポーツ関連産業の創出		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	旅行代理店等訪問回数	4	4	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	スポーツ大会・合宿誘致実績		6	4	14	16	18	回

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①大学等スポーツ大会・合宿誘致 ②インバウンド合宿誘致 ③Tリーグ開催誘致	①大学等スポーツ大会・合宿誘致 ②インバウンド合宿誘致 ③Tリーグ・Bリーグ開催誘致 ④「スポーツコミッション」の活動推進	①スポーツ大会・合宿の誘致・開催 ②プロスポーツ等スポーツイベントの誘致・開催 ③スポーツツーリズムの推進 ④スポーツ関連産業の創出	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	4,327	1,000	5,327	4,327	4,327

事務事業名	スポーツコミッション活動推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	スポーツ大会・合宿誘致における新たなコンテンツとして、鳴門市内の自然や地形を活用したランニングコースを集約したトレーニングマップや、鳴門ならではの農業体験や食文化体験ができる農園・飲食店などを紹介するガイドブックを制作した。今後は、それらを効果的に活用し、競技者目線に立って鳴門をPRし、引き続き、大会・合宿の誘致実現につなげていく。また、県・市卓球協会との連携により、通算2回目の本市開催となる卓球Tリーグ公式戦の誘致を実現し、2日間の開催を通して県内外から約1,500人の観客を動員することで、地域のにぎわいづくりやプロスポーツ選手のプレーに触れる機会の創出を図った。そのほか、武道ツーリズムにおいては、武道体験モニターツアーや武道ツーリズム研究会の開催を通して、少林寺拳法のベーシックプログラムを制作し、武道体験の受け入れ環境の整備に取り組んだ。スポーツ足袋やスポーツフードについては、県外の方が多く集まる淡路SAや全国高校総体会場においてブース出店を行い、積極的なPR活動に努めた。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	旅行代理店等訪問回数	3	3	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		スポーツ大会・合宿誘致実績	6	10	16	18	20	回
		目標達成率(実績/目標)		71.4	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		3,100,800	0	4,999,100	0	4,999,100
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	3,000,000	0	3,000,000
		一般財源	3,100,800	0	1,999,100	0	1,999,100

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	スポーツ大会・合宿誘致実績			新型コロナウイルス感染拡大による影響で、スポーツ大会・合宿の直前キャンセルが数件発生したため、目標には届かなかった。
	目標	14	回		
	実績	10	回		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	アフターコロナにおけるスポーツ大会・合宿誘致を推進するため、NARUTOスポーツコミッションをはじめ、市内スポーツ団体や事業者との連携を強化し、地域全体でスポーツを通じた地域・経済の活性化を図る必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	アフターコロナにおけるスポーツ大会・合宿やスポーツイベントの開催にかかる需要の高まりを的確に捉え、引き続き、各種施策の推進を図る。
	令和6年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.25

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市民総参加型スポーツイベント実施事業	担当部署	市民生活部　スポーツ課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市スポーツ振興事業補助金交付要綱
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　22　年度
（小項目）	＼	スポーツ・レクリエーション			
施策	3	生涯スポーツの振興		終期	年度
基本事業	2	スポーツ活動の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「チャレンジデー」への参加を通じて日常的なスポーツの習慣化や市民の健康増進、地域活性化を図る。	事業内容（R4）	①チャレンジデーの開催にあたり、市内の学校や企業、各団体への周知活動を行う。 ②実行委員会や地域団体が主催するスポーツイベントを開催することで参加率の向上を図る。
実施方針	5月最終水曜日の午前0時から午後9時までの間に15分間以上継続して運動やスポーツを行った住民の数を、人口規模がほぼ同じ自治体間で競うスポーツイベント「チャレンジデー」に参加する。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	参加者数	0	33,367	33,700	33,700	33,700	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	参加率		0	59.3	60.0	60.0	60.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	中止	リモート開催の実施	市内スポーツイベントの開催によるチャレンジデーへの参加	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	300		300	300	300

事務事業名	市民総参加型スポーツイベント実施事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	市内スポーツ団体、地域団体が開催する「ローカルイベント」とテレビ鳴門や市公式ウェブサイトからの動画視聴による「リモートイベント」の両方を実施した。 運動啓発動画については、鳴門市を拠点に活動するプロスポーツ団体や鳴門市まちづくりアドバイザーである木場克己氏、総合型地域スポーツクラブなど市内で活動するスポーツ関連団体の協力のもと、配信した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	参加者数	33,367	33,552	33,700	ー	ー	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		参加率	59.3	60.5	60.0	ー	ー	%
		目標達成率(実績/目標)		100.8	ー	ー	ー	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		300,000	0	300,000	0	300,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	300,000	0	300,000	0	300,000
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	参加率	成果指標に対する所見	市内スポーツ団体、地域団体が開催する「ローカルイベント」とテレビ鳴門や市公式ウェブサイトからの動画視聴による「リモートイベント」の両方を実施し、目標を達成することができた。
	目標	60.0 %		
	実績	60.5 %		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	チャレンジデーの認知度は高まってきていると実感しているが、イベント開催当日のみならず、運動を日常的に習慣化させるための施策を盛り込んでいく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	令和4年度に引き続き、市内スポーツ団体、地域団体が開催する「ローカルイベント」とテレビ鳴門や市公式ウェブサイトからの動画視聴による「リモートイベント」の両方を実施する。
	令和6年度	チャレンジデー事業は令和5年度をもって終了するが、チャレンジデーで市民の皆さんに根付いた運動習慣を生かすための施策を検討する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.26

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業	担当部署	市民生活部　スポーツ課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市スポーツ推進計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると	事業期間	開始	令和　元　年度
（小項目）		スポーツ・リクレーション			
施策	3	生涯スポーツの振興		終期	未定
基本事業	2	スポーツ活動の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	子どもから高齢者、障がいの有無を問わず、スポーツ・運動する機会を創出することで、「生涯スポーツ社会」の実現を目指す。
実施方針	①幼児期にさまざまな運動・スポーツを体験する機会を創出することにより、しっかりと体を動かす土台を作り、児童期以降での運動能力向上につなげる。 ②障がい者スポーツの普及・促進により、障がいのある人とない人が一緒に活動できる地域社会を目指す。
事業内容（R4）	1.幼児期におけるマルチスポーツの推進 ①市内幼稚園、認定子ども園で陸上・体操・リトミック等の運動教室を実施する。 ②幼児期の運動能力調査を実施し検証を行う。 2.障がい者スポーツの推進 ①車いすスポーツを体験する障がい者ふれあい交流授業を市内の小中学校で実施する。 ②定期的に車椅子バスケットボール・車椅子ソフトボールを体験できる機会を創出する。

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	幼児期におけるマルチスポーツスポーツ推進事業実施回数	82	85	85	85	85	回
	2	障がい者スポーツ推進事業実施回数	3	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		訪問指導・教室実施回数	85	88	88	88	88	回

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ②障がい者スポーツの推進	①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ②障がい者スポーツの推進	①幼児期におけるマルチスポーツの推進 ②障がい者スポーツの推進	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	1,800		1,800	1,800	1,800

事務事業名	マルチスポーツ・障がい者スポーツ推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	幼児期におけるマルチスポーツ推進事業では、市内の幼稚園・認定子ども園9園に指導者を派遣して陸上・体操・ダンス等の運動指導を85回実施し、運動能力向上を図った。様々なスポーツを体験することにより自分自身がどのような運動に適正があるのかを知ることは、子どもたちのスポーツ活動の可能性を広げるものでもある。また、事業実施後には運動能力調査により効果測定を行った。障がい者スポーツ推進事業では、障がい者スポーツへの理解を深めるため、市内3小学校において車椅子バスケットボールや車椅子ソフトボールの体験会を実施した。そのほか、勤労者体育センターにおいて定期的に車いすバスケットボール等を実施し、障がい者と健常者が交流し活動する場を提供した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	幼児期におけるマルチスポーツスポーツ推進事業実施回数	85	85	85	85	85	回
	2	障がい者スポーツ推進事業実施回数	3	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		訪問指導・教室実施回数	88	88	88	88	88	回
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	訪問指導・教室実施回数	
	目標	88	回
	実績	88	回
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見
幼児を対象に実施するマルチスポーツ推進事業では、コロナウイルス感染防止対策を講じ、各施設のプログラムを予定回数実施できた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	幼児期におけるマルチスポーツ推進事業を実施していく上で、訪問する各幼稚園等と総合型地域スポーツクラブとの間で訪問日数・回数など綿密な連絡調整が必要となる。また、各幼稚園等の都合により年間のスケジュールが決まらず、急な日程変更もある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	年齢や障がいの有無を問わず、さまざまなカテゴリーでスポーツ振興を図る観点から、総合型地域スポーツクラブと連携し、就学前の子どもや障がい者に対し、さらなる運動機会の創出を図る。また、障がい者と健常者の交流を通じて障がい者スポーツへの理解を促進する。
	令和6年度	今年度の実施状況により次年度以降検討する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.27

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業	担当部署	市民生活部　文化交流推進課 教育委員会　学校教育課
総合計画体系				根拠法令計画など	なし
基本政策(大項目)	1	うきうき　活力と魅力あふれる　まちづくり		事業期間 開始	平成　25　年度
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると			
（小項目）	＼	シティプロモーション		終期	未定
施策	2	シティプロモーションの推進			
基本事業	1	「鳴門ブランド」の戦略的な推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「第九」アジア初演に関連する観光・文化・歴史分野などの既存の資源を活用することで、「第九」アジア初演ブランドを推進し、地域活性や文化振興に繋げる。
実施方針	①第九演奏会の開催 ②「なると第九」の文化や歴史も合わせて学ぶ第九学習の実施 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会委託
事業内容（R4）	①第39回第九演奏会の開催 ②小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会委託 （全日本「第九を歌う会」連合会へ委託）

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「なると第九」講習を受けた市民の数	300	300	400	400	400	人
	2	PRイベント実施回数	12	12	15	15	15	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	ドイツ館周辺への来訪者数		35,966	30,000	40,000	40,000	40,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②第九動画で「なるとの第九」を未来へつなごうキャンペーンの実施 ③第39回第九演奏会（コロナのため中止）	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②第九動画で「なるとの第九」を未来へつなごうキャンペーンの実施 ③「なると第九」紹介映像の作成	①第39回第九演奏会の開催 ②小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業講演会委託	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	6,386	△ 5,236	1,150	6,386	6,386

事務事業名	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②「第九」アジア初演100周年記念継承事業　会報「特別号」の発行 ③「第九」の日パネル展の実施

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	「なると第九」講習を受けた市民の数	341	371	400	400	400	人
	2	PRイベント実施回数	12	11	15	15	15	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ドイツ館周辺への来訪者数	35,800	43,535	50,000	50,000	50,000	人
		目標達成率(実績/目標)		108.8	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		2,300,500	0	936,726	0	936,726
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,252,000	0	920,000	0	920,000
		一般財源	48,500	0	16,726	0	16,726

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数			
	目標	40,000	人		新型コロナウイルス感染症の緩和により、人の動きが回復し、目標数値を上回った。
	実績	43,535	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルスの影響により、「第九」演奏会は開催できなかったが、アフターコロナにおける「なると第九」ブランドの認知度の向上や誘客の促進、文化の振興につなげるため、市内外への情報発信や、次世代育成化の効果的で効率的な方法について検討する。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②第九関連イベントの実施 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業の委託（全日本「第九を歌う会」連合会へ委託） ④「なると第九」啓発事業として教育旅行誘致
	令和6年度	①小学校で第九合唱指導及び現地学習の実施 ②第九関連イベントの実施 ③「第九」アジア初演100周年記念継承事業の委託（全日本「第九を歌う会」連合会へ委託） ④「なると第九」啓発事業として教育旅行誘致

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.28

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業	担当部署	市民生活部　文化交流推進課 ドイツ館
総合計画体系				根拠法令計画など	ユネスコ世界の記憶プログラム
基本政策(大項目)	1	うきうき　活力と魅力あふれる　まちづくり		事業期間 開始	平成　28　年度
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると			
（小項目）	＼	シティプロモーション		終期	未定
施策	2	シティプロモーションの推進			
基本事業	1	「鳴門ブランド」の戦略的な推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「板東俘虜収容所記録資料」をユネスコ「世界の記憶」に登録する。	事業内容（R4）	徳島県と共同し、次回の申請受付を目指して記録資料の再調査を実施する。
実施方針	①徳島県と共同し、県内外での周知啓発活動と、ユネスコへの申請書作成を進める。 ②ドイツ館における資料保存環境および展示内容を改善する。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	調査検討委員会及び資料保存管理 調査検討委員会の開催回数	1	1	1	1	1	回
	2	周知啓発回数	3	8	10	10	10	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	ドイツ館周辺へ来訪者数		35,966	30,000	40,000	40,000	40,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①ベートーヴェン生誕250周年記念事業 ②資料整理	①パウル・エンゲル生誕150周年記念（演奏会・展示） ②松江豊壽生誕150周年記念事業調査 ③資料整理	①松江豊壽生誕150周年記念展示他1件 ②資料整理	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	3,051	△ 150	2,901	3,051	3,051

事務事業名	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	松江豊壽生誕150周年記念展などの開催。 ドイツ館講座（全4回）の企画運営。 ユネスコ「世界の記憶」登録推進周知啓発事業（ゆめタウン、徳島県庁での展示）および、申請内容の検討、調整。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	調査検討委員会及び資料保存管理 調査検討委員会の開催回数	1	1	1	1	1	回
	2	周知啓発回数	7	9	10	10	10	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ドイツ館周辺へ来訪者数	35,800	43,535	50,000	50,000	50,000	人
		目標達成率(実績/目標)		108.8	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,287,390	0	2,728,371	0	2,728,371
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	90,000	0	1,558,000	0	1,558,000
		一般財源	1,197,390	0	1,170,371	0	1,170,371

補助制度（名称、補助率など）	ふるさと活性化基金繰入金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	ドイツ館周辺へ来訪者数	
	目標	40,000	人
	実績	43,535	人
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の緩和により、人の動きが回復し、目標数値を上回った。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今期後半にユネスコ本部から募集案内があることを想定し、提出資料の調整を県、リューネブルク市とともに進めているが、日独間で資料を見る視点が異なることから、今後も調整が必要となる見込みである。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	今期の申請受付けがあることを見越した関係機関との調整作業、および、欧州的な視点での資料調査の実施。 板東俘虜収容所を含む青島での日独戦争の史実を、どのように欧州地域で周知啓発していくことができるのか、その手法を模索、検討し、実践できる可能性を探る。
	令和6年度	申請書が受理となった場合の周知活動、あるいは、不受理となった場合の、次期申請に向けた対応策の検討と実施、および、欧州的な視点での資料調査の継続。 板東俘虜収容所を含む青島での日独戦争の史実を、どのように欧州地域で周知啓発していくことができるのか、その手法を模索、検討し、実践できる可能性を探る。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.29

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	国際・国内交流事業	担当部署	市民生活部　文化交流推進課 産業振興部　観光振興課
総合計画体系				根拠法令計画など	なし
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると		事業期間 開始	昭和　49　年度
（小項目）		国際・国内交流			
施策	3	国際・国内交流の推進		終期	未定
基本事業	1	交流のひとづくり			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	鳴門市と姉妹都市をはじめとする友好都市との交流を推進することで、市民同士の相互理解・国際理解を深め、それぞれの都市との友好関係の強化を目指す。	事業内容（R4）	1. ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流 ①第23回リューネブルク市一般親善使節団を受入れ、両市民の交流の場を創出する。 ②第23回リューネブルク市青少年親善使節団の受入れ、次世代を担う人材育成を図る。 2. 中国友好都市との交流 張家界市からの訪問団を受け入れるなど、相互交付事業を推進し、友好親善を図る。 3. 国内親善都市会津若松市との交流 ①会津まつりへの訪問し、交流親善を図る。 4. その他国外・国内都市との交流
実施方針	1. ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流を図る 2. 中国友好都市との交流を図る 3. 国内親善都市会津若松市との交流を図る 4. その他国外・国内都市との交流を推進する		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	親善使節団参加者数　リュ市／鳴門市	－	－	35	35	35	人
	2	使節団への学生の参加者数　リュ市／鳴門市	－	－	15	15	15	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	使節団新規参加者の割合（リュ市／鳴門市）		－	－	60	60	60	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①コロナにより使節団派遣は中止。代替として、リュ市と鳴門市両市長のオンライン会議を開催。 ②コロナにより張家界市訪問団の受入は中止。 ③在日ドイツ大使や陸軍大佐の来鳴。	①コロナにより使節団派遣は中止。リュ市民と鳴門市民のオンライン交流会の実施。横断幕の送付。リュ市メドケ市長退任に向けての市民からの手紙の募集及びオンライン送別会の開催。 ②コロナにより張家界市訪問団の受入は中止。友好都市締結10周年を記念し、両市市長による親書の交換や「張家界展」を開催。 ③在日陸軍大佐や首席領事の来鳴。	①第23回リューネブルク市親善使節団の受入 ②張家界市訪問団の受入 ③会津若松市の相互訪問	①第24回鳴門市親善使節団の派遣 ②張家界市訪問団の受入 ③会津若松市の相互訪問	①第24回リューネブルク市親善使節団の受入 ②張家界市訪問団の受入 ③会津若松市の相互訪問

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	3,988		3,988	3,988	3,988

事務事業名	国際・国内交流事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①ドイツ姉妹都市リューネブルク市との交流 R4.8にリューネブルク市新市長と鳴門市長による初めてのオンライン面談を実施し、コロナ禍に延期となった第23回リューネブルク市親善使節団受け入れをR5に実施することで合意した。 ②中国友好都市との交流 日中国交正常化50周年を迎えるにあたり、中国人民対外友好協会が行う日中友好都市青少年オンライン「バーチャル訪問」の関連イベント等に鳴門市と張家界市も参加し、両市の大学生がオンラインで交流を行った他、両市を紹介するPR動画が中国国内で宣伝・放送された。また、張家界市で開催された「第１回湖南省旅行発展大会」に鳴門市長がお祝いのビデオメッセージを送り、開幕式で紹介された。 ③国内親善都市会津若松市との交流 市長・議長が会津若松市で開催された会津まつりを訪問した。 ④その他国際・国内交流事業 R5.3にバングラデシュ・ナラヤンガンジ市より、市長をはじめとする訪問団が来鳴し、同市との友好都市提携を締結した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	親善使節団参加者数　リュ市／鳴門市	－	－	35	35	35	人
	2	使節団への学生の参加者数　リュ市／鳴門市	－	－	15	15	15	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		使節団新規参加者の割合 （リュ市/鳴門市）	－	－	60	60	60	%
		目標達成率(実績/目標)		－	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		260,624	0	1,240,009	0	1,240,009
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	260,624	0	1,240,009	0	1,240,009
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	使節団新規参加者の割合（リュ市/鳴門市）		成果指標に対する所見	新型コロナウイルスに係る海外渡航制限を注視しながら、第23回リューネブルク市親善使節団の受け入れについてリューネブルク市と調整した結果、次年度に受け入れることとなった。
	目標	60	%		
	実績	－	%		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・コロナ禍において、リューネブルク市との交流は数年にわたって大きく制限されたが、アフターコロナを迎えたことに伴い、使節団の相互訪問をはじめとする事業を再開し、再び交流活動を活発化させる。特に、コロナ禍で日独交流の機会を得ることができなかった青少年など若い世代に積極的にPRし、未来の国際交流を担う人材育成に取り組んでいく必要がある。 ・張家界市との更なる交流を図るため、人材交流や観光資源等を活用した情報発信など友好交流促進への取り組みが必要である。 ・友好都市となったナラヤンガンジ市について、民間団体と協力し、交流を推進する必要がある。				
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	第23回リューネブルク市親善使節団を受け入れ、5年ぶりの市民交流を実現し、両市民の友好を深める。青少年参加者については、市内の中学校等での授業参加や同校に通う生徒宅でホームステイを行い、若い世代の国際交流・異文化理解の機会を創出する。 張家界市・ナラヤンガンジ市との交流についても、交流事業などを検討し、友好関係の促進を図る。
	令和6年度	リューネブルク市との姉妹都市盟約締結50周年を迎えるため、今後のさらなる交流の発展を目指し、各種記念事業を実施する。また、第24回鳴門市姉妹都市親善使節団がリューネブルク市を訪問して、市民交流を深める。 張家界市・ナラヤンガンジ市との交流についても、交流事業などを検討し、友好関係の促進を図る。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.30

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	文化振興事業	担当部署	市民生活部　文化交流推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市文化のまちづくり基本計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると	事業期間	開始	昭和　46　年度
（小項目）		文化振興			
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	2	市民が参加・体験する機会づくり			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民が文化・芸術に接し、発表することのできる機会の拡充や、文化の掘り起こしにより、多くの人が文化・芸術を通じて交流できるよう、にぎわいづくりを推進する。	事業内容（R4）	5月に文化展、10月に市展、11月頃に芸能祭・ハンドメイドマルシェを開催し、3月に市民文芸を発刊する。また、文化月間（5月15日～6月14日）協賛イベントを募集し、決定した協賛イベントについて広報活動を行うほか、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努める。文化芸術活動の活性化のため、文化活動サポート事業として音響・照明・映像機器の貸し出しなどを行う。
実施方針	①鳴門市文化展・市展・芸能祭・ハンドメイドマルシェの開催及び市民文芸の発刊や市民ギャラリー、その他文化事業を推進する。 ②文化芸術活動の情報提供や音響・照明・映像機器の貸し出しなど、文化芸術活動を支援する。 ③まちづくりに取り組む文化芸術活動の広報等での紹介や、助成金申請等の相談に応じることで、文化芸術活動の活性化をサポートする。 ④文化のまちづくり基本計画を基礎とした文化振興活動を行う。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	芸術祭開催延べ日数	15	19	26	26	26	日
	2	市民文化講座数	16	14	14	14	14	講座
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	文化協会加盟団体数		82	74	74	74	74	団体

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①芸術祭（市展）の開催 ※文化展・芸能祭・ハンドメイドマルシェはコロナのため中止 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年記念事業実施の準備	①芸術祭（市展・芸能祭・ハンドメイドマルシェ）の開催 ※文化展はコロナのため中止 代替としてNARUTOオンラインギャラリーを開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート ④文化協会創立50周年記念事業の実施	①芸術祭（文化展・市展・芸能祭・ハンドメイドマルシェ）の開催 ②市民文芸発刊 ③音響・照明・映像機器貸し出し等文化芸術活動のサポート	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	1,136		1,136	1,136	1,136

事務事業名	文化振興事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	5月にハンドメイドマルシェ、6月に文化展、10月に市展、11月に芸能祭を開催し、3月に市民文芸を発刊した。また、文化月間（5月15日～6月14日）協賛イベントを募集し、決定した協賛イベントについて広報活動を実施したほか、年間を通して市民ギャラリーなどの文化事業を実施し、周知に努めた。また、文化芸術活動の活性化のため、文化活動サポート事業として音響・照明・映像機器の貸し出しなどを行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	芸術祭開催延べ日数	17	26	26	26	26	日
	2	市民文化講座数	14	13	13	13	13	講座
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		文化協会加盟団体数	74	71	71	71	71	団体
		目標達成率(実績/目標)		95.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算 前年度からの繰越決算額	令和4年度決算 決算額	令和4年度決算 令和5年度への繰越額	令和4年度決算 最終事業費
	計		2,056,028	0	1,109,522	0	1,109,522
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	124	0	900	0	900
		一般財源	2,055,904	0	1,108,622	0	1,108,622
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見
	指標名	文化協会加盟団体数		高齢化が進んでいる団体が多く、担い手を確保できない団体については活動継続が困難になりつつあり、目標に届かなかったが、若い世代による新規加入団体も増加してきている。
	目標	74	団体	
	実績	71	団体	
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	高齢化が進み、担い手を確保できない団体の活動継続が困難になりつつある。既存の文化事業を継続して実施するとともに、さらなる文化振興、にぎわいづくりのため庁内各課との連携を図り、NPO等関係団体の協力を得ていかなければならない。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	新型コロナウイルス感染症拡大のため令和3年度に実施できなかった事業及び徳島県文化研修会を開催する。また、文化団体の活動を広報等で紹介したり、助成事業等の相談に応じたりすることで、文化ボランティア活動の活性化を図る。さらに、市民が文化・芸術に接し、発表することのできる機会の拡充や、文化の掘り起こしにより、多くの人が文化・芸術を通じて交流する機会を創出し、にぎわいづくりを推進する。
	令和6年度	前年度の検証を行い、引き続き文化・芸術を通じたにぎわいづくりを推進する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.31

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ドイツ村公園トイレ整備事業	担当部署	市民生活部　文化交流推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち　なると		事業期間 開始	令和 3 年度
（小項目）		公園・緑地			
施策	2	緑の保全と創出		終期	令和 5 年度
基本事業	1	公園の整備			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	現在ドイツ村公園にはトイレがなく、利用者に対して不便をかけている。そこでドイツ村公園の隣地にトイレを整備する。	**事業内容（R4）**	設計業務の終了・施工の発注。
実施方針	トイレを整備するための土地の購入を行い、購入後設計、施工と進めて行きたい。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	トイレ整備			土地購入・設計	設計・着工	竣工		

	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業の実施内容推移	各年度の実施（予定）内容		土地購入・設計	設計・着工	竣工	

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	—	2,700	2,700	—	—

事務事業名	ドイツ村公園トイレ整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	トイレ及び駐車場の設計業務を完了した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	トイレ整備		土地購入	設計	施工・竣工・供用開始			—
	目標達成率(実績/目標)			—	—	—	—	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		11,110,484	1,925,000	0	0	1,925,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	9,900,000	1,700,000	0	0	1,700,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,210,484	225,000	0	0	225,000

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	トイレ整備	
	目標	設計・着工	
	実績	設計	
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	周辺環境等に配慮し、設計業務を完了した。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ドイツ村公園利用者が快適に利用できるトイレを整備する。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	R5年度中の竣工を目標とし、工事に取りかかる。
	令和6年度	—

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.32

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	福永家住宅・塩田保存活用事業	担当部署	市民生活部　文化交流推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	文化財保護法
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	昭和　51　年度
(小項目)		文化財			
施策	4	文化財の保護と活用		終期	年度
基本事業	2	文化財の保護と活用			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	全国で唯一、近代化以前の製塩業の姿を残す「福永家住宅」について、必要な保存対策・環境整備を進めながら、公有化した建物・塩田の公開活用を行う。これにより、文化財を地域学習の材料としてだけでなく、地域活動及び観光資源として活用することをめざす。	事業内容（R4）	①保存活用計画に基づき、国庫補助事業を活用した防火設備の改修について検討を進める。 ②保存活用計画に基づき、地域住民やボランティアと協働し、一般公開事業を実施するなど、活用を進めていく。 ③老朽化の進んだ箇所から優先順位をつけて修繕を実施
実施方針	①建造物の適切な保存整備をおこなう。 ②市民等への公開活用の機会を増やす。		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	福永家住宅の公開活用回数	1	4	15	20	20	回
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	福永家住宅の見学者数	5	47	500	600	600	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①保存活用計画（案）の文化庁との調整協議 ②一般公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施。	①保存活用計画（案）の文化庁との調整協議 ②防火設備改修方法の検討 ③緊急性の高い修繕事業の実施。	①防火設備改修等設備改修の検討 ②一般公開事業の実施・拡充の検討 ③緊急性の高い修繕事業の実施。	①防火設備改修等設備改修の検討・実施 ②一般公開事業の実施・拡充の検討 ③緊急性の高い修繕事業の実施。	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,724		2,724	1,764	1,764

事務事業名	福永家住宅・塩田保存活用事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①秋季一般公開を開催した。 ②適切な管理に必要な塩納屋の木製建具の修繕を行った。 ③保存活用計画書の印刷製本を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	福永家住宅の公開活用回数	4	6	20	20	20	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		福永家住宅の見学者数	85	250	600	600	600	人
		目標達成率(実績/目標)		50.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		2,820,334	0	2,457,351	0	2,457,351
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,820,334	0	2,457,351	0	2,457,351
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	福永家住宅の見学者数			新型コロナウイルス感染症の影響により、春季一般公開は実施できなかったが、施設の修繕や秋期一般公開などを行い、保存活用計画に基づいた各種事業を実施、施設の活用をすることができた。
	目標	500	人		
	実績	250	人		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後も計画に基づいた建造物・設備の修理や公開活用を進めていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	①保存活用計画に基づいた保存修理事業の検討 ②地域住民やボランティア団体などと協働した公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施 ④指定地内に残る私有地について、公有化の交渉を継続する。
	令和6年度	①保存活用計画に基づいた保存修理事業の検討 ②地域住民やボランティア団体などと協働した公開事業の実施 ③緊急性の高い修繕事業の実施 ④指定地内に残る私有地について、公有化の交渉を継続する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.33

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業	担当部署	市民生活部　文化交流推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	文化財保護法
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　16　年度
（小項目）		文化財			
施策	4	文化財の保護と活用		終期	年度
基本事業	2	文化財の保護と活用			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市内にある史跡等地域文化財について、適切な保存管理をおこなうとともに、公開活用につとめる。	事業内容（R4）	①「鳴門板野古墳群」保存活用計画の策定に向けて、検討委員会での承認や文化庁との確認協議について取り組みを進める。また、史跡等の周知を図るため、普及活用事業として大代古墳の一般公開や大麻町の古墳ウォーキングを行う。 このほか、史跡の環境整備事業を継続する。 ②「板東俘虜収容所跡」保存活用計画の策定に向けた検討委員会を開催する。 ③収蔵している文化財資料の整理と活用を進める。
実施方針	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	史跡等地域文化財の公開活用回数	3	2	5	5	5	回
	2	史跡等地域文化財の環境整備回数	14	13	15	15	15	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	史跡等地域文化財の見学者数		160	148	180	180	180	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①保存活用検討委員会（鳴門・板東） ②公開事業の実施 ③説明板設置（宇志比古神社）	①保存活用検討委員会（鳴門・板東） ②公開事業の実施 ③普及用冊子増刷（板東） ④石室レプリカの製作 ⑤説明板設置（3ヶ所）	①保存活用検討委員会（鳴門・板東） ②公開事業の実施 ③普及用冊子増刷（板東） ④史跡注意看板製作（板東）	①保存活用検討委員会（鳴門・板東） ②保存活用計画に基づく整備活用（鳴門） ③公開事業の実施 ④文化財表示板設置	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,849		2,849	2,611	2,611

事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①「鳴門板野古墳群」保存活用計画検討委員会の委員により現地指導を受けた。 ②大谷葛城神社の説明板修繕や板東俘虜収容所跡の注意喚起看板の整備をおこなった。 ②県史跡「森崎貝塚」において残土処分などの環境整備を実施した。 ③市指定のウバメガシ2件について、虫害により枯死しないための防除措置をおこなった。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	史跡等地域文化財の公開活用回数	3	4	5	5	5	回
	2	史跡等地域文化財の環境整備回数	11	11	15	15	15	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		史跡等地域文化財の見学者数	148	120	180	180	180	人
		目標達成率(実績/目標)		66.7	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		8,585,342	0	1,903,445	0	1,903,445
	財源内訳	国庫支出金	1,017,000	0	0	0	0
		県支出金	33,000	0	33,000	0	33,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,700,000	0	0	0	0
		一般財源	2,835,342	0	1,870,445	0	1,870,445

補助制度（名称、補助率など）	徳島県文化財等保護事業費補助金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	史跡等地域文化財の見学者数	
	目標	180	人
	実績	120	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新型コロナウィルス感染症の影響が続く中で、大代古墳の一般公開及び古墳ウォーキング併せて98名の参加者があるなど、公開活用で一定の成果をあげた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①史跡指定を受けた「鳴門板野古墳群」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を実施する。 ②史跡指定を受けた「板東俘虜収容所跡」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を実施する。 ③史跡の環境整備事業や史跡を活用した周知啓発事業を継続して実施する。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	①古墳群：展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。 ②収容所跡：保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取り組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。
	令和6年度	①古墳群：展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。 ②収容所跡：保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取り組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。

各実施計画兼評価シート

環　境　共　生　部

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.34

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	環境学習推進事業	担当部署	環境共生部　環境政策課

総合計画体系

基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると
（小項目）		ごみ処理
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進
基本事業	2	クリーンセンターの運営及びごみ対策

根拠法令計画など	鳴門市リサイクルプラザ環境学習館条例、鳴門市リサイクルプラザ環境学習館条例施行規則、鳴門市環境基本計画、なると環境プラン推進計画2017		
事業期間	開始	平成	20　年度
	終期	未定	

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民の環境問題への意識高揚
実施方針	環境学習・環境教育を促進する
事業内容（R4）	1．環境学習・環境教育促進 ①絵手紙教室、エコクッキング等環境学習講座の開催 ②施設内見学ならびに紙漉き体験の実施 ③親子天体観測会等人気イベントの実施継続

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	クリーンセンター視察数	9	10	40	40	40	件
	2	イベント・講座実施数	17	20	35	35	35	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		環境学習参加者及び施設視察者数計	692	600	1,200	1,200	1,200	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会（うずしおふれあい公園で開催）	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会（ウチノ海総合公園で開催）	①環境学習講座の開催 ②施設見学、紙漉き体験 ③親子天体観測会	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	944	△ 18	926	944	944

事務事業名	環境学習推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・絵手紙教室、パッチワーク教室等環境学習講座の開催 ・施設見学、紙漉き体験 ・親子天体観測会（うずしおふれあい公園で開催）

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	クリーンセンター視察数	7	7	40	40	40	件
	2	イベント・講座実施数	13	22	35	35	35	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		環境学習参加者及び施設視察者数計	449	700	1,200	1,200	1,200	人
		目標達成率(実績/目標)		58.3	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		628,360	0	658,378	0	658,378
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	628,360	0	658,378	0	658,378

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	環境学習参加者及び施設視察者数計	
	目標	1,200	人
	実績	700	人
	評価	C:あまり目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により例年に比べて視察者が少なく、目標を達成できなかったが、講座は予定通り開催することができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	人員体制や事業費とのバランスを考慮しながら、イベントや講座数の増加、1件当たりの参加者数の増加策について検討する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	継続実施
	令和6年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.35

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業	担当部署	環境共生部　環境政策課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			地球温暖化対策の推進に関する法律、第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画、鳴門市環境基本計画
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　13　年度
（小項目）		エネルギー使用			
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進		終期	未定
基本事業	2	地球温暖化・省エネ対策の率先的実行			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市の温室効果ガス排出量の削減
実施方針	①「鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策を実施する ②太陽光発電の効率的な利用を行う ③再生可能エネルギーの導入について検討する
事業内容（R4）	1.「鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策を実施する ①「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策継続 ②ゴーヤ苗の配布ならびに「緑のカーテンコンテスト」の実施 2. 太陽光発電の効率的な利用を行う ①屋根貸し・土地貸しによる太陽光発電の効率的な利用継続 3. 再生可能エネルギーの導入について検討する ①再生可能エネルギーの導入可能性について検討

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	電力使用量	21,660	19,524	19,524	19,524	19,524	千kWh
	2	屋根貸しによる太陽光発電量	494	500	506	513	519	千kWh
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）		17,591	20,022.9	20,022.9	20,022.9	20,022.9	t

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①市役所内でのｸｰﾙﾋﾞｽﾞ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ｺﾞｰﾔ苗の配布、緑のｶｰﾃﾝｺﾝﾃｽﾄの開催 ④「第5次鳴門市地球温暖化対策実行計画」の策定 ⑤市有地等活用による自然ｴﾈﾙｷﾞｰの利用継続 ⑥再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの導入可能性について検討	①市役所内でのｸｰﾙﾋﾞｽﾞ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ｺﾞｰﾔ苗の配布、緑のｶｰﾃﾝｺﾝﾃｽﾄの開催 ④市有地等活用による自然ｴﾈﾙｷﾞｰの利用継続 ⑤再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの導入可能性について検討	①市役所内でのｸｰﾙﾋﾞｽﾞ・ｳｫｰﾑﾋﾞｽﾞ等推進 ②エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底 ③ｺﾞｰﾔ苗の配布、緑のｶｰﾃﾝｺﾝﾃｽﾄの開催 ④市有地等活用による自然ｴﾈﾙｷﾞｰの利用継続 ⑤再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの導入可能性について検討	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	247		247	247	247

事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	・「第５次鳴門市地球温暖化対策実行計画」に基づく温暖化対策実施 ・ゴーヤ苗の配布ならびに「緑のカーテンコンテスト」の実施 ・屋根貸し・土地貸しによる太陽光発電の効率的な利用継続 ・再生可能エネルギーの導入可能性について検討 ・脱炭素シンポジウムの開催

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	電力使用量	21,675	22,084	19,524	19,524	19,524	千kWh
	2	屋根貸しによる太陽光発電量	487	484	513	519	519	千kWh
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）	19,864.7	17,760.1	20,022.9	20,022.9	20,022.9	t
		目標達成率(実績/目標)		112.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		218,600	0	228,260	0	228,260
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	218,600	0	228,260	0	228,260
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算排出量）			温室効果ガス排出量を目標値以下に抑えることができた。
	目標	20,023	t		
	実績	17,760	t		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現在の目標値は、国の従前の目標であった「2030年度に2013年度比26%減」を参考に設定しており、現在の国の目標である「2030年度に2013年度比46%減」に向けて目標を再設定する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	環境基本計画を、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画（事務事業編）及び同計画（区域施策編）を内包する新たな計画として改定することとし、令和5年度は、計画策定に向けて再生可能エネルギーの導入目標を策定する。
	令和6年度	令和5年度に策定した再生可能エネルギーの導入目標を基に、地方公共団体実行計画（事務事業編）及び同計画（区域施策編）を内包する新たな環境基本計画を策定する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.36

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「なると環境プラン推進計画2022」策定事業	担当部署	環境共生部　環境政策課

総合計画体系			根拠法令計画など	環境基本法、鳴門市環境基本条例、鳴門市自治基本条例
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまちなると	事業期間 開始	令和　3　年度
（小項目）		自然環境		
施策	1	自然環境の保全と生活環境づくり	終期	令和　4　年度
基本事業	1	全員参加による環境づくり		

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市の望ましい環境像を示した「なると環境プラン2004」の着実な推進を図るための計画を策定する。
実施方針	「なると環境プラン推進計画2017」の計画期間が終了することに伴い、新たに「なると環境プラン推進計画2022」を策定する。
事業内容（R4）	1.「なると環境プラン推進計画2022」策定 ①環境ワークショップの実施 ②市民アンケートの実施 ③計画素案の策定と庁内会議での計画案の確定 ④計画案の環境審議会における審議・意見の反映 ⑤「なると環境プラン推進計画2022」策定と冊子作製

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	環境ワークショップ開催		1	0			回
	2	鳴門市環境審議会開催			2			回

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	「なると環境プラン推進計画2022」策定		策定準備	策定	推進	推進	

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容		①環境ワークショップの実施 ②市民アンケートの実施	①環境ワークショップの実施 ②市民アンケートの実施 ③庁内会議の開催 ④環境審議会における審議・意見の反映 ⑤「なると環境プラン推進計画2022」策定		

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**323**	**△ 21**	**302**	**—**	**—**

事務事業名	「なると環境プラン推進計画2022」策定事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	環境基本計画を、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画（事務事業編）及び同計画（区域施策編）を内包する新たな計画として改定することとし、令和4年度は計画策定に向けて再生可能エネルギーの導入目標を策定する予定としていたが、国の補助金が不採択となったため、令和5年度に再生可能エネルギーの導入目標を策定することとした。 なお、環境基本計画実施計画は引き続き策定し、各種取り組みの進捗管理は実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	環境ワークショップ開催	0	0	―	―	―	回
	2	鳴門市環境審議会開催	0	0	―	―	―	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		「なると環境プラン推進計画2022」策定	―	―	―	―	―	
		目標達成率(実績/目標)		0.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		309,750	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	309,750	0	0	0	0

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	未達成

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	「なると環境プラン推進計画2022」策定			環境基本計画を改定することとし、新たな推進計画の策定を見送ったため、未達成となっている。
	目標	策定			
	実績	―			
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	環境基本計画を平成16年に策定して以降、環境行政を取り巻く環境は大きく変化しており、現状に合わせて環境基本計画の時点修正を行う必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	環境基本計画を、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画（事務事業編）及び同計画（区域施策編）を内包する新たな計画として改定することとし、令和5年度は、計画策定に向けて再生可能エネルギーの導入目標を策定する。
	令和6年度	令和5年度に策定した再生可能エネルギーの導入目標を基に、地方公共団体実行計画（事務事業編）及び同計画（区域施策編）を内包する新たな環境基本計画を策定する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.37

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	いぬねこ愛護推進事業	担当部署	環境共生部　環境政策課

総合計画体系			根拠法令計画など		徳島県動物愛護管理適正化地域活性化推進補助金交付要綱・動物の愛護及び管理に関する法律・徳島県動物の愛護及び管理に関する条例
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成　26　年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまちなると			
（小項目）		自然環境		終期	未定
施策	1	自然環境の保全と生活環境づくり			
基本事業	2	生存基盤としての自然の保全と活用			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民の動物の愛護及び管理についての理解促進と公衆衛生の向上及び社会生活の安全を図る	事業内容（R4）	1. 飼い犬及び猫の避妊・去勢手術推進事業 ①県獣医師会と協力し、飼い犬及び飼い猫の避妊・去勢手術費用の一部助成 2. 適正飼育についての啓発 ①広報誌や市ホームページにおける適正飼育に関する啓発 ②動物愛護に関する啓発のための看板やポスターを作成 3. 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用補助事業 ①市内及び近郊の動物病院と協力し、飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助
実施方針	1. 飼い犬及び猫の避妊・去勢手術費用の一部を助成する 2. 犬や猫の適正飼育について啓発活動に取り組む 3. 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部を補助する		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	飼い犬及び猫の避妊・去勢手術費用の一部助成実績	84	100	100	100	100	件
	2	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助実績	47	70	100	100	100	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	飼い犬及び猫の手術費用の一部助成実績、飼い主のいない猫の手術費用の一部補助実績合計		131	170	200	200	200	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①飼い犬及び猫の避妊去勢手術費用の一部助成 ②適正飼育について広報等による周知・啓発 ③飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助	①飼い犬及び猫の避妊去勢手術費用の一部助成 ②適正飼育について広報等による周知・啓発 ③飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助	①飼い犬及び猫の避妊去勢手術費用の一部助成 ②適正飼育について広報等による周知・啓発 ③飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	1,635	△ 124	1,511	1,635	1,635

事務事業名	いぬねこ愛護推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・県獣医師会と協力し、飼い犬及び飼い猫の避妊・去勢手術費用の一部助成 ・広報紙や市公式ウェブサイトにおける適正飼育に関する啓発 ・飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	飼い犬及び猫の避妊・去勢手術費用の一部助成実績	88	76	100	100	100	件
	2	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の一部補助実績	70	107	120	120	120	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		飼い犬及び猫の手術費用の一部助成実績、飼い主のいない猫の手術費用の一部補助実績合計	158	183	220	220	220	件
		目標達成率(実績/目標)		91.5	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,150,500	0	1,390,500	0	1,390,500
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	556,000	0	624,000	0	624,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	129,000	0	766,500	0	766,500
		一般財源	465,500	0	0	0	0

補助制度（名称、補助率など）	徳島県動物愛護管理適正化地域活性化推進補助金（県1／2） ※飼い犬及び猫の手術1件あたりの助成金額上限は5千円、飼い主のいない猫の手術1件あたりの補助金額上限は10千円

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	飼い犬及び猫の手術費用の一部助成実績、飼い主のいない猫の手術費用の一部補助実績合計		成果指標に対する所見	キャンセル等により実績は目標件数を下回っているが、概ね目標を達成している。
	目標	200	件		
	実績	183	件		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	飼い主のいない猫に関する苦情や相談は増加傾向にあり、引き続き積極的に飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用に対する補助を行う必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用補助事業の補助件数を100件から120件に拡充して実施する。
	令和6年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.38

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	水域環境改善・浄化対策事業	担当部署	環境共生部　環境政策課
総合計画体系				根拠法令計画など	EM活性液培養装置貸与実施要綱・水質汚濁防止法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまちなると	事業期間	開始	昭和　51　年度
（小項目）	＼	河川・海岸			
施策	4	自然環境に配慮した水辺空間の整備		終期	未定
基本事業	2	水辺環境の保全と再生			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市内の河川や水路の水域環境改善・浄化	事業内容（R4）	1．水質調査の実施 ①市内各所における水質調査の実施継続 2．EM活用による水質浄化 ①EM活性液培養装置設置未設置地区への周知促進 ②機器の更新や培養に必要な資材等の提供
実施方針	①生活雑排水等で汚濁が進んでいる河川や水路の水質調査を実施するとともに水質改善の方法を検討する ②身近な水路において、EMを活用した水質浄化に取り組む		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EM培養装置貸与団体地区数	8	8	12	12	12	箇所
	2	装置貸与地区におけるEM活性液培養数量	51,800	52,000	64,000	64,000	64,000	ℓ
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	新池川における汚濁負荷（BOD）の75%値		6.7	6.53	6.36	6.19	6.02	mg/ℓ

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	①市内各所の水質調査継続 ②必要とする地区でEM培養装置機器更新、未設置地区への周知促進 ③市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,993	△ 299	2,694	2,993	2,993

事務事業名	水域環境改善・浄化対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・市内各所の水質調査 ・市民団体等と協働での新池川の水辺環境改善事業

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EM培養装置貸与団体地区数	8	8	12	12	12	箇所
	2	装置貸与地区におけるEM活性液培養数量	48,800	47,600	64,000	64,000	64,000	ℓ
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		新池川における汚濁負荷（BOD）の75%値	6.30	7.40	6.19	6.02	5.85	mg/ℓ
		目標達成率(実績/目標)		85.9	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,830,005	0	2,205,161	0	2,205,161
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,049,000	0	1,083,000	0	1,083,000
		一般財源	781,005	0	1,122,161	0	1,122,161
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	新池川における汚濁負荷（BOD）の75%値		成果指標に対する所見	新池川におけるBOD値は悪化したが、野生生物の生息状況の改善や水路の臭いの軽減等の効果は見られる。
	目標	6.36	mg/ℓ		
	実績	7.40	mg/ℓ		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業による効果は目に見えにくいが、引き続き着実に事業を推進する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	継続実施
	令和6年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.39

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ごみ減量対策事業	担当部署	環境共生部　クリーンセンター廃棄物対策課
総合計画体系				根拠法令計画など	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　11　年度
（小項目）	＼	ごみ処理			
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進		終期	未定
基本事業	1	循環型社会形成への取り組み			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	ごみの減量や発生抑制、再資源化について具体的な取り組みや実効性のある啓発の推進	事業内容（R4）	①生ごみ減量対策 ・EMボカシの無料交付 ・コンポストの斡旋 ・電気式生ごみ処理機の購入補助 ②啓発 ・小学4年生に社会科副読本「くらしとごみ」を配布 ごみ減量スローガンコンクールを実施 ・オリジナルマイバック作成事業をPR ・雑がみ回収を推進
実施方針	①生ごみの減量対策を図る ②ごみの減量や発生抑制、再資源化について啓発を行う		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EMボカシ無料配布	125	193	190	190	190	世帯
	2	コンポスト斡旋＋電気式生ごみ処理機購入補助	67	66	60	60	60	世帯
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く）	17,698	17,460	17,374	17,051	16,729	t

	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業の実施内容推移	各年度の実施（予定）内容	①生ごみの減量対策事業の普及 ②ごみ減量についての啓発	①生ごみの減量対策事業の普及 ②ごみ減量についての啓発	①生ごみの減量対策事業の普及 ②ごみ減量についての啓発	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	60,049	△ 102	59,947	67,865	67,865

事務事業名	ごみ減量対策事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	コンポスト31個 252,800 円　EMボカシ115個　139,150円 電気式生ごみ処理機19基 335,600円　計727,550 円 小学4年生に社会科副読本「くらしとごみ」を配布した。 オリジナルマイバッグ運動を呼び掛け、ごみ減量への啓発を図った。雑がみ回収専用手提げ袋を作成し、資源ごみ回収団体へ配布を行い雑がみの回収促進、啓発を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EMボカシ無料配布	123	115	160	160	160	世帯
	2	コンポスト斡旋＋電気式生ごみ処理機購入補助	58	50	60	60	60	世帯
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く）	17,460	17,346	17,051	16,729	16,420	t
		目標達成率(実績/目標)		100.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		51,444,075	0	53,171,361	0	53,171,361
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	51,444,075	0	53,171,361	0	53,171,361
		一般財源	0	0	0	0	0
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	全体のごみ排出量（資源ごみ集団回収を除く）		
	目標	17,374	t	
	実績	17,346	t	
	評価	A:目標を達成できた		
成果指標に対する所見	継続してごみ減量補助制度と啓発を行い、全体のごみ排出量に関して目標を達成できたためA評価とする。			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	EMボカシ無料配布について、一定数の利用は継続してあるものの、減少傾向が見られるため、継続した広報活動により利用者増加への取り組みを強化する必要がある。 さらなるごみ減量に向けて各家庭における意識向上が図られるよう、今後も取り組みを進めていく必要がある。				
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	現在の事業を継続していくことに加えて、生ごみの水切りや雑がみ回収などについて、各地域団体へ出向いて説明と啓発を行い、ごみ減量に向けた取り組みがより一層強化できるよう働きかけていく。
	令和6年度	同上

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.40

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	資源ごみ対策事業	担当部署	環境共生部　クリーンセンター廃棄物対策課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市資源ごみ回収事業報奨金交付要綱
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると		事業期間 開始	平成　5　年度
(小項目)		ごみ処理			
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進		終期	年度
基本事業	1	循環型社会形成への取り組み			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①資源ごみ回収団体に対する支援 ②市民の廃棄物に対する意識の高揚	事業内容（R4）	資源ごみ回収 ①資源ごみ回収団体に対し、回収量に応じた報奨金を交付 ②資源ごみ回収団体の新設
実施方針	①資源ごみ回収団体に対し報奨金を交付し、資源の有効化とリサイクルの促進を図る ②資源ごみ回収制度の周知を図る		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	資源ごみ回収団体回収量	1,510	1,426	1,413	1,400	1,388	t
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		資源ごみ回収団体数	201	201	201	201	201	団体

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①資源ごみ回収団体への報奨金の交付 ②資源ごみ回収団体の新設	①資源ごみ回収団体への報奨金の交付 ②資源ごみ回収団体の新設	①資源ごみ回収団体への報奨金の交付 ②資源ごみ回収団体の新設	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	13,179	102	13,281	13,179	13,179

事務事業名	資源ごみ対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	資源ごみ回収団体に対し、指定品目(新聞・雑誌・ダンボール・雑がみ・スチール缶・アルミ缶・古布類)の回収量に応じた報奨金(1kgあたり5円)を交付するとともに、雑がみ回収促進や啓発を図るため、雑がみ回収専用手提げ袋と、缶類の回収に必要なビニール袋を提供した。 また、資源ごみ回収業者に指定品目の回収処分を委託した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	資源ごみ回収団体回収量	1,426	1,414	1,400	1388	1,374	t
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		資源ごみ回収団体数	201	203	203	203	203	団体
		目標達成率(実績/目標)		101.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		10,482,102	0	10,420,205	0	10,420,205
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	10,482,102	0	10,420,205	0	10,420,205
		一般財源	0	0	0	0	0

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	資源ごみ回収団体数		成果指標に対する所見	広報等で周知を図った結果、団体数は2団体増加した。
	目標	201	団体		
	実績	203	団体		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本事業を進めることで、資源の有効活用はもとより、ごみ減量化によるごみ処理経費の削減やごみ処理施設への負担軽減等様々な効果が期待されることから、今後も引き続き取り組みは必要であると考えられる。 今後の課題としては、資源ごみ回収量が近年減少傾向にあることから、資源ごみ回収団体や市民の意見を取り入れながら、継続して制度の周知、資源ごみ回収団体へのきめ細やかな支援策を検討していく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	引き続き、資源ごみ回収制度の周知を図るとともに、各団体の抱える課題や問題の解決に向け個別に支援していく。 また、資源ごみ回収団体の新設に努める。
	令和6年度	同上

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.41

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	不法投棄監視市民パトロール支援事業	担当部署	環境共生部　クリーンセンター廃棄物対策課

総合計画体系			根拠法令計画など		廃棄物の処理及び清掃に関する法律
基本政策(大項目)	3	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成　17　年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると			
(小項目)		ごみ処理		終期	年度
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進			
基本事業	2	クリーンセンターの運営及びごみ対策			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	廃棄物不適正処理の早期発見及び未然防止	事業内容（R4）	活動支援 ①不法投棄監視パトロール隊への資材の提供や回収物の受入 ②「鳴門市不法投棄監視パトロール連絡協議会」が実施する不法投棄の未然防止のための事業に対する補助金の交付
実施方針	不法投棄監視パトロール隊に対して活動の支援を行う		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	不法投棄連絡協議会の開催数	5	5	5	5	5	回
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	パトロール隊認定団体数	13	13	13	13	13	団体

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①不法投棄連絡協議会の開催 ②不法投棄監視パトロール活動補助の交付	①不法投棄連絡協議会の開催 ②不法投棄監視パトロール活動補助の交付	①不法投棄連絡協議会の開催 ②不法投棄監視パトロール活動補助の交付	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	820		820	820	820

事務事業名	不法投棄監視市民パトロール支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	市内各地の不法投棄監視パトロール隊の活動に対して資材の提供や回収物の受入の支援を行うとともに、「鳴門市不法投棄監視パトロール連絡協議会」が実施する不法投棄の未然防止のための事業に対して補助金を交付し、活動の支援を行っている。同協議会が主催する不法投棄物一斉撤去作業を3年ぶりに開催し、県道大谷櫛木線を134人の参加により、3,380kgの不法投棄物の撤去を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	不法投棄連絡協議会の開催数	4	4	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		パトロール隊認定団体数	13	13	13	13	13	団体
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		65,000	0	236,870	0	236,870
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	65,000	0	236,870	0	236,870
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価			成果指標に対する所見	
	指標名	パトロール隊認定団体数		各地区のパトロール隊では、不法投棄を未然に防ぐためのネットや看板の設置、不法投棄物の回収など、活発な活動が行われた。
	目標	13	団体	
	実績	13	団体	
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	不法投棄の未然防止策や回収、撤去をパトロール隊が積極的に行っているにもかかわらず、不法投棄が続いているのが現状である。そのため、パトロール隊への支援を継続的に行うとともに、防護ネットや啓発看板、監視カメラ等の設置など、未然防止のための取り組み強化が必要である。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	関係機関との連絡調整や資材の提供などを継続して行うとともに、補助金を支出することにより活動の幅が広がるよう支援していく。
	令和6年度	同上

各実施計画兼評価シート

健　康　福　祉　部

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.42

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	国民健康保険料収納対策事業	担当部署	健康福祉部　保険課
総合計画体系				根拠法令計画など	国民健康保険法、鳴門市国民健康保険条例等
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始	平成　12　年度
（小項目）		社会保障			
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施		終期	未定
基本事業	1	健全財政の確立			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	国民健康保険及び介護保険、後期高齢者医療制度にかかる保険制度の安定経営を図るため、保険料収納率の向上及び納付義務者の利便性向上を図るための対策を講じる。	事業内容（R4）	①納付勧奨の実施 滞納者に対して、文書による催告及び夜間を利用した納付相談窓口の開設等により納付交渉を随時行うとともに、コールセンター方式による電話催告を実施し、収入未済額の縮減を図る。 ②口座振替利用の促進 当初納付書及び保険料更正通知書等に口座振替郵送用依頼書を同封し、口座振替加入促進を図る。 ③財産調査の実施 財産調査実施により納付者の納付能力の把握に努める。
実施方針	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	催告等発送数(国保)	10,051	10,000	10,000	10,000	10,000	枚
	2	コールセンター　納付勧奨件数（国保）	263	400	300	300	300	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	国民健康保険料収納率(現年度)		95.6	95.6	95.5	95.5	95.5	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	①納付勧奨の実施 ②口座振替利用の促進 ③財産調査の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	5,852		5,852	5,852	5,852

事務事業名	国民健康保険料収納対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①滞納者に応じて、文書による催告を3回、夜間窓口を延べ8日間設置するともに、保険料納付コールセンターによる自主納付の呼びかけを、延べ44日間にわたり実施した。 ②国民健康保険料の当初納付書及び更正通知書等の発送時に、口座振替郵送用依頼書を同封し、口座振替未加入者に対して、口座振替加入の促進を図った。また、窓口で保険料を納付した方や75歳を迎える世帯主の方などに、口座振替勧奨通知を12月から翌年3月にかけて計3回にわたり送付した。 ③財産調査を行い、被保険者等の納付資力を把握することに努めた。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	催告等発送数(国保)	9,530	8,505	9,000	9,000	9,000	枚
	2	コールセンター　納付勧奨件数(国保)	485	345	300	300	300	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		国民健康保険料収納率(現年度)	96.4	96.1	95.5	95.5	95.5	%
		目標達成率(実績/目標)		100.6	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		6,147,910	0	5,153,150	0	5,153,150
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,147,910	0	5,153,150	0	5,153,150

補助制度（名称、補助率など）	なし

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	国民健康保険料収納率(現年度)	
	目標	95.5	%
	実績	96.1	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見
今年度の目標は達成できたが、前年度の実績と比較すると0.3ポイント減少している。来年度以降も目標の達成を維持していくため、収納対策の取組みを強化していく必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①夜間の納付相談や職員による電話催告の他、保険料納付コールセンターの更なる活用を図ることで、滞納者との接触機会の増加に努め、納期内納付を奨励し、累積滞納を未然に防止する。財産調査等により、滞納整理を積極的に進めていく。 ②口座振替による納付を一層推進していくため、具体的取組を進めていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	①保険料納付コールセンター業務の積極的な活用を図るとともに、引き続き文書や電話による催告を行い、保険料の納期内納付を促していく。 ②口座振替の加入促進のため、口座振替郵送用依頼書（はがき）等を配布するなど、保険料納付時の利便性向上を図る。
	令和6年度	収納率向上の取り組みの継続

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.43

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	国保保健事業	担当部署	健康福祉部　保険課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		国民健康保険法 国保法に基づく保健事業の実施等に関する指針 鳴門市保健事業実施計画（データヘルス計画）	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始	平成　27　年度
（小項目）	＼	社会保障			
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施		終期	未定
基本事業	2	医療費適正化の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	鳴門市保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき、効果的かつ効率的な保健事業を実施することにより、被保険者の生活の維持・向上を図りつつ医療費の伸びを抑制するとともに健康寿命の延伸を図る。	事業内容（R4）	①保健指導 特定健康診査の結果に基づき受診指導や生活習慣の改善等保健指導を行う。また、糖尿病が強く疑われる者に対して、75g糖負荷試験を実施する。 ②糖尿病性腎症重症化予防 高額な医療費となる人工透析の導入が危惧される糖尿病性腎症の方に栄養指導等保健指導を実施する。 ③早期介入保健指導事業 20歳以上40歳未満の被保険者を対象に巡回健診車の日程にあわせて健康診査を実施し、生活習慣病予備群への保健指導を実施する。また、健康診査利用者の拡大を図るため、効果的な周知方法を検討する。
実施方針	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	重症化予防対象者への訪問実施人数	287	365	400	400	400	件
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	重症化予防対象者への面接率	68.3	70.0	70.0	70.0	70.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	①保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 ③早期介入保健指導事業	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	26,621	△ 4,034	22,587	26,621	26,621

事務事業名	国保保健事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・保健師による保健指導及び受診勧奨において、具体例を用いた分かりやすい資料により、疾病への理解を深めた。 ・保健師及び管理栄養士による保健指導を実施するとともに、かかりつけ医と連携を図り、継続した支援・治療につなげた。また、糖尿病が強く疑われる方を対象に、75g糖負荷試験を実施し、発症及び重症化予防を図った。 ・特定保健指導対象者のうち、動脈硬化が疑われる方を対象に、頸部超音波検査を実施し、発症及び重症化予防を図った。 ・広報誌やLINE等の活用により、若年からの健診の必要性を広く周知を行うとともに、健診申込者にアンケートを実施し、啓発手段の有効性の把握に努めた。また、健診の結果、生活習慣病予備群の方には保健指導を実施し、疾病の発症予防に繋げた。 ・糖尿病性腎症の方に対して、管理栄養士等による生活習慣の改善等保健指導を実施し、人工透析への移行を抑制することで、生活の質の維持に努めた。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	重症化予防対象者への訪問実施人数	263	205	400	400	400	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		重症化予防対象者への面接率	57.0	49.0	70	70	70	%
		目標達成率(実績/目標)		70.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		21,922,264	0	18,766,715	0	18,766,715
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	4,825,000	0	5,426,000	0	5,426,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	17,097,264	0	13,340,715	0	13,340,715

補助制度（名称、補助率など）	保険者努力支援交付金（市町村ヘルスアップ事業（1,800万円を上限として対象経費の10割））

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	重症化予防対象者への面接率	
	目標	70	%
	実績	49	%
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	不在等の理由で指導に至らなかったケースについては、定期的な訪問等に努め、面接率の増加につなげる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・特定健診も治療も受けていない方は、重症化の実態が不明であり、効果的な方策により特定健診の受診者を増やしていく必要がある。 ・保健指導が必要な方で、不在等の理由により指導に至らなかった方については、定期的な訪問等により接触の確保に努め、疾病の重症化につなげる必要がある。 ・医療費が高額となる疾患（虚血性心疾患・脳血管疾患・糖尿病性腎症）や長期における入院の医療費の伸びを抑えることに加え、対象者の生活習慣病予防につなげていくための丁寧な保健指導を行い、治療や健診受診を継続していくための支援が必要である。 ・若年からの健診の必要性や、受診に向けた習慣づけについて、様々な媒体を活用して広く啓発に努める必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	保健指導においては、健診データ等対象者の進捗管理を行い、必要に応じて医療機関と連携した保健指導を実施するとともに、特定健診未受診者に対しては受診勧奨を行い、継続受診者の増加を図る。 早期介入保健指導（若年者健診）の利用者は少数であり、利用者拡大のため、効果的な周知方法を検討する。
	令和6年度	事業内容の効果検証・分析を行いながら、被保険者の生活習慣の改善や疾病に対する意識変化につなげていく。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.44

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	特定健診・特定保健指導事業	担当部署	健康福祉部　保険課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			高齢者の医療の確保に関する法律 鳴門市特定健康診査等実施計画 鳴門市保健事業実施計画
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始	平成　20　年度
（小項目）		社会保障			
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施		終期	年度
基本事業	3	特定健診・特定保健指導の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	生活習慣病に着目した特定健康診査・特定保健指導事業を実施することにより、生活習慣病の予防・重篤化予防に努め、被保険者の生活の維持・向上を図りつつ医療費の伸びを抑制する。	事業内容（R4）	①特定健康診査・特定保健指導の実施 対象者に受診券を送付する。受診者の内ﾒﾀﾎﾞﾘｯｸｼﾝﾄﾞﾛｰﾑの該当者・予備群の者に対し特定保健指導を行う。 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 保健師等専門職をオペレーターに採用し、健康相談を兼ねたきめ細やかな受診勧奨を行い、対象者の受診意欲の高揚を図る。 ③健康年齢を用いた受診勧奨の実施 過去の健診結果と全国160万人分の健診データをもとに算出された健康年齢を用いて受診勧奨を実施し、生活習慣病予防に対する意識の向上を図る。 ④みなし健診事業 生活習慣病などにより治療中の特定健診未受診者に対し、本人の同意のもと、医療機関から検査データの提供を受け、特定健診結果のデータとして活用する。
実施方針	①特定健康診査・特定保健指導の実施 ②コールセンター方式による受診勧奨の実施 ③健康年齢を用いた受診勧奨の実施 ④みなし健診（特定健診情報提供）事業		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	特定健康診査受診者数	3,793	5,411	5,897	6,373	6,373	人
	2	特定保健指導利用者数	373	436	475	514	514	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		特定健康診査受診率	37.1	50.0	55.0	60.0	60.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①コールセンター方式による受診勧奨 ②検査項目の拡充 ③みなし健診事業	①コールセンター方式による受診勧奨 ②健康年齢を用いた受診勧奨 ③みなし健診事業	①コールセンター方式による受診勧奨 ②健康年齢を用いた受診勧奨 ③みなし健診事業	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	61,670		61,670	61,670	61,670

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・鳴門市医師会の協力のもと、通院中の特定健診未受診者を対象に引き続きみなし健診を実施した。また特定健診受診券送付の際には、本事業の内容を記載したチラシを同封し、広く周知を図るとともに、情報提供者の確保に努めた。 ・コールセンター方式による受診勧奨においては、健診対象者を既往歴や受診歴を活用して分類化し、各分類に応じて健康年齢を用いるなど健診受診への動機づけにつながる受診勧奨通知を行うとともに、電話勧奨を行うオペレーターには保健師等専門職を採用し、健康相談をきめ細やかな勧奨を行うことで受診意欲の高揚を図った。また、レセプトデータから特定健診の検査項目と多く重複する未受診者に対しては、みなし健診への協力等を促した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	特定健康診査受診者数	3,878	3,571	3,769	4,127	4,462	人
	2	特定保健指導利用者数	330	270	280	307	332	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		特定健康診査受診率	39.0	38.4	40.0	45.0	50.0	%
		目標達成率(実績/目標)		69.8	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		43,331,501	0	41,478,031	0	41,478,031
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	22,263,000	0	22,980,000	0	22,980,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	21,068,501	0	18,498,031	0	18,498,031

補助制度（名称、補助率など）	特定健診等に係る国庫負担金（対象経費の1／3） 特定健診等に係る県負担金（対象経費の1／3） 保険者努力支援交付金（市町村ヘルスアップ事業（1,800万円を上限として対象経費の10割））

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	特定健康診査受診率		成果指標に対する所見	各種受診勧奨を実施したものの、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等もあり、受診率は伸び悩んだ。今後も引き続き効果的な受診勧奨の調査・研究に努める。
	目標	55	%		
	実績	38	%		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	国民健康保険等各保険者には実施が義務づけられているが、被保険者には受診は任意の制度である。生活習慣病は初期では自覚症状がないことや、既に生活習慣病治療中であっても健診対象となること等から受診の必要性が理解されにくい。このことから、経年受診の必要性やみなし健診の利用など健診対象者の受診歴や受療状況等に応じたアプローチを行い、健診受診者の行動変容を促し、受診率の向上につなげる必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	鳴門市医師会と連携して、みなし健診を引き続き実施するとともに、本事業利用者の増加に向けて、効果的な周知手法を検討する。コールセンター方式による受診勧奨について、これまでの実施結果を踏まえ、より効果的な勧奨を実施する。また、他団体の先進的な取組について調査を行い、本市での導入の可否について検討する。
	令和6年度	これまで実施した受診勧奨の手法について効果検証を行い、受診率の向上につなげる。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.45

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	市民の健康づくり対策事業	担当部署	健康福祉部　健康増進課
総合計画体系				根拠法令計画など	健康増進法、自殺対策基本法、「健康なると21（第二次）」
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康でやすらげるまち　なると		事業期間 開始	平成　17　年度
（小項目）		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進		終期	未定
基本事業	1	健康増進計画「健康なると21（第二次）」の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「健康なると21（第二次）」計画に基づき、肥満予防、生活習慣病の発症予防と重症化予防を行い、市民の健康づくりを推進する。
実施方針	①「健康なると21（第二次）」を推進し、市民の健康の維持・向上に取り組む。 ②食生活改善事業（栄養教室、食のネットワーク会議等）の実施及び食育推進のための人材を育成する。 ③「鳴門市自殺対策計画」に基づき、自殺予防の取り組みを推進する。
事業内容（R4）	①健康相談、健康教育等各種保健事業を通して「健康なると21（第二次）」計画の後期アクションプランの取り組みを継続する。 ②ヘルスメイトの地域での自主活動を推進するため、研修会の実施や活動の支援を継続する。また「親子の食育教室」の継続実施等食育推進に積極的に取り組むとともに、広報等による「食からの健康づくりに関する情報発信」を行う。 ③自殺対策計画に基づき啓発活動を継続する。

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ヘルスメイトの地域での活動回数	7	7	12	12	12	回
	2	ワークショップの参加者数	25	20	21	21	21	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	ヘルスメイトの数		25	28	30	30	30	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①健康なると21（第二次）ワークショップの開催（書面開催予定） ②ヘルスメイトの活動支援・育成講座 ③食ネット通信（2回/年）に加え、増刊号をR2.8月に発行し食生活改善の普及を行う（親子ヘルシークッキング教室の開催不可であったため） ④自殺予防の周知啓発・講演会の実施	最終評価年 ①健康なると21（第二次）ワークショップの開催（書面開催予定） ②ヘルスメイトの活動支援・育成講座 ③（親子ヘルシークッキング教室の開催不可であったため） ④自殺予防の周知啓発・講演会の実施	最終評価年 ①健康なると21（第二次）ワークショップの開催（書面開催予定） ②ヘルスメイトの活動支援・育成講座 ③（親子ヘルシークッキング教室の開催不可であったため） ④自殺予防の周知啓発・講演会の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	1,231	△ 90	1,141	1,231	1,231

事務事業名	市民の健康づくり対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	健康なると21推進ワークショップは、コロナ対策のため書面開催となったものの後期アクションプランおよび自殺予防対策について、市や関係団体の取組について情報提供や意見交換を行うことができた。また、食育推進のための食ネット通信の発刊を継続することができた。 ヘルスメイトの地域での活動は、コロナ禍のため依頼数は前年度より減少するものの、感染予防対策をしながら実施した。特に、令和2年～令和3年にかけては調理実習を中止していたが、持ち帰り弁当としたことで調理実習を再開することができた。 自殺予防対策として、相談窓口一覧リーフレットを作成し、庁内・関係機関に配布した。また市内量販店でのキャンペーンや強化月間での掲示物の庁内展示などを継続実施し広報や啓発に努めた。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ヘルスメイトの地域での活動回数	9	6	13	13	13	回
	2	ワークショップの参加者数	20	25	25	25	25	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ヘルスメイトの数	23	23	23	23	23	人
		目標達成率(実績/目標)		76.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,049,842	0	979,166	0	979,166
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	422,000	0	357,000	0	357,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	627,842	0	622,166	0	622,166

補助制度（名称、補助率など）	健康増進事業費補助金（補助率2／3） 地域自殺対策緊急強化事業費補助金（補助率1／2）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	ヘルスメイトの数	
	目標	30	人
	実績	23	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	来年度は第三期健康増進計画の作成年度となっているため、国の指針に基づき市の計画の見直しが必要であると考える。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	次期健康なると21（第三次）計画作成に合わせ、計画方針に沿った指標の見直し等が必要である。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	次期健康なると21（第三次）及び鳴門市自殺対策計画の策定
	令和6年度	次期健康なると21（第三次）及び鳴門市自殺対策計画に沿った事業の推進

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.46

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	がん検診事業	担当部署	健康福祉部　健康増進課
総合計画体系				根拠法令計画など	健康増進法、がん対策基本法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		事業期間 開始	昭和　57　年度
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進		終期	未定
基本事業	2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民のがん検診の受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発を行い、健康の保持及び増進につなげる。	事業内容（R4）	①かかりつけ医や地縁団体、商工会等を通じた受診勧奨リーフレットの配布 ②子宮頸がん・乳がんの検診無料クーポン券を配布。 ③節目年齢や継続受診のない方へ個別通知による受診勧奨。 ④特定健診との同日実施や、介護予防事業開催に合わせたがん検診の実施。 ⑤尿中ピロリ菌検査やメッセージカード作成の機会を捉え、中学生またはその保護者に向けた啓発と受診勧奨
実施方針	①かかりつけ医や関係機関と連携した受診勧奨 ②無料クーポン券の配布 ③個別通知による受診勧奨 ④受診の利便性を図る ⑤中学生またはその保護者への啓発・受診勧奨		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	がん検診受診者数(計)	2,935	2,470	3,500	3,500	3,501	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	各がん検診受診率の平均		3.9	1.8	5.0	5.0	5.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①節目年齢の方への検診受診勧奨通知の発送 ②特定の年齢の方に子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンの発送。 ③検診未受診者への受診勧奨通知の発送 ④医療機関や商工会等と連携し、啓発用リーフレットの配布を行う。	①節目年齢の方への検診受診勧奨通知の発送 ②特定の年齢の方に子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンの発送。 ③検診未受診者への受診勧奨通知の発送 ④医療機関や商工会等と連携し、啓発用リーフレットの配布を行う。 ⑤テレビ広報を通じてのがん検診受診勧奨の実施。	①節目年齢の方への検診受診勧奨通知の発送 ②特定の年齢の方に子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポンの発送。 ③検診未受診者への受診勧奨通知の発送 ④医療機関や商工会等と連携し、啓発用リーフレットの配布を行う。 ⑤テレビ広報を通じてのがん検診受診勧奨の実施。	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	22,961	△ 837	22,124	23,000	23,000

事務事業名	がん検診事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①かかりつけ医や地縁団体、商工会等を通じた受診勧奨リーフレットの配布 ②子宮頸がん・乳がんの検診無料クーポン券を配布 ③節目年齢や継続受診のない方へ個別通知による受診勧奨 ④特定健診との同日実施や、がん検診と健康相談の同時実施 ⑤中学2年生を対象とした尿中ピロリ菌検査し、中学生またはその保護者に向けた啓発と受診勧奨

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	がん検診受診者数(計)	3,517	4,053	3,500	3500	3,500	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		各がん検診受診率の平均	3.98	4.6	5.0	5.0	5.0	%
		目標達成率(実績/目標)		92.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		18,861,765	0	21,919,417	0	21,919,417
	財源内訳	国庫支出金	74,000	0	87,000	0	87,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	255,600	0	244,200	0	244,200
		一般財源	18,532,165	0	21,588,217	0	21,588,217

補助制度（名称、補助率など）	感染症予防事業費等国庫負担金(補助率1/2)

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	各がん検診受診率の平均	
	目標	5.0	%
	実績	4.6	%
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見
新型コロナウイルス感染症の拡大に留意しながら検診を実施することができた。また、委託検診の実施期間を通年にすることで受診の機会を拡大することができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に留意しながら計画通り集団がん検診を実施することができ、委託検診の実施期間を通年にしたことで受診者数は前年度より増加した。しかし、各がん検診の受診率は県内では下位であり、さらなる受診率向上に向けて、関係機関との連携強化や受診勧奨個別通知対象年齢等の見直しが必要である。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	前年度に続き委託検診（胃がん・大腸がん等）の実施期間を通年実施とし、子宮がん・乳がん検診の無料クーポン券の利用期間を12月末から3月末までに拡大する。また、HPV－DNA検査対象者全員に子宮頸がん検診票及びHPV－DNA検査受診券を送付し、受診者数の増加を図る。さらに、前年度までの受診勧奨対象者に加え、退職後に検診受診の機会が減ると考えられる65歳にも個別の勧奨通知を行う。
	令和6年度	がん検診の受診者数や受診率の状況をみながら、令和5年度同様に進めていく。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.47

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子育て世代支援事業 （鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業）	担当部署	健康福祉部　健康増進課
総合計画体系				根拠法令計画など	母子保健法、子ども子育て支援法 児童福祉法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		事業期間 開始	平成　27　年度
（小項目）		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進		終期	未定
基本事業	2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	妊娠期から就学前まで切れ目なく母子保健や育児などに関する総合的な相談や支援を一体的に行う拠点として、関係機関と連携を図りながら子育て支援を行うことにより、母親の不安や負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てることのできるまちづくりをめざす。	事業内容（R4）	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による来所、電話、訪問、オンライン相談及び臨床心理士による相談支援 ②妊産婦健診などの費用助成 ・妊婦一般健康診査費用助成（14回） ・多胎妊婦に対する超音波検査費用追加助成（2回） ・多胎妊婦に対する健康診査費用助成（5回） ・産婦健診（産後2週間・産後1か月）費用助成（2回） ・低所得者に対する妊娠初期検査費用助成（2回/年） ③心身の不調等支援の必要な妊産婦への取り組み ・産前・産後ヘルパー派遣事業 ・産後ケア事業（産後デイサービス・産後ショートステイ）
実施方針	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による相談・支援を充実し、不安・負担の軽減を図る。 ②妊婦健診、産婦健診、多胎妊婦超音波検査費用などを助成し妊産婦の健康管理と負担軽減を図る。 ③心身の不調等により支援の必要な妊産婦に対して、産前・産後ヘルパー派遣事業や産後ケア事業の利用を促し、不安・負担の軽減を図る。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子育て世代包括支援センター利用者数	1,351	1300	1330	1360	1390	人
	2	関係機関との連絡調整回数	18	20	20	20	20	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	鳴門市で子育てをしたい人の割合		94.9	94.7	94.8	94.8	95.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による相談・支援 ②妊産婦健診等の費用助成 ③産前・産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による相談・支援 ②妊産婦健診等の費用助成 ③産前・産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による相談・支援 ②妊産婦健診等の費用助成 ③産前・産後ヘルパー派遣事業、産後ケア事業	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	49,203	48,605	97,808	49,203	49,203

事務事業名	子育て世代支援事業 （鳴門市版ネウボラ及び妊産婦健康診査事業）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①母子保健コーディネーター（保健師及び助産師）による来所、電話、訪問相談・支援 ②妊産婦健診などの費用助成 ・妊婦一般健康診査費用助成（14回） ・多胎妊婦に対する超音波検査費用追加助成（2回） ・産婦健診（産後2週間・産後1か月）費用助成（2回） ③心身の不調等支援の必要な妊産婦への取り組み ・産前・産後ヘルパー派遣事業 ・産後ケア事業（産後デイサービス・産後ショートステイ） ・心理士による相談 ④マタニティー教室(妊娠中の健康管理や出産育児の不安を軽減し子育てできるよう助産師・保健師・管理栄養士による具体的な関わり方等の実践指導) ⑤マタニティ相談（妊娠中期・後期相談）

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子育て世代包括支援センター利用者数	1,406	1,915	1,800	1,800	1,800	人
	2	関係機関との連絡調整回数	11	21	20	20	20	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		鳴門市で子育てをしたい人の割合	95	92	93	94	95	%
		目標達成率(実績/目標)		97.0	－	－	0	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		36,981,515	0	68,427,431	15,574,450	84,001,881
	財源内訳	国庫支出金	6,227,000	0	21,708,000	10,382,000	32,090,000
		県支出金	953,000	0	6,573,000	2,595,000	9,168,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	29,801,515	0	40,146,431	2,597,450	42,743,881
補助制度（名称、補助率など）			子ども・子育て支援交付金（2／3・1／3補助） 多様な子育て支援推進交付金（1／6・1／3補助） 母子保健衛生費国庫補助金（1／2補助）				

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市で子育てをしたい人の割合		成果指標に対する所見	子育て世代包括支援推進協議会や医療機関など関係機関との連携を図った。 要支援者に対する支援の方向性（時期や方法）に関する協議、支援計画を作成し進捗管理を行いながら、継続して支援を行う体制づくりを進めた。
	目標	95	%		
	実績	92	%		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題		前年度に引き続き関係機関と情報共有・連携を行いながら、情報発信の場としての機能が果たせるよう、地域の公私サービスを含めた情報の掘り起こしを行う。また妊娠届出の電子化や産後ケア事業の拡大など、国が示す子育て支援施策をもとに、市の課題との突合を行い、実際の子育て環境で生じる市の状況に応じた事業の見直しを行う。
今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善　☑ 3.現状維持　☐ 4.現状維持(新型コロナ)　☐ 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和5年度	令和4年度事業の継続　妊娠届出電子申請の整備　産後ケア事業の拡大
	令和6年度	継続

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.48

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子どもの発達支援事業	担当部署	健康福祉部　健康増進課
総合計画体系				根拠法令計画など	母子保健法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間 開始	平成　22　年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると			
(小項目)		保健・医療		終期	年度
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	子どもの健やかな成長・発達を支援するため、子どもへの継続的な支援体制の整備や保護者への啓発を行う。
実施方針	①子どもの発達支援及び保護者の育児支援のため心理士等による保護者相談を実施し子どもの発達特性や対応方法を知ることで不安の軽減を図り、適切な対応行動につなげる。 ②保育所・幼稚園・認定こども園等と連携して就学に向けて支援する。
事業内容（R4）	①保護者相談 ・行動観察や発達検査に基づく臨床心理士等による個別相談の実施 ・2回目相談において必要児に発達検査（K-ABC）の実施 ②保育所・幼稚園・認定こども園等との連携 ・幼稚園等へ事業説明の実施 ・幼稚園等での集団生活の問診票などの作成 ・幼稚園等へ相談結果のフィードバック

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どもの発達支援事業実施回数	7	4	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	事業参加者数		87	60	60	60	60	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①保護者相談、2回目相談必要児に発達検査（K-ABC）の実施 ②保育所・幼稚園等との連携	①保護者相談、2回目相談必要児に発達検査（K-ABC）の実施 ②保育所・幼稚園等との連携	①保護者相談、2回目相談必要児に発達検査（K-ABC）の実施 ②保育所・幼稚園等との連携	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	1,298		1,298	1,298	1,298

事務事業名	子どもの発達支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	対象年齢となる全ての保護者へ事業案内を通知した。 実施内容として、保育所等通所先からの対象者の問診票の提出及び集団場面での行動観察や個別の発達検査を実施し、心理士による個別相談を行うことで、保護者が子どもの発達段階や特性を知ることができ、発達特性に応じた育児ができるよう支援した。 また保育所や幼稚園等の関係機関と情報共有を行い、連携して継続的な支援が実施できるよう努めている。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どもの発達支援事業実施回数	4	4	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		事業参加者数	80	98	100	100	100	人
		目標達成率(実績/目標)		163.3	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		873,198	0	1,196,800	0	1,196,800
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	873,198	0	1,196,800	0	1,196,800
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	事業参加者数	
	目標	60	人
	実績	98	人
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	事業参加者の9割以上が詳細な発達検査や相談など継続した支援が望ましいとの結果がでており、うち希望者には事後の発達検査や相談など継続し支援を行っていることからも成果があったと考える。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和4年度の事業参加者のうち、9割以上の者が詳細な発達検査や事後の相談など継続した支援が望ましいと判断されており、市の詳細な発達検査及び相談を希望される参加者には、今後も相談事業等による継続した支援を行う必要がある。 令和5年度についても、現在の対象年齢による事業を継続し、就学に向けての支援・準備期間をより長く確保することが望ましい。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	今後も現在の対象年齢による事業実施を継続し、就学に向けての支援・準備期間をより長く確保する。
	令和6年度	継続

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.49

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	救急医療対策事業	担当部署	健康福祉部　健康増進課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市救急医療対策事業補助金交付要綱
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		事業期間 開始	昭和　52　年度
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進		終期	年度
基本事業	4	地域医療の確保			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民が安心できる地域医療体制を確保する。
実施方針	①夜間休日当番医制度の維持 ②二次救急・小児救急医療体制の確保 ③関係者会議の実施 ④適正医療に関する啓発
事業内容（R4）	①救急医療の適正利用に関する啓発を消防予防課や医師会と連携して実施する。また、啓発活動として、出生届時等に小児救急に関するリーフレット等の配布及び子育て世代へ向けた「防災ハンドブック」を配布する。 ②医師会等関係機関と協議しながら、災害時、候補地となる医療救護所の体制整備や感染症予防対策を行う。 ③医療救護資機材点検及び妊産婦乳児医療救護所の分娩・処置セットの点検を行う。

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標（実施した事業の活動量を示す指標）	1	啓発活動（出前講座・広報等）	3	3	3	3	3	回
	2							
成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	救急搬送の軽度の方の割合（低いほど適切な救急の利用となる）		37	36	35	35	35	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	①救急医療の適正利用に係る啓発 ②関係者会議の実施 ③医療救護所資機材の点検	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	14,036	22,670	36,706	14,036	14,036

事務事業名	救急医療対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①救急医療の適正利用に関する啓発、子育て世代へ小児救急電話相談（＃8000）及び「防災ハンドブック」の配布等、小児救急について周知した。 ②子どもの事故防止に関する冊子の配布や子育て世代包括支援センターでの展示、広報誌及び市公式ウェブサイトによる啓発を行った。 ③災害時、候補地となる医療救護所の資機材及び妊産婦乳児医療救護所の分娩・処置セットの点検・補充を行った。 ④地域医療の関係者会議である「鳴門市医療懇話会」を開催し、円滑な医療提供体制について情報提供、依頼を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	啓発活動（出前講座・広報等）	3	1	3	3	3	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		救急搬送の軽度の方の割合 （低いほど適切な救急の利用となる）	40	43	40	35	35	%
		目標達成率(実績/目標)		82.2	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		13,978,731	0	32,841,112	0	32,841,112
	財源内訳	国庫支出金	0	0	18,830,000	0	18,830,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	13,978,731	0	14,011,112	0	14,011,112

補助制度（名称、補助率など）	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	救急搬送の軽度の方の割合（低いほど適切な救急の利用となる）	
	目標	35	%
	実績	43	%
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	目標の達成には至らなかったが、救急医療体制の維持に必要な対応はできており、地域医療に関する情報提供により救急車の適正利用や適正受診の推進を図る必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市民の安心・安全を守るために救急医療対策事業を継続していくことは重要である。夜間・休日在宅当番医制度の存続に関しては、地域の開業医の高齢化等の問題もあり、可能な限り現状を維持できるよう、引き続き市医師会と協議を進めていくことが必要である。災害時医療救護所の開設・運営や設置訓練についても、引き続き医師会等関係団体と協議し連携していくこととする。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	①啓発資料や広報誌および公式ウエブサイト等により、救急医療の適正利用に関する啓発を実施する。 ②医師会等関係機関と協議し、災害時医療救護所や感染症対策について体制を整備する。 ③医療救護資機材の点検を行う。
	令和6年度	継続して医療機関と連携し、救急医療対策事業を実施。

#REF!

事業No.50

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域医療連携強化事業	担当部署	健康福祉部　健康増進課

総合計画体系			根拠法令計画など	鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり				
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始	平成	29 年度
(小項目)		保健・医療				
施策	7	健康・医療対策の推進		終期	未定	
基本事業	4	医療の充実				

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要(PLAN)

目的	「鳴門市健康づくりの推進と地域の医療を守り育む条例」を広く市民に対して周知・啓発を行うことにより、市民の健康度の向上や地域医療に対する理解を深める。	#REF!	①広報等での特集コラムの掲載や、出前講座等にて条例の推進についてより広く市民に周知する。 ②医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会及び市の施策の検討、連絡・調整を行う庁内推進会議を開催する。 ③鳴門病院との連携事業(市民向け実践講座)については、テーマや開催時期について協議を行い実施する。
実施方針	①条例の推進についての周知 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の運営 ③鳴門病院との連携事業の継続実施		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民向け実践講座	0	1	1	1	1	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	連携事業の参加者数		0	100	150	150	150	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施(予定)内容	①広報紙コラム記事の掲載 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の開催 ③徳島県鳴門病院連携事業(市民公開講座)の開催	①広報紙コラム記事の掲載 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の開催 ③徳島県鳴門病院連携事業(市民公開講座)の開催	①広報紙コラム記事の掲載 ②条例推進協議会及び庁内推進会議の開催 ③徳島県鳴門病院連携事業(市民公開講座)の開催	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移 (千円)	23,653	△ 22,997	656	32,653	40,653

事務事業名	地域医療連携強化事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①条例の進捗状況の把握のため、市民の健康づくりに関する取組調査を実施。 ②医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会及び市の施策の検討、連絡・調整を行う庁内推進会議を開催 ③鳴門病院との連携事業（市民向け実践講座）の実施

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民向け実践講座	0	1	1	1	1	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		連携事業の参加者数	0	100	150	150	150	人
		目標達成率(実績/目標)		66.7	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		150,007,000	3,055,000	188,802	0	3,243,802
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	15,000,000	0	0	0	0
		一般財源	135,007,000	3,055,000	188,802	0	3,243,802

補助制度（名称、補助率など）	骨髄移植ドナー助成事業補助金　（補助率1/2）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	連携事業の参加者数		成果指標に対する所見	コロナ感染症の動向を見ながらの開催であったが、100人を定員として開催したところ、定員を満たす参加があり、コロナ感染症流行以前とほぼ同様に開催することができた。
	目標	150	人		
	実績	100	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門病院との連携事業については、テーマや開催時期によって参加人数にバラつきがあるが、市民の健康意識の向上と知識の習得に向けて、継続実施が必要と考える。 条例の推進については、推進協議会、庁内会議、健康なると21推進ワークショップと協議内容について共有しながら進めていく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	条例の推進については、出前講座等にてより広く市民に周知する。また、医療・保健・福祉・介護等関係団体の代表者、市民委員等で構成する協議会の運営を行う。 鳴門病院との連携事業（市民向け実践講座）については、テーマや開催時期について協議を行い継続実施とする。また、広報誌にて鳴門病院より健康づくりに関するコラムの掲載など連携して情報発信を行う。
	令和6年度	継続

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.51

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	高齢者無料バス優待事業	担当部署	健康福祉部　長寿介護課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市高齢者等無料バス優待券の交付等に関する条例
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で　生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始	昭和　49　年度
(小項目)		高齢者福祉			
施策	4	高齢者福祉の推進		終期	未定
基本事業	1	生きがいと健康づくりの推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	日常生活において、交通弱者である高齢者の移動手段を確保することにより、生活圏の拡大を図り、閉じこもりの防止や社会活動参加の機会の増加を促し、高齢者の生きがいや健康づくりに役立てる。	事業内容（R4）	①高齢者の移動手段の確保 鳴門市に住民登録を行っている満70歳以上の希望者に対し無料バス優待券を交付する。 ②実施状況、利用状況の把握 7月と10月に利用者数の調査を行い、利用状況の把握に努める。
実施方針	①高齢者の移動手段を確保する ②実施状況、利用状況を把握する		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	鳴門市高齢者等無料バス券発行件数		229	200	240	240	240	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施	①市内バス路線における無料優待券の交付 ②7月10月に利用者数の調査を実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	6,225		6,225	6,539	6,539

事務事業名	高齢者無料バス優待事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①高齢者の移動手段の確保 ・市内バス路線における無料優待券の交付 ②実施状況、利用状況の把握 ・7月10月に利用者数の調査を実施 ③高齢者無料バス券のオンライン申請の開始 ・令和4年度より、新たに高齢者無料バス券のオンライン申請を開始

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		鳴門市高齢者等無料バス券発行件数	203	216	240	240	240	件
		目標達成率(実績/目標)		90.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		5,901,700	0	6,099,940	0	6,099,940
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,901,700	0	6,099,940	0	6,099,940

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	鳴門市高齢者等無料バス券発行件数	
	目標	240	件
	実績	216	件
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新たに216人の方に無料バス優待券を交付し、高齢者の移動手段の確保に繋げることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	引き続き実態を把握したうえで、必要に応じて本事業の評価・検討を行う必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	年2回の利用状況調査を行い事業の実施状況の把握等に努める。
	令和6年度	同上

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.52

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）	担当部署	健康福祉部　長寿介護課		
総合計画体系				根拠法令計画など	介護保険法第115条の45		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間	開始	平成　18　年度	
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると					
（小項目）		社会保障			終期	未定	
施策	10	介護保険制度の円滑な実施					
基本事業	4	介護予防・日常生活支援総合事業の推進					

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	高齢になっても一人ひとりの市民が地域において自立した日常生活が営めるよう、介護予防・日常生活支援総合事業を実施し健康状態の維持・増進、介護予防に努める。	事業内容（R4）	①介護予防・生活支援サービス事業の推進 多職種連携による介護予防の取り組みを推進する。 ②効果的な介護予防事業の展開 住民主体の通いの場である「いきいきサロン」の開設及びサロン活動の活性化を支援する。 シニア向けスマートフォン教室や新たにデータに基づく介護予防推進事業を実施するなど、効果的な介護予防事業の充実を図る。 ③鳴門市版フレイル予防の推進 フレイルサポーターの養成を行うとともに、フレイルチェックや体成分分析装置による筋肉・栄養状態の分析、個別指導を行い、フレイル予防の推進を図る。
実施方針	①介護予防・生活支援サービス事業を推進する ②効果的な介護予防事業を展開する		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	介護予防事業参加者（サロン・教室）	1,492	1,217	1,500	1,500	1,500	人
	2	介護予防に資するリーダー養成者数（累計）	110	160	240	285	300	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	要介護（要支援）認定率を20%以内にする		18.8	18.8	19.0	19.0	19.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいきサロンの開設・運営支援の充実	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいきサロンの開設・運営支援の充実 ③「上級リーダー」の養成 ④フレイル（虚弱高齢者）予防の推進	①総合事業の充実や普及啓発 ②いきいきサロンの開設・運営支援の充実 ③「上級リーダー」の養成 ④フレイル（虚弱高齢者）予防の推進 ⑤データに基づく介護予防推進事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	224,022	167	224,189	224,022	224,022

事務事業名	地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①多職種と連携して介護予防・日常生活支援総合事業の充実化を図った。 ②新規開設3か所を含む市内56か所のいきいきサロンに対して、専門職等の派遣、栄養士による講座を行うなど活動を支援した。また、医療・介護・健診結果等のデータ分析を行うとともに、前期高齢者の介護予防事業への参加促進を図るため、オンラインを活用した介護予防事業を実施した。 ③全てのいきいきサロンにてフレイルチェックや体成分分析装置を用いてハイリスクアプローチ対象者を抽出し、専門職による個別アプローチを行い、フレイル予防の推進を図った。

の			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	介護予防事業参加者（サロン・教室）	1,217	1,549	1,600	1600	1,600	人
	2	介護予防に資するリーダー養成者数（累計）	160	160	285	300	315	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		要介護（要支援）認定率を20%以内にする	18.8	18.8	19.0	19.0	19.0	%
		目標達成率(実績/目標)		101.1	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		184,265,175	0	192,295,055	0	192,295,055
	財源内訳	国庫支出金	80,619,200	0	86,953,600	0	86,953,600
		県支出金	27,820,125	0	27,947,875	0	27,947,875
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	52,847,616	0	53,382,649	0	53,382,649
		一般財源	22,978,234	0	24,010,931	0	24,010,931

補助制度（名称、補助率など）	地域支援事業費（介護予防事業費） 保険者機能強化推進交付金定額、保険者努力支援推進交付金　定額 国費25%,県費12.5%,社会保険診療報酬支払基金27%,第1号被保険者保険料23%,一般財源12.5%

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	要介護（要支援）認定率を20%以内にする	成果指標に対する所見	全体的な数値は達成できているが、より効果的な予防活動の実施、方法等について検討し実施する必要がある。
	目標	19.0 %		
	実績	18.8 %		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	介護予防事業やいきいきサロンでの活動を通して、社会参加を促し、フレイル予防のための支援を行う。 後期高齢者が参加者の主であることから、今後は前期高齢者の参加を促し、運動習慣をつけること等により、健康寿命の延伸を図る必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	いきいきサロン参加者に対して、フレイルチェック等を実施し、リハビリテーション専門職を始めとする多職種からの支援を行うことにより、活動を活性化するとともに、フレイルの傾向が見られた方へ早期にアプローチを行う。 前期高齢者の介護予防への参加を促す事業の展開や生活習慣病を起因とした要介護認定の増加傾向に対応した介護予防教室を実施する。
	令和6年度	引き続き、介護予防事業の推進に取り組む。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.53

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域支援事業 （包括的支援事業及び任意事業）	担当部署	健康福祉部　長寿介護課
総合計画体系				根拠法令計画など	介護保険法第115条の45
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間 開始	平成　18　年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると			
（小項目）	＼	社会保障		終期	未定
施策	10	介護保険制度の円滑な実施			
基本事業	5	包括的支援事業及び任意事業の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	高齢になり介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域において自立した生活を継続できるよう、多様な主体が様々なサービスやサポートを提供する「地域包括ケアシステム」の構築を図る。
実施方針	第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、医療関係者や介護サービス事業所、地域包括支援センター、行政など、各機関が連携し高齢者を支え合う仕組みづくりを推進する。

事業内容（R4）

①地域包括支援センターの機能強化への支援
②生活支援体制整備事業の推進
③在宅医療・介護連携推進事業の推進
④認知症施策の推進
⑤地域ケア推進事業
⑥権利擁護・成年後見制度の利用促進

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	医療・介護関係者研修会の開催	5	2	4	4	4	回
	2	SOSメール配信登録者数	841	1,100	1,600	2,000	2,100	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	総合相談件数 （市の総合相談窓口＋地域包括支援センター）		1,798	1,600	1,600	1,600	1,600	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①2層協議体への運営支援及び新たな協議体設置に向けた取り組みの推進 ②地域の医療・介護関係者の連携推進 ③SOSネットワーク協力者等の拡大に向けての制度の周知・啓発	①2層協議体への運営支援及び新たな協議体設置に向けた取り組みの推進 ②地域の医療・介護関係者の連携推進 ③SOSネットワーク協力者等の拡大に向けての制度の周知・啓発	①2層協議体への運営支援及び新たな協議体設置に向けた取り組みの推進 ②地域の医療・介護関係者の連携推進 ③SOSネットワーク協力者等の拡大に向けての制度の周知・啓発	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	132,315	△ 167	132,148	132,315	132,315

事務事業名	地域支援事業 （包括的支援事業及び任意事業）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①地域包括支援センターの機能強化にかかる支援を行った。 ②生活支援コーディネーターを中心に、有償ボランティア（暮らしのサポーター）による生活支援サービスを実施した。また、「いきいき先生」にて生活支援体制整備事業の周知を図った。 ③在宅医療・介護連携推進事業を推進するため、多職種研修会等を実施した。 ④地域包括支援センター圏域にて、一般市民向け認知症サポーター養成講座を開催する等、サポーター養成を行った。 ⑤高齢者の抱える様々な問題の解決に向け、関係者等が対策を検討する地域ケア推進会議を開催した。 ⑥成年後見制度の利用促進を図るため、市広報等により相談窓口の周知を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	医療・介護関係者研修会の開催	1	1	4	4	4	回
	2	SOSメール配信登録者数	1,030	1254	2000	2100	2200	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		総合相談件数 （市の総合相談窓口＋地域包括支援センター）	1,632	1,691	1,750	1,750	1,750	件
		目標達成率(実績/目標)		105.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		114,467,510	0	105,582,980	0	105,582,980
	財源内訳	国庫支出金	57,978,695	0	50,908,935	0	50,908,935
		県支出金	26,489,347	0	25,454,467	0	25,454,467
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	7,972,211	0	8,909,254	0	8,909,254
		一般財源	22,027,257	0	20,310,324	0	20,310,324

補助制度（名称、補助率など）	地域支援事業費（包括的支援事業及び任意事業） 国費38.5%、県費19.25%、第1号被保険者保険料23%、一般財源19.25%

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	総合相談件数(市の総合相談窓口＋地域包括支援センター)	
	目標	1,600	件
	実績	1,691	件
	評価	A:目標を達成できた	
成果指標に対する所見		高齢者等の問題解決につながるよう、市相談窓口や地域包括支援センターの周知を行った。今後も、周知を継続していく。	

◎今後の方向性(ACTION)

課題	生活支援体制整備事業では、暮らしのサポーターによる生活支援サービスにおいて、利用希望者とサービスのマッチングが課題となっているため、活動に対する継続的な支援が必要である。また、コロナ禍の影響により、各事業における研修会や講座の開催が困難な状況が続いていたため、コロナ禍後の状況を見極めつつ、開催に向けて取り組む必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	各暮らしのサポーターにおける生活支援サービスの充実を図るため、担い手の養成や活動の周知啓発等の支援を行うとともに、暮らしのサポーターの活性化を図る。また、アフターコロナの状況を踏まえつつ、在宅医療・介護連携推進事業などの各種研修会や講座の開催に向けて、取り組んでいく必要がある。
	令和6年度	引き続き、包括的支援事業及び任意事業の推進に取り組む。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.54

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	避難行動要支援者登録制度推進事業	担当部署	健康福祉部　長寿介護課 健康福祉部　社会福祉課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適　住み良い　まちづくり		災害対策基本法	
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　24　年度
（小項目）		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	2	危機管理・防災体制の強化			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	自ら避難することが困難な者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、避難行動要支援者の把握に努める。また、支援を希望する避難行動要支援者の個別避難計画を作成するなど、避難支援者及び地域支援機関と連携し避難行動時の支援体制づくりを推進する。	事業内容（R4）	①避難行動要支援者名簿の作成及び更新 年5回の名簿作成及び随時の異動に伴う追加や削除等を行う。 ②個別避難計画の作成及び更新 新たに要介護3以上となった方など、対象候補者に対して、制度の案内などを送付する。また、申請者にかかる個別避難計画の作成を行うとともに更新作業を行う。 ③避難支援体制の整備
実施方針	①避難行動要支援者名簿の作成及び更新を行う ②個別避難計画の作成及び更新を行う ③避難支援体制の整備を推進する		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	申請者数	2,726	2,700	2,700	2,700	2,700	人
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	個別避難計画作成件数	2,268	2,250	2,280	2,330	2,380	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成・更新 ②地域支援機関（各民生委員）における情報提供内容の整理 ③広報による制度周知	①避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成・更新 ②地域支援機関（各民生委員）における情報提供内容の整理 ③広報による制度周知	①避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成・更新 ②地域支援機関（各民生委員）における情報提供内容の整理 ③広報による制度周知	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	1,307		1,307	1,307	1,307

事務事業名	避難行動要支援者登録制度推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	避難行動要支援者登録や個別避難計画の作成及び更新を行うとともに、制度の理解を深めていただき、必要とされている方が申請しやすい環境整備を継続して行った。また、広報等で制度周知を行い、民生委員児童委員へ説明を行ったほか、周知用チラシを介護保険被保険者証送付時に同封することで市民啓発等を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	申請者数	2,124	1,932	2,700	2700	2,700	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		個別避難計画作成件数	550	510	2,330	2,380	2,430	件
		目標達成率(実績/目標)		22.4	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,286,925	0	1,012,502	0	1,012,502
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,286,925	0	1,012,502	0	1,012,502

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	個別避難計画作成件数	成果指標に対する所見	個別避難計画作成件数は目標には届かなかったが、対象者通知、個別避難計画作成、支援機関への情報提供等、予定していた事務については、計画どおり実施できた。（申請者1,932人中、個別避難計画作成1,920件、令和3年度に改正された災害対策基本法に準じて記載された個別避難計画作成510件となっている。）
	目標	2,280　件		
	実績	510　件		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①避難支援者確保の推進 ②要支援者と避難支援等関係者の連携による防災訓練等の実施 ③登録された個別避難計画の内容の更新

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	災害時等において、より実効性のある避難計画とするため避難支援者の確保に努め、実情に応じた避難行動要支援者名簿登録や個別避難計画の作成及び更新に取り組む。また、関係する機関等へ当該制度の周知を図る。
	令和6年度	同上

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.55

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権啓発推進事業	担当部署	健康福祉部　人権推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市人権条例、鳴門市男女行動計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間 開始	平成　6　年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると			
（小項目）	＼	人権		終期	未定
施策	1	人権の尊重			
基本事業	1	人権行政の推進			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「人権」に関して理解と認識を進めることで、人権侵害や差別問題を解決し、市民と行政が一体となって、互いに助け合い、支え合い、誰もが安心して暮らせる人権のまちづくりを進めていく。	事業内容（R4）	①第29回鳴門市人権セミナー（計2回） ②人権の花運動 ③人権スポーツ事業 ④人権フェスティバル ⑤パートナーシップ宣誓制度事業
実施方針	国の人権啓発活動地方委託金を活用した、人権セミナーや人権の花運動、人権スポーツ事業、人権フェスティバル等、各種人権啓発事業を実施し、人権意識の高揚や人権課題への理解促進を図る。		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権セミナー開催回数	1	3	2	2	2	回
	2	人権フェスティバル参加者数	－	0	5,000	5,000	5,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		人権啓発イベント参加者アンケートで、イベント内容について「大変満足」「おおむね満足」と回答した割合	94	90	90	90	90	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③人権スポーツ事業の実施	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③人権スポーツ事業の実施 ④人権フェスティバルの実施 ⑤パートナーシップ宣誓制度事業の実施	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③人権スポーツ事業の実施 ④人権フェスティバルの実施 ⑤パートナーシップ宣誓制度事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,760	△ 1,784	976	2,760	2,760

事務事業名	人権啓発推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①部落差別とDVをテーマとした人権セミナーを計2回実施した。 ②人権の花運動は、第二中学校区の林崎小学校・里浦小学校の児童を対象として実施した。 ③総合型地域スポーツクラブと連携して、鳴門西小学校の児童を対象とした人権スポーツ事業を実施し、幼少期からの人権に対する意識啓発を行った。 ④鳴門市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を令和4年6月1日に導入した。その周知啓発のためにレインボーフラッグを作成し、各関係窓口に設置した。また、多様性を認め合う共生社会の実現をめざすため、性的マイノリティに関する電話相談を開始した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権セミナー開催回数	1	2	2	2	2	回
	2	人権フェスティバル参加者数	ー	ー	5000	5000	5000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		人権啓発イベント参加者アンケートで、イベント内容について「大変満足」「おおむね満足」と回答した割合	100	85	90	90	90	%
		目標達成率(実績/目標)		94.4	ー	ー	ー	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		303,280	0	804,884	0	804,884
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	295,000	0	482,000	0	482,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8,280	0	322,884	0	322,884

補助制度（名称、補助率など）	人権啓発活動地方委託事業（10／10）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	人権啓発イベント参加者アンケートで、イベント内容について「大変満足」「おおむね満足」と回答した割合	
	目標	90	%
	実績	85	%
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	水平社創立100周年など、注目されている人権課題をテーマとして人権セミナーを実施したことで、概ね目標を達成することができた。引き続き、参加者が関心を持てる人権セミナーとなるよう情勢に合わせた人権課題をテーマとして実施する。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	魅力ある人権セミナーを開催するために、市民が身近に感じられ、関心を持つことができるテーマを設定するなどして効果的かつ効率的に啓発を行う必要がある。引き続き、人権啓発活動事業委託金を活用し継続実施できるよう、他課やスポーツ関係団体等とも連携しながら、市民・子ども等に対する人権啓発活動の充実を図っていく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	引き続き、人権啓発活動地方委託金を活用し、現在注目されている人権課題をテーマに人権セミナーを開催するとともに、より多くの市民が参加できるように総合的な人権啓発活動として、人権フェスティバルの開催をめざす。 各種関係団体等と連携して、人権の花運動や人権スポーツ事業を実施するなど、市民等への啓発活動の充実を図る。
	令和6年度	人権セミナー・人権スポーツ事業・人権フェスティバル等を開催し、人権啓発に努める。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.56

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	男女共同参画推進事業	担当部署	健康福祉部　人権推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市男女共同参画推進条例 鳴門市男女行動計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		事業期間 開始	平成　13　年度
（小項目）		男女共同参画			
施策	2	男女共同参画社会の実現		終期	未定
基本事業	2	あらゆる分野での男女共同参画の実践			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	男女が、家庭、学校、職場、地域社会などあらゆる分野において、ともに参画し、責任を分かち合い、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現をめざす。	事業内容（R4）	①第3次鳴門市男女行動計画に基づく各種施策の着実な推進を図り、PDCAサイクルによる進捗状況管理を行う。 ②鳴門市男女共同参画推進条例や第3次鳴門市男女行動計画について、パンフレットや市公式ウェブサイト等を活用し周知啓発を行う。 ③人権フェスティバルにおいて、男女共同参画に関するイベントを実施し、第3次鳴門市男女行動計画等の周知を図る。
実施方針	①第3次鳴門市男女行動計画に基づき、各種施策の着実な推進を図る。 ②鳴門市男女共同参画推進条例や第3次鳴門市男女行動計画についての周知啓発を行う。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	条例・計画の周知啓発回数	10	10	10	10	10	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	条例・計画パンフレット等の配布数		870	2,345	1,000	1,000	1,000	冊

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①男女共同参画社会づくりのための周知啓発 ②第3次鳴門市男女行動計画の策定	①鳴門市男女行動計画に基づく施策の着実な推進 ②男女共同参画社会づくりのための周知啓発	①第3次鳴門市男女行動計画に基づく施策の着実な推進 ②男女共同参画社会づくりのための周知啓発	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	383		383	383	383

事務事業名	男女共同参画推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①第３次鳴門市男女行動計画に基づく各種施策について実施状況を確認し、現状や課題の把握に努めた。 ②男女共同参画推進条例や男女行動計画の説明パンフレットを活用し、各種イベント等で配布を行い男女共同参画の周知啓発を行った。 ③人権フェスティバルが中止となったため市公式ウェブサイトを通じて第3次男女行動計画等の周知を図った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	条例・計画の周知啓発回数	10	12	10	10	10	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		条例・計画パンフレット等の配布数	1,084	1,314	1,000	1,000	1,000	冊
		目標達成率(実績/目標)		131.4	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		188,527	0	206,192	0	206,192
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	188,527	0	206,192	0	206,192

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	条例・計画パンフレット等の配布数		成果指標に対する所見	はたちの記念式典、人権文化祭、人権セミナー等の機会に条例パンフレットを配布し、広く周知啓発を行った。また、市内小学校において6年生を対象として子ども用の条例パンフレットを配布して、啓発に努めた。
	目標	1,000	冊		
	実績	1,314	冊		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市男女共同参画推進条例の周知啓発、鳴門市男女行動計画による施策を推進することで、性別的役割分担意識をなくし、地域生活や職場において性差なく活躍できる男女共同参画社会の実現をめざす。 特に、審議会等や管理職の女性登用率向上を推進することで、政策・方針決定等の場での女性の活躍を図る。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	第３次鳴門市男女行動計画に基づき各種施策を推進する。 女性人材バンクへの登録や活用について啓発を行い、審議会等への女性登用率の増加を図る。
	令和6年度	第３次鳴門市男女行動計画に基づき各種施策を推進する。 女性人材バンクへの登録や活用について啓発を行い、審議会等への女性登用率の増加を図る。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.57

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	女性子ども支援事業	担当部署	健康福祉部　人権推進課
総合計画体系				根拠法令計画など	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、鳴門市男女共同参画推進条例、鳴門市男女行動計画、児童福祉法、児童虐待防止法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始	平成　13　年度
（小項目）		男女共同参画			
施策	2	男女共同参画社会の実現		終期	未定
基本事業	3	女性に対する暴力の防止・被害者支援の充実			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	DVおよび児童虐待問題について、問題の発生予防から被害者救済に至るまでの支援体制を確立することで安心・充実した市民生活を送れる社会の実現をめざす。	事業内容（R4）	①DVや児童虐待の救済と防止に向け、相談支援業務を継続して行う。 ②公認心理師によるカウンセリングを実施する。 ③スーパービジョンの開催により相談員の対応力向上を図り、問題解決への助言や支援を行う。 ④ケース会議等を通じて、関係機関と必要に応じた情報を共有する。 ⑤DVおよび児童虐待問題に関する意識啓発や、相談先の周知を図ることを目的として、市内の協力事業所にパンフレットを設置する。 ⑥若年者がDVの被害者及び加害者になることを防止するため、デートDVの予防啓発を行う。
実施方針	①女性子ども支援センター「ぱぁとなー」において、DV被害者支援および児童虐待対応の充実を図る。 ②DV防止及び児童虐待に関する相談窓口の周知啓発を行う。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	新規協力事業者数	5	3	5	5	5	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	協力事業者等数（延べ事業者数）		52	55	60	65	70	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援	DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援	DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	13,373		13,373	13,359	13,359

事務事業名	女性子ども支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①DVや児童虐待の救済と防止に向け、相談支援業務を継続して行った。 ②公認心理師によるカウンセリングを実施した。 ③スーパービジョンの開催により相談員の対応力向上を図り、問題解決への助言や支援を行った。 ④ケース会議等を通じて、関係機関と必要に応じた情報共有を行った。 ⑤DVおよび児童虐待問題に関する意識啓発や、相談先の周知を図ることを目的として、市内の協力事業所にパンフレットを設置した。 ⑥若年者がDVの被害者及び加害者になることを防止するため、デートDVの予防啓発に努めた。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	新規協力事業者数	3	5	5	5	5	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		協力事業者等数（延べ事業者数）	55	60	65	70	75	件
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		11,765,675	0	11,873,444	0	11,873,444
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	2,516,000	0	2,919,000	0	2,919,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	9,249,675	0	8,954,444	0	8,954,444

補助制度（名称、補助率など）	児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金 ・DV対策等総合支援事業費補助金（補助率5/10） ・児童虐待防止対策支援事業費補助金（補助率5/10）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	協力事業者等数（延べ事業者数）		成果指標に対する所見	女性子ども支援センターの情報パンフレット設置について協力依頼を行い、センターの周知に努めた。
	目標	60	件		
	実績	60	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	DV及び児童虐待の未然防止・早期発見のために、協力事業所へのパンフレットの設置を進めるなど啓発活動に努めるとともに、被害者を発見したときには、速やかに関係機関で協議し、早期対応を図る。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	DV及び児童虐待の早期発見のための啓発活動や相談先を広く周知するための広報活動を行う。 DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援を行う。
	令和6年度	DV及び児童虐待の早期発見のための啓発活動や相談先を広く周知するための広報活動を行う。 DV等被害者の相談業務の支援継続及び要保護児童対策地域協議会との連携による支援を行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.58

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権文化祭開催事業	担当部署	健康福祉部　人権推進課 人権福祉センター
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市人権条例・鳴門市隣保館条例
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		事業期間 開始	昭和　49　年度
（小項目）		人権			
施策	1	人権の尊重		終期	未定
基本事業	1	人権行政の推進			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	保育所・認定こども園・幼稚園・小・中・高等学校・社会福祉法人・NPO法人・市民等及び行政による人権問題に関する作品の展示や人権劇・講演会などを通じて、市民等に人権問題の存在とその解消に向けた取組みや人権尊重の大切さを訴えていくことにより、同和問題をはじめ、あらゆる人権問題が解消されるとともに人権が尊重されるまちづくりに取り組む。	**事業内容（R4）**	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会
実施方針	人権意識の普及・高揚を図る取り組みとして、第49回鳴門市人権文化祭を開催する。なお、毎年好評であったが、コロナウイルス感染症ため2年間休止であったが、小学生児童を対象にした同和カルタ大会を再開する。 　少子化に伴う展示作品数の減少が懸念されることから、社会福祉法人からの作品展示への参加について協力を継続要請するとともに、パワーポイントによる取組パネル作成と投影など負担軽減策を試行しながら、展示の維持と内容充実に努める。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権文化祭展示作品数	1,688	1,800	1,500	1,500	1,500	件
	2	人権文化祭記念講演会来場者数	80	100	150	170	170	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	人権文化祭来場者数		3,339	4,000	3,500	3,500	3,500	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会	①人権問題に関する取組パネルおよび人権に関する作品の展示 ②人権劇 ③講演会 ④同和カルタ大会	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**1,215**		**1,215**	**1,215**	**1,215**

事務事業名	人権文化祭開催事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	人権意識の普及・高揚を図る取り組みとして、第49回鳴門市人権文化祭を開催し、人権に関する作品等の展示やじんけんSCHOLA共同代表を講師に招き、記念講演会を行った。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、作品展示の減少及び記念講演会についても昨年度同様、入場制限を設けたことから減少となった。小学生児童を対象にした同和カルタ大会については中止としたが、人権劇をDVDによる上映にするなど工夫を講じた。また、取組パネルの作成については、外注により拡大印刷を行うなど、関係機関の負担軽減を図った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	人権文化祭展示作品数	2,101	1,644	1,500	1500	1,500	件
	2	人権文化祭記念講演会来場者数	80	66	150	170	170	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		人権文化祭来場者数	3,439	2,776	3,500	3,500	3,500	人
		目標達成率(実績/目標)		79.3	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		832,649	0	526,752	0	526,752
	財源内訳	国庫支出金	624,000	0	0	0	0
		県支出金	0	0	395,000	0	395,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	208,649	0	131,752	0	131,752

補助制度（名称、補助率など）	隣保館運営等事業費補助金（3／4）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	人権文化祭来場者数	
	目標	3,500	人
	実績	2,776	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見
昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策により、一部事業の中止や入場制限を設けた影響などから、目標に届かなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成28年12月に部落差別解消推進法が施行され、行政の責務が明確にされる中、差別落書きやインターネット、SNSでの悪質な誹謗中傷や悪意のある書き込み、障がい者問題などの既存の人権問題に加え、LGBTQへの差別といった新たな人権侵害が問題となっており、なお一層の人権教育・啓発が必要であることから、今後も人権文化祭開催事業を継続すべきである。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	青少年会館の移転により、人権福祉センターの展示スペースが減少するため、作品の展示方法など工夫をおこなう必要がある。 また、人権文化祭50回の節目となるため、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていたイベントを再開させるほか、新たなイベントなどを企画し、新事業を検討する。
	令和6年度	人権意識の普及・高揚を図るとともに、来場者数が維持できるよう、展示スペースの減少などに対応した令和5年度の反省点をもとに、イベント・事業を検討する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.59

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域生活支援事業	担当部署	健康福祉部　社会福祉課
総合計画体系				根拠法令計画など	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間 開始	平成　18　年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると			
（小項目）	＼	障がい者福祉		終期	未定
施策	5	障がい者福祉の推進			
基本事業	1	社会参加の促進			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	日常生活に関する相談や、社会参加のための支援など、障がい者（児）を対象とした障がい福祉サービスの充実を図ることにより、地域社会における共生の実現をめざす。	事業内容（R4）	①必須事業 相談支援事業（基幹相談支援センター）、障がい者相談支援事業（委託相談支援等）、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等 ②任意事業 日中一時支援、訪問入浴サービス、レクリエーション活動等支援、声の広報等発行等
実施方針	必須事業として、相談支援事業や理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業等を実施する。 任意事業として、日常生活支援に関する事業や社会参加支援に関する事業を実施する。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	委託相談支援事業所（3カ所）相談件数		8,238	8,000	8,000	8,000	8,000	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	地域生活支援事業（平成18年度から実施）	地域生活支援事業（平成18年度から実施）	地域生活支援事業（平成18年度から実施）	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	94,650	13	94,663	94,650	94,650

事務事業名	地域生活支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①必須事業・・・相談支援事業、理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター機能強化事業等。 ②任意事業・・・日中一時支援、訪問入浴サービス、声の広報制作事業等。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		委託相談支援事業所（3カ所）相談件数	7,520	8,443	8,000	8,000	8,000	件
		目標達成率(実績/目標)		105.5	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		84,538,201	0	84,093,497	0	84,093,497
	財源内訳	国庫支出金	13,656,000	0	13,295,000	0	13,295,000
		県支出金	6,812,000	0	6,631,000	0	6,631,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	64,070,201	0	64,167,497	0	64,167,497

補助制度（名称、補助率など）	地域生活支援事業費等補助金（補助率、国1／2、県1／4。ただし、国の交付基準に従い国の予算の範囲内。）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	委託相談支援事業所（3カ所）相談件数	
	目標	8,000	件
	実績	8,443	件
	評価	A:目標を達成できた	
成果指標に対する所見	相談者に対して障がい特性や状況に合わせた対応が実施できている。複雑な事案についても、基幹相談支援センターを中心に対応できており、目標は達成している。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	○共生社会の実現に向け、障がい者への理解促進に向けた啓発活動が必要。 ○困難事例も含めた増加し続ける多様な相談に対応できる相談支援体制の強化が必要。 ○基幹相談支援センターを中心とした 地域生活支援拠点の機能の強化が必要。 ○障害者等の権利擁護及び意思決定支援の推進が必要

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	現在実施している事業を継続実施していくとともに、基幹相談支援センターを中心に障がい者への相談支援体制を強化を図る。 また、障がい者への理解促進に向けた研修等を実施する。
	令和6年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.60

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	心身障がい者等無料バス優待事業	担当部署	健康福祉部　社会福祉課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市高齢者等無料バス優待券の交付等に関する条例
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始	昭和　48　年度
（小項目）		障がい者福祉			
施策	5	障がい者福祉の推進		終期	未定
基本事業	2	福祉サービスの充実			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	障がい者に対して無料バス優待券を交付することにより、外出手段を確保し、生活圏の拡大を図ることを目的とする。
実施方針	障がい者の移動手段を確保するため、無料バス優待券を交付する。市内バス路線の全線において優待券の適用を継続実施。 【対象者】 ① 身体障がい者手帳の1級から4級の交付を受けている者 ② 療育手帳の交付を受けている者 ③ 精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている者 ④ ①～③に該当し、かつ介護を要する者の介護人
事業内容（R4）	事業対象者となる障がい者手帳交付者への案内通知に申請時の必要書類を記載するとともに、障がい者手帳交付時にも手帳取得により利用できる福祉サービスとして情報提供を行い、利用促進を図る。

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	鳴門市高齢者等無料バス券発行件数（障がい者対象分）		48	90	90	90	90	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	無料バス優待券交付（昭和48年度から実施）	無料バス優待券交付（昭和48年度から実施）	無料バス優待券交付（昭和48年度から実施）	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	1,677		1,677	1,677	1,677

事務事業名	心身障がい者等無料バス優待事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	事業対象者となる障がい者手帳交付者への案内通知に申請時の必要書類を記載するとともに、障がい者手帳交付時にも手帳取得により利用できる福祉サービスとして情報提供し、申請を促した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		鳴門市高齢者等無料バス券発行件数（障がい者対象分）	55	66	90	90	90	件
		目標達成率(実績/目標)		73.3	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,268,750	0	1,378,750	0	1,378,750
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,268,750	0	1,378,750	0	1,378,750
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	鳴門市高齢者等無料バス券発行件数（障がい者対象分）		成果指標に対する所見	障がい者手帳交付時や、障がい者手帳所持者から相談があった際に制度の案内を行っており、希望する方について申請につながっている。 申請者数の低調については、新型コロナウイルス感染症拡大も影響していると考えられる。
	目標	90	件		
	実績	66	件		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	路線変更など、バス運行状況の変化が利便性に影響を及ぼす可能性があるが、移動手段としてバスを必要とする方が利用できるよう、無料バス優待制度の案内・周知を行う。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	障がい者の外出手段を確保し、生活圏の拡大を図ることで、障がい者が地域で安心していきいきと暮らすことができるよう、事業対象者となる障がい者手帳交付者への案内通知に申請時の必要書類を記載するとともに、障がい者手帳交付時にも手帳取得により利用できる福祉サービスとして情報提供するなど、利用促進に向けた取り組みを引き続き実施する。
	令和6年度	継続

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.61

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	生活困窮者自立支援事業	担当部署	健康福祉部　社会福祉課
総合計画体系				根拠法令計画など	生活困窮者自立支援法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間 開始	平成　27　年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると		事業期間 終期	年度
（小項目）		低所得者福祉			
施策	6	低所得者福祉の推進			
基本事業	2	低所得者福祉の充実			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	生活保護受給世帯等の中学生を対象に、子どもの学習・生活支援事業を実施し、学習支援や様々な交流活動により、子どもたちの学力向上に加え、社会性や自立心を育むことにより、「貧困の連鎖」を防止する。また、必須事業である自立相談支援事業に加え、就労準備支援事業、家計改善支援事業を一体的に実施する。
実施方針	1. 子どもの学習・生活支援事業の実施。 【対象者】市内の中学生の内、次の条件に当てはまる者とその保護者 ①生活保護受給世帯②自立相談支援センターへの相談者が属する世帯③ひとり親世帯のうち非課税世帯④児童養護施設入所者世帯⑤児童扶養手当受給世帯⑥就学援助受給世帯⑦その他市長が認める世帯 2. 自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的な実施
事業内容（R4）	1. 子どもの学習・生活支援事業の実施 ①引き続き事業を実施する。 ②生活保護受給世帯への制度周知に加え、児童扶養手当、就学援助それぞれの受給世帯へ案内状を送付する。 ③制度への申請があった場合、対象世帯の要件を満たしているか確認を行い、承認（不承認）通知書を作成、送付する。 2. 自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的な実施

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
	2	生活保護受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		学習支援事業参加人数	18	25	30	30	30	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認（不承認）通知の作成、送付 ④自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的な実施	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認（不承認）通知の作成、送付 ④自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的な実施	①学習支援事業の実施 ②生活保護受給世帯、児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への案内状の送付 ③申請があった者への承認（不承認）通知の作成、送付 ④自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的な実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	33,522		33,522	33,522	33,522

事務事業名	生活困窮者自立支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①子どもの学習・生活支援事業の実施 ②自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体的な実施

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
	2	生活保護受給世帯への学習支援事業案内通知の発送	2	2	2	2	2	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		学習支援事業参加人数	20	22	30	30	30	人
		目標達成率(実績/目標)		73.3	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		31,953,635	0	30,609,407	0	30,609,407
	財源内訳	国庫支出金	21,013,785	0	20,154,305	0	20,154,305
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	10,939,850	0	10,455,102	0	10,455,102

補助制度（名称、補助率など）	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 ・子どもの学習・生活支援事業－補助率1／2 ・就労準備支援事業、家計改善支援事業－補助率2／3 ※自立相談支援事業、住居確保給付金は国庫負担金（負担率3／4）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	学習支援事業参加人数	
	目標	30	人
	実績	22	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的に事業参加を募集することが難しかった中で昨年度より参加者は増加した。本来的な需要はあると考えられる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症の影響が続き、学習支援事業への積極的な参加を募集することが難しかった中で、昨年度より参加者は増加した。令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響も弱まることが予測されることから、より積極的な事業参加を促しつつ事業を継続する。また、生活困窮者からの相談は複雑化・多様化しており、「自立相談支援事業」、「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」の一体的実施や、「住居確保給付金」の活用により、対処していく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	令和5年度より小学校高学年まで参加対象者を拡大する。このことについて、小学校校長会等で説明するほか、教育支援室の指導主事や、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーに対して事業説明し、事業参加を促す。また、従来通り児童扶養手当受給世帯、就学援助受給世帯、生活保護受給世帯に対しても、10月、3月に案内通知を発送すると同時に、担当ケースワーカーから積極的な働きかけを行う。 「自立相談支援事業」、「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」を一体的に実施する。
	令和6年度	令和5年度の実施状況に応じて、事業の継続と課題に対する改善策を検討していく。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.62

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子どものまち推進事業	担当部署	健康福祉部　子どもいきいき課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		鳴門市子ども・子育て支援事業計画	
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると	事業期間	開始	平成　13　年度
（小項目）		子どものまち			
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援		終期	未定
基本事業	3	子どもがすくすく育つまちづくり			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	鳴門市子どものまちづくり推進協議会を通して、子ども関係グループ・団体及び関係機関が相互連携を図りながら、子どもたちの主体的な活動を支援し、子どもが主役の「子どものまちづくり」を推進する。	事業内容（R4）	①「子どものまちフェスティバル」を、子どものまちの主体的な体験活動の事業として「鳴門のまつり」と共催で開催している。令和2年度・令和3年度と、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止としたが、今年度は感染状況を注視しながら、状況に応じた予防対策について関係団体と十分検討しながら、体験活動の提供が充実したものとなるよう、実施方法について検討していく。 ②鳴門市子どものまちづくり推進協議会については、地域でのネットワークづくりを推進していくため、新たに地域で積極的に子どものまちづくりに取り組んでいただける団体等について、加入各団体に情報提供や周知をお願いする。
実施方針	①第20回子どものまちフェスティバル ②ホリデーフリーバス事業 ③子どものまちづくり指導者養成講座		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どものまち推進協議会加入団体 （市・市教委を除く）	66	65	66	66	66	団体
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	子どものまちフェスティバル参加者数	0	0	5,000	5,000	5,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	子どものまちフェスティバル ホリデーフリーバス事業 子どものまちづくり指導者養成講座	子どものまちフェスティバル ホリデーフリーバス事業 子どものまちづくり指導者養成講座	子どものまちフェスティバル ホリデーフリーバス事業 子どものまちづくり指導者養成講座	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	240		240	240	240

事務事業名	子どものまち推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年、3年と開催を中止した子どものまちフェスティバルだったが、令和4年度は感染対策として事前申込制とし、人数も上限を設けた条件付きの状況ではあったが実施することができた。 子どものまちづくり推進協議会のもう1つのイベントである、子どものまちづくり指導者養成講座については参加者の特定が可能なこと、参加人数も少ないイベントであることから、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、3月21日（火・祝）に開催、27名が参加した。 子どもホリデーフリーバスパスポートについては、延べ42件の利用があった。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どものまち推進協議会加入団体（市・市教委を除く）	66	65	65	65	65	団体
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		子どものまちフェスティバル参加者数	0	496	2,000	3,000	5,000	人
		目標達成率(実績/目標)		9.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		800	0	216,800	0	216,800
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	800	0	216,800	0	216,800

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況			ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	子どものまちフェスティバル参加者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業規模や開催方法を変更したため、参加人数の測定方法が目標の延べ人数に対し、実績は実人数となったことにより、目標値を下回る結果となった。
	目標	5,000	人		
	実績	496	人		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行し、コロナ前の状況に戻りつつあるので、イベントの開催方法など参加団体や関係機関の意見を聞きながら、子どもたちの主体的な体験活動の支援や体験活動の充実を図ることができるよう検討を行っていく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	イベントの開催について、ポストコロナの状況を踏まえながら関係機関・団体と連携し、子どもたちの主体的な体験活動の支援や体験活動の充実を図ることができるよう、検討しながら進めていく。
	令和6年度	継続して実施する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.63

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	放課後児童健全育成事業	担当部署	健康福祉部　子どもいきいき課
総合計画体系				根拠法令計画など	子ども・子育て支援法 鳴門市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると		事業期間 開始	平成　14　年度
（小項目）		児童福祉			
施策	2	児童福祉の推進		終期	未定
基本事業	1	子どもの健やかな成長支援			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①放課後児童の安全・安心な居場所の確保 ②放課後児童の健全育成 ③子育て家庭の仕事と家庭の両立支援	事業内容（R4）	①事業運営 地域住民等で組織される運営委員会に委託を行い、昼間保護者のいない家庭の児童に放課後の安全・安心な居場所を提供する。 ②施設整備 利用者が多く、高学年児童の受入れを制限しているクラブについて、施設改善の検討・実施に取り組む。 ③利用料免除 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、低所得世帯及び多子世帯の利用児童の利用料を免除する。 ④小規模クラブへの支援の拡充 利用児童が減少し、利用児童が5人以下となるクラブについて、市独自に支援を行う。 ⑤新型コロナウイルス感染症感染予防支援 新型コロナウイルス感染症予防に必要な物品等の購入に必要な経費を支援する。
実施方針	①昼間保護者のいない家庭の児童に放課後、学校の余裕教室等を活用し、遊びや生活の場を提供する。 ②学校及び教育委員会と協議・連携し、利用者のニーズに沿った提供体制を整備する。 ③新型コロナウイルス感染症感染予防に取り組む。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童クラブ（支援の単位）数	19	19	19	19	19	クラス
	2	利用料免除延べ児童数	1,290	1,100	1,500	1,500	1,500	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	児童クラブ平均登録児童数（年間延べ登録数／12か月）		598	650	650	650	650	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①事業運営 ②木津・撫養児童クラブの受け入れ拡充 ③利用料免除事業の実施 ④新型コロナウイルス感染症対策	①事業運営 ②撫養児童クラブの受け入れ学年拡充 ③利用料免除事業の実施 ④新型コロナウイルス感染症対策	①事業運営 ②児童クラブ拡充の検討・実施 ③利用料免除事業の実施 ④小規模クラブへの支援の実施 ⑤新型コロナウイルス感染症対策	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	149,350	△ 5,414	143,936	149,350	149,350

事務事業名	放課後児童健全育成事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	地域の児童クラブ運営委員会に事業を委託し、放課後児童の安全と健全な育成を図った。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、子育て家庭の仕事と子育ての両立を支援するため、感染症予防対策に取り組み、事業を継続して実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	児童クラブ（支援の単位）数	19	19	18	18	18	クラス
	2	利用料免除延べ児童数	1,290	993	1,000	1,500	1,500	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		児童クラブ平均登録児童数（年間延べ登録数／12か月）	619	576	650	650	650	人
		目標達成率(実績/目標)		88.6	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		131,783,160	0	135,491,300	0	135,491,300
	財源内訳	国庫支出金	42,548,000	0	43,662,000	0	43,662,000
		県支出金	44,511,000	0	45,600,000	0	45,600,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	44,724,160	0	46,229,300	0	46,229,300

補助制度（名称、補助率など）	子ども・子育て支援交付金（国1／3） 徳島県放課後児童健全育成事業費補助金（県1／3） とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金（県1／2）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	児童クラブ平均登録児童数（年間延べ登録数／12か月）	成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の流行する中、子育て家庭の仕事と子育ての両立のため感染症予防を徹底し、利用を希望する家庭の児童に対し継続して事業を実施した。 また、希望者全員の利用ができているため、目標には届かなかったが、A評価としたい。
	目標	650　人		
	実績	576　人		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	利用児童の推移を注視しながら、運営委員会や小学校と連携し、今後のあり方について、全市的に検討を行う必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	児童クラブ運営委員会と個別協議を行う。 継続して事業に取り組む。
	令和6年度	児童クラブ運営委員会からの要望や実態を踏まえた今後のあり方を検討する。 継続して事業に取り組む。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.64

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子育て支援体制整備事業 （保育所における巡回相談事業）	**担当部署**	健康福祉部　子どもいきいき課		
総合計画体系				**根拠法令計画など**	鳴門市子ども・子育て支援事業計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり					
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると		**事業期間**	**開始**	平成　22　年度	
(小項目)		児童福祉					
施策	2	児童福祉の推進			**終期**	未定	
基本事業	2	就学前教育・保育環境の充実					

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①育児不安を抱える家庭の支援 ②保育士等、子育て支援者のスキルアップ ③軽度の障がいが疑われる児童の早期発見、継続支援体制の構築	**事業内容（R4）**	市内保育所、認定こども園に希望調査を行い、巡回相談実施施設を決定。令和4年度は市内10施設で巡回相談事業を実施予定。対象施設利用児童の保護者や施設職員からの子どもの発育等に関する相談に応じる。
実施方針	①希望する公私立保育施設に対し、医師、臨床心理士及び保健師が訪問し、保護者や保育士等の子どもの発達に関する相談に応じる。 ②軽度の発達障がいが疑われる児童について、継続的な支援に繋げる。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施施設数	7	6	10	7	7	施設
	2	観察を受けた児童数	355	194	400	400	400	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	適切な支援を受けた児童数		47	40	50	50	50	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	巡回相談事業の実施	巡回相談事業の実施	巡回相談事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**664**		**664**	**468**	**468**

事務事業名	子育て支援体制整備事業 （保育所における巡回相談事業）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	市内10か所（延べ）の保育施設で巡回相談を実施した。 育児不安を抱える等、支援が必要と思われる家庭の保護者に対しては、事業を実施する保育施設で個別に声をかける等、保護者からの相談に繋げた。 新型コロナウイルス感染症流行時については、その予防のため、各施設で工夫をしながら事業を継続した。 子どもの日頃のエピソードを基に、保育士が医師・臨床心理士などの専門家から指導を受けることにより、保育の質の向上を図るほか、健康増進課の保健師等と施設とが情報共有を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施施設数	6	10	6	6	6	施設
	2	観察を受けた児童数	436	573	400	400	400	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		適切な支援を受けた児童数	40	53	40	40	40	人
		目標達成率(実績/目標)		106.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		339,428	0	586,000	0	586,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	100,000	0	100,000	0	100,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	239,428	0	486,000	0	486,000

補助制度（名称、補助率など）	とくしま子育てはぐくみ応援推進交付金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	適切な支援を受けた児童数	
	目標	50	人
	実績	53	人
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見
コロナ禍にあっても、各保育施設からは実施の希望が多く、感染症予防を徹底することで事業を実施した。保護者や保育士が専門家である医師・臨床心理士から助言及び指導を受けることにより、負担感の軽減、保育意識の向上に繋げた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	保育施設から一定の事業実施希望がある一方で、指導者である医師や臨床心理士との日程調整に工夫が必要になっている。今後も健康増進課等と綿密な調整を行い、できる限り希望する施設が事業を実施できるよう取り組みたい。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	継続して事業を実施する。
	令和6年度	継続して事業を実施する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.65

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	保育士人材確保推進事業	担当部署	健康福祉部　子どもいきいき課
総合計画体系				根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると		事業期間 開始	令和　3　年度
（小項目）		児童福祉			
施策	2	児童福祉の推進		終期	未定
基本事業	2	就学前教育・保育環境の充実			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①就学前教育・保育の質の向上 ②就学前教育・保育の提供量の確保	事業内容（R4）	①保育士等が新規就労や復帰支援を促進するための転入支援金を支給する。 ②保育士等が新規就労や復帰支援を促進するための就労支援金を就労施設を通じて支給する。 ③保育施設を通じて保育士等に対し、勤続年数に応じた手当・奨励金を支給する。
実施方針	①市内の保育所、認定こども園に就労する保育士等に対して就労支援金等を支給し、また、市内外の潜在保育士や保育士養成校の学生に本市の保育士支援に情報を発信することで、市内保育施設への就労を促し、各施設が抱える保育士不足を解消に繋げる。 ②安定した保育士確保を可能とすることで、本市の就学前教育・保育の質の向上に繋げる。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	私立保育施設利用児童数	―	900	920	920	920	人
	2	在宅保育支援事業（一時預かり・拠点）実施保育施設数	―	7	7	7	7	施設
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	私立保育施設利用率（利用者数／利用定員）		―	95	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容		保育士確保推進事業の実施	保育士確保推進事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	14,650		14,650	14,650	14,650

事務事業名	保育士人材確保推進事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	市内の私立保育所、認定こども園の保育士等の確保を支援するため、新規採用保育士に対して支援金、継続して勤務する保育士に対して手当、長年に渡り勤務する保育士に対して奨励金を支給する保育所等に補助金の交付を行った。 市内の全施設が補助金の交付を受け、保育士の確保及び離職予防に繋げた。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	私立保育施設利用児童数	945	950	920	920	920	人
	2	在宅保育支援事業(一時預かり・拠点)実施保育施設数	6	8	9	9	9	箇所
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		私立保育施設利用率(利用者数／利用定員)	102	103	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		103.0	―	―	―	%

事業費推移(円)	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		10,696,250	0	9,681,000	0	9,681,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	9,681,000	0	9,681,000
		一般財源	10,696,250	0	0	0	0

補助制度(名称、補助率など)	ふるさと活性化基金繰入金

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	私立保育施設利用率(利用者数／利用定員)	
	目標	100	%
	実績	103	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	保育施設が保育士を確保することで、定員又は定員以上の児童の受入れが可能となっており、令和4年度も待機児童が発生していない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	制度を市内外に広く周知することで市内保育施設の安定した保育士確保を図る。また、離職率の高い保育現場の環境を改善することで、離職を予防し、安定した就学前教育・保育提供体制を整える。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	事業を広く周知する。 事業を継続する。
	令和6年度	事業を広く周知する。 事業を継続する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.66

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業	担当部署	健康福祉部　子どもいきいき課
総合計画体系				根拠法令計画など	子ども・子育て支援法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間 開始	令和 4 年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると			
（小項目）		児童福祉		終期	令和 7 年度
施策	2	児童福祉の推進			
基本事業	3	子育て家庭への支援			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	県内随一の子育て応援都市を目指し、令和4年度から7年度までの4年間を「子育て世帯定住促進施策の集中実施期間」と位置づけ、結婚生活・妊娠・出産・子育て・住宅取得の各ステージを「子どもファースト」の視点から強力に支援することにより、子育て世代の定住人口の確保を図ります。	事業内容（R4）	①まだ子どものいない夫婦に対して、子育てを視野に入れたﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝを具体化することを応援するための赤ちゃん授業の実施 ②結婚等により新たなライフステージを迎える方を対象にセミナー等を開催し、未来の生活を考えるきっかけづくりと安定した生活設計を応援 ③出産から高校生等までの子ども育てる家庭に対する継続的な経済支援の実施 ③-1新生児1人当たり10万円をお祝い金として支給 ③-2小学1年生、中学1年生に入学時に祝い金として1万円を支給 ③-3高校生等1人に対し、年間3万円の子育て応援手当を支給 ③-4令和4年10月支給分から児童手当特例給付の対象外となる方に、市独自に特例給付を継続 ④第2子の保育料を現在の半額免除から全額免除とし、多子世帯の負担軽減を図る ⑤病気の回復期にある子どもの保育が家庭で困難な家庭に対し、市外の施設を利用時の負担が市内施設利用時(1日2千円)と同額になるよう差額を助成 ⑥高校生等の入院時の医療費（保険適用分の自己負担額）を申請により助成
実施方針	①赤ちゃん授業（未来のパパママ応援プロジェクト）の実施 ②子育て世代のライフプランニング応援事業の実施 ③なるとまるごと子育て応援給付金 ③-1新生児出産祝い金事業の実施 ③-2入学祝金事業（小1、中1）の実施 ③-3子育て応援手当事業の実施 ③-4鳴門市版児童手当特例給付事業の実施 ④第2子保育料無償化事業の実施 ⑤病児・病後児保育広域利用助成事業の実施 ⑥高校生等医療費助成事業		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	第二子無償化事業対象児童数			160	170	180	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	出生数				270	280	290	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容			①病児・病後児広域利用費助成事業の実施 ②ライフプランセミナーの実施 ③児童手当拡充事業（特例給付）の実施 ④赤ちゃん授業の実施 ⑤出産祝い金事業の実施 ⑥第2子保育料無償化事業の実施 ⑦入学祝い金事業（小1、中1）の実施 ⑧高校就学支援金（高校3年間） ⑨医療費助成事業（高校）	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	96,575	△ 71	96,504	96,575	96,575

事務事業名	なるとまるごと子育て応援パッケージ事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①病児・病後児広域利用費助成事業（近隣市町の病児・病後児保育を利用した際の利用料と鳴門市の同事業利用料の差額を助成）…4名　②ライフプランセミナー（若い世代に妊娠・出産・子育て・住宅取得等の知識を身に着けてもらうためのセミナー）…3回開催、のべ45名の参加　③児童手当特例給付…給付率93.65%（対象者63名のうち59名）　④赤ちゃん授業（子育て前、や子育て中のパパ・ママ等に赤ちゃんとふれあう機会を提供）…3回実施、のべ90名が参加　⑤出産祝い金事業…給付率100%（179人に給付）　⑥第2子保育料無償化事業…のべ541月分　⑦入学祝い金事業（小・中学校に1年生として入学する子どもがいる世帯に、1人あたり1万円を支給）…給付率97.5%（対象者768名のうち749名）　⑧子育て応援手当（高校生相当の子どもを養育する世帯に、1人あたり年間3万円を支給）…給付率95.9%（対象者1382名のうち1325名）　⑨高校生等医療費助成事業（高校生相当の子どもの入院にかかった保険診療分の自己負担額の一部を助成）…3名

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	第二子無償化事業対象児童数		247	170	180	190	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	出生数		245	250	280	290	300	人
	目標達成率(実績/目標)			92.6	ー	ー	ー	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計				**87,611,180**	**0**	**87,611,180**
	財源内訳	国庫支出金			57,560,000	0	57,560,000
		県支出金			0	0	0
		地方債			0	0	0
		その他			0	0	0
		一般財源	0	0	30,051,180	0	30,051,180

補助制度（名称、補助率など）	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	出生数	
	目標	270	人
	実績	250	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	目標の達成には及ばなかったものの、前年度を上回る出生数となった。新型コロナウイルス感染症の状況等も鑑みて今後の動向を注視していく。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	給付金事業は90～100%の高い給付率を達成した。その他の事業については利用者や参加者をより増やすよう、事業の広報やPRについてやり方等の検討や工夫に注力する必要がある。また、各事業の効果検証や対象者のニーズを踏まえ、事業の選択、拡充、改善を行っていく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	令和4年度事業に加え、下記事業を追加拡充 ①2歳児保育料無償化（保育所や認定こども園の保育料の無償化を2歳児まで拡大） ②ファミリーサポートセンター利用料助成（利用者利用料と提供会員報酬の一部を助成する） ③通学用リュックサック無償配布（次年度小学1年に入学する児童に通学用リュックサックを無償配布する）
	令和6年度	同上

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.67

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域子育て支援拠点事業（民間施設活用）	担当部署	健康福祉部　子どもいきいき課

総合計画体系			根拠法令計画など		子ども・子育て支援法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	事業期間	開始	平成　22　年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると			
（小項目）		児童福祉		終期	未定
施策	2	児童福祉の推進			
基本事業	3	子育て家庭への支援			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①子育て家庭の負担感の軽減 ②子育て家庭の不安感の軽減 ③児童の健全育成の支援	事業内容（R4）	①ひろば・出張ひろばの実施 在宅で子育てをする家庭の親子等が互いに交流する場、保育士に子育てに関する相談を行う場を提供する。 ②訪問事業の実施 生後4か月の子どものいる家庭を訪問し、子育てに関する相談に応じたり、子育て支援サービスを案内したりする。 ③マタニティ事業の実施 妊婦及びその家族の相談に応じ、子育てに関するアドバイスを行う。 ④赤ちゃん授業の実施 小学生等に赤ちゃん授業を実施し、自己肯定感等を育む。
実施方針	①ひろばの実施 ②出張ひろばの実施 ③おめでとう赤ちゃん訪問事業の実施 ④にこにこマタニティ事業の実施 ⑤赤ちゃん授業の実施		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	訪問乳児数	284	284	300	300	300	人
	2	ひろば・出張ひろば開催日数	272	272	330	330	330	日

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	ひろば・出張ひろば参加親子数	1,603	1,500	5,300	5,300	5,300	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施 ④赤ちゃん授業の実施	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施 ④赤ちゃん授業の実施	①ひろばの実施 ②訪問事業の実施 ③マタニティ事業の実施 ④赤ちゃん授業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	15,142		15,142	15,142	15,142

事務事業名	地域子育て支援拠点事業（民間施設活用）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	「にこにこ広場」は鳴門市内の子育て家庭に広く根付いてきている。また、「出張にこにこ広場」も地域の子育て家庭が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で相互に交流を図る場となっている。 「赤ちゃん訪問事業」では、感染症予防に細心の注意を払い、感染拡大時期には玄関先での訪問や訪問時期をずらす等の対策を講じたうえで、本市の子育て支援事業全般の案内を実施し、保護者の育児不安の軽減に繋げた。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	訪問乳児数	208	198	300	300	300	人
	2	ひろば・出張ひろば開催日数	206	319	330	330	330	日
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ひろば・出張ひろば参加親子数	1,122	1,839	5,300	5,300	5,300	人
		目標達成率(実績/目標)		34.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		**14,542,000**	**0**	**15,142,000**	**0**	**15,142,000**
	財源内訳	国庫支出金	4,416,000	0	4,416,000	0	4,416,000
		県支出金	4,416,000	0	4,416,000	0	4,416,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,710,000	0	6,310,000	0	6,310,000

補助制度（名称、補助率など）	子ども・子育て支援交付金（国1／3） 子ども・子育て支援事業補助金（県1／3）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	**ほぼ計画どおり**	**事業全体の進捗状況**	**ほぼ計画どおり**

成果指標に対する評価	**指標名**	**ひろば・出張ひろば参加親子数**		**成果指標に対する所見**	子育て家庭同士の交流の場、子育て家庭の相談の場として定着している。令和4年度も依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、感染症予防対策のため人数制限をして事業を実施したことから目標値を下回る実績となっている。
	目標	**5,300**	人		
	実績	**1,839**	人		
	評価	**C:あまり目標を達成できなかった**			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和4年度についても新型コロナウイルス感染症予防のため、人数制限を行い、利用を予約制としたことから利用者数が低い水準にとどまったが、令和3年度よりは利用者数が増加した。新型コロナウイルス感染症が5類移行した今後は、状況に応じて人数制限や予約制を解除し交流の場を提供する。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	**令和5年度**	継続して事業に取り組む。
	令和6年度	継続して事業に取り組む。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.68

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業	担当部署	健康福祉部　子どもいきいき課
総合計画体系				根拠法令計画など	子ども・子育て支援法 鳴門市子ども・子育て支援事業計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると	事業期間	開始	平成　17　年度
(小項目)		児童福祉			
施策	2	児童福祉の推進		終期	未定
基本事業	3	子育て家庭への支援			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市内において「育児の援助を行いたい者」と「育児の援助を受けたい者」とを会員として登録し、育児の相互援助活動を行う。	事業内容（R4）	ファミリー・サポート・センター事業を公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークに委託し、事業を実施する。 ①市広報誌や市公式ウェブサイト、LINEによる広報活動 ②児童手当や子どもはぐくみ医療費助成事業の申請時にリーフレットを配布 ③子育て世帯の親子が集まる場所での周知や同センター主催の交流会をNPOと共催し、広く市民に周知を図りながら活動を推進する。
実施方針	依頼会員と提供会員、両方会員のそれぞれの役割や理解を得て、地域における子育て支援や仕事と育児の両立、安心して働くことができる環境づくりをめざす。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	年間活動件数	959	1,000	1,200	1,200	1,200	件
	2	交流会	12	14	14	14	14	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	年度登録会員数（依頼・提供・両方会員）		1,115	1,140	1,200	1,200	1,200	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	①交流会の実施 ②活動の周知 ③活動内容の集計	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	9,599		9,599	9,599	9,599

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	ファミリー・サポート・センター事業を公益財団法人徳島県勤労者福祉ネットワークに委託し、事業を実施した。 事業の周知については、市広報誌やLINEを活用し、広く市民に対し広報を行い活動を推進した。また、会員に対して相互援助に必要な知識を付与する講習会の開催や、会員間の情報交換の場としての交流会や研修会を開催した。 在宅育児応援クーポン事業の継続実施により、クーポンの対象となる親子イベントを開催した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	年間活動件数	962	851	1,000	1000	1,000	件
	2	交流会	14	14	14	14	14	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		年度登録会員数（依頼・提供・両方会員）	1,153	1,181	1,200	1,200	1,200	人
		目標達成率(実績/目標)		98.4	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		9,599,000	0	9,599,000	0	9,599,000
	財源内訳	国庫支出金	2,866,000	0	2,866,000	0	2,866,000
		県支出金	2,866,000	0	2,866,000	0	2,866,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,867,000	0	3,867,000	0	3,867,000

補助制度（名称、補助率など）	子ども・子育て支援交付金 子ども・子育て支援事業補助金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	年度登録会員数（依頼・提供・両方会員）		成果指標に対する所見	事業の周知を行うことにより、目標値には達しなかったものの、年度登録会員数は少しずつ増加している。
	目標	1,200	人		
	実績	1,181	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、利用件数は減少しているが、子育てに悩みを抱えた依頼会員が増えてきており、配慮が必要となることから、今後も関係機関との連携を密に行い事業を実施する必要がある。また、多様化するニーズに対応できる実働提供会員の増加を目指す。次年度は利用料の一部を助成し子育て世帯の経済負担の軽減を図るとともに、提供会員への報酬も増額することにより、相互援助活動の充実を図り、支援を必要とする家庭がより事業を利用しやすくなるような体制を整える。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	より事業を利用しやすくなるよう、利用料の一部助成を実施する。
	令和6年度	継続して事業を実施する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.69

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	子どもの居場所づくり推進事業	担当部署	健康福祉部　子どもいきいき課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり	鳴門市補助金等交付条例 鳴門市補助金等交付条例施行規則		
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち　なると	事業期間	開始	令和　元　年度
（小項目）		ひとり親家庭等の福祉			
施策	3	ひとり親家庭等の自立支援の推進		終期	年度
基本事業	1	子育て支援及び生活の場の整備			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	平成29年度「鳴門市子どもの生活に関するアンケート調査」を実施した結果、貧困問題の課題を解決するための方策の1つとして、子どもの地域の居場所づくりや子育て支援を目的とした「子ども食堂」を運営する団体に初期費用や運営に係る費用を補助する。	事業内容（R4）	子どもたちが放課後等に食事や学習、団らんなどを通した安心して過ごせる居場所づくりを行う団体に対し、鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金を交付する。 事業開始当初、同一団体に対する補助金の交付は3回までとしていたが、団体より新たに申請があった場合は、再度3回まで補助金の交付を認めることとする。 ①対象団体　選考会を開催し、補助団体を決定（継続団体については書類審査のみ） ②対象経費 ・初期経費：備品、消耗品等で施設整備にかかる経費 ・運営経費：食事提供事業、学習支援事業
実施方針	①鳴門市子どもの生活に関するアンケート調査の調査結果を受け、貧困の連鎖を断ち切るため、他の自治体の取り組みも参考にしながら、ひとり親世帯を中心に子どもの貧困対策をはじめとした子育て支援策の検討を行った。その結果として子どもが放課後等に食事、学習、団らん等を通じて安心して過ごせる居場所づくりを実施する者に対し、補助金を交付し、子どもたちが健やかに生活できる環境整備を進める。 ②子どもの未来を応援する首長連合の組織ネットワークを活用し、情報収集や国への要望活動を行う。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	補助団体	2	2	3	3	3	箇所
	2	参加者数	2,014	2,200	2,500	2,500	2,500	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	補助団体		2	2	3	3	3	箇所

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金の継続実施 ②選考会を開催し、補助団体を決定	①鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金の継続実施 ②選考会を開催し、補助団体を決定 ③事業の見直し	①鳴門市子どもの居場所づくり事業補助金の継続実施（補助団体の再採択を認める） ②選考会を開催し、補助団体を決定	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	1,529		1,529	1,529	1,529

事務事業名	子どもの居場所づくり推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	子どもたちが放課後等に食事や学習、団らんなどを通した安心して過ごせる居場所づくりを行う団体に対し、補助金を交付した。 ・市内で子どもの居場所を設置しようとする団体からの企画提案書を受け、選考会を開催し補助団体を決定した。令和4年度は新たに子ども食堂が1か所開設され、月1回の開催時に夕食の提供を行った。令和2年度から継続して実施しているもう1団体は夕食及び長期休暇の昼食提供と学習支援を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の感染防止策として、マスク着用、手指消毒の徹底、食事場所の密の回避などを行い、感染拡大時期は持ち帰り弁当にするなど、工夫しながらできる限り継続して事業を実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	補助団体	2	2	4	4	4	箇所
	2	参加者数	3,123	4,350	4,000	4,000	4,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		補助団体	2	2	4	4	4	箇所
		目標達成率(実績/目標)		66.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		**707,000**	**0**	**621,914**	**0**	**621,914**
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	707,000	0	621,914	0	621,914
		一般財源	0	0	0	0	0

補助制度（名称、補助率など）	ふるさと活性化基金繰入金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	**ほぼ計画どおり**	**事業全体の進捗状況**	**計画どおり**

成果指標に対する評価	**指標名**	**補助団体**		**成果指標に対する所見**	本市の補助金を活用した子どもの居場所については、目標箇所数には達していないが、地域全体で子どもたちを見守る場所として、本市全体では実施箇所数が増え、子どもたちが安心して過ごせる居場所となっている。
	目標	3	箇所		
	実績	2	箇所		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響により、子どもの居場所へのニーズは増えており、市民からの子ども食堂の開催状況の問い合わせも増えている。食材費や光熱水費が上がり、限られた予算で継続して運営を行うためには、フードバンクの活用や、地域の方からの余剰食材を提供してもらえるようなつながりを作っていくことが必要とされる。今後も実施団体と情報共有をしながら、安心して子どもたちに過ごしてもらえる居場所を提供していく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	**令和5年度**	感染症対策や食中毒発生防止など安全面に気を配りながら、継続して事業を実施する。
	令和6年度	継続して事業を実施する。

各実施計画兼評価シート

都　市　建　設　部

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.70

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	住宅ストックの有効活用	担当部署	都市建設部　まちづくり課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市公営住宅等長寿命化計画
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると		事業期間 開始	平成　18　年度
（小項目）		居住環境			
施策	1	良好な居住環境の整備		終期	年度
基本事業	1	住宅ストックの有効活用			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	今後も既存市営住宅を効率的に活用していくため、計画的な施設の改修を行っていく。
実施方針	外壁・屋上等の改修は、市営住宅やその周辺の住環境を向上させるばかりでなく、今後の管理・修繕費を低減させる効果があるため、効果的な改修を実施する。 令和4年度の高島団地B棟施工によりすべての維持管理団地の外部改修工事が完了するため、以降は浴室改修工事を行う予定である。
事業内容（R4）	①高島団地B棟外部改修工事 ②高島団地B棟外部改修工事監理業務 ③明神第2団地浴室改修工事設計業務

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	改修棟数	1	1	1	1	1	棟
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		改修棟数	1	1	1	1	1	棟

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	明神第2団地外部改修工事 矢倉団地手摺り設置工事（B～F棟）	高島団地A棟外部改修工事	高島団地B棟外部改修工事	明神第2団地浴室改修及び手摺設置工事	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**58,500**	**△ 3,057**	**55,443**	**26,950**	**26,950**

事務事業名	住宅ストックの有効活用

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	高島団地B棟について外部改修工事を実施。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	改修棟数	1	1	1	1	1	棟
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	改修棟数		1	1	1	1	1	棟
	目標達成率(実績/目標)			100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		52,882,500	0	55,423,500	0	55,423,500
	財源内訳	国庫支出金	15,121,000	0	16,503,000	0	16,503,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	37,700,000	0	38,900,000	0	38,900,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	61,500	0	20,500	0	20,500

補助制度（名称、補助率など）	社会資本整備総合交付金　補助対象額×1/2限度

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	改修棟数	
	目標	1	棟
	実績	1	棟
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	建物の長寿命化や設備の適切な更新を進めることができ、市営住宅の住環境向上に寄与できたためA評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	長寿命化計画の定める方向性に従い、浴室等改修工事を計画的に実施し、住戸設備の更新を進めていく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	明神第2団地浴室等改修工事
	令和6年度	桑島第2団地A棟浴室等改修工事

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.71

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	木造住宅耐震化促進事業	担当部署	都市建設部　まちづくり課
総合計画体系				根拠法令計画など	社会資本整備総合交付金交付要綱
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　16　年度
（小項目）		居住環境			
施策	1	良好な挙準環境の整備		終期	年度
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市民の防災意識の向上を図るとともに、大地震における住宅の倒壊等による被害を軽減し、災害に強いまちづくりを推進するため、耐震改修等を実施する市民に対し、その経費の一部について補助を行う。	事業内容（R4）	耐震診断65戸、補強計画11戸、耐震改修（スマート化工事含む）19戸、耐震シェルター設置（スマート化工事含む）3戸、住宅の住替え5戸の助成を行う。
実施方針	耐震診断の結果、評点が1.0未満の「倒壊する可能性がある」と判定された住宅の耐震改修（スマート化工事含む）、耐震シェルター設置（スマート化工事含む）支援及び評点が0.7未満の「倒壊する可能性が高い」と判定された住宅の住替えを支援し、耐震化を促進する。		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	木造住宅耐震診断等	57	55	76	76	76	戸
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数	16	17	19	19	19	戸

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①広報紙や市公式ウェブサイト掲載などによる周知 ②戸別訪問などによる啓発	①広報紙や市公式ウェブサイト掲載などによる周知 ②戸別訪問などによる啓発	①広報紙や市公式ウェブサイト掲載などによる周知 ②戸別訪問などによる啓発	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	36,701	6,233	42,934	36,701	36,701

事務事業名	木造住宅耐震化促進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①広報なると及び公式ウェブサイト等に掲載し、事業実施をお知らせした。 ②戸別訪問による事業の説明やパンフレットを配布するなど、啓発活動を実施した。 ③住宅安心リフォーム補助金も工事内容が重複しなければ併用することができ、負担が少なくできることを案内した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	木造住宅耐震診断等	48	53	76	76	76	戸
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数	17	19	19	19	19	戸
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		25,300,414	11,776,400	20,278,726	10,448,800	42,503,926
	財源内訳	国庫支出金	14,936,000	5,410,000	7,640,000	4,746,000	17,796,000
		県支出金	6,753,250	3,183,600	5,427,850	2,851,200	11,462,650
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,611,164	3,182,800	7,210,876	2,851,600	13,245,276

補助制度（名称、補助率など）	社会資本整備総合交付金（防災・安全交付金）：1/2 徳島県木造住宅耐震化促進事業費補助金：1/4～1/2

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	－

成果指標に対する評価	指標名	地震に強い安全な住宅への改修に着手した戸数		成果指標に対する所見	成果指標である耐震改修について、実績戸数が目標戸数を達成できたためA評価としたい。
	目標	19	戸		
	実績	19	戸		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	令和4年度における耐震改修の補助事業については、目標を達成できた一方、鳴門市耐震改修促進計画において耐震化率100%を目指してきたが、このままの推移でいくと目標達成には時間を要する状況である。このことから、建築物の耐震化や減災化を促進し、倒壊等による被害の低減を図るため、申込み状況を踏まえた予算配分を検討するなど、多くの方に事業を活用していただけるような取り組みが必要である。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	戸別訪問等での啓発活動を実施し、耐震改修等と併せて実施するリフォーム工事等に対する上乗せ補助があることなどをPRするとともに、広報紙や公式ウェブサイト等により補助制度を周知し、耐震化の促進に努める。
	令和6年度	令和5年度と同様に補助制度を周知し、耐震化の促進に努める。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.72

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	住宅安心リフォーム支援事業	担当部署	都市建設部　まちづくり課
総合計画体系				根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまちなると	事業期間	開始	平成　26　年度
（小項目）		居住環境			
施策	1	良好な居住環境の整備		終期	年度
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	住宅・住環境の向上と良好な住宅ストック形成の促進を図るとともに、市民の消費活動と雇用機会の創出を促し地域経済の活性化を図る。	事業内容（R4）	補助率20%、補助限度額20万円で50戸（通常分40戸＋拡充分10戸）の募集を行い、予算の範囲内で追加募集を行う。 なお拡充分の10戸については、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けている住宅関連産業に対する受注機会の拡大を目的として期間限定で行う。
実施方針	市内に住民登録を行い、市税の滞納がなく、補助金の交付を受けようとする者の世帯全員の前年度所得合計金額が550万円未満の者などを対象に、住宅リフォーム経費を助成する。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	広報紙等掲載	3	2	2	2	2	回
	2							

指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	リフォーム実施戸数	47	45	50	50	50	戸

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	広報紙や市公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知	広報紙や市公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知	広報紙や市公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	10,015		10,015	10,015	10,015

事務事業名	住宅安心リフォーム支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	広報紙や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度を周知した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	広報紙等掲載	2	1	2	2	2	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		リフォーム実施戸数	48	53	50	50	50	戸
		目標達成率(実績/目標)		106.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		8,361,336	0	9,822,012	0	9,822,012
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8,361,336	0	9,822,012	0	9,822,012

補助制度（名称、補助率など）	住宅安心リフォーム補助金(補助率：補助対象経費の20%、補助限度額：20万円)

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	リフォーム実施戸数	
	目標	50	戸
	実績	53	戸
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	実施戸数が目標戸数を上回った。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	近年、目標戸数を上回る申込みがあるなど、継続的な需要があるため、申込数の確保に向けた取り組みが必要となっている。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	広報紙や公式ウェブサイトに掲載するなど、支援制度の周知に努める。
	令和6年度	R5年度の課題を改善し、取組を進める。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.73

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	空家等対策事業	担当部署	都市建設部　まちづくり課
総合計画体系				根拠法令計画など	空家等の推進に関する特別措置法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると	事業期間	開始	平成　26　年度
（小項目）		居住環境			
施策	1	良好な居住環境の整備		終期	年度
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①老朽空き家の除却の促進 ②空家等の適正管理の促進	事業内容（R4）	①老朽危険空き家除却支援事業の実施 ②著しく周辺に悪影響を及ぼしている特定空家等への助言・指導、勧告等 ③空き家除却後の跡地の固定資産税減免制度の周知 ④「とくしま回帰」住宅対策総合支援センターと連携した空き家相談会の実施 ⑤空家等対策計画の改定
実施方針	①補助制度や減免制度による除却の促進 ②特に緊急を要する危険な空家等の特定空家等への認定・措置 ③所有者等への指導や意識啓発による、適正管理・除却の促進		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	補助金・減免相談対応件数	53	60	60	60	60	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	空家等除却実施戸数（補助・減免によるもの）		26	30	30	30	30	戸

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①空き家等の適正管理・除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③固定資産税減免制度の周知 ④特定空家等の略式代執行 ⑤空き家相談会の実施	①空き家等の適正管理・除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③固定資産税減免制度の周知 ④空き家実態調査の実施 ⑤空き家相談会の実施	①空き家等の適正管理・除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③固定資産税減免制度の周知 ④空き家相談会の実施 ⑤空家等対策計画の改定	①空き家等の適正管理・除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③固定資産税減免制度の周知 ④空き家相談会の実施	①空き家等の適正管理・除却の促進 ②特定空家等の認定・措置 ③固定資産税減免制度の周知 ④空き家相談会の実施

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	12,329	△ 1,365	10,964	12,215	12,215

事務事業名	空家等対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①空き家等の適正管理・除却の促進 ②特定空家等の認定・措置の検討 ③固定資産税減免制度の周知 ④空き家相談会の実施 ⑤空家等対策計画の改定

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	補助金・減免相談対応件数	77	56	60	60	60	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		空家等除却実施戸数（補助・減免によるもの）	31	25	30	30	30	戸
		目標達成率(実績/目標)		83.3	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		16,875,000	0	8,149,200	0	8,149,200
	財源内訳	国庫支出金	8,419,000	0	4,019,000	0	4,019,000
		県支出金	1,985,000	0	1,784,000	0	1,784,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,471,000	0	2,346,200	0	2,346,200

補助制度（名称、補助率など）	空き家対策総合支援事業（国の制度）…補助率1/2（直接補助は2/5） 老朽危険空き家等除却支援事業（県の制度）…補助率1/4

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	空家等除却実施戸数（補助・減免によるもの）	
	目標	30	戸
	実績	25	戸
	評価	B:概ね目標を達成できた	
成果指標に対する所見		募集戸数以上に実施することができたが、年度末に補助利用のキャンセルをされた方が数名おり、目標までは少し届かなかった。	

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・老朽危険空き家除却支援事業は、予算の範囲内でできる限り多く実績を増やしていく必要がある。 ・特定空家等候補についても、特定空家等となる前の段階での解決を目指すため、除却に繋がるよう進めていく必要がある。 ・空き家除却促進のため、空き家除却後の跡地の固定資産税減免やブロック塀等安全対策支援事業等の関連制度の活用について、引き続き周知を行う工夫が必要。 ・R6.4月より相続登記が義務化されることもあり、相続手続きの重要性など市民全体に向けた意識啓発が必要となる。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	・空家等除却実施戸数（補助・減免によるもの）の目標戸数を30戸とし、制度の周知を図る。 ・特定空家等の候補に対する指導を行うとともに、特定空家等の認定を検討する。 ・他の関係団体と連携した空き家相談会等により、意識啓発を行う。 ・相続手続きの重要性など市民全体に向けた意識啓発を行う。 ・空き家解体補助制度に長屋枠を追加し、上限を80万円まで拡充する。
	令和6年度	・R5年度に生じた課題に対し、改善を行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.74

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	都市計画マスタープランの見直し及び立地適正化計画の策定	担当部署	都市建設部　まちづくり課
総合計画体系				根拠法令計画など	都市計画法、都市再生特別措置法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると	事業期間	開始	令和　3　年度
（小項目）		居住環境		終期	年度
施策	1	良好な居住環境の整備			
基本事業	2	安全で安心な居住環境の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	現行のマスタープランが策定から9年経過しており、社会経済情勢の変化に伴い、見直しの時期となっている。人口減少社会の中、コンパクトで持続可能なまちづくりを推進していくための計画として、マスタープランの一部とみなされる「立地適正化計画」が重要とされており、マスタープランと併せて、R3～R4年度の2か年にかけて策定する。
実施方針	①都市計画マスタープランの見直し まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地区別のあるべき市街地像を示すとともに、地域別の課題に応じた整備方針等をきめ細かくかつ総合的に定め、都市計画の方針を定める。 ②立地適正化計画の策定 人口減少・少子高齢化が進行する中、都市計画法に基づく土地利用規制に加え、居住や都市機能の誘導と公共交通の連携による集約型都市構造の形成を図る。
事業内容（R4）	①都市計画マスタープランの見直し（全体構想） ②立地適正化計画の策定（基本方針） ③防災指針の策定（基本方針） ④地区別懇談会等

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	都市計画審議会の実施回数		1	3	0	0	回
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定		―	策定			

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容		①現状把握・分析・課題整理 ②全体構想・基本方針作成 ③防災指針の検討 ④市民意識調査等	①地域別構想の検討 ②居住誘導区域・都市誘導区域の検討 ③防災指針反映 ④地区別懇談会等		

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	16,467		16,467	―	―

事務事業名	都市計画マスタープランの見直し及び 立地適正化計画の策定

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①都市計画マスタープランの見直し ②立地適正化計画の策定 ③防災指針の策定 ④地区別懇談会等

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	都市計画審議会の実施回数	1	3	―	―	―	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定	―	策定	―	―	―	
		目標達成率(実績/目標)		―	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		13,794,000	0	16,467,000	0	16,467,000
	財源内訳	国庫支出金	5,100,000	0	3,200,000	0	3,200,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8,694,000	0	13,267,000	0	13,267,000

補助制度（名称、補助率など）	集約都市形成支援事業補助金（国費：補助率1/2） ※立地適正化計画策定業務のみ

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況	－

成果指標に対する評価	指標名	都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定		成果指標に対する所見	令和3～4年度にかけて都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画を策定することができ、目標を達成できた。
	目標	策定			
	実績	策定			
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	
	令和6年度	

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.75

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	分割	事務事業名	排水機場・樋門整備事業（長寿命化事業）	担当部署	都市建設部　土木課
総合計画体系				根拠法令計画など	河川法、排水機場長寿命化計画
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始	令和　元　年度
（小項目）		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進		終期	令和　62　年度
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	浸水被害を最小限に食い止める。 市民生活の安全確保。 住宅への浸水および道路への冠水被害の軽減。	事業内容（R4）	①長寿命化事業実施 ・ロードマップに則した修繕を実施 ・フィードバック ②計画の見直し ・事業を実施した結果を基にフィードバックを行い、修正があれば見直しを行う ・見直した計画を基に事業を実施
実施方針	①現地調査等や定期点検結果の精査 ②事業費の算出や計画年次の決定 ③排水機場長寿命化計画の策定による適正な維持管理		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	排水機場長寿命化計画	1	1	2	2	2	機場
	2	目標更新施設数	1	2	2	2	2	機場
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	施設更新達成率		100	50	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	排水機場長寿命化計画策定	藻塩橋排水機場水中ポンプ更新工事 （水中ポンプ7基更新、オーバーホール1基）	西発排水機場更新工事 （水中ポンプ、配管、自家発等） 立岩排水機場更新工事 （水中ポンプ、配管等）	木津野排水機場更新工事 （水中ポンプ、スクリーン、配管等） 高島田中排水機場更新工事 （水中ポンプ、配管、スクリーン等）	辻岩排水機場更新工事 （水中ポンプ、配管等） 明神第五排水機場更新工事 （水中ポンプ、配管、スクリーン等）

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	150,000	6,550	156,550	150,000	150,000

事務事業名	排水機場・樋門整備事業（長寿命化事業）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	立岩排水機場長寿命化工事 西発排水機場長寿命化工事

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	排水機場長寿命化計画	1	2	2	2	2	機場
	2	目標更新施設数	2	2	2	2	2	機場
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		施設更新達成率	50	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		142,266,300	0	49,800,000	106,750,000	156,550,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	128,000,000	0	44,800,000	90,200,000	135,000,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	14,266,300	0	5,000,000	16,550,000	21,550,000

補助制度（名称、補助率など）	公共施設等適正管理推進事業債

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	施設更新達成率	
	目標	100	%
	実績	100	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	計画通り事業は実施できている。今後も引き続き、計画的に事業を推進していく。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	排水機場整備には大きな予算が必要となっている。このため、有効な補助金の活用や新たな補助事業の採択を模索しながら事業を推進していく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	排水機場長寿命化計画及び中長期にわたる施設強靭化計画をもとに事業を実施。 ・滓岩排水機場長寿命化工事 ・高島八軒浜樋門長寿命化工事
	令和6年度	排水機場長寿命化計画をもとに事業を実施。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.76

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	分割	事務事業名	排水機場・樋門整備事業（新設・改良事業）	担当部署	都市建設部　土木課
総合計画体系				根拠法令計画など	河川法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始	昭和　年度
（小項目）		危機管理・防災			
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	浸水被害を最小限に食い止める。 市民生活の安全確保。 住宅への浸水および道路への冠水被害の軽減。	事業内容（R4）	改良事業実施 ・道路冠水など被害が発生している箇所への新設 ・既存能力が不足している箇所への増設
実施方針	①現地調査等や定期点検結果の精査 ②事業費の算出や計画年次の決定 ③地域からの要望や冠水被害発生箇所への新設・改良		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	新設・改良排水機場	2	3	2	1	1	機場
	2	目標新設・改良排水機場数	2	3	2	1	1	機場

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	施設更新達成率	100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	林崎第一排水機場施設更新工事 明神第四排水機場改良工事	弐軒家第二排水機場改良工事 四枚水尾川排水機場新設工事 堂浦第二排水機場新設工事	日出排水機場新設工事 明神第八排水機場改良工事 立岩区画排水機場基本設計業務	明神第二排水機場改良工事	小島田排水機場改良工事 日出排水機場改良設計業務

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	140,000	21,562	161,562	122,000	183,000

事務事業名	排水機場・樋門整備事業（新設・改良事業）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	明神第八排水機場新設工事 日出第二排水機場新設工事

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	新設・改良排水機場	3	2	0	1	1	機場
	2	目標新設・改良排水機場数	3	2	1	1	1	機場
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		施設更新達成率	100	100	0	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		195,799,200	38,918,800	43,500,000	79,143,000	161,561,800
	財源内訳	国庫支出金	25,000,000	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	170,100,000	38,900,000	43,500,000	79,100,000	161,500,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	699,200	18,800	0	43,000	61,800

補助制度（名称、補助率など）	緊急自然災害防止対策事業債

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	施設更新達成率		成果指標に対する所見	計画通り事業は実施できている。今後も引き続き、計画的に事業を推進していく。
	目標	100	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	排水機場整備には大きな予算が必要となっている。このため、有効な補助金の活用や新たな補助事業の採択を模索しながら事業を推進していく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	実施予定だったが、事業計画を見直し長寿命化計画と合わせて実施することで、経費の削減を図る。
	令和6年度	市民要望や地域の状況を勘案しながら、計画的に整備を実施していく。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.77

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	名変	事務事業名	トリプルR事業 （道路維持補修事業+道路舗装補修事業）	担当部署	都市建設部　土木課
総合計画体系				根拠法令計画など	道路法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間 開始	令和　元　年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると			
（小項目）				終期	年度
施策	4	安全で快適な道路の整備			
基本事業	1	道路網の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	社会基盤施設の中でも、生活に欠かせない重要な役割の道路であるが、整備後、年数が経過して老朽化が進んでいる。今後、更なる損傷が現れるため、効率的な計画を立て舗装修繕【トリプル『R』事業】を実施し、道路の安全性と快適性を確保するものである。	事業内容（R4）	トリプルR事業 ①主要な市道の舗装補修 ②その他市道の舗装補修 ③道路維持補修（工事と修繕と原材料）
実施方針	道路の重要度や損傷度等により、優先順位を付けて、経年劣化した舗装の健全化を図る。		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	舗装修繕計画に基づく発注路線数	－	2	5	4	5	路線
	2	道路補修担当者会議に基づく補修路線数	－	－	19	19	19	路線
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		路線の舗装修繕割合	－	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①路面性状調査 ②道路舗装修繕計画策定 ③舗装修繕設計	1.道路舗装修繕計画に基づく ①舗装修繕設計 ②舗装修繕工事 2.道路補修担当者会議に基づく舗装修繕工事	トリプルR事業 ①道路舗装修繕計画に基づく「主要な市道の舗装補修」 ②道路補修担当者会議に基づく「その他市道の舗装補修」 ③道路維持補修 （工事と修繕と原材料）	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	154,000	3,777	157,777	154,000	154,000

事務事業名	トリプルR事業 （道路維持補修事業+道路舗装補修事業）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	トリプルR事業として、 ①道路舗装修繕計画に基づく「主要な市道の舗装補修」 ②道路補修担当者会議に基づく「その他市道の舗装補修」 ③道路維持補修 （工事と修繕と原材料） を実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	舗装修繕計画に基づく発注路線数	2	6	4	5	4	路線
	2	道路補修担当者会議に基づく補修路線数	－	20	19	19	19	路線
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		路線の舗装修繕割合	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		169,243,685	0	148,596,967	9,149,200	157,746,167
	財源内訳	国庫支出金	13,626,000	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	28,800,000	0	52,600,000	0	52,600,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	126,817,685	0	95,996,967	9,149,200	105,146,167

補助制度（名称、補助率など）	公共施設等適正管理推進事業債（90%起債、交付税37．5%）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	路線の舗装修繕割合	
	目標	100	%
	実績	100	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	計画どおり進んでいる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	□限りある予算の中で、現場を再確認して、補修方法等を見極め、最小限の費用と範囲で最大限の効果が見込まれるよう発注し、舗装を改善する。これに伴い、道路側溝の補修など土木工事の進捗に影響が出る可能性がある。 □トリプルR事業開始時からすると、残要望件数が増加傾向にある。 □令和5年度は、活用する社会資本整備総合交付金事業の内示が低いことから、進捗に支障が出る。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	□発注前に補修方法等を再精査してから発注する。 □可能な限り、直営による補修を実施し、修繕完了とすることで、残要望の減数に努める。 □工事は、全体事業費から算定した諸経費を採用することとし、経費率を削減して発注することで進捗率を高めている。
	令和6年度	継続して実施する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.78

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	道路橋梁長寿命化事業	担当部署	都市建設部　土木課
総合計画体系				根拠法令計画など	道路法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　24　年度
（小項目）	＼	道路			
施策	4	安全で快適な道路の整備		終期	年度
基本事業	3	橋梁の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	高度経済成長期に建設された橋梁は、今後、急速に老朽化が進行する。そこで、従来の事後的な修繕・架け替えから、予防保全的な修繕・架け替えへ政策転換し、橋梁の延命化を図る。	事業内容（R4）	①橋梁修繕設計 ②橋梁修繕工事 ③橋梁定期点検（道路法に基づく業務） ④計画策定（道路ﾒﾝﾃﾅﾝｽ補助制度要綱の改正に伴う修正業務）
実施方針	①道路法施行規則に基づき、5年に1度の橋梁定期点検を実施する。 ②計画に基づき、5年間で橋梁修繕を完了する。		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	橋梁長寿命化修繕計画策定進捗率	100	－	－	－	100	%
	2	長寿命化修繕事業の発注橋梁数	19	14	11	41	48	橋
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		長寿命化修繕計画に基づく発注橋梁の割合	100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①計画策定 ②橋梁点検 ③橋梁長寿命化修繕設計 ④橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事	①橋梁点検 ②橋梁長寿命化修繕設計 ③橋梁長寿命化修繕工事

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	385,378	97,964	483,342	397,000	401,000

事務事業名	道路橋梁長寿命化事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	計画どおり、下記の内容について実施した。 ①橋梁修繕設計 ②橋梁修繕工事 ③橋梁定期点検（道路法に基づく業務） ④計画策定（道路ﾒﾝﾃﾅﾝｽ補助制度要綱の改正に伴う修正業務）

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	橋梁長寿命化修繕計画策定進捗率	－	－	－	100	－	%
	2	長寿命化修繕事業の発注橋梁数	14	13	41	48	38	橋
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		長寿命化修繕計画に基づく発注橋梁の割合	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		333,144,010	93,391,320	304,554,700	69,340,300	467,286,320
	財源内訳	国庫支出金	178,450,000	39,743,000	135,738,000	26,653,000	202,134,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	114,200,000	28,700,000	102,700,000	1,700,000	133,100,000
		その他	4,529,800	0	4,650,800	0	4,650,800
		一般財源	35,964,210	24,948,320	61,465,900	40,987,300	127,401,520

補助制度（名称、補助率など）	道路メンテナンス補助（55%）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	長寿命化修繕計画に基づく発注橋梁の割合	
	目標	100	%
	実績	100	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	計画どおり進んでいる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	1回目点検では健全であった橋梁が、5年後の2回目点検（令和元年度～令和4年度）では、新たに13橋が老朽化により健全度Ⅲとなり、老朽化が進行している橋梁が増えつつある。 また、令和5年度の橋梁メンテナンス補助金が縮小（内示率70%で補助対象額は約1億円）され、事業に遅れが生じる。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	令和3年度からの5か年計画を進めており、令和2年度までに健全度Ⅲと位置付けられた橋梁の令和7年度修繕完了に向けて、年間当たりの対策橋梁を大幅に増加させ対応する。 また、健全度Ⅲであっても、小規模な損傷であれば、修繕を実施し延命化を図る。
	令和6年度	道路メンテナンス補助金縮小により、令和5年度に執行できない橋梁については、令和6年度に施工可能となるよう要望し、延命化を図る。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.79

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	河川改良事業	担当部署	都市建設部　土木課
総合計画体系				根拠法令計画など	河川法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち　なると		事業期間 開始	昭和　不明　年度
(小項目)		河川・海岸			
施策	4	自然環境に配慮した水辺空間の整備		終期	未定
基本事業	1	河川整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市内の準用河川・普通河川の改良を行うことにより、以下の目的を達成する。 ①浸水被害を最小限に食い止める。 ②市民生活の安全確保 ③護岸崩壊や吸出しから背後地を守る。	**事業内容（R4）**	①南浜排水路改良工事　②徳長排水路改良工事 ③三ツ石地区排水路改良工事　④島田地区護岸改良工事 ⑤高島大水尾川河川改良工事　⑥弁財天排水路改良工事 ⑦アイノ水尾川護岸改良工事　⑧島田地区排水路改良工事
実施方針	①現地調査等や住民要望を集約し優先順位をつける ②事業費の算出や計画年次の決定		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	事業要望箇所数	10	10	9	10	10	箇所
	2	事業実施箇所数	8	8	8	10	10	箇所
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	市民要望着手率		80	80	89	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	要望箇所実施	要望箇所実施	要望箇所実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	12,900		12,900	14,800	13,000

事務事業名	河川改良事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	アイノ水尾川護岸補修工事 南浜排水路改良工事 中島田地区排水路改良工事 徳長排水路改良工事 島田地区護岸改良工事 高島地区排水路改良工事 明神地区排水路改良工事 滓岩水尾川防草シート設置工事

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	事業要望箇所数	12	9	10	10	10	箇所
	2	事業実施箇所数	10	8	10	10	10	箇所
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市民要望着手率	83	89	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		104,480,500	0	12,723,700	0	12,723,700
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	103,100,000	0	11,400,000	0	11,400,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,380,500	0	1,323,700	0	1,323,700
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	市民要望着手率	
	目標	89	%
	実績	89	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見
要望に対して、概ね事業の実施はできた。今後も計画的に事業の実施に努める。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地域住民から、未整備水路の整備や老朽化した水路の改修などの要望が寄せられている。このため、地域の現状などを検討し計画的に整備を進めたい。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	要望箇所の重要度を勘案し整備を実施する。
	令和6年度	要望箇所の重要度を勘案し整備を実施する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.80

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公共下水道維持管理事業（雨水）	担当部署	都市建設部　下水道課
総合計画体系				根拠法令計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市下水道条例
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始	昭和　43　年度
（小項目）		危機管理・防災			
施策	01	災害に負けないまちづくりの推進		終期	未定
基本事業	3	防災施設・資器材等の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	台風・大雨時における市街地の浸水被害を未然に防止し、市民生活の機能維持と安全確保を図る。	事業内容（R4）	ポンプ場 ①ストックマネジメント計画に基づき、施設の長寿命化に努める。 ②施設の耐震・耐津波対策を進める。 管路施設 ①ストックマネジメント計画に基づき、事業の推進を図る。 （調査点検、実施設計、台帳システム作成等）
実施方針	優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理に努める。 また、施設の適正な維持管理を図るため、ストックマネジメント計画に基づいた対策に取り組む。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	管路施設の改築修繕	39	0	43	0	55	m
	2	ポンプ場の耐震化割合	21	31	41	66	73	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	雨水施設整備		推進	推進	推進	推進	推進	－

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ計画の策定に取り組む 優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む	ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ計画の策定に取り組む 優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む	優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む	優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む	優先度の高い施設の耐震化長寿命化に取り組む

◎積算基礎

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	200,310	85,065	285,375	200,310	200,310

事務事業名	公共下水道維持管理事業（雨水）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	国庫補助金（防災・安全社会資本整備交付金）を活用して、優先度の高い雨水施設の耐震・耐津波化及び長寿命化に取り組んだ。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	管路施設の改築修繕	0	0	43	55	0	m
	2	ポンプ場の耐震化割合	21	31	66	73	94	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		雨水施設整備	推進	推進	推進	推進	推進	―
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		15,027,440	85,055,000	32,594,327	167,468,000	285,117,327
	財源内訳	国庫支出金	7,472,500	42,527,500	16,271,000	83,729,000	142,527,500
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	42,500,000	10,100,000	83,400,000	136,000,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	7,554,940	27,500	6,223,327	339,000	6,589,827

補助制度（名称、補助率など）	防災・安全社会資本整備交付金　補助率　1/2

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	雨水施設整備	成果指標に対する所見	施設の耐震化の推進が図られたためB評価とした。
	目標	推進 ―		
	実績	推進 ―		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	災害の未然防止や、施設の適正な維持管理のため、施設の耐震・耐津波化、及び長寿命化を図っており、事業を推進するための国庫補助等財源確保が課題となっている。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の適正な維持管理を円滑に行う。
	令和6年度	優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を推進し、災害の未然防止や、施設の適正な維持管理を円滑に行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.81

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公共下水道整備事業（汚水）	担当部署	都市建設部　下水道課
総合計画体系				根拠法令計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市下水道条例
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち　なると		事業期間 開始	平成　13　年度
（小項目）		生活排水対策			
施策	03	生活排水対策の推進		終期	未定
基本事業	1	公共下水道事業の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	下水道の整備を進めることにより、地域の生活環境や公共用水域の水質改善を図る。
実施方針	国庫補助金（社会資本整備総合交付金）の財源確保に努めるとともに、補助金を最大限に活用しながら、下水道整備を進めていく。
事業内容（R4）	汚水事業 ①第3期計画区域の整備を進める。 ②供用開始区域を拡大 ③下水道普及率の向上を図る。

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	整備面積	172.8	186.8	194.4	202.0	209.6	ha
	2							

	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	下水道普及率	10.9	11.7	12.2	12.7	13.2	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	第2期事業区域及び第3期事業区域の整備を進めた。	第3期事業区域の整備を進める。	第3期事業区域の整備を進める。	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	316,966	283,559	600,525	316,966	316,966

事務事業名	公共下水道整備事業（汚水）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	国庫補助金（社会資本整備総合交付金）を活用して、第3期事業区域の下水道整備にかかる管渠築造工事を実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	整備面積	187.6	195.3	202.0	209.6	217.2	ha
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		下水道普及率	11.0	11.6	12.7	13.2	13.7	%
		目標達成率(実績/目標)		95.1	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		309,345,381	276,887,600	209,226,161	109,806,000	595,919,761
	財源内訳	国庫支出金	118,656,900	96,169,500	76,511,050	33,298,000	205,978,550
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	175,600,000	170,300,000	122,400,000	59,400,000	352,100,000
		その他	13,047,100	5,041,000	8,590,725	14,600,000	28,231,725
		一般財源	2,041,381	5,377,100	1,724,386	2,508,000	9,609,486

補助制度（名称、補助率など）	社会資本整備総合交付金　補助率　1/2

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	下水道普及率	成果指標に対する所見	目標である下水道普及率の達成状況や有効性・効率性からB評価とした。
	目標	12.2 %		
	実績	11.6 %		
	評価	B:概ね目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後も事業を推進するために、国庫補助等の財源確保を行うことが重要であり、課題となっている。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	国庫補助金（社会資本整備総合交付金）の内示額を基準とした事業規模で、下水道整備を進めていく。
	令和6年度	国庫補助金（社会資本整備総合交付金）の内示額を基準とした事業規模で、下水道整備を進めていく。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.82

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	下水道普及促進事業	担当部署	都市建設部　下水道課
総合計画体系				根拠法令計画など	都市計画法、下水道法、鳴門市下水道条例、鳴門市下水道普及促進対策助成金交付要綱
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち　なると	事業期間	開始	平成　13　年度
（小項目）		生活排水対策			
施策	3	生活排水対策の推進		終期	年度
基本事業	2	公共下水道水洗化率の向上			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①環境衛生の向上及び都市の健全な発達、公共用水域の水質の保全に資する。 ②使用料収入の早期確保により、下水道事業の健全経営を実現	事業内容（R4）	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施
実施方針	①下水道接続工事を実施する方へ助成金の交付 ②下水道供用開始区域に対し、普及促進員によるサポートを実施し、水環境に関する普及啓発に取り組む。 ③下水道水洗化率（加入率）の向上を図り、健全経営を図る。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	下水道接続人口	2573	2593	2580	2697	2811	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	水洗化率（加入率）		42.5	42.8	38.0	38.6	39.2	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付予定 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施予定	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付予定 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施予定	①下水道接続工事の実施者への助成金の交付予定 ②普及促進員による水環境に関する普及啓発の実施予定

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	17,000		17,000	17,000	17,000

事務事業名	下水道普及促進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	下水道接続工事を実施した者に対し助成金を交付した。また、供用開始区域内在住の市民に、普及推進員による戸別訪問を通して、下水道の接続に係る助成制度の内容や水環境ついて説明し、下水道への早期接続をお願いした。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	下水道接続人口	2,711	2,803	2,697	2,811	2,926	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		水洗化率（加入率）	44.7	44.2	38.6	39.2	39.8	%
		目標達成率(実績/目標)		116.3	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		8,781,000	0	10,381,300	0	10,381,300
	財源内訳	国庫支出金	4,390,500	0	5,190,650	0	5,190,650
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	4,390,500	0	5,190,650	0	5,190,650

補助制度（名称、補助率など）	社会資本整備総合交付金（効果促進事業）　補助率　1/2（普及促進対策助成金）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	水洗化率（加入率）	
	目標	38	%
	実績	44	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	職員による周知啓発だけでなく、国庫補助金制度を活用したサポート事業により、効率性は高くなっている。 グループ申請制度の要件緩和したキャンペーンを継続して実施し、それを周知することにより、下水道への接続者は増加しており、水洗化率の目標を達成することができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①水環境に関する啓発を実施していくことで、下水道事業に対する理解を得る必要がある。 ②今後とも更なる普及促進に向けて、助成金制度（グループ申請制度）の見直しが必要である。 ③区域内の人口増と接続率向上を図ることで、持続可能な経営を目指す必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	①今後も下水道事業に対する理解を得ながら、水環境についての啓発や、助成金制度の周知に努める。 ②新たな助成金制度を考え実施していくことで、普及促進を進め、持続可能な経営を目指す。
	令和6年度	①今後も下水道事業に対する理解を得ながら、水環境についての啓発や、助成金制度の周知に努める。 ②新たな助成金制度を考え実施していくことで、普及促進を進め、持続可能な経営を目指す。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.83

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	合併処理浄化槽普及促進事業	担当部署	都市建設部　下水道課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	水質汚濁防止法、循環型社会形成推進交付金交付要綱、徳島県浄化槽整備事業補助金交付要綱、鳴門市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、鳴門市環境基本計画		
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち　なると	事業期間	開始	平成　5　年度
（小項目）		生活排水対策			
施策	3	生活排水対策の推進		終期	年度
基本事業	3	合併処理浄化槽の普及促進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①生活環境の改善と水環境の保全 ②合併処理浄化槽の普及	事業内容（R4）	前年度と同様に、補助事業を実施するとともに、水環境の改善や単独処理浄化槽・合併処理浄化槽の違いや転換への補助制度など生活排水処理に関する内容について、広報なると等を通じて、啓発活動に努める。
実施方針	①合併処理浄化槽への転換補助の実施 ②汚水処理人口普及率の向上を図る。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	転換補助申請受付数	17	20	20	20	20	基
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	転換補助基数		17	20	20	20	20	基

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、補助金の新設と増額改定を実施 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、令和2年度に新設・増額改定した補助金を継続実施中 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施済	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、令和2年度に新設・増額改定した補助金を継続実施予定 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施予定 ③県環境技術センターと連携し、啓発パンフレットを配布予定	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、令和2年度に新設・増額改定した補助金を継続実施予定 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施予定 ③県環境技術センターと連携し、啓発パンフレットを配布予定	①既存の合併処理浄化槽への転換に係る補助事業に加え、令和2年度に新設・増額改定した補助金を継続実施予定 ②普及啓発活動として、広報なるとへの折込チラシや、市庁舎での啓発展示、鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示等を実施予定 ③県環境技術センターと連携し、啓発パンフレットを配布予定

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	16,922		16,922	16,922	16,922

事務事業名	合併処理浄化槽普及促進事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	①前年度と同様に、合併処理浄化槽への転換に係る補助事業を実施。 ②下水道設備指定工事店への案内を実施。 ③広報紙に水環境パンフレットの折込を入れて全戸配布。 ④市庁舎で啓発展示。 ⑤鳴門ウチノ海総合公園での汚水処理パネルの展示。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	転換補助申請受付数	20	15	20	20	20	基
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		転換補助基数	20	15	20	20	20	基
		目標達成率(実績/目標)		75.0	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		12,031,977	0	8,978,356	0	8,978,356
	財源内訳	国庫支出金	7,227,000	0	6,786,000	0	6,786,000
		県支出金	2,334,000	0	1,815,000	0	1,815,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,470,977	0	377,356	0	377,356

補助制度(名称、補助率など)	循環型社会形成推進交付金 (補助率 1/2、1/3) 徳島県浄化槽整備事業補助金 (補助率4/15、3/15)

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	転換補助基数		成果指標に対する所見	転換のタイミングとしては、既存の単独処理浄化槽が壊れた時、家族構成やライフスタイルの変更によるリフォーム時に実施される場合が多く、年度による変動は見られるため、数年間の計画の中で、成果を判断すべきものと考えている。 補助金制度の増額改定に加え、広報への折り込みやパネル展示、新たな普及促進施策を今後進めていくことで、合併処理浄化槽への転換数は増えていく見込みがあるため、事業全体として計画通り進んでいると言える。
	目標	20	基		
	実績	15	基		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	汚水処理人口普及率の向上に向け、個別処理の大半を占める単独処理浄化槽等を合併処理浄化槽に転換していく必要があるが、転換には多額の個人負担を伴うことや、各家庭における設置スペース等の確保が困難な場合もあり、事業促進は容易ではない。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	①補助金の増額改定を行うとともに、水環境の改善に向けて、生活排水処理対策の推進や、合併処理浄化槽への転換の必要性等について、広報紙への折り込みなど、積極的に啓発活動に取り組んでいく。 ②県や浄化槽の検査機関と連携した水環境改善への啓発事業を展開する。 ③公共浄化槽制度や民間を活用するPFI方式が有効であるかの調査研究を進める。 ④戸別訪問による普及促進対策に取り組んでいく。
	令和6年度	①水環境の改善に向けて、生活排水処理対策の推進や、合併処理浄化槽への転換の必要性等について、広報紙への折り込みなど、積極的に啓発活動に取り組んでいく。 ②県や浄化槽の検査機関と連携した水環境改善への啓発事業を展開する。 ③公共浄化槽制度や民間を活用するPFI方式が有効であるかの調査研究を進める。 ④戸別訪問による普及促進対策に取り組んでいく。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.84

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ドイツ村公園整備事業	担当部署	都市建設部　公園緑地課
総合計画体系				根拠法令計画など	都市公園法・都市計画法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち　なると		事業期間 開始	昭和　51　年度
(小項目)		公園・緑地			
施策	2	緑の保全と創出		終期	未定
基本事業	1	公園の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	第一次世界大戦当時のドイツ兵との交流の歴史を後世に伝えるためにドイツ村公園の整備を行う	事業内容（R4）	ドイツ村公園の環境整備 ①ボランティア委託による管理 ②板東俘虜収容所跡環境改善
実施方針	ドイツ村公園の環境整備		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	ドイツ村公園の整備進捗率		100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①ボランティアによる管理 ②収容所跡環境改善	①ボランティアによる管理 ②収容所跡環境改善	①ボランティアによる管理 ②収容所跡環境改善	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,289		2,289	2,289	2,289

事務事業名	ドイツ村公園整備事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	平成30年に板東俘虜収容所跡が国指定史跡に指定されており、国の史跡にふさわしい環境整備を行うために美化事業を実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ドイツ村公園の整備進捗率	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移(円)	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,870,850	0	1,813,969	0	1,813,969
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,870,850	0	1,813,969	0	1,813,969
補助制度(名称、補助率など)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	ドイツ村公園の整備進捗率	
	目標	100	%
	実績	100	%
	評価	A:目標を達成できた	
成果指標に対する所見		地域団体等の協力を得て、公園内を良好な状態に維持することができた。	

◎今後の方向性(ACTION)

課題	昭和51年度に総合公園として都市計画決定、平成30年に板東俘虜収容所跡地として公園の一部が国の史跡指定されており、全面積54.3haの内、現在は10．6haを供用部分としている。今後においても、社会情勢の変化等にも留意しながら、国の史跡にふさわしい環境整備を継続していく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	地域団体と協議を行い清掃活動等環境維持整備を実施し、観光資源としての魅力を維持できるように努める。
	令和6年度	地域団体と協議を行い清掃活動等環境維持整備を実施し、観光資源としての魅力を維持できるように努める。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.85

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業	担当部署	都市建設部　公園緑地課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		徳島県鳴門ウチノ海総合公園・徳島県鳴門総合運動公園の管理運営に関する基本協定・年度協定	
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち　なると	事業期間	開始	平成　15　年度
（小項目）		公園・緑地			
施策	2	緑の保全と創出		終期	未定
基本事業	1	公園の整備			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①子ども等の主体的な体験学習の支援 ②親子のふれあいの場の提供	事業内容（R4）	子ども等を対象とした事業の実施 ①U－10フットサル大会、キッズサッカー ②児童画作品コンクール展 ③鳴門ウチノ海総合公園季節イベント ④端午の節句、ひなまつり、パークセンターギャラリー ⑤婚活イベント
実施方針	子ども等を対象とした事業の実施		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動（イベント）開催件数	1	1	9	9	9	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	活動（イベント）への参加人数		2,700	2,700	18,000	18,000	18,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	パークセンターギャラリー	パークセンターギャラリー	①U－10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④婚活イベント ⑤キッズサッカー　等	①U－10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④婚活イベント ⑤キッズサッカー　等	①U－10フットサル大会 ②わくわく夏・冬パーク ③パークセンターギャラリー ④婚活イベント ⑤キッズサッカー　等

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	3,968	△ 3,880	88	3,968	3,968

事務事業名	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	①②③⑤新型コロナウイルス感染拡大による影響の為、中止。 ④新型コロナウイルス感染拡大による影響の為、端午の節句、ひなまつりは中止。パークセンターギャラリーは「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」と連携して実施。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動(イベント)開催件数	1	1	8	8	8	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		活動(イベント)への参加人数	1,650	1,910	10,000	10,000	10,000	人
		目標達成率(実績/目標)		10.6	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		88,000	0	88,000	0	88,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	88,000	0	88,000	0	88,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0

補助制度(名称、補助率など)	徳島県鳴門ウチノ海総合公園・徳島県鳴門総合運動公園の管理運営に関する基本協定・年度協定(100%)

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	未達成

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	活動(イベント)への参加人数			新型コロナウイルスの影響によりイベントを中止せざるを得なかった。コロナウイルスもひとまず落ち着きを見せているが引き続き状況には注意しつつ、子ども達の主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントの実施を模索していく。
	目標	18,000	人		
	実績	1,910	人		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門ウチノ海総合公園の活用を推進するためには、利用者ニーズへの適切な対応が公園の利用増につながるため、モニタリングを通じて利用者ニーズの把握・分析を行うとともに、「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」の意見も聞きながら、業務改善や新たな企画を立案していく必要がある。 また、イベントを開催するにあたっては、事故やけがをしないように十分に注意をはらうと共に、公園施設の日常点検等を実施して、安全管理の強化に努め、事故防止を徹底することが重要である。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	状況に合わせたイベントを実施すると共に、子どもたちの主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントを模索していく。
	令和6年度	状況に合わせたイベントを実施すると共に、子どもたちの主体的な体験活動や親子の交流の場を提供できるイベントを模索していく。

各実施計画兼評価シート

産　業　振　興　部

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.86

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地域経済活性化推進事業（エコノミックガーデニング）	担当部署	産業振興部　商工政策課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市中小企業振興基本条例等
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　24　年度
（小項目）	＼	産業			
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化		終期	未定
基本事業	1	地場産業の育成と振興			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	地元の企業が活動しやすいビジネス環境を整え、成長意欲あふれる中小企業が多く存在することで、地域経済の活性化を図る施策であり、本市での雇用創出や税収拡大に繋げることを目的とする。	事業内容（R4）	①企業訪問を随時行い、市の支援事業を紹介するとともに、個別企業の情報やニーズを把握する。 ②鳴門市中小企業振興施策検討委員会を開催し、外部委員の視点から、パッケージ事業の見直しや新たな振興施策に向けた意見を聞く。 ③鳴門市がんばる中小企業応援パッケージ事業を広く募集し実施する。なお、事業拡大・創業支援は、鳴門市中小企業新規チャレンジ検討委員会の外部委員の意見を聴取する。また、応援パッケージ事業の成果を広報する。
実施方針	①主に市内の企業訪問を実施し、直接、中小企業振興基本条例による企業支援の考え方と各種支援制度を周知していく。 ②新規施策の検討や推進事業の見直しのため、鳴門市中小企業振興施策検討委員会を開催する。 ③鳴門市がんばる中小企業応援パッケージ事業を実施する。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	企業訪問数（延べ）	98	150	150	150	150	件
	2	起業・創業相談件数	23	5	5	5	5	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度実績見込	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数		6	5	5	5	5	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	①企業訪問の実施 ②中小企業振興施策検討委員会の開催 ③パッケージ事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	7,864	1,698	9,562	7,864	7,864

事務事業名	地域経済活性化推進事業（エコノミックガーデニング）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・市内企業訪問を実施し、ニーズの把握に努めた。 ・鳴門市中小企業施策検討委員会を開催した。 ・鳴門市がんばる中小企業応援パッケージ事業を実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	企業訪問数（延べ）	76	118	150	150	150	件
	2	起業・創業相談件数	16	24	20	20	20	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数	8	19	10	10	10	件
		目標達成率(実績/目標)		380.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		3,865,336	0	8,729,358	0	8,729,358
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,865,336	0	8,729,358	0	8,729,358
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	がんばる中小企業応援パッケージ事業利用件数		成果指標に対する所見	がんばる中小企業応援パッケージ事業を通じて、地元事業者が実施する事業拡大や販路開拓、創業促進等を支援し、目標を大幅に超える成果に結びつけることができた。今後も引き続き、地元中小企業者等への支援を積極的に実施する。
	目標	5	件		
	実績	19	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	コロナ禍に加え、物価高騰・エネルギー価格高騰等の影響により、事業者の収益率が低下している。DXやGXの推進をはじめ、事業者の経営改革や事業拡大への取り組みを支援することにより、収益体質の改善を図る必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	・市内企業訪問を実施し、課題や景況感の把握を行い、支援制度の検討を行う。 ・新規施策の検討や事業の見直しのため、中小企業振興施策検討委員会を開催する。 ・鳴門市がんばる中小企業応援パッケージ事業を実施する。
	令和6年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.87

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地場産品振興対策事業	担当部署	産業振興部　商工政策課

総合計画体系			根拠法令計画など		伝統的工芸品産業の振興に関する法律等
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　17　年度
（小項目）	＼	産業			
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化		終期	未定
基本事業	1	地場産業の育成と振興			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	国の伝統工芸品に指定されている大谷焼、その他本市が誇る製塩業・製薬業・足袋製造業・アパレル業・粘土瓦製造業・酒醸造業・加工品製造業（わかめ加工）等の地場産品を振興するための施策を行う。	事業内容（R4）	①伝統的工芸品振興事業補助金を活用し、市内PR事業の開催を支援する。 ②徳島県等と連携し、鳴門わかめの同位体検査を行う。 ③鳴門市うずしお観光協会と連携し、県人会や都市部、桐生市での物産展など、イベント出展を行う。
実施方針	①伝統的工芸品の大谷焼を振興するための補助を行う。 ②鳴門わかめの信頼を維持するため、徳島県等と連携する。 ③他県へ出向き、地場産品のセールス活動を行う。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数		2	4	4	4	4	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①市内PRイベント支援 ②鳴門わかめの検査 ③県外でのPRイベント	①市内PRイベント支援 ②鳴門わかめの検査 ③県外でのPRイベント	①市内PRイベント支援 ②鳴門わかめの検査 ③県外でのPRイベント	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,095		2,095	2,095	2,095

事務事業名	地場産品振興対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・第13回「大谷焼の里」スプリングフェスタの開催を支援した。 ・徳島県人会近畿連合会定期総会と県人の集いに参加した。 ・第48回大谷焼窯まつりの開催を支援した。 ・鳴門わかめの地域ブランドを保護するため、わかめの同位体検査を実施した。 ・第36回桐生市物産まつりに参加した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数	2	4	4	4	4	件
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		779,294	0	1,361,919	0	1,361,919
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	779,294	0	1,361,919	0	1,361,919
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	地場産品のPRイベントへの参加及び支援件数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により中止されていた県外での地場産品PRイベントが開催されたため、うずしお観光協会と共に参加し物産PRを行った。
	目標	4	件		
	実績	4	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題		県外の地場産品PRイベント等への出展や「窯まつり」などの市内イベントの支援はもちろん、オンライン販売や企業間連携の促進などにより、地場産品の新たな販路開拓・拡大に取り組む必要がある。
今後の方向性	☐ 1.廃止 ☐ 2.要改善 ☑ 3.現状維持 ☐4.現状維持(新型コロナ) ☐ 5.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和5年度	・市外で開催される地場産品PRイベント等へ参加するとともに、市内でのイベント開催を支援する。 ・鳴門わかめブランドの保護のため、わかめの同位体検査を実施する。 ・地場産品の新たな販路開拓・拡大のための取り組みを行う。
	令和6年度	前年度の実施内容を検討し、決定する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.88

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	就職マッチング事業	担当部署	産業振興部　商工政策課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市雇用対策協定、鳴門市雇用対策協定運営協議会設置要綱等
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　24　年度
（小項目）	＼	産業			
施策	2	雇用の安定		終期	未定
基本事業	1	就職機会の拡大			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	人材を求める市内企業と求職者とのマッチングを促進することで、地場産業の振興に寄与するとともに、地元企業を知る機会を創り出し、地元就職を促進させる。	**事業内容（R4）**	①合同就職面接会「鳴門市マッチングフェア2022」を年2回開催する。 ②市内企業おしごと体験事業を実施し、事業成果報告用冊子を作成する。
実施方針	①ハローワークと連携し、合同就職面接会等を開催する。 ②市内児童・生徒を対象に地元企業を知り、勤労観を醸成するような事業を実施する。 ③働き方に関する情報の発信や相談業務を行う。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	就職面接会の参加人数	37	30	30	30	30	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	就職者数（臨時雇用含む）		5	6	6	6	6	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業	①コロナウイルス感染症対策を踏まえた合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業	①コロナウイルス感染症対策を踏まえた合同就職面接会の開催 ②市内企業おしごと体験事業	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**1,449**	**△ 380**	**1,069**	**1,449**	**1,449**

事務事業名	就職マッチング事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・初めての試みとして、事前にオンライン合同就職説明会を実施するなど、就職マッチングフェアを開催した。 ・大麻町の各事業所において、児童・生徒を対象とした職場体験の機会として、「夏休み自由研究応援プロジェクト」を実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	就職面接会の参加人数	37	50	50	50	50	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		就職者数（臨時雇用含む）	7	15	15	15	15	人
		目標達成率(実績/目標)		250.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		630,300	0	712,051	0	712,051
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	630,300	0	712,051	0	712,051
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	就職者数（臨時雇用含む）	
	目標	6	人
	実績	15	人
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	就職マッチングフェアにおいて、オンライン合同就職説明会の開催など、新たな取り組みを実施し、過去最高の内定者数（15名）となった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	合同就職面接会への参加者を増やすことについては、一定の成果を得たが、当日複数企業の面談を受ける人が少ない状況にあり、求職者により多くの企業を回ってもらう取り組みが必要である。 UIJターンなど県外からの参加者を増やすため、移住施策との連携を強化する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	・幅広く参加企業を知ってもらうため、事前にオンライン合同就職説明会を実施するほか、UIJターンをはじめ移住施策と連携した合同就職面接会を開催する。 ・市内企業と連携し、職場体験の機会を創出するなど、児童・生徒の勤労観醸成に取り組む。 ・プロスポーツチームと連携し、おしごと体験事業を実施する。
	令和6年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.89

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	企業誘致推進事業	担当部署	産業振興部　商工政策課

総合計画体系			根拠法令計画など		鳴門市企業立地奨励条例等
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成　11　年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると			
（小項目）	＼	産業		終期	未定
施策	2	雇用の安定			
基本事業	2	企業誘致の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	県内外の優良企業を誘致することにより、就業機会の増大や地域経済の活性化、市民所得の向上等を図り、活力あるまちづくりを推進する。	事業内容（R4）	①市内への立地希望企業に、鳴門市が把握している遊休資産の情報を提供する。また、空き家バンクを活用した空き事務所等の情報や宅建協会、地域金融機関、徳島県担当課と連携して、各種の情報を提供する。 ②企業立地奨励条例等による支援措置を実施する。 ③地元企業の強みや課題と都市部等企業が持つ技術・ノウハウ等をマッチングさせ、サテライトオフィス誘致につなげるとともに、地域に根差した新たなビジネスの創出等を推進する。
実施方針	①市内への立地希望企業の要望に応えるため、関係機関と連携しながら、土地建物に関する情報等を収集し、把握する。 ②企業立地奨励条例を活用し、企業誘致に取り組む。 ③都市部企業と地元企業のマッチングにより、サテライトオフィス誘致を推進する。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	企業誘致相談対応案件数	11	10	10	10	10	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	企業進出件数（市内企業の増設を含む。）		1	1	1	1	1	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①関係機関と連携し、土地建物情報の提供 ②奨励条例による支援措置の実施	①関係機関と連携し、土地建物情報の提供 ②奨励条例による支援措置の実施 ③サテライトオフィス誘致等補助金の設置 ④サテライトオフィス誘致専用HPの設置	①関係機関と連携し、土地建物情報の提供 ②奨励条例による支援措置の実施 ③都市部企業と地元企業のマッチングによるサテライトオフィス誘致	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**30,284**	**△ 2,018**	**28,266**	**30,284**	**17,097**

事務事業名	企業誘致推進事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	・徳島県宅建協会鳴門支部との連携体制を深め、企業立地候補地のリストアップを行うとともに、徳島県及び金融機関等と連携し、検討企業に候補地の紹介等を行った。 ・企業立地奨励条例に基づき、企業への奨励措置(固定資産税減免・補助金交付)を実施した。 ・国や県・民間企業が主催するマッチングイベントへ参加し、個別商談会や視察対応を行うなど、サテライトオフィス誘致を推進した。 ・企業誘致専用WEBサイト「NARUTO.biz」では、地元企業のインタビュー・紹介動画や各種支援制度の発信により、都市部企業に対するアプローチを図った。

			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	企業誘致相談対応案件数	12	43	30	30	30	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	企業進出件数(市内企業の増設を含む。)		1	3	2	2	2	件
	目標達成率(実績/目標)			300.0	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		18,049,344	0	25,226,382	0	25,226,382
	財源内訳	国庫支出金	0	0	11,524,942	0	11,524,942
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	18,049,344	0	13,701,440	0	13,701,440

補助制度(名称、補助率など)	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	企業進出件数(市内企業の増設を含む。)		成果指標に対する所見	サテライトオフィスが市内で3箇所開設され、空き家の活用や企業間連携の促進による地元企業の活性化につながった。
	目標	1	件		
	実績	3	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市の産業団地は全区画が分譲済であるため、民有地を含めた企業立地候補地のピックアップを進めるとともに、徳島県や金融機関、デベロッパーなどの関係機関とも連携を深めながら、業種を問わず幅広く誘致活動を展開する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	・徳島県宅建協会鳴門支部との連携による企業立地候補地のリストアップ・条件整備のほか、徳島県や金融機関等との連携や企業訪問により誘致活動を実施する。 ・鳴門市企業立地奨励条例等を活用した企業支援(固定資産税減免・補助金交付)を実施する。 ・都市部企業とのマッチングイベントへの参加や大麻町商工会コワーキングスペースの活用等を通じて、サテライトオフィスの誘致を図る。
	令和6年度	前年度の実施状況を検証し、事業内容を決定する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.90

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	移住交流支援事業	担当部署	産業振興部　商工政策課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			鳴門市お試し滞在助成金交付要綱、鳴門市わくわく移住支援事業補助金交付要綱、鳴門市空き家判定業務支援事業実施及び空き家利活用促進事業補助金交付要綱等
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　28　年度
（小項目）	＼	シティプロモーション			
施策	2	シティプロモーションの推進		終期	未定
基本事業	3	移住・交流の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	移住希望者に対して、本市の魅力や各種支援制度を情報発信するとともに、空き家の利活用により移住交流を促進し、定住人口の増加につなげる。
実施方針	①移住交流支援センターにおける相談窓口対応により、移住交流を促進する。 ②県外での移住相談会に参加するとともに、積極的な情報発信を行う。 ③空き家バンク制度を運用し、移住者への住まいの案内などを通して空き家の利活用を促進する。
事業内容（R4）	①移住相談会に参加するとともに、移住相談業務において、お試し滞在助成金をはじめとした各種支援制度を案内するなど、移住者の増加を図る。 ②最もニーズの高い近畿圏をメインターゲットとし、本市の魅力等を情報発信するために、移住交流専用WEBサイトを設置するとともに、インフルエンサーを活用したPR事業を実施する。 ③空き家バンクの運用と登録件数を拡大する。

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	移住相談件数	92	50	50	50	50	件
	2	移住者数	4	2	2	2	2	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	空き家バンク登録件数		8	5	5	5	5	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①移住交流支援センターにおける移住相談 ②県外での移住相談会への参加（オンライン） ③空き家バンク制度の運用	①移住交流支援センターにおける移住相談 ②県外での移住相談会への参加（オンライン） ③空き家バンク制度の運用	①移住交流支援センターにおける移住相談 ②県外での移住相談会への参加 ③移住交流にかかる情報発信の強化 ④空き家バンク制度の運用	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**5,417**	**2,451**	**7,868**	**5,417**	**5,417**

事務事業名	移住交流支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・移住専用ウェブサイト・移住専用Instagram「NARUTO.3RD」を新たに開設した。 ・本市出身の元プロ野球選手・里崎智也氏に移住交流PR大使を委嘱し、体験ツアーやトークイベントの開催など、連携して本市への移住PRを行った。 ・新たな移住コンセプト「半農半X」の推進として、パンフレットを作成するとともに、モニターツアーや大学生と考えるツアー、移住体験ツアー、提唱者である塩見直紀氏を招聘したPRトークイベントを開催した。 ・移住交流支援センターにおいて、空き家バンク制度や各種支援制度の案内など、移住希望者からの相談業務を実施した。 ・「おいでや！いなか暮らしフェア2022」をはじめ、各種移住相談会に参加した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	移住相談件数	131	156	100	100	100	件
	2	移住者数	5	11	5	5	5	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		空き家バンク登録件数	14	7	5	5	5	件
		目標達成率(実績/目標)		140.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		221,743	0	6,883,704	0	6,883,704
	財源内訳	国庫支出金	0	0	4,193,600	0	4,193,600
		県支出金	0	0	1,200,000	0	1,200,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	90,000	0	200,000	0	200,000
		一般財源	131,743	0	1,290,104	0	1,290,104

補助制度（名称、補助率など）	・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 ・徳島わくわく移住支援事業費補助金 　単身での移住の場合：一世帯あたり60万円（県45万円、市15万円） 　世帯での移住の場合：一世帯あたり100万円（県75万円、市25万円） ・徳島県市町村振興協会助成金9万円・「とくしま」ふるさと回帰推進協議会助成金11万円

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	空き家バンク登録件数		成果指標に対する所見	空き家バンクサイトによる情報発信や納税通知書の裏面を活用した周知啓発等により、空き家バンク制度の認知度が高まり、実績につながった。
	目標	5	件		
	実績	7	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	コロナ禍により都市部の若年層を中心に地方移住への関心が高まっており、この好機を逃すことなく、「半農半X」「移住起業」をコンセプトに移住交流促進に向けたブランディングを図っている。メインターゲットとなる20代～30代へのアプローチには、ウェブメディアの積極的な活用が効果的であることから、移住専用ウェブサイト・移住専用Instagramの情報発信力を強化する必要がある。					
今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。						
実施内容	令和5年度	・全国から参加者を募集し、2週間の農業アルバイトを体験してもらう「半農半X推進シェアハウス事業」を実施する。 ・オンライン講座と本市での短期合宿を行う「移住起業アカデミー」を開催する。 ・移住交流PR大使や移住系大手サイト等との連携により移住専用ウェブサイト等の情報発信力を高める。 ・移住相談会への参加や移住交流支援センターにおける相談窓口などで、空き家バンク制度やお試し滞在助成金、応援パッケージなど各種支援制度を幅広く周知する。					
	令和6年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。				

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.91

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	中心市街地活性化推進事業	担当部署	産業振興部　商工政策課
総合計画体系				根拠法令計画など	中心市街地活性化法等
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　12　年度
（小項目）		市街地			
施策	2	活気に満ちた市街地の形成		終期	未定
基本事業	2	中心市街地の賑わいの創出			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	中心市街地の活性化を図り、地域の魅力向上とにぎわい創出を図る。	事業内容（R4）	鳴門商工会議所、大道商店街振興組合と連携し、大道商店街にて「100円商店街」や「納涼市」等を開催する。
実施方針	①中心市街地での賑わいの場を創出する。 ②鳴門商工会議所、大道商店街振興組合と連携し、中心市街地活性化事業を実施する。		

指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	中心市街地での事業実施回数	0	3	3	3	3	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	中心市街地活性化事業の実施（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）	中心市街地活性化事業の実施（まちづくり勉強会の開催）	中心市街地活性化事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	700		700	700	700

事務事業名	中心市街地活性化推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・鳴門商工会議所、大道商店街振興組合と連携し、3年ぶりに「納涼市」「100円商店街」を開催した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	中心市街地での事業実施回数		3	2	3	3	3	件
	目標達成率(実績/目標)			66.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		400,000	0	550,000	0	550,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	400,000	0	550,000	0	550,000
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	中心市街地での事業実施回数	
	目標	3	件
	実績	2	件
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響で、3事業中1件が中止となった。令和5年度は、当初目標の3事業を実施できる見込みである。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが、2類相当から5類へ移行し、イベント開催等は概ね計画通り実施できる予定である。今後の大道商店街を中心とした中心市街地活性化に向けた方向性について、地元事業者等との勉強会などを通じて検討する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	・大道商店街にて、「100円商店街」「納涼市」を開催する。 ・鳴門商工会議所や大道商店街振興組合など関係機関と連携し、勉強会を開催するなど、中心市街地活性化のための方策を検討する。 ・大道商店街に新たに開設されたIT特化型コワーキングスペース「うずコワーク」を拠点として活性化を図る。
	令和6年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.92

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	なるとビジネスプランコンテスト開催事業	担当部署	産業振興部　商工政策課
総合計画体系				根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　28　年度
（小項目）		産業			
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化		終期	未定
基本事業	1	地場産業の育成・振興			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	鳴門の経済の活性化につながる新事業を創出させるため。	事業内容（R4）	①多くの応募者の確保のため、今まで以上に商工関係団体や金融機関等と連携し事業を実施する。 ②今までの受賞者・受賞プランを広報し、コンテストの認知拡大を図るとともに、新たなビジネスプランの発掘を行う。
実施方針	①ビジネスプランコンテストを開催する。 ②今までの受賞プランの紹介及び事業実現化に向けての支援を行う。		

指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	創業者数	0	0	1	1	1	者

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	フェーズフリーアイデアコンテストの実施	①募集 ②プラン作成講座 ③最終選考会	①募集 ②プラン作成講座 ③最終選考会	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	1,050		1,050	1,055	1,055

事務事業名	なるとビジネスプランコンテスト開催事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・なるとビジネスプランコンテストを実施したところ、県内外より10件の応募があった。 ・書類審査の結果、5件を最終選考の対象とした。また、ビジネスプラン作成講座やプレゼンテーション相談会などを通じてプランのブラッシュアップを経て、最終選考を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	創業者数		1	2	1	1	1	者
	目標達成率(実績/目標)			200.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		768,478	0	889,885	0	889,885
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	768,478	0	0	0	0
		一般財源	0	0	889,885	0	889,885
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	創業者数			目標となる創業数を達成することができた。また、多様な専門家を審査員として迎えることにより、参加者へのフォロー体制を構築し、各種講座の開催により参加者同士のネットワーク作りにつなげた。
	目標	1	者		
	実績	2	者		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	コンテストの回数を重ねることで、創業促進や事業拡大を推進しているが、一件でも多く実際の創業等に繋げるため、商工関係団体や金融機関等と密に連携し、参加者へのフォロー体制の強化を図る必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	・令和5年度より実施している移住起業アカデミーの参加者に本コンテストへの参加を促し、ビジネスプランのブラッシュアップを図りながら、創業促進事業補助金の活用につなげるなど、起業・創業にかかる施策を連動させることで、実際の創業者を増やす。 ・市や県、商工会議所などの経済団体、とくしま産業振興機構で構成する創業者支援ネットワークや金融機関等との連携を深めることにより、参加者に対してより充実したフォロー体制の構築を図る。
	令和6年度	令和5年度の実施状況等を踏まえ、内容等を検討する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.93

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	なると観光ブランド化推進事業（鳴門海峡の世界遺産化に向けて）	担当部署	産業振興部　観光振興課		
総合計画体系				根拠法令計画など	なし		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり					
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成	21	年度
（小項目）		観光					
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	未定		
基本事業	1	観光ブランドづくり					

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	広域エリアからの更なる誘客を図るため、「鳴門海峡の渦潮」の世界遺産登録を目指す取り組みを進めるなど、市内における観光地のブランド化を推進する。	事業内容（R4）	①推進協議会において引き続き学術調査を進め、機運醸成を図るとともに普及啓発活動を実施する。 ②パンフレットやポスター等を活用した情報発信及び3つの遺産（鳴門の渦潮・四国遍路・板東俘虜収容所関係資料）を巡る旅行商品の企画・造成支援を行う。
実施方針	兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会を中心に、民間の推進団体等と連携し、世界遺産化に向けた取り組みを推進する。 ①自然・文化両分野の学術調査 ②普及啓発活動		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数	6	8	8	8	8	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	観光入込客数		1,151,348	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①学術調査（自然・文化） ②学術講演会等の開催 ③普及啓発イベントの実施 ④啓発グッズの作成（中止） ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催（中止） ⑧海岸清掃	①学術調査（自然・文化） ②学術講演会等の開催 ③普及啓発イベントの実施 ④啓発グッズの作成 ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催 ⑧海岸清掃	①学術調査（自然・文化） ②学術講演会等の開催 ③普及啓発イベントの実施 ④啓発グッズの作成 ⑤世界遺産化ツアー助成 ⑥各種キャンペーンでのPR ⑦「渦開き」「島びらき」共同開催 ⑧海岸清掃	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	3,000		3,000	3,000	3,000

事務事業名	なると観光ブランド化推進事業 （鳴門海峡の世界遺産化に向けて）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・協議会において、兵庫県は自然分野、徳島県は文化分野から鳴門の渦潮にアプローチを行い、自然・文化の両面から、世界遺産登録を目指して各種取組を推進した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっていた「渦開き」や「海岸清掃」を3年ぶりに実施し、世界遺産登録に向けての機運情勢を図った。 ・自然・文化両面からの学術調査、世界遺産化ツアー助成及び各種キャンペーン等の取組を実施し、鳴門海峡の渦潮の世界遺産化を推進した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数	6	8	8	8	8	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	観光入込客数		1,162,047	1,576,135	2,600,000	2,800,000	3,200,000	人
	目標達成率(実績/目標)			78.8	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		2,062,640	0	2,185,060	0	2,185,060
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,062,640	0	2,185,060	0	2,185,060
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数		成果指標に対する所見	昨年度に比べ、観光客は増加傾向にある。今後も鳴門海峡の渦潮のブランド力を図るため、世界遺産化に向けた取組を進めるとともに、渦潮の魅力を県内外に広く発信し、誘客促進に向けた取り組みを推進する。
	目標	2,000,000	人		
	実績	1,576,135	人		
	評価	B:概ね目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	世界遺産登録に至るまでは、相当の年数がかかることが想定されるため、地域の機運低下が懸念される。そのため、住民等への継続的な普及啓発活動を継続的に行う必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	世界遺産に登録されるための暫定リスト入りに向け、引き続き、自然・文化の両面から世界遺産登録基準やOUV（顕著な普遍的価値）等を鑑みて調査・研究を行うとともに、機運醸成を図るため、県内外でのPR等の普及啓発活動を実施する。
	令和6年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.94

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	阿波踊り振興事業	担当部署	産業振興部　観光振興課
総合計画体系				根拠法令計画など	なし
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	昭和　21　年度
（小項目）		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	未定
基本事業	1	観光ブランドづくり			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	阿波おどりそのものの魅力向上や各種イベント開催、情報発信などを行うことで、県内外からの観光誘客を図り、阿波おどりの振興を通じた交流人口の増加と地域経済の活性化を推進する。 また、関係団体と連携し、阿波おどりの担い手育成を推進する。	事業内容（R4）	①新型コロナウイルス感染症の影響を注視し鳴門市納涼花火大会及び鳴門市阿波おどりの開催方法等の検討を行い実施する。 ②実施にあたっては、県外の旅行会社等に対するセールスやSNS、メディア等を活用し、誘客を図る。 ③関係団体と連携して、担い手育成や阿波踊り連の連員増に向けた取り組みを推進する。
実施方針	①鳴門市納涼花火大会の開催 ②鳴門市選抜阿波おどり大会の開催 ③鳴門市阿波おどりの開催 ④県内外への情報発信 ⑤阿波おどり担い手育成		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	桟敷入場者数	0	0	2,700	6,000	6,000	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	鳴門市阿波おどり来場者数		0	0	40,000	80,000	80,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①納涼花火大会（中止） ②選抜阿波おどり大会（中止） ③鳴門市阿波おどり（中止） ④情報発信 ⑤担い手育成	①納涼花火大会（中止） ②鳴門市阿波おどり（中止） ③情報発信 ④担い手育成	①納涼花火大会 ②鳴門市阿波おどり ③情報発信 ④担い手育成	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	15,545	△ 14,945	600	13,133	13,133

事務事業名	阿波踊り振興事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・コロナ禍において花火・阿波おどりを開催した場合、来場者が密集するため感染症対策を徹底することが難しく、感染症対策を講じて規模を縮小して開催すれば経済効果が見込みにくいことなどから、中止を決定した。 ・阿波おどりのPRや連の活動の場を確保するため、道の駅くるくるなると開駅1か月イベント、肉肉フェスタ2022 in NARUTO等に出演した。 ・「鳴門市阿波おどり伝統文化継承給付金」を創設し、コロナ禍において活動の場が失われた鳴門市阿波踊振興協会所属連の、伝統文化継承のための活動及び来年度の鳴門市阿波おどりに向けた準備を推進した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	桟敷入場者数	0	0	6,000	6,000	6,000	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		鳴門市阿波おどり来場者数	0	0	80,000	80,000	80,000	人
		目標達成率(実績/目標)		0.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		0	0	400,000	0	400,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	400,000	0	400,000

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	鳴門市阿波おどり来場者数	成果指標に対する所見	令和4年度については新型コロナウイルス感染症の影響で花火・阿波おどりは中止となったが、来年の阿波おどりに向けた準備を推進する給付金制度を創設するなど、柔軟に対応した。
	目標	40,000　人		
	実績	0　人		
	評価	D:目標を達成できなかった		

◎今後の方向性(ACTION)

課題		花火・阿波おどりとも4年ぶりの開催となるため、多くの方に両イベントを知っていただくため、SNS等を活用した情報発信を行う必要がある。また、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な連で連員が減少していることから、各連の連員確保を支援する必要がある。
今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善　☐ 3.現状維持　☑4.現状維持(新型コロナ)　☐ 5.拡充
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。		
実施内容	令和5年度	鳴門市・鳴門商工会議所・(一社)鳴門市うずしお観光協会の3者による協議を行い、鳴門市納涼花火大会・鳴門市阿波おどりの4年ぶりの開催を決定した。当該イベントの開催にあたり、来場者に安全・安心に楽しんでもらえるよう、具体的な開催内容について関連機関等とも協議を行い、実施に向けた準備を進め、情報発信を強化を図る。また、連員加入に繋げるため、連を紹介するパンフレット等を作成するなど、阿波おどりの魅力発信を行う。
	令和6年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.95

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業	担当部署	産業振興部　観光振興課
総合計画体系				根拠法令計画など	なし
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　25　年度
（小項目）		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	未定
基本事業	3	観光情報の発信強化			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市への観光客の大半を占める関西圏をターゲットとしたセールスプロモーションを実施することにより、観光客増加を図る。	事業内容（R4）	①全国放送などの番組制作会社へのアプローチを行い、PR効果を高める。 ②観光資源などの画像を高速バスにラッピングし運行することで観光PRを図る。 ③関西エリアにおける交通拠点等へのイベントポスター・チラシ掲出に加え、JR主要駅や高速バスのデジタルサイネージ等を活用し、集中的に観光プロモーションを行うことで、誘客促進を図る。
実施方針	各種のセールスプロモーション事業を実施することにより、観光誘客を図る。 ①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	テレビ番組ロケ誘致数	0	0	4	4	4	回
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	観光入込客数	1,151,348	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	①ロケ誘致事業 ②走る広告塔事業 ③交通広告事業	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	6,977	△ 950	6,027	6,274	6,274

事務事業名	「橋を渡れば感動の国」セールスプロモーション事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・走る広告塔事業として、本市の観光資源やベートーヴェン「第九」アジア初演の地、3つの世界遺産をモチーフにしたラッピングバス3台を徳島～関西間で運行し、本市のPRを行った。 ・ロケ誘致事業として、テレビ番組のロケを誘致し、本市の観光施設を紹介する番組を放映することで、観光誘客を図った。 ・観光プロモーション誘客事業として、国内外のインフルエンサーを招聘し、SNSで情報発信を行うことにより、本市の認知度向上、イメージアップの促進を図った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	テレビ番組ロケ誘致数	0	1	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	観光入込客数		1,162,047	1,576,135	2,600,000	2,800,000	3,200,000	人
	目標達成率(実績/目標)			78.8	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,980,000	0	5,075,970	0	5,075,970
	財源内訳	国庫支出金	0	0	1,497,985	0	1,497,985
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,980,000	0	3,577,985	0	3,577,985

補助制度（名称、補助率など）	地方創生推進交付金（1/2）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数	
	目標	2,000,000	人
	実績	1,576,135	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んでいた観光客数は、回復の兆しが見えている。今後も本市の魅力を県内外に広く発信し、観光客増加に向けた取り組みを推進する。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	全国旅行支援などの影響により観光客は増加傾向にあるが、支援制度が終了後も、継続的に観光客が来ていただけるような施策を実施する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	本市の観光フリー素材集を制作・公開し、テレビや雑誌、SNS等の媒体への掲載を促進することで、本市の認知度向上を図る。 国内外のインフルエンサー等を活用し、SNS等による情報発信力の強化を図り、誘客促進を図る。
	令和6年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.96

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	広域観光推進事業	担当部署	産業振興部　観光振興課
総合計画体系				根拠法令計画など	なし
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間 開始	平成　15　年度
政策(中項目)	2	伝えたい　魅力あふれるまち　なると			
（小項目）		観光		終期	未定
施策	1	観光・交流のまちづくり			
基本事業	3	観光情報の発信強化			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	瀬戸内三都市広域観光推進協議会やイーストとくしま観光推進機構など広域連携を推進し、観光情報の効果的発信や周遊ルートの設定、受入環境の整備を進め、訪日外国人を含む全国からの観光客誘致を図る。	事業内容（R4）	①アジア圏域をターゲットに情報発信等を行い、外国人観光誘客を推進する。 ②国内観光客をターゲットに観光プロモーションを行い、観光誘客を図る。 ③観光消費額の増加による地域経済の活性化を図るため、新たな観光コンテンツの造成や磨き上げを推進する。
実施方針	広域連携による取り組みを推進し、交流人口の増加による地域経済の活性化を推進する。 ①インバウンド事業の推進 ②国内観光客誘致事業の推進		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数	2	2	2	2	2	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	観光入込客数		1,151,348	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	①インバウンド事業 ②国内観光客誘致事業	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	3,260		3,260	3,260	3,240

事務事業名	広域観光推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	【瀬戸内三都市広域観光推進協議会】 ・台湾・香港の訪日情報メディアから現地ライターを招聘し、広域観光周遊ルートを紹介する等、情報発信強化を図った。 ・ボートレース児島で開催される「せんいさい」において、瀬戸内三都市広域観光推進協議会のブースを設置し、広域観光ルート等のPRを行った。 【イーストとくしま観光推進機構】 ・ファムツアーを実施し、国内外の旅行会社等に対するPRを行ったほか、SNS等を活用した情報発信を行った。 ・国の補助金を活用して宿泊施設の改修等の取組を進め、受入環境整備を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	実施事業数	2	2	2	2	2	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		観光入込客数	1,162,047	1,576,135	2,600,000	2,800,000	3,200,000	人
		目標達成率(実績/目標)		78.8	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		3,240,000	0	3,250,000	0	3,250,000
	財源内訳	国庫支出金	899,000	0	840,000	0	840,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,341,000	0	2,410,000	0	2,410,000

補助制度（名称、補助率など）	地方創生推進交付金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	観光入込客数	
	目標	2,000,000	人
	実績	1,576,135	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んでいた観光客数は、回復の兆しが見えている。今後も広域連携を活かし、国内外からの誘客促進事業を継続的に行っていく必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	インバウンド客に対する本市の認知度や受入環境整備については、十分ではない部分がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	瀬戸内三都市広域観光推進協議会では、国内外に向けた情報発信を強化し、三都市広域観光ルートの認知度向上及び誘客促進を図る。 イーストとくしま観光推進機構では、引き続き新たな観光コンテンツを造成するほか、2025年大阪・関西万博を目標としたインバウンド受入体制の整備を推進する。
	令和6年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.97

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	コンベンション誘致支援事業	担当部署	産業振興部　観光振興課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市コンベンション開催支援助成金交付要綱
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なると	事業期間	開始	平成　12　年度
（小項目）		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	未定
基本事業	4	にぎわいと交流の創出			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	鳴門市内または県内で開催される会議や学会、スポーツ大会等のコンベンションのうち、市内宿泊を対象として、開催支援助成金を交付し、コンベンション誘致を図ることで市内への交流人口増大及び地域経済の活性化を図る。	事業内容（R4）	①関係機関と連携し、会議や学会などコンベンションの誘致を促進する。 ②スポーツ大会等を主催する団体に対し、助成内容の案内を行うことにより、本市で定例的に開催されている大会の継続実施を促進する。
実施方針	①新規コンベンションの誘致に努める。 ②各スポーツ団体や文化活動団体、県内の大学などへ制度の紹介を行うなど、本市での各種会議や大会などの開催促進を行う。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	助成金交付件数	2	4	10	10	10	件
	2	コンベンション参加者数	928	1140	4,000	4,000	4,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	コンベンション宿泊数		376	1,338	3,900	3,900	3,900	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①開催経費に対する助成 ②情報発信	①開催経費に対する助成 ②情報発信	①開催経費に対する助成 ②情報発信	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,000		2,000	2,000	2,000

事務事業名	コンベンション誘致支援事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	徳島県スポーツコミッションをはじめとした関係団体と連携し、コンベンション主催者等に対し、広く助成制度の周知を図り、コンベンションの誘致を促進した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	助成金交付件数	5	11	10	10	10	件
	2	コンベンション参加者数	1,356	4,562	4,000	4,000	4,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		コンベンション宿泊数	998	1,949	3,900	3,900	3,900	人
		目標達成率(実績/目標)		50.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		560,000	0	1,140,000	0	1,140,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	560,000	0	1,140,000	0	1,140,000

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	コンベンション宿泊数		成果指標に対する所見	コンベンション開催件数は、昨年度より増えたが、参加人数の減少等により、目標が達成できなかった。 交流人口の増大や地域経済の活性化を図るためにもさらなるコンベンション誘致に努めることが必要。
	目標	3,900	人		
	実績	1,949	人		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	コンベンション参加者数が減少しているため、宿泊者数が伸び悩んでいる。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	徳島県スポーツコミッションをはじめとした関係団体と連携し、コンベンション主催者に対して広く助成制度の周知を図り、コンベンションの開催数増進を図り、宿泊者数の増加に繋げる。
	令和6年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.98

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業	担当部署	産業振興部　観光振興課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市総合戦略
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	2	伝えたい魅力あふれるまちなると	事業期間	開始	令和　3　年度
(小項目)		観光			
施策	1	観光・交流のまちづくり		終期	未定
基本事業	4	にぎわいと交流の創出			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	少子高齢化が急速に進展する鳴門・南あわじ両市にとって、中核産業である観光業の発展を図り、持続可能な地域づくりを目指す。	事業内容（R4）	①商品開発事業 ②観光プロモーション事業 ③事業者レベル向上事業 ④観光客受け入れ環境整備事業
実施方針	①鳴門・南あわじ両市で連携し、観光分野におけるブランド力を向上させ、地域のイメージ向上に繋げ、観光客の長期滞在化、若者の定住促進、移住者の増加、交流人口の増加等を図る。 ②地域の事業者とともに考え、実行することで、事業者のレベルアップを図り、地域の自助力・自走力を高める。 ③観光事業者から第1次産業をはじめとした他産業の発展に波及し、新たな雇用の創出に繋げる。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	両市の宿泊施設における宿泊単価上昇率	—	—	5	10	—	%
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	両市が新たに造成を行った商品・サービスの売上高		—	—	22,000	44,000	—	千円

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	—	①広域連携計画策定事業 ②商品開発事業 ③観光プロモーション事業 ④事業者レベル向上事業	①商品開発事業 ②観光プロモーション事業 ③事業者レベル向上事業 ④観光客受け入れ環境整備事業	①広域連携計画策定事業 ②商品開発事業 ③観光プロモーション事業 ④事業者レベル向上事業 ⑤観光客受け入れ環境整備事業	—

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	28,750		28,750	25,500	—

事務事業名	『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・新ご当地グルメ「うずの幸グルメ」第二弾として、鳴門市・南あわじ市合計36店舗に参加事業者を拡大し、51メニューを開発した。 ・南あわじ市と鳴門市の11の周遊ルートで観光スポットなどを紹介するパンフレット「Cross TRIP」の作成や、ホームページ「うずしおぐるぐる」の体験型コンテンツを追加する等、情報発信を強化した。 ・観光関連事業者を対象として、SNSを活用した情報発信等の研修会を開催した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	両市の宿泊施設における宿泊単価上昇率	－	8	10	－	－	%
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		両市が新たに造成を行った商品・サービスの売上高	－	35,710	－	－	－	千円
		目標達成率(実績/目標)		162.3	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		22,792,935	0	21,747,000	0	21,747,000
	財源内訳	国庫支出金	11,396,467	0	10,873,000	0	10,873,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	11,396,468	0	0	0	0
		一般財源	0	0	10,874,000	0	10,874,000

補助制度（名称、補助率など）	地方創生推進交付金（1/2） ふるさと活性化基金繰入金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	両市が新たに造成を行った商品・サービスの売上高		成果指標に対する所見	「うずの幸グルメ」第一弾として、両市合わせて25店舗の参加により計30メニューが誕生し、両市で継続的なPRを行うことで目標を達成することができた。
	目標	22,000	千円		
	実績	35,710	千円		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新ご当地グルメ「うずの幸グルメ」については、誕生して間もないことから、認知度向上に向けた取組みが必要である。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	広域連携計画に基づき、①四季を通じた「食」での年間誘客、②商品販促強化等による消費額向上、③ホスピタリティの育成・向上、④地域主体の継続的な情報発信を推進する。
	令和6年度	－

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.99

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業（イベント開催支援等）	**担当部署**	産業振興部　観光振興課		
総合計画体系				**根拠法令計画など**	鳴門市総合戦略		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり					
政策(中項目)	2	伝えたい魅力あふれるまちなると		**事業期間**	**開始**	平成　28　年度	
(小項目)		観光					
施策	1	観光・交流のまちづくり			**終期**	未定	
基本事業	4	にぎわいと交流の創出					

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	四国の玄関口となるべく、ソフト事業として、四国内外から集客できるイベントを開催し、四国の玄関口としてのブランド化を図り、交流人口の増加を目的とする。	**事業内容（R4）**	民間団体との共催によるイベントの開催支援 ①民間団体への協力をベースとしたイベント開催支援を行う。 ②市所有のLED等イルミネーション設備を民間団体へ貸出し設置等の補助を行う。
実施方針	四国ゲートフェスタ鳴門（イベント）の開催支援		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	**指標名**		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	交流人口の増加		3,000	3,000	10,000	10,000	10,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①民間団体との共催によるイベント開催支援 ②広報（CM動画の活用）	①民間団体との共催によるイベント開催支援 ②西のゲート環境整備	民間団体との共催によるイベント開催支援	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**5,200**	**979**	**6,179**	**5,200**	**5,200**

事務事業名	四国のゲートウェイ推進事業 （イベント開催支援等）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・交流人口の増加を図るため、鳴門板野青年会議所と共催で「肉肉フェスタ2022 in NARUTO」を開催した。 ・市所有のLED等イルミネーション設備を民間団体への貸出等の補助を実施した。 ・イルミネーションを実施する団体に対し、補助金の交付を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	交流人口の増加		31,800	15,000	30,000	35,000	40,000	人
	目標達成率(実績/目標)			150.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		3,542,008	0	6,179,000	0	6,179,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	3,542,008	0	6,179,000	0	6,179,000
		一般財源	0	0	0	0	0

補助制度（名称、補助率など）	ふるさと活性化基金繰入金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	交流人口の増加			各事業については計画どおり実施することができ、目標を達成することができた。
	目標	10,000	人		
	実績	15,000	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	各事業を通じて鳴門市を訪れた観光客に、市内観光地を周遊してもらう取組みが必要。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	民間団体との共催によるイベントの開催支援を実施するとともに、イルミネーション設置補助事業を実施し、各事業を通じて鳴門市を訪れた観光客を市内観光地へ誘客する方法を検討する。
	令和6年度	前年度の内容を精査し、事業内容の見直し・検討を行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.100

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門ブランドの強化	担当部署	産業振興部　農林水産課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	もうかるブランド推進課関係事業補助金交付要綱・鳴門市農林水産振興補助金交付要綱 挑戦する「とくしまブランド」戦略事業要領（旧:「飛び出す」ブランド産地育成事業要綱） 農業経営基盤強化促進法		
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　16　年度
（小項目）		農林水産業			
施策	3	農業の振興		終期	年度
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市農産物の総合ブランド化と各品目ごとの生産者の所得の確保。 次世代の担い手を確保することにより、産業としての足腰の強い農業の持続的発展を目指す。	事業内容（R4）	①れんこん食害対策調査業務 ②鳴門市ブランド産地振興補助金 ③持続的経営体支援交付金等による支援 ④経営継承・発展支援事業による支援 ⑤鳴門市農業経営基盤強化支援事業補助金（新） ⑥農業次世代人材投資資金（※1）・青年等就農資金（※2）による支援 ⑦新規就農者育成総合対策事業による支援（令和4年度新規事業） ⑧地区ごとの人・農地プランの検討 ※1.令和3年度で事業終了。ただし、現在交付対象者については、交付終了期間まで交付対象。 ※2.平成26年度から新設された制度で、新たに農業経営を営もうとする青年等に対し、農業経営を開始するために必要な資金を長期無利子で貸し付ける制度(借入限度額3,700千円）
実施方針	①農協・漁協、生産者団体、関係機関等と連携し、生産・流通・販売振興に取り組む。 ②鳴門市ブランド産地振興補助金を活用したブランド強化 ③各品目ごとに生産者の所得を確保 ④国補助制度を活用し、新規就農者への支援事業に取り組み新規就農者の確保と営農の継続を図る。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	新規就農希望者相談・指導件数（経営継承除く）	7	15	15	15	15	人
	2	農業人材力強化総合支援事業補助金 新規申請者数　（令和3年度まで） 新規就農者育成総合対策事業 新規申請者数（令和4年度以降）	0	2	3	3	3	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	次世代の担い手の確保（新規・継続含む）		408	409	415	418	421	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①新規で認定を受けられる農業者を確保し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。 ②新規就農者に向けた支援を行った。 ③鳴門ブランドである農産物の産地振興への支援を行った。	①新規で認定を受けられる農業者を確保し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。 ②新規就農者に向けた支援を行った。 ③鳴門ブランドである農産物の産地振興への支援を行った。	①新規で認定を受けられる農業者を確保し、効率的な経営改善計画の作成指導に努める。 ②新規就農者に向けた支援を行う。 ③鳴門ブランドである農産物の産地振興への支援を行う。	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	67,319	△ 10,688	56,631	61,800	62,800

事務事業名	鳴門ブランドの強化

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	市内各JA・県・農業支援センターと連携し、認定農業者の認定更新の推進を行い、新規で認定を受けられる農業者を確保し、効率的な経営改善計画の作成指導に努めた。また、新規就農者への支援に総合的に取り組んだ。 鳴門ブランド農産品を確立するため、れんこん食害対策への支援によるブランド産地の生産振興を図った。また、かんしょ栽培用の手入れ砂及びレンコン田の太陽熱消毒に要する被膜フィルム・石灰窒素の購入費に対する「鳴門市ブランド産地振興補助金」の内容を拡大し支援を実施、新たに「鳴門市経営基盤強化支援事業補助金」を新設し、農業用機械の導入の支援を行った。 燃油高騰・新型コロナウイルス感染症に対する支援策として、市内の農業者に対し、本市の農業の持続的な発展を促すことを目的として、市内農協に事務委託を行い、支援金給付事業を実施した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	新規就農希望者相談・指導件数（経営継承除く）	18	18	15	15	15	人
	2	農業人材力強化総合支援事業補助金 新規申請者数 （令和3年度まで） 新規就農者育成総合対策事業 新規申請者数 （令和4年度以降）	2	1	3	3	3	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		次世代の担い手の確保（新規・継続含む）	412	415	419	423	430	人
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		45,785,554	0	56,042,946	0	56,042,946
	財源内訳	国庫支出金	22,763,000	0	35,100,000	0	35,100,000
		県支出金	9,750,000	0	14,250,000	0	14,250,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,404,979	0	1,307,000	0	1,307,000
		一般財源	8,867,575	0	5,385,946	0	5,385,946

補助制度（名称、補助率など）	【国】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 【県】農業次世代人材投資事業（10／10） 【県】新規就農者育成総合対策事業（10／10） 【その他】経営継承・発展支援事業（国1／2・市1／2）、ふるさと納税寄付金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	次世代の担い手の確保（新規・継続含む）		成果指標に対する所見	目標到達することができたが、今後も各JA・県・農業支援センターと連携しながら、認定農業者数の増加に向けた取組をおこなっていく。
	目標	415	人		
	実績	415	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	認定農業者等担い手の育成状況は、特産物等の産地化が定着している地域においては毎年度増加し、新規認定者も確保できている。しかし、山間部や高齢化が進行している集落では担い手の確保が困難であり、農業生産や農地保全・農地集積に対する合意形成が得られにくい。 新たな担い手の育成と確保については、国補助制度等を活用しながら新規就農者への支援に取り組み、事務体制の整備と関係機関等の協力が必要不可欠となっている。また、農業次世代人材投資資金交付終了者に対し、個別に認定農業者への加入を進めていく。 更なる農産物のブランド化を図っていくためには、農協等の生産者団体をはじめ、県・市・関係機関の協力体制や連携強化による事業の効率性を高めていくことが重要である。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	市内各JA・県・農業支援センターと協力しながら、認定農業者の増加に向けた取組を進める。また、国補助制度を活用しながら、新規就農者に対する支援を行い、新規就農者の確保と営農定着を図る。 農協・生産者等と連携し、主要消費地や市内でのPRをはじめ、生産振興策に取り組むとともに、「鳴門市ブランド産地振興補助金」として、かんしょ栽培用の手入れ砂及びれんこん田の太陽熱消毒に要する被膜フィルム・石灰窒素の購入費に対する補助を実施する。
	令和6年度	令和5年度と同様

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.101

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	コウノトリブランド推進事業	担当部署	産業振興部　農林水産課
総合計画体系				根拠法令計画など	なし
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　28　年度
（小項目）	＼	農林水産業			
施策	3	農業の振興		終期	年度
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市に飛来している特別天然記念物「コウノトリ」に着目した、地元農産物の生産振興とブランド化を図るため、生産支援を行う。
実施方針	①「鳴門市コウノトリブランド認証制度」をもとに、鳴門藍住農業支援センター、JAと連携し、ブランド認証の条件となる「エコファーマー」のさらなる認定推進を図る。 ②県や地元住民等で構成する「コウノトリ定着推進連絡協議会」の活動の中で、「マナー対策」「餌場確保対策」「新たな商品のブランド化に向けた検討」等に取り組む。
事業内容（R4）	①新たなコウノトリブランドの推進に関する情報収集等 ②周辺対策警備業務

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	コウノトリブランド認証延べ件数		30	30	32	34	36	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①ブランド認証制度の更なる推進 ②周辺対策の実施	①ブランド認証制度の更なる推進 ②周辺対策の実施	①ブランド認証制度の更なる推進 ②周辺対策の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,931	△ 51	2,880	2,931	2,931

事務事業名	コウノトリブランド推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①「コウノトリ定着推進連絡協議会」の活動の中で、マナー対策等を実施するとともに、巣周辺対策警備業務を引き続き実施した。 ②コウノトリブランド認証の周知啓発の一環で、地元中学校の生徒に調べ学習において、コウノトリ、コウノトリブランド認証、レンコンについての出前講座を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		コウノトリブランド認証延べ件数	30	39	40	41	42	件
		目標達成率(実績/目標)		121.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,206,854	0	701,292	0	701,292
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	494,000	0	494,000
		一般財源	1,206,854	0	207,292	0	207,292
補助制度（名称、補助率など）			ふるさと納税寄付金等				

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	コウノトリブランド認証延べ件数	成果指標に対する所見	新たな商品のブランド認証は増やすことはできなかったが、コウノトリブランドについての周知・啓発を行うことができた。
	目標	32 件		
	実績	39 件		
	評価	A:目標を達成できた		

◎今後の方向性(ACTION)

課題	コウノトリブランド認証制度について、さらなる推進を図れるよう、今後も取り組んで行く必要がある。 新型コロナウィルス感染症の影響により、例年に比べて観察者が少ない状況となったが、付近の営農者や地元住民への負担がかかっている状況にある。引き続き、周辺対策警備業務を見直しながら実施していく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	ブランド認証制度の更なる推進を図るとともに、周辺対策についても引き続き実施する。
	令和6年度	令和5年度と同様

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.102

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	連携型の六次化（産直市・道の駅との連携）	担当部署	産業振興部　農林水産課
総合計画体系				根拠法令計画など	六次産業化法 鳴門市農漁業六次産業化推進支援事業実施要領
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　24　年度
（小項目）		農林水産業		終期	年度
施策	3	農業の振興			
基本事業	2	農業の高度化			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	産直市や道の駅に関わる生産者・生産者団体、関係機関等が生産・加工・流通・販売振興に連携して取り組み、産業間の有機的連携を深めることで本市産業の底上げを図り、魅力あふれるまちづくりに努める。
実施方針	農協や漁協が運営主体となっている産直施設を拠点として、農水産物の六次産業化等を進めることで、産直市・道の駅の発展に努める。
事業内容（R4）	①関西圏等のイベントに生産者、商工事業者、観光協会等と連携し、本市農水産物及び加工品等のPR・キャンペーンに取り組む。 ②農漁業六次産業化推進支援事業により、市内農産物等を活用した新商品の開発や産直施設に向けた支援を実施する。

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	農漁業六次産業化推進支援事業の相談件数	4	3	3	3	3	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	農漁業六次産業化推進支援事業の相談件数		4	3	3	3	3	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスの実施。 ②農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取組への支援。	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスの実施。 ②農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取組への支援。	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスの実施。 ②農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取組への支援。	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,425		2,425	2,425	2,425

事務事業名	連携型の六次化（産直市・道の駅との連携）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①新型コロナウィルス感染症の影響もあり、令和４年度の前半はPR・キャンペーンに取り組むことができなかったが、後半になり準備を再開し、関西方面でのキャンペーンを実施することができた。 ②農漁業六次産業化推進支援事業により、かんしょを使った新商品の開発への支援や農産物直売所えがおで販売する農産物の販売促進のための支援、梨を使った加工品の開発への支援を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	農漁業六次産業化推進支援事業の相談件数	3	5	3	3	3	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		農漁業六次産業化推進支援事業の相談件数	3	5	3	3	3	件
		目標達成率(実績/目標)		166.7	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		841,750	0	1,380,200	0	1,380,200
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	841,750	0	1,380,200	0	1,380,200
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	農漁業六次産業化推進支援事業の相談件数		成果指標に対する所見	農漁業六次産業化推進支援事業に関する相談が5件あり、3件に対して支援を実施することができた。2件に対しては、他の制度の案内をすることができた。
	目標	3	件		
	実績	5	件		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市農水産物及び加工品等のセールスやPR活動について、新たな手法を検討する必要がある。また、農漁業六次産業化推進支援事業については、今後新たな展開を進めていけるよう、制度周知にも努めていく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	①農漁業及び加工を視野に入れた消費地でのトップセールスやキャンペーンに取り組む。 ②農漁業六次産業化推進支援事業補助金により農漁業の付加価値の向上への取り組みを支援する。 ③市内産直施設との連携を図っていく。
	令和6年度	令和5年度と同様

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.103

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	多面的機能支払交付金事業	担当部署	産業振興部　農林水産課

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	多面的機能支払交付金実施要綱 多面的機能支払交付金交付要綱 徳島県多面的機能支払交付金交付要綱		
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　26　年度
（小項目）		農林水産業			
施策	3	農業の振興		終期	年度
基本事業	4	農業生産基盤の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	老朽化が進む農地周りの農業用用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等を行うことにより、農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図り、地域の農業者だけでなく地域住民や都市住民も含めた多様な主体の参加を得て、地域ぐるみでの効果の高い活動へ支援を行う。	事業内容（R4）	全19組織が活動。 対象面積903.37ha 里浦地域農地・水・環境保全会運営委員会　徳長地区資源保全協議会　段関地区資源保全向上活動協議会　小森グリーンネット　大代地区資源保全協議会　馬詰地区資源保全協議会　木津野地域資源保全協議会　矢倉地区資源保全協議会　鳴門町地区資源保全協議会　大幸地区資源保全協議会　長江地区自然保全協議会　折野地区資源保全協議会　三俣地区資源保全協議会　池谷資源保全会　備前島地区資源保全協議会　吉永地区資源保全協議会　市場地区資源保全協議会　萩原地区資源保全協議会　板東地区資源保全協議会
実施方針	一定のまとまりのある地域を対象に、農業者やその他の地域住民を中心とし、JAや土地改良区等の関係団体で組織され、地域ぐるみで農地・農業用水等の保全活動を行っている団体に対し、支援を行う。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動回数	811	803	803	803	803	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	活動人数		11,158	10,698	10,698	10,698	10,698	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	鳴門市内17団体において農村資源（農道・水路・パイプライン）などの保全管理や農村環境の向上として植栽活動等を行った。	鳴門市内17団体において農村資源（農道・水路・パイプライン）などの保全管理や農村環境の向上として植栽活動等を引き続き行った。	鳴門市内19団体において農村資源（農道・水路・パイプライン）などの保全管理や農村環境の向上として植栽活動等を引き続き行う。	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	60,000	△ 5,285	54,715	60,000	60,000

事務事業名	多面的機能支払交付金事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	鳴門市内19地区において農村資源(農道・水路・パイプライン)などの保全管理や農村環境の向上として植栽活動を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動回数	883	1,321	803	803	803	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		活動人数	8,061	9,109	10,698	10,698	10,698	人
		目標達成率(実績/目標)		85.1	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		48,958,223	0	54,630,504	0	54,630,504
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	36,743,153	0	39,582,999	0	39,582,999
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	12,215,070	0	15,047,505	0	15,047,505

補助制度(名称、補助率など)	国 1/2、県 1/4、市 1/4 県支出金:国費＋県費＋推進交付金 一般財源:市費＋国・県返還金

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	活動人数	
	目標	10,698	人
	実績	9,109	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動組織における大人数での共同活動を中止もしくは縮減したため、活動人数が目標に達しない結果となった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	多面的機能支払交付金は農業振興地域農用地区域の農地が補助対象であることから、補助対象外の地区等においては市単独での対策が必要である。 また組織の高齢化に伴い、活動記録、金銭出納簿、証憑書類の取得、総会の実施等の最低限の事務処理が困難になってきている。市からのフォローだけでなく国や県の担当者にも現状を伝え、申請書類の簡略化と事務手順の見直しが必要である。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	●農地維持支払交付金 19団体 ●資源向上支払交付金(共同活動) 19団体 ●資源向上支払交付金(長寿命化) 19団体 里浦地域農地・水・環境保全会運営委員会 徳長地区資源保全協議会 段関地区資源保全向上活動協議会 小森グリーンネット 大代地区資源保全協議会 馬詰地区資源保全協議会 木津野地域自然保全協議会 矢倉地区資源保全協議会 鳴門町地区資源保全協議会 大幸地区資源保全協議会 長江地区自然保全協議会 折野地区資源保全協議会 三俣地区資源保全協議会 池谷資源保全会 備前島地区資源保全協議会 吉永地区資源保全協議会 市場地区資源保全協議会 萩原地区資源保全協議会 板東地区資源保全協議会
	令和6年度	R5年度と同様

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.104

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳥獣被害対策事業（捕獲檻等の設置）	担当部署	産業振興部　農林水産課
総合計画体系				根拠法令計画など	徳島県農林水産政策関係事業補助金交付要綱、鳴門市農林水産振興補助金交付要綱
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり			
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　年度
（小項目）		農林水産業			
施策	5	農業の振興		終期	年度
基本事業	1	農業生産基盤の整備			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	有害鳥獣の捕獲・侵入防止に努め、農作物被害を軽減させる。	事業内容（R4）	継続して鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、有害鳥獣の捕獲・侵入防止に努め、農作物被害を軽減させる。
実施方針	①鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会への委託 ②捕獲檻の設置		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	サル・イノシシ捕獲頭数		550	580	450	450	450	頭

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を実施した。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器によりサルやイノシシの有害駆除を実施する。	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器によりサルやイノシシの有害駆除を実施する。	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	1,894		1,894	5,197	5,197

事務事業名	鳥獣被害対策事業（捕獲檻等の設置）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に委託し、捕獲檻や銃器により、サルやイノシシの有害駆除を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1							
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		サル・イノシシ捕獲頭数	894	883	450	450	450	頭
		目標達成率(実績/目標)		196.2	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		3,623,146	0	1,689,310	0	1,689,310
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,870,000	0	0	0	0
		一般財源	1,753,146	0	1,689,310	0	1,689,310
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	サル・イノシシ捕獲頭数	
	目標	450	頭
	実績	883	頭
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	捕獲目標頭数において達成、内訳はイノシシ748頭・サル135頭であり、農作物被害軽減に繋がっている。 市内各地に捕獲檻を設置することは有効性があったため引き続き継続していく。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・サル捕獲に有効とされる地獄檻の導入や捕獲数が増加しているイノシシ用捕獲檻の購入について、今後も計画的な設置、予算配分等を考えていく必要がある。 ・市街地での鳥獣被害対策について、関係各課と協力体制を強化する必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に活動を委託し、捕獲檻による有害鳥獣駆除、また防護柵設置などにより、農作物被害を軽減させていく。
	令和6年度	鳴門市有害鳥獣駆除対策協議会に活動を委託し、捕獲檻による有害鳥獣駆除、また防護柵設置などにより、農作物被害を軽減させていく。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.105

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	海面環境保全推進事業	担当部署	産業振興部　農林水産課　水産振興室

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	徳島県補助金交付規則 徳島県水産関係事業費補助金交付要綱 鳴門市農林水産振興事業補助金交付要綱		
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	昭和　55　年度
（小項目）	＼	農林水産業			
施策	6	水産業の振興		終期	未定
基本事業	1	漁業生産基盤の整備			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	海底の堆積物や海岸漂着物の除去、種苗放流事業等への支援を行うことにより、生産基盤である漁場の保全及び漁業生産の向上を図る。	事業内容（R4）	①漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲量の減少対策として、漁場環境の保全を図るため、小型底曳網漁船を使用して堆積物を除去し、廃棄物処理業者に引き渡し処理を行う。 ②市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動に対し、支援を行う。 ③徳島県漁連や市内漁協が実施する種苗放流事業等への支援を行う。
実施方針	漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲高の減少対策として、漁場の環境保全に努めるため、海底にある堆積物除去作業を継続して実施するとともに、海岸漂着物除去活動の支援を行う。 また、徳島県漁連や市内漁協が実施する種苗放流事業等への支援を行うことにより、水産資源の確保を図る。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動回数	10	5	5	5	5	回
	2	参加延人数	407	283	290	290	290	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	廃棄物処理量		146	測定中	116	116	116	㎥

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援 ③種苗放流事業等への支援	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援 ③種苗放流事業等への支援	①小型底曳網漁船を使用した海底堆積物の除去 ②市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援 ③種苗放流事業等への支援	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	6,095	△ 1,566	4,529	6,095	6,095

事務事業名	海面環境保全推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①　小型底曳網漁船を使用して堆積物の処理を行った。 ②　市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援を行った。 ③　徳島県漁連や市内漁協が実施する種苗放流事業等への支援を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動回数	4	4	5	5	5	回
	2	参加延人数	211	199	290	290	290	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		廃棄物処理量	77	77	116	116	116	㎥
		目標達成率(実績/目標)		66.4	ー	ー	ー	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,517,551	0	3,376,447	0	3,376,447
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	1,073,000	0	1,218,000	0	1,218,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	444,551	0	2,158,447	0	2,158,447

補助制度（名称、補助率など）	とくしま海岸漂着物等地域対策推進事業（海面環境保全推進）補助金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	廃棄物処理量		成果指標に対する所見	各団体とも積極的な取組を進めたが、気象条件（台風による流木等が少なかったこと）や、コロナ禍の影響により活動回数が例年より少なくなった（海岸清掃活動が4回から3回に減少した）結果、廃棄物処理量は当初の目標に及ばなかった。
	目標	116	㎥		
	実績	77	㎥		
	評価	C:あまり目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	目標数値である海底堆積物の除去量は、台風・大雨等の自然災害や気象条件に左右される場合が多いが、海底・海面環境を保全し、漁業経営の安定化を図るため、今後も実施していく必要がある。 市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動についても、海洋ごみに対する意識啓発という面からも継続して実施していく必要がある。 しかしながら、いずれも参加者の高齢化が進んでおり、後継者の育成・確保に取り組まなければならない。 また、市内の漁業者からは、海水温の上昇など、海の環境が変わってきているという声もあることから、種苗放流事業等への支援を継続して行うことにより水産資源の確保を図っていく必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	漁場環境の悪化や水産資源の枯渇による漁獲高の減少対策として、漁場の環境保全に努めるため、海底にある堆積物除去作業を継続して実施するとともに、市内の団体が実施する海岸漂着物除去活動の支援を行う。 また、徳島県漁連や市内漁協が実施する種苗放流事業等への支援を行うことにより、水産資源の確保を図る。
	令和6年度	前年度に同じ。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.106

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	ブランド産地推進事業（水産）	担当部署	産業振興部　農林水産課　水産振興室

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	鳴門市農林水産振興事業補助金交付要綱 徳島県農林水産政策関係事業補助金交付要綱		
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　19　年度
（小項目）	＼	農林水産業			
施策	6	水産業の振興		終期	未定
基本事業	2	漁業経営の安定化とブランド化の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	本市の特産物「鳴門鯛」「鳴門わかめ」等の販売の促進及び販路の拡大により、本市の基幹産業である水産業の振興を図る。	事業内容（R4）	①新鮮な水産物の捌き方を生産者が直接指導する「旬の魚の捌き方教室」や、「鳴門わかめの料理教室」、県内外でのPR活動等を実施する。 ②若手漁業者の活動を支援し、水産物のPR及び消費拡大、後継者育成を推進する。
実施方針	①本市水産物の消費促進及び販路拡大のため、市内での料理教室や県内外でのPR活動等を実施する。 ②若手漁業者の活動を支援し、水産物のPR及び消費拡大、後継者育成を推進する。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	県内外PR活動	2	9	6	6	6	回
	2	料理教室等イベント開催回数	7	5	7	7	7	回

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	県内外PR活動来場者数	2,000	1,000	5,000	5,000	5,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援 ④市内漁協によるインターネット販売拡充への支援 ⑤「鳴門わかめ」PR用動画や農水産物ブランドパンフレットの作成 ⑥市内漁業者への支援給付金の給付	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援 ④「鳴門わかめ」PR用動画を活用したPR	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	1,752	16,950	18,702	1,752	1,752

事務事業名	ブランド産地推進事業（水産）

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	令和4年4月にオープンした「道の駅くるくるなると」において鳴門わかめのPR活動を行うとともに、テレビ番組における視聴者プレゼントに市内の水産物を提供するなど、本市水産物のPRを行った。 また、魚のさばき方教室等の料理教室や、市内の若手漁業者の活動として、県内の小学校児童を対象に、ハマチの餌やり体験を実施した。 さらに、燃油高騰や新型コロナウイルス感染症への対策として、市内漁業者への支援金の給付を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	県内外PR活動	7	2	6	6	6	回
	2	料理教室等イベント開催回数	4	4	7	7	7	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		県内外PR活動来場者数	1,040	1,000	5,000	5,000	5,000	人
		目標達成率(実績/目標)		20.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		**11,972,234**	**0**	**18,387,308**	**0**	**18,387,308**
	財源内訳	国庫支出金	10,740,000	0	16,950,000	0	16,950,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,232,234	0	1,437,308	0	1,437,308
補助制度（名称、補助率など）			新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金				

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	県内外PR活動来場者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染症の影響で、大消費地でのPR活動や、わかめ収穫期等に開催予定としていたイベントが中止となったため、来場者数としては減少する結果となった。 しかしながら、「道の駅　くるくるなると」でのPR活動を行うなど、代替事業を実施することにより、事業目的は概ね達成できた。
	目標	5,000	人		
	実績	1,000	人		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、大消費地でのPR活動や、わかめ収穫期の２月、３月に開催予定としていたイベントや料理教室が中止となったことから、指標である来場者数は減少する結果となった。しかしながら、「道の駅くるくるなると」におけるPRやテレビ番組を活用したPR、漁業者への個人支援など、コロナ禍に対応した施策を実施することにより、産地の維持を図った。 今後も漁業者や市内漁協の状況把握に努め、アフターコロナも見据えた産地の持続的な発展を支援する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☑ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援
	令和6年度	①市内での料理教室等 ②県内外のPR活動 ③若手漁業者の活動支援

各実施計画兼評価シート

消　　防　　本　　部

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.107

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消防団車両・資機材等整備事業	担当部署	消防本部　消防総務課
総合計画体系				根拠法令計画など	消防法・消防組織法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　23　年度
(小項目)		消防			
施策	2	消防体制の充実		終期	未定
基本事業	2	消防力の強化			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、消防団員の安全装備を整備し、地域防災力の充実強化を図る。
実施方針	消防団車両・資機材等を計画的に更新し、消防力の強化を図る。

事業内容（R4）

消防団配備の消防ポンプ車及び積載車の状況を踏まえ、以下の3分団の小型ポンプ付積載車等を更新する。
池高分団・三ケ谷分団・堀江中分団

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	小型ポンプ付積載車更新台数	3	3	3	3	3	台
	2	消防団資機材整備率	100	100				%

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	小型ポンプ付積載車更新達成率	100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①小型ポンプ付積載車更新 ②消防団資機材整備	①小型ポンプ付積載車更新 ②消防団資機材整備	①小型ポンプ付積載車更新 ②消防団資機材整備	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	21,615		21,615	21,615	21,615

事務事業名	消防団車両・資機材等整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	令和4年6月に小型ポンプ付き積載車3台の入札を行い、9月に、池高分団、三ケ谷分団、堀江中分団に配備した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	小型ポンプ付積載車更新台数	3	3	3	3	3	台
	2	消防団資機材整備率	100	100	100	100	100	%
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		小型ポンプ付積載車更新達成率	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		27,908,430	0	21,549,000	0	21,549,000
	財源内訳	国庫支出金	1,578,000	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	13,800,000	0	12,300,000	0	12,300,000
		その他	3,157,000	0	0	0	0
		一般財源	9,373,430	0	9,249,000	0	9,249,000

補助制度（名称、補助率など）	地方債（防災対策事業債）　充当率75%

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	小型ポンプ付積載車更新達成率	
	目標	100	%
	実績	100	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	効率よく計画どおりできた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消防団の小型ポンプ付積載車及びポンプ車は45台あり、年3台の更新でも全分団を更新するのに15年かかるため計画的に更新していく必要がある。H27年度以降は、社会資本整備総合交付金が適用できなくなったため、有効な地方債（防災対策事業債等）を活用していく。また、消防資機材は、使用頻度、劣化具合を見極めて、優先度の高いものから計画的に更新していく。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	小型ポンプ付積載車3台（里浦北分団・島田分団・大津第一分団）を配備予定
	令和6年度	小型ポンプ付積載車3台を配備予定

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.108

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消防団安全装備品整備事業	担当部署	消防本部　消防総務課
総合計画体系				根拠法令計画など	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律　消防団の装備の基準
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始	令和　3　年度
(小項目)		消防			
施策	2	消防体制の充実		終期	令和　6　年度
基本事業	2	消防力の強化			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☑ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、消防団員の安全装備を整備し、地域防災力の充実強化を図る。	事業内容（R4）	消防団員の豪雨災害対策として雨衣を配付する。 ・全42分団に5着 合計210着
実施方針	消防団員が現場活動するための安全装備品を計画的に整備し、消防力の強化及び消防団員の安全の確保を図る。		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	雨衣の配布数	—	226	210	210	254	着
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		安全装備品整備達成率	—	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容		雨衣の配布	雨衣の配布	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	3,581		3,581	3,581	4,331

事務事業名	消防団安全装備品整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	消防団員の豪雨災害対策として雨衣を210着配付した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	雨衣の配布数	226	210	210	254	－	着
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	安全装備品整備達成率		100	100	100	100	－	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		7,255,160	0	3,557,400	0	3,557,400
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	7,255,000	0	3,557,400	0	3,557,400
		一般財源	160	0	0	0	0

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	安全装備品整備達成率	
	目標	100	%
	実績	100	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	効率よく計画どおりできた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消防団員の安全装備として雨衣を配備し、防災力の充実強化を図っていく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	消防団員の豪雨災害対策として雨衣を210着配付予定。
	令和6年度	消防団員の豪雨災害対策として雨衣を254着配付予定。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.109

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	消防施設耐震化推進事業	担当部署	消防本部　消防総務課
総合計画体系				根拠法令計画など	建築基準法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間 開始	平成　26　年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると			
（小項目）		消防		終期	未定
施策	2	消防体制の充実			
基本事業	2	消防力の強化			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	大規模災害発生に備えた消防拠点施設を整備するため、耐震基準を満たしていない建物を対象に、消防施設の耐震化整備を実施する。
実施方針	①大規模災害発生に備えた消防拠点施設を整備するため、消防分団詰所及び大麻分署の耐震化整備を実施する。 ②分団の再編に伴って改築する分団詰所についても大規模災害時に使用可能な施設として整備する。
事業内容（R4）	①三津大須分団詰所解体設計 ②旧吉永分団警鐘台撤去工事に伴う境界確定業務 ③旧板東南分団詰所境界確定業務 ④旧板東南分団詰所所有者不明土地問題解消業務

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震設計（改築設計）・耐震工事（改築工事）	5	3	1	2	3	棟
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	耐震化着手数	4	3	1	2	3	棟

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①備前島分団詰所耐震改修 ②折野分団詰所建築工事 ③大津第二分団詰所建築工事 ④旧三俣分団詰所解体設計 ⑤旧板東南分団詰所解体設計 ⑥大麻分署建築候補地検討	①板東南分団詰所建築工事 ②吉永分団詰所解体工事 ③旧折野分団詰所解体工事 ④大麻分署建設候補地検討	①三津大須分団詰所解体設計 ②旧吉永分団警鐘台撤去工事に伴う境界確定業務 ③旧板東南分団詰所境界確定業務 ④旧板東南分団詰所所有者不明土地問題解消業務	①三津大須分団詰所解体工事 ②板東分団詰所解体設計	①旧大麻分署解体設計 ②板東分団詰所解体工事 ③板東分団詰所新築設計

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	6,258		6,258	5,000	—

事務事業名	消防施設耐震化推進事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	①三津大須分団詰所解体撤去工事設計業務 ②旧吉永分団警鐘台撤去工事に伴う境界確定業務 ③旧板東南分団詰所境界確定業務(未実施) ④旧板東南分団詰所所有者不明土地問題解消業務

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	耐震設計(改築設計)・耐震工事(改築工事)	1	1	1	0	2	棟
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		耐震化着手数	1	1	0	0	2	棟
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		64,827,400	0	3,166,230	0	3,166,230
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	63,700,000	0	600,000	0	600,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,127,400	0	2,566,230	0	2,566,230
補助制度(名称、補助率など)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	耐震化着手数		成果指標に対する所見	達成済み
	目標	1	棟		
	実績	1	棟		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	消防施設耐震化推進事業について、大麻分署、板東分団詰所は、(仮称)大麻町総合防災センター建設計画に沿って推進していく。その他、未耐震施設となっている消防団詰所は再編問題が課題となっていることから諸課題等を検討していく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	○鳴門市消防団旧三津大須分団詰所解体撤去工事 ○(仮称)大麻町総合防災センターの建設に沿って大麻分署及び板東分団詰所について諸課題を検討 ○消防施設耐震化については再編等協議を進める
	令和6年度	○(仮称)大麻町総合防災センターの建設に沿って大麻分署及び板東分団詰所について諸課題を検討 ○消防施設耐震化については再編等協議を進める

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.110

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	救急救命士等養成事業	担当部署	消防本部　警防課
総合計画体系				根拠法令計画など	救急救命士法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち　なると	事業期間	開始	平成　5　年度
（小項目）		救急			
施策	3	救急救助・医療体制の充実		終期	未定
基本事業	1	救急体制の充実			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	救急出場時の救急救命士乗車率を100%にする。また、救急救命士の資格を有する職員が実施できる高度な救命処置（特定行為）についてもその質を確保し、維持向上を図るため講習、研修等に派遣する。
実施方針	①救急救命士養成のため、研修所に派遣 ②特定行為の認定を得るための病院実習 ③救急救命士、再教育の病院実習
事業内容（R4）	①新規養成課程に救急救命九州研修所に1名入校 ②気管挿管認定を得るため、1名を病院実習に派遣 ③ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定を得るため、1名を病院実習に派遣 ④救急救命士再教育病院実習に派遣

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	救急救命士（実働数）	17	19	19	20	20	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		救急救命士の乗車率	100	100	100	100	100	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	救急救命士1名養成 気管挿管認定1名養成 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	救急救命士1名養成 気管挿管認定1名養成 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	救急救命士1名養成 気管挿管認定1名養成 ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定1名養成	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	3,352		3,352	3,200	3,200

事務事業名	救急救命士等養成事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	①新規養成課程に救急救命九州研修所に1名入校 ②気管挿管認定を得るため、1名を病院実習に派遣 ③ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定を得るため、1名を病院実習に派遣 ④救急救命士再教育病院実習に21名を派遣

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	救急救命士(実働数)	19	21	21	23	25	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		救急救命士の乗車率	100	100	100	100	100	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		3,034,262	0	2,907,805	0	2,907,805
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	3,034,262	0	2,907,805	0	2,907,805
補助制度(名称、補助率など)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	救急救命士の乗車率	
	目標	100	%
	実績	100	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	目標である救急救命士の乗車率100%を維持することができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	救急需要の増大、活動時間の延伸等、救急活動を取り巻く環境は過酷なものとなっており、救急活動全体の質向上、隊員の負担軽減に繋がる救急救命士2名乗車体制の構築に向け、救急救命士養成事業を拡充する必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	救急救命士の養成、研修を計画的に実施し、救急活動の質の向上に努める。
	令和6年度	救急救命士の養成、研修を計画的に実施し、救急活動の質の向上に努める。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.111

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	高機能消防通信指令システム・消防救急デジタル無線システム全面更新整備事業	担当部署	消防本部　警防課
総合計画体系				根拠法令計画など	電気通信事業法・電波法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	安心して暮らせるまちなると	事業期間	開始	令和 4 年度
（小項目）		消防			
施策	2	消防体制の充実		終期	令和 4 年度
基本事業	2	消防力の強化			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	高機能消防指令システムとデジタル無線システムを全面更新し、迅速で的確な119番通報の受信と消防救急体制を確立する。	**事業内容（R4）**	通信指令システムとデジタル無線システムを同時に更新し、同一メーカーによるシステム運用とする。 令和4年度、プロポーザル方式により施工業者を決定し更新を図る。
実施方針	同一メーカーによる全面更新を実施し、両システム間の連携費を不要とする。また保守費の低減化を図る。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	システム全面更新整備事業			更新整備完了	運用開始		
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	システム全面更新整備				100			%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容		全面更新整備計画について他課との協議	両システムの全面更新 新システム運用開始		

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**396,000**	**△ 140,000**	**256,000**	**—**	**—**

事務事業名	高機能消防通信指令システム・消防救急デジタル無線システム全面更新整備事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	令和4年 5月　プロポーザル方式により施工業者を決定 6月　システム全面更新整備事業の契約 令和5年 1月　操作説明および運用訓練開始 2月　通信指令システムとデジタル無線システムの同時更新事業完了 3月　新システム運用開始

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	システム全面更新整備事業		更新整備完了				―
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		システム全面更新整備		100				%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		0	0	253,000,000	0	253,000,000
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	213,100,000	0	213,100,000
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	39,900,000	0	39,900,000

補助制度（名称、補助率など）	指令システム　防災対策事業債（充当率75%） デジタル無線システム　緊急防災・減災事業債（充当率100%）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	完了	事業全体の進捗状況	―

成果指標に対する評価	指標名	システム全面更新整備		成果指標に対する所見	計画通りにシステム全面更新整備を完了することができた。
	目標	100	%		
	実績	100	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	
	令和6年度	

各実施計画兼評価シート

企　　業　　局

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.112

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	水道事業経営基盤強化推進事業	担当部署	企業局　水道企画課
総合計画体系				根拠法令計画など	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり			
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると	事業期間	開始	年度
(小項目)		上水道			
施策	3	安全で強靭な水道の持続		終期	未定
基本事業	1	経営基盤の強化と適正な料金水準の設定			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	水道事業の経営基盤強化	事業内容（R4）	①経営戦略に基づく経営改革 ②鳴門市水道事業審議会への報告と審議
実施方針	経営戦略に掲げた各種取り組みの推進		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市水道事業審議会開催回数	1	1	1	1	1	回
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	累積欠損金	0	0	0	0	0	円

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①経営戦略の見直し ②審議会に決算やビジョンの進捗状況の報告	①経営戦略に基づく経営改革 ②鳴門市水道事業審議会への報告と審議	①経営戦略に基づく経営改革 ②鳴門市水道事業審議会への報告と審議	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	―		―	―	―

事務事業名	水道事業経営基盤強化推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	① 経営戦略に基づく経営改革 ・ 広域化推進の一環として新たに徳島市等と薬品の共同発注を実施 ・ 窓口業務等の外部委託の継続実施等 ② 鳴門市水道事業審議会への報告と審議

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市水道事業審議会開催回数	1	1	1	1	1	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		累積欠損金	0	0	0	0	0	円
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		―	―	―	―	―
	財源内訳	国庫支出金	―	―	―	―	―
		県支出金	―	―	―	―	―
		地方債	―	―	―	―	―
		その他	―	―	―	―	―
		一般財源	―	―	―	―	―

補助制度（名称、補助率など）	

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	累積欠損金		成果指標に対する所見	平成31年度に料金改定を行ったことで、令和4年度も一定の給水収益が確保できている。 また、費用の抑制にも努めたことで、当年度純利益を計上でき、累積欠損金は発生しなかった。
	目標	0	円		
	実績	0	円		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	水道事業は、将来にわたり、安全で安心な水道水の供給が求められており、老朽管の更新や施設の耐震化等の事業に計画的に取り組んでいく必要がある。 人口減少等により給水収益の増加が見込めないなど、水道事業を取り巻く経営環境は、一層厳しい状況となっていることから、経営戦略に基づいた取組を推進し、経営基盤の強化を図る必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	経営戦略に基づく各種取組を確実に推進する。
	令和6年度	経営戦略に基づく各種取組を確実に推進する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.113

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業	担当部署	企業局　浄水場
総合計画体系				根拠法令計画など	水道法
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり		事業期間 開始	平成　21　年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち　なると			
（小項目）		上水道		終期	未定
施策	3	安全で強靭な水道の持続			
基本事業	3	着実な施設の更新・耐震化と応急給水・復旧体制の整備			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①水道事業の根幹となる施設であり、南海トラフ地震等に備えた防災対策を講じる必要があることから施設を更新 ②コスト削減等の効果があるため、北島町と浄水場の共同化を実施	事業内容（R4）	1. 鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①整備事業の工事等（設計・施工一括発注方式）を実施 ②整備事業の施工監理業務を実施
実施方針	①鳴門市浄水場を耐震性のある災害に強い施設に更新 ②老朽化が進む浄水場の更新を、北島町と共同して進める。		

		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の進捗状況	事業者決定	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	―
	2							

成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	浄水場の更新	整備事業の事業者決定	詳細設計・建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	―

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,261,824		2,261,824	2,565,734	3,457,776

事務事業名	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ① 整備事業(DB方式)のうち調査・設計業務に着手し、建設工事のうち浄水処理棟、管理棟、濃縮槽、着水井設備棟などの基礎工事や、推進工の立坑工事などを実施 ② 整備事業の施工監理業務

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の進捗状況	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	－
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		浄水場の更新	詳細設計・建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	建設工事等の実施	―
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		289,245,000	0	2,261,823,300	0	2,261,823,300
	財源内訳	国庫支出金	63,962,000	0	545,226,000	0	545,226,000
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	72,800,000	0	545,200,000	0	545,200,000
		その他	152,026,950	0	1,171,345,300	0	1,171,345,300
		一般財源	456,050	0	52,000	0	52,000

補助制度(名称、補助率など)	厚生労働省　生活基盤施設耐震化等交付金のうち「水道事業運営基盤強化推進等事業」の「水道施設共同化事業」　補助率:1／3

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	浄水場の更新	
	目標	建設工事等の実施	―
	実績	建設工事等の実施	―
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	DB方式による設計業務、建設工事を実施

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業を円滑に進め、双方にとって有益な事業とするため、北島町と必要な事項の検討、関係機関との協議を行う必要がある。 現施設を稼働しながら新施設を建設するため、複雑な工程管理、限られた敷地活用等の検討が必要となる。 共同浄水場完成後の維持管理等について、北島町と協議、検討を行う必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①整備事業の工事等(設計・施工一括発注方式)を実施 ②整備事業の施工監理業務
	令和6年度	鳴門市・北島町共同浄水場整備事業の実施 ①整備事業の工事等(設計・施工一括発注方式)を実施 ②整備事業の施工監理業務

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.114

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業	担当部署	企業局 ボートレース企画課 ボートレース事業課

総合計画体系			根拠法令計画など	モーターボート競走法 経営戦略アクションプラン2021
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なると	事業期間 開始	平成 26 年度
（小項目）		行財政運営		
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進	終期	未定
基本事業	2	財政の健全化		

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	ボートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる経営理念を達成する。 ①ボートレース事業の安定的な運営を継続 ②市民に親しまれる施設としてランドマーク化を推進 ③市の財政に貢献
実施方針	ボートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる経営戦略に定める各種施策を実施する。 ①広域販売戦略 ②本場活性化戦略 ③体質改善等の推進

事業内容（R4）

各戦略に掲げる個別施策に順次取り組む。
【広域販売戦略】
1. 電話投票売上の向上（取組項目7・個別施策17）
2. 他場委託発売売上の向上（取組項目3・個別施策4）
【本場活性化戦略】
1. 本場売上の向上（取組項目8・個別施策24）
2. 場外発売受託売上の向上（取組項目2・個別施策3）
3. 施設整備及び改善（取組項目2・個別施策5）
4. ボートレースパーク化の推進及び地域貢献（取組項目3・個別施策9）
【体質改善等の推進】
1. 経費の見直し及び組織体制の充実（取組項目4・個別施策9）
2. 危機管理等対応及びギャンブル依存症対策（取組項目4・個別施策10）

			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ボートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる施策の実施率		25	40	55	70	%
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		**指標名**	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		ボートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる各年度の収支目標（事業利益）		56	27	27	29	億円

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①サマータイム（薄暮）レース開催（上半期） ②モーニングレース開催（下半期） ③SGオーシャンカップ開催 ④外向発売所に指定席棟の整備、開設 ⑤経営戦略アクションプラン2021の策定	アクションプラン2021に掲げる施策の推進 広域発売戦略21施策 本場活性化戦略41施策 体質改善等の推進19施策	アクションプラン2021に掲げる施策の推進 広域発売戦略21施策 本場活性化戦略41施策 体質改善等の推進19施策	アクションプラン2021に掲げる施策の推進 広域発売戦略21施策 本場活性化戦略41施策 体質改善等の推進19施策	アクションプラン2021に掲げる施策の推進 広域発売戦略21施策 本場活性化戦略41施策 体質改善等の推進19施策

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	―		―	―	―

事務事業名	モーターボート競走事業健全経営安定化推進事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	経営戦略アクションプラン2021に基づく各種施策を推進し、事業利益77億円を確保した。 ・ブレイキン全国大会「THE JAM in NARUTO」をウズホールで開催 ・デジタルアート体験型イベント「チームラボ★学ぶ！未来の遊園地」をウズホールで開催 ・吉野川市にボートレースチケットショップ阿波かもじまを開設 ・SG第25回チャレンジカップ競走・GⅡ第9回レディースチャレンジカップを鳴門で開催 ・全国小学生ボルダリング大会「第1回UZUCUP」をウズホールで開催 ・ボートレース事業の安定的な運営を図るため、老朽化が進む現整備棟を新たに建替えることとし、基本設計を策定するとともに、デザインビルドによる事業者選定を行い、実施設計に着手した。 ※レースを開催しながら、令和5年度・6年度の2ヶ年をかけて工事を行う予定。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ボートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる施策の実施率	25	79	―	―	―	%
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		ボートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる各年度の収支目標(事業利益)	73	77	―	―	―	億円
		目標達成率(実績/目標)		285.2	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		0	0	0	0	0
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
補助制度(名称、補助率など)							

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	ボートレース鳴門経営戦略アクションプラン2021に掲げる各年度の収支目標(事業利益)		成果指標に対する所見	令和4年度はSG第25回チャレンジカップ競走等の開催により売上は順調で、計画どおりであった。
	目標	27	億円		
	実績	77	億円		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	業界的課題ではあるが、電話投票売上が好調である一方、本場売上、専用場外売上、他場委託売上は減少傾向にある。 経営戦略アクションプラン2021に基づき、課題解決及び健全経営に取り組む。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	経営戦略アクションプラン2021に基づく各種施策を推進し、事業利益37億円の確保を目指す。 ・周年競走を除いて、通年でモーニング開催 ・GⅢ第10回ウエスタンヤング競走を開催 ・長期休暇等に合わせてイベントを開催 ・ボートレース新整備棟の実施設計を策定するとともに、第一期工事を完了させ、現整備棟から完了した部分への機能移転を行う。 ・レース運営に不可欠な水上設備(大型映像装置ユニット・大時計)を更新する。
	令和6年度	経営戦略アクションプラン2021に基づく各種施策を推進し、目標収支の達成を目指す。

各実施計画兼評価シート

教　育　委　員　会

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.115

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	地場産品の活用と食育の推進事業	担当部署	教育委員会　教育総務課
総合計画体系				根拠法令計画など	食育基本法、学校給食法（学校給食実施基準、学校給食衛生管理基準）
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると	事業期間	開始	平成　17　年度
（小項目）		教育行政			
施策	1	教育行政の充実		終期	未定
基本事業	5	学校給食の充実と食育の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	①子供たちの望ましい食習慣の形成や食に関する理解促進 ②給食への愛着や地域理解、郷土愛の醸成	事業内容（R4）	①地域の特産物を用いた学校給食の推進 学校給食への地場産品活用促進 ②給食献立を活用した食育の推進 なると学校食育の日(毎月19日)の実施
実施方針	①地域の特産物を使った学校給食の推進を図る ②給食献立を活用した食育の重点的な推進を図る		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	郷土食や鳴門独自の献立を給食に採用した件数	64	55	55	55	55	件
	2	なると学校食育の日を実施	11	11	11	11	11	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	給食の食材のうち地場産品の占める割合		44	65	65	65	65	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①調理実習の開催 ②「なると学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施(児童・生徒対象)	①調理実習の開催 ②「なると学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施(児童・生徒対象)	①調理実習の開催 ②「なると学校食育の日」の実施 ③給食に関するアンケートの実施(児童・生徒対象)	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	40		40	40	40

事務事業名	地場産品の活用と食育の推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	地域の特色を生かした学校給食を実施するため、栄養教諭等が調理実習を実施し、試作品づくりを通して地場産品を活用した献立の作成に努めるとともに、毎月19日を「なると学校食育の日」と定め、「給食発ふるさとの味」をテーマとした地産地消及び食育の推進を図った。 なお、「なると学校食育の日」には、地域の特産物を使った給食のレシピを市公式ウェブサイトに掲載し、地産地消に向けた周知を図るとともに、給食献立の嗜好等の実態を把握し、今後の学校給食運営に役立てるため、児童・生徒を対象にアンケート調査を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	郷土食や鳴門独自の献立を給食に採用した件数	66	63	55	55	55	件
	2	なると学校食育の日を実施	11	11	11	11	11	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		給食の食材のうち地場産品の占める割合	65	61	65	65	65	%
		目標達成率(実績/目標)		93.8	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		16,620	0	26,010	0	26,010
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	16,620	0	26,010	0	26,010

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	給食の食材のうち地場産品の占める割合	
	目標	65	%
	実績	61	%
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見
給食センターの栄養教諭等と連携し、調査月以外も地場産品の積極的な活用に努め、全市的な食育の推進を図った。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・学校給食における地場産品を活用した献立を増やすことで、郷土に根付いた料理を食べる機会を増やし、次世代を担う子供たちの郷土への愛着を育み、郷土料理についての知識を深める。 ・自分の食生活を見直し、正しい知識や情報に基づいて望ましい食事の取り方を自ら判断できる「食の自己管理能力」を身に付ける。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	地産地消の観点から、地域の特色ある学校給食の実施に向けて、栄養教諭等が試作品づくりを行うとともに、「なると学校食育の日」には、地域の特産物を使った給食のレシピを市公式ウェブサイトに掲載し、地産地消に向けた周知を図る。
	令和6年度	地産地消の観点から、地域の特色ある学校給食の実施に向けて、栄養教諭等が試作品づくりを行うとともに、「なると学校食育の日」には、地域の特産物を使った給食のレシピを市公式ウェブサイトに掲載し、地産地消に向けた周知を図る。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.116

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学校づくり計画推進事業	担当部署	教育委員会　学校教育課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市教育振興計画 鳴門の学校づくり計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると		事業期間 開始	平成　20　年度
(小項目)		教育行政			
施策	1	教育行政の充実		終期	未定
基本事業	4	鳴門の学校づくり計画の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「鳴門の学校づくり計画」に位置づけられている、市内の公立幼稚園、小学校及び中学校の子どもたちが、将来にわたってより質の高い教育を受けることができるように、より良い教育環境を整える。	事業内容（R4）	①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を実施する。 ②瀬戸中学校区において、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園を再編後の7園体制で運営する。 ④市内全小・中学校でコミュニティ・スクールを導入する。
実施方針	「鳴門の学校づくり計画」に基づき、複式学級の解消を図るとともに、公立幼稚園の再編を推進する。 学校運営に地域の声を積極的に生かし、特色ある学校づくりを進めるため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入する。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市教委主催の説明会の開催回数	13	1	1	1	1	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	複式学級のある小中学校		1	1	1	1	1	校

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を実施 ②瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園のあり方について審議	①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を実施 ②瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園の再編計画を進め、8園を閉園する。 ④コミュニティ・スクールを7校に導入	①鳴門東小で学校再編に関する意見交換会を実施 ②瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ③公立幼稚園を再編後の7園体制で運営する。 ④コミュニティ・スクールを市内全小・中学校に導入	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	3,513	24	3,537	3,513	3,513

事務事業名	学校づくり計画推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・鳴門東小学校にかかわる学校再編について、保護者の理解が得られるよう、説明、意見交換を行った。 ・瀬戸中学校区においては、幼小中一貫「学びのプラン」に基づいた幼小中一貫教育の充実をはかった。 ・公立幼稚園を再編後の新体制で運営した。 ・全ての小中学校においてコミュニティ・スクールを導入した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市教委主催の説明会の開催回数	1	4	3	未定	未定	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		複式学級のある小中学校	1	2	1	1	1	校
		目標達成率(実績/目標)		50.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		1,464,932	0	2,184,395	0	2,184,395
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	300,000	0	280,000	0	280,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,164,932	0	1,904,395	0	1,904,395

補助制度（名称、補助率など）	小中一貫教育推進事業委託金

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	複式学級のある小中学校	
	目標	1	校
	実績	2	校
	評価	C:あまり目標を達成できなかった	

成果指標に対する所見	適正規模への再編を行うためには、保護者・地域の理解を得ることが先決であり、そのための協議を重ねている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・鳴門東小学校にかかわる学校再編について、保護者および地域の理解が得られるよう、丁寧な説明、意見交換を進めていく必要がある。 ・瀬戸中学校区においては、幼小中一貫「学びのプラン」に基づいた幼小中一貫教育について、取組を継続し、さらに充実させる必要がある。 ・再編された公立幼稚園について、教育環境の改善・充実がなされるよう適正配置に努める。 ・コミュニティ・スクール「鳴門モデル」推進に向けて継続的な支援を行う体制が必要である。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	・複式学級編制となる学校で学校再編に関する意見交換会を実施 ・瀬戸中学校区で、幼小中一貫教育の充実を図る。 ・公立幼稚園を再編後の新体制で運営する。 ・コミュニティ・スクールを推進することにより、地域とともにある学校づくりに取り組む。
	令和6年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.117

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学力向上対策推進事業	担当部署	教育委員会　学校教育課
総合計画体系				根拠法令計画など	なし
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり		事業期間 開始	平成　28　年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると			
(小項目)		学校教育		終期	未定
施策	3	義務教育の充実			
基本事業	1	学力向上の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	学校と家庭が連携し、市内小中学生の基本的生活習慣や学習習慣の育成を図り、確かな学力の向上と定着を目指す。
実施方針	鳴門教育大学教員や小中学校の代表校長、各教科部会の代表教員を委員とした「鳴門市学力向上推進委員会」において、学力向上施策を検討し、各種施策を実施する。
事業内容（R4）	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市教委主催教職員向け研修会実施回数	－	4	4	4	4	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	理数オリンピック参加者の次回への参加意欲		－	70	70	70	70	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	①学力向上推進委員会の開催 ②Q-Uアンケートの実施 ③各学校への新聞の配備 ④理数オリンピックの開催	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,843		2,843	2,843	2,843

事務事業名	学力向上対策推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	鳴門教育大学教員や小中学校の代表校長、各教科部会の代表教員を委員とした「鳴門市学力向上推進委員会」において、学力向上施策の検討を進めた他、小学校3～6年・中学校1～3年を対象にQUアンケートを実施し、各学校に新聞を配備した。また、例年実施している「理数オリンピック」については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、「オンライン理数教室」として、大学の授業を中学生にも興味がもてるような講義を開催した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市教委主催教職員向け研修会実施回数	3	7	4	4	4	
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		理数オリンピック参加者の次回への参加意欲	－	70	70	70	70	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		2,390,533	0	2,364,693	0	2,364,693
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,390,533	0	2,364,693	0	2,364,693
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	理数オリンピック参加者の次回への参加意欲		成果指標に対する所見	「オンライン理数教室」として、大学の授業を中学生にも興味がもてるような講義を開催した。
	目標	70	%		
	実績	70	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門市学力向上推進委員会において、各学校と連携して情報収集や調査結果の分析を行うとともに、具体的な対策について研究を進め、全市一体となった取組を進める。 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に取り組むとともに、学校、家庭における基本的な学習習慣・生活習慣の確立を図ることが重要である。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	キャリア教育の充実等を図り、学びに向かう力を高めるとともに、授業改善を進め、子どもたちの学力の確実な定着に取り組む。その際、ICTを積極的に活用する。また、学力向上施策「なると うずっ子 学力向上パッケージ」を実施し、その成果と課題を検証する。
	令和6年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.118

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業	担当部署	教育委員会　学校教育課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市地域防災計画 鳴門市学校・幼稚園防災推進計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると	事業期間	開始	平成　26　年度
(小項目)		学校教育			
施策	3	義務教育の充実		終期	未定
基本事業	6	生命を守る防災安全教育の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、本市の幼児・児童・生徒及び職員の災害発生時の安全確保対策の推進と一時避難に必要な災害対応備品等を計画的に整備するとともに、防災教育及び防災管理・組織活動の充実と推進を図る。	事業内容（R4）	①学校防災推進会議を開催し、重点取り組み項目を決定する。 ②学校防災推進会議実務者部会を開催し、重点取り組み項目についての取り組みを推進する。
実施方針	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づいた取り組みを推進する。また、学校現場と協力して、授業にフェーズフリーの考え方を取り入れ、児童生徒が災害時に備えた感覚を身に付けられる状態を目指す。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学校防災推進会議開催数	2	2	2	2	2	回
	2	フェーズフリーに関する教職員向け研修会実施回数	3	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	重点取組項目数		7	7	4	4	5	個

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進 ③国の委託事業「学校安全総合支援事業」を実施	①学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進	①学校防災推進会議を2回開催し、重点取組項目を決定 ②学校防災推進会議実務者部会を3回開催し、取り組みを推進	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	755		755	755	755

事務事業名	鳴門市学校・幼稚園防災対策事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、学校防災推進会議を年度内に2回開催し、重点取組項目を取り決め、取組状況の検証をするとともに、共通理解事項の確認・改善を図った。 実務者部会は年度内に3回開催し、各地域の自主防災会と連携した登下校時の安全確保、家庭学校防災の意識と知識の更新についての取組を中心に進めた。 市内全中学校に防災クラブを設置し、活動を支援した。 令和2年度に作成したフェーズフリーに関する冊子を増刷して配布し、学校の防災意識の向上を図るとともに、第一中学校ではフェーズフリー商品を開発する授業をするなど、フェーズフリーを学校教育に導入し、子どもたちの災害対応能力や判断力の向上に努めた。 市内小・中学校で取り組んでいるコミュニティ・スクールに「防災」を位置づけて、地域との協働活動に取り組んだ。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学校防災推進会議開催数	2	2	2	2	2	回
	2	フェーズフリーに関する教職員向け研修会実施回数	3	3	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		重点取組項目数	7	4	4	5	5	個
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		328,469	0	650,925	0	650,925
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	328,469	0	650,925	0	650,925
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	重点取組項目数		成果指標に対する所見	防災教育と防災管理の2つの視点から、重点取組項目を設定し、重点的に取り組んだ。
	目標	4	個		
	実績	4	個		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・甚大な自然災害をはじめ、子どもたちの安全を脅かす事案は、いつ・どこでも起こり得るため、子どもの命を守ることを最優先にフェーズフリーなどの浸透をはかり、困難をしなやかに乗り越える防災力を育成する必要がある。 ・地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育の充実や、学校や地域の安全文化の醸成を図るため、学校と地域の連携・協働体制を構築することが求められる。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	「鳴門市学校・幼稚園防災推進計画」に基づき、取組を推進し、実務者部会において、地域連携を強化していく。
	令和6年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.119

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	学園都市化構想連携協力推進事業	担当部署	教育委員会　学校教育課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市，鳴門市教育委員会及び鳴門教育大学との鳴門市学園都市化構想に関する連携協力協定書
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると	事業期間	開始	平成　24　年度
(小項目)		大学連携			
施策	4	大学連携の推進		終期	未定
基本事業	2	学校教育における連携			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「鳴門市、鳴門市教育委員会及び国立大学法人鳴門教育大学との鳴門市学園都市化構想に関する連携協力協定書」に基づき、現在の連携協力校（園）における課題解決や教育・保育の充実・向上を行い、将来的には、市内全域の就学前教育・保育施設、小学校及び中学校が連携協力校（園）となって、鳴門市学園都市化を目指す。	事業内容（R4）	①実施計画に基づき、鳴門町地区をモデル地区として、地区内の就学前教育・保育施設、小学校、中学校の5校園での連携・協力を推進する。 ②過去の取り組みを検証し、連携・協力内容について大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。
実施方針	①鳴門教育大学教育拠点校に認定されている鳴門町地区の就学前教育・保育施設、小学校、中学校の5校園において、教育・保育のより一層の充実・向上を図る。 ①将来的には、連携協力校（園）を市内全域に拡充し、鳴門市学園都市化を目指す。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学園都市化構想実施計画における教育研究活動数	7	8	8	8	8	個
	2	学習支援サポーター活動人数	18	27	30	30	30	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		連携協力就学前教育・保育施設、小学校、中学校	5	5	5	5	5	校

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①5校園で大学による研究事業を実施 ②学習支援サポーター18名及び部活動支援サポーター11名を派遣	①実施計画に基づき、5校園での連携・協力を推進する。 ②大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。	①実施計画に基づき、5校園での連携・協力を推進する。 ②大学や5校園と協議を進め、見直しを行った上で次年度の実施計画を策定する。	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	424		424	424	424

事務事業名	学園都市化構想連携協力推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	令和4年度の取組について定めた鳴門市学園都市化構想実施計画に基づき、鳴門町地区の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校の5校園において、鳴門教育大学により研究事業を実施し、教育の充実・向上に取り組んだ。また、学習支援サポーター10名及び部活動支援サポーター5名の派遣を行い、連携・協力を推進した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学園都市化構想実施計画における教育研究活動数	8	8	8	8	8	個
	2	学習支援サポーター活動人数	29	10	30	30	30	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		連携協力就学前教育・保育施設、小学校、中学校	5	5	5	5	5	校
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		129,235	0	165,230	0	165,230
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	129,235	0	165,230	0	165,230
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況	計画どおり
成果指標に対する評価	指標名	連携協力就学前教育・保育施設、小学校、中学校		成果指標に対する所見	学校（園）は鳴門教育大学から、その教育資源の提供を受けるとともに、大学の教育研究への協力を行うといったように、相互に連携協力を行っており、学校（園）の教育環境の充実・向上が図られている。
	目標	5	校		
	実績	5	校		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門教育大学の「教育研究拠点校」として認定された鳴門町内の学校・園を中心として、鳴門教育大学と市内の各学校・園がより連携・協働を密に実践研究活動を推進し、その成果を横展開し拡充していく。 鳴門教育大学との連携のもと、教育・保育現場を支援する学生・院生によるボランティアを、就学前教育・保育、学力向上、課外活動、特別支援教育等様々な教育分野において、今後も継続していく。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	鳴教大研究拠点校となった鳴門町地区の認定こども園、小学校、中学校の5校園と、鳴教大との連携・協力をより推進する。また、これまでの取組を検証し、次年度に向けての連携・協力内容を深め、将来的な方向性の検討を進める必要がある。
	令和6年度	継続実施

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.120

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権教育推進事業	担当部署	教育委員会　総合教育人権課
総合計画体系				根拠法令計画など	人権教育および人権啓発の推進に関する法律
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち　なると	事業期間	開始	平成　4　年度
(小項目)		人権			
施策	1	人権の尊重		終期	未定
基本事業	2	人権教育の推進			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	人権教育・啓発を推進し、一人ひとりが人権に関する正しい理解と認識を深め、人権が尊重される社会の実現をめざす。
実施方針	①市主催人権問題研修会等の実施 ②人権教育推進協議会の活動支援 ③その他、人権教育啓発活動の実施
事業内容（R4）	①市主催人権問題研修会等の実施 ・人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ・人権教育研究大会（第二中学校区）の開催 ②人権教育推進協議会の活動支援 ・人権教育推進協議会との連携による啓発活動（研修会等）の実施 ・活動、運営補助 ③その他、人権教育啓発活動の実施 ・「広報なると」を活用した人権啓発記事の掲載等 ・街頭啓発活動の実施

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市主催人権問題研修会等の実施回数	2	3	3	3	3	回
	2	人推協主催人権問題研修会等の実施回数	0	0	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
		市及び人推協主催の人権問題研修会等への参加者数	220	220	1,100	1,100	1,100	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ②人権教育研究大会（大麻中学校区）の開催 ③人権教育推進協議会の活動支援 ④その他、人権教育啓発活動	①人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ②人権教育研究大会（第一中学校区）の開催 ③人権教育推進協議会の活動支援 ④その他、人権教育啓発活動	①人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなるとの開催 ②人権教育研究大会（第二中学校区）の開催 ③人権教育推進協議会の活動支援 ④その他、人権教育啓発活動	①人権地域フォーラム、人権フェスティバル（ヒューマンライツメッセージなる）との開催 ②人権教育研究大会（鳴門中学校区）の開催 ③人権教育推進協議会の活動支援 ④その他、人権教育啓発活動	①人権地域フォーラム、人権フェスティバル（ヒューマンライツメッセージなると）の開催 ②人権教育研究大会（瀬戸中学校区）の開催 ③人権教育推進協議会の活動支援 ④その他、人権教育啓発活動

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	2,466		2,466	2,466	2,466

事務事業名	人権教育推進事業

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和4年度実施内容	○ 人権地域フォーラム(8/19)、ヒューマンライツメッセージなると(12/2)を開催した。 ○ 人権教育推進協議会の活動を本部役員会(4/15)、総会(6/1書面開催)、企業部会総会(6/7書面開催)において支援するとともに、人権啓発を協力して行なった。 ○ 人権啓発活動として、「広報なると」での人権啓発記事の掲載や、人推協・企業部会共同での街頭啓発(1/28)を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市主催人権問題研修会等の実施回数	2	2	3	3	3	回
	2	人推協主催人権問題研修会等の実施回数	2	2	3	3	3	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		市及び人推協主催の人権問題研修会等への参加者数	158	133	1,100	1,100	1,100	人
		目標達成率(実績/目標)		12.1	―	―	―	%

事業費推移(円)	年度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		2,331,826	0	2,377,511	0	2,377,511
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	322,000	0	333,000	0	333,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	2,009,826	0	2,044,511	0	2,044,511

補助制度(名称、補助率など)	人権啓発活動地方委託事業

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	市及び人推協主催の人権問題研修会等への参加者数		成果指標に対する所見	新型コロナウィルス感染症対策のため、ほとんどの活動が書面開催や人数制限を行っており、研修会等を十分開催できなかった。人権に関する多くの課題が残されており、すべての人権問題解決につなげていく人権教育・啓発の場として各種研修会がその役割を果たせるよう、引き続き取り組む必要がある。
	目標	1,100	人		
	実績	133	人		
	評価	D:目標を達成できなかった			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	インターネット上での人権侵害など人権問題が複雑化・多様化している状況の中、市人権教育推進協議会と連携を強め、人権地域フォーラム、ヒューマンライツメッセージなると、人権教育研究大会などの人権問題研修会の開催や、広報なるとへの人権啓発記事の掲載、街頭啓発等を実施し、「部落差別解消法」の周知徹底を図るとともに、同和問題をはじめとするすべての人権問題解決につなげていく人権教育や啓発を積極的に推進する。 研修会等への参加者が固定化している現状もあり、差別を許さない市民運動を広げていくためにも、わかりやすく理解しやすい内容とするなど、啓発手法の工夫と改善に取り組む必要がある。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	・さまざまな差別事象の抑止に向け、人権啓発活動に引き続き取り組む。 ・あらゆる人権問題に対して、一人ひとりが正しい理解と認識を深め、人権を尊重する行動をとることができるように、研修テーマや方法などの検討を行う。 ・人権啓発記事を広報なるとに掲載するとともに、市公式ウェブサイト等を活用して、市民の人権意識の向上を図る。 ・より多くの市民の人権学習機会の創出のため、人権推進課と協働で人権フェスティバルを開催する。
	令和6年度	令和5年度の実施状況により、適宜、見直しを行う。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.121

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	各種学級（女性・成人・高齢者学級）開設事業	担当部署	教育委員会　総合教育人権課
総合計画体系				根拠法令計画など	社会教育法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると	事業期間	開始	昭和　36　年度
（小項目）		生涯学習			
施策	1	生涯学習の推進		終期	未定
基本事業	1	学習活動の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	女性学級・成人学級・高齢者学級および公民館短期講座を開設することにより、市民の多様な学習ニーズに応え、自主的な学習を通じて市民が豊かな心を育み、生きがいを感じながら健康的に過ごすことができる環境を作る。
実施方針	①社会教育指導員や公民館長のコーディネートのもと、学級長を中心に円滑な学級運営を行うとともに、適宜、社会教育指導員が助言・サポートを行うことで学習内容の充実を図る。 ②公民館短期講座については、市民の興味関心の高い分野に焦点を当てたテーマ学習を引き続き取り入れることにより、多様な学習ニーズに合った学習機会の提供に努める。
事業内容（R4）	① 女性学級　9学級 ② 成人学級　4学級 ③ 高齢者学級　9学級 ④ 公民館短期講座　3講座 学級・講座開催に当たっては、市内社会教育施設の積極的な活用を併せて図る。

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学級開設数	22	24	25	25	26	学級
	2	学級参加延人数	1,942	1,400	2,500	3,300	3,500	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	学級学習の内容を有意義と思った割合		100.0	99.0	99.0	99.0	99.0	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①新規短期講座の開設 ②講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ③公民館短期講座を継続実施 ④アンケートによるニーズ把握 ⑤市民へのPR	①講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ②公民館短期講座を継続実施 ③アンケートによるニーズ把握 ④市民へのPR	①各種学級の増設 ②講師紹介や学習機器の貸し出しにより学習内容を充実 ③公民館短期講座を継続実施 ④アンケートによるニーズ把握 ⑤市民へのPR

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	535		535	535	552

事務事業名	各種学級（女性・成人・高齢者学級）開設事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	1．女性学級9、成人学級4、高齢者学級9の計22学級を公民館や集会所などで開設し、社会教育指導員や公民館長のコーディネートのもと学級長を中心に自主的な学級運営を行った。社会教育指導員は、各学級に対し、講師の紹介や学習機器の貸し出し等を行い、学習のサポートに努めた。 2．公民館短期講座では、楽しく学びながら生活の充実を図るライフスタイル講座、各分野の注目すべき調査研究成果や最新の学術研究成果について学ぶ歴史文化講座、スマートフォンの使い方を学び社会参加を支援するスマートフォン講座の3学級を開設した。 3．学習満足度・ニーズ等をアンケートにより把握し、学級長や公民館長に結果を還元した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	学級開設数	24	25	25	26	26	学級
	2	学級参加延人数	2,140	2,904	3300	3500	3500	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		学級学習の内容を有意義と思った割合	99	99	99	99	99	%
		目標達成率(実績/目標)		100.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		380,774	0	428,785	0	428,785
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	380,774	0	428,785	0	428,785
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価				成果指標に対する所見	
	指標名	学級学習の内容を有意義と思った割合			学級・講座終了時に受講者を対象に実施したアンケート調査においては、学習内容について「大変よかった」「よかった」と回答したものの割合が成果指標以上であり、高い満足度を得ている。
	目標	99	%		
	実績	99	%		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	1．各種学級の運営については、社会教育指導員の助言・サポートが必要不可欠であり、事業の安定した継続には社会教育指導員の資質によるところが大きい。引き続き、社会教育指導員の人材確保、資質向上が必要である。 2．学習内容のマンネリ化を防ぐため、学級生・受講者のニーズに応えた様々な学習内容を積極的に取り入れる必要がある。 3．各種学級の開設は、特定の熱意ある学級長に依存する傾向があり、新たなリーダーの育成が必要である。 4．新たな受講生を増やすために、講座の構成や内容、周知方法の見直しを常に行うことが大切である。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	各種学級の講座の構成や内容について見直しを行い、受講生のニーズに沿った学級の開設をめざす。また、新たな受講生の参加が期待できる講座の開設に取り組むとともに、周知方法についてもより多くの市民の関心を引くことができるよう工夫に努める。
	令和6年度	各種学級の講座の構成や内容について見直しを行い、様々なニーズに対応できる講座の開設を検討する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.122

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	公民館活用推進事業	担当部署	教育委員会　総合教育人権課
総合計画体系				根拠法令計画など	社会教育法
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると	事業期間	開始	平成　16　年度
(小項目)		生涯学習			
施策	1	生涯学習の推進		終期	未定
基本事業	2	公民館活動の推進			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	公民館を地域活動の拠点として実生活に即した教育、学術、文化に関する各種事業を行い、地域住民の教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
実施方針	①地域の特色を活かした運営体制づくり ②利活用の促進
事業内容（R4）	1．地域の特色を活かした運営体制づくり ①管理業務の一部を地域に委託し、地域住民の意見を尊重した独自性を持った運営を行う 2．利活用の促進 ①公民館短期講座の継続実施 ②社会教育指導員及び館長と連携した学級運営 ③快適な利用ができるよう必要な修繕、備品購入を実施

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	公民館で開催している学級数	18	19	20	20	21	学級
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	公民館の利用者数		35,811	36,480	43,000	78,300	78,300	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②板東公民館エアコン修繕 北泊公民館ベランダ修繕 ③公民館短期講座の実施	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②堀江公民館新築移転、里浦公民館エアコン修繕 ③公民館短期講座の実施 ④利用者向けインターネット設備の導入	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③新規公民館短期講座の実施	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③公民館短期講座の実施	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	**28,499**	**714**	**29,213**	**26,810**	**26,810**

事務事業名	公民館活用推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	1．地域の特色を活かした運営体制づくり ①管理業務の一部を地域に委託し、地域住民の意見を尊重した独自性を持った運営を行う 2．利活用の促進 ①公民館短期講座の継続実施 ②社会教育指導員及び館長と連携した学級運営 ③快適な利用ができるよう必要な修繕、備品購入を実施

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	公民館で開催している学級数	19	20	20	21	21	学級
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	公民館の利用者数		40,385	45,969	78,300	78,300	78,300	人
	目標達成率(実績/目標)			106.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		29,185,963	0	28,276,647	0	28,276,647
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	641,296	0	660,842	0	660,842
		一般財源	28,544,667	0	27,615,805	0	27,615,805
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	公民館の利用者数		成果指標に対する所見	新型コロナウイルス感染予防を適切に実施した結果、利用者は前年度より増加し目標を達成させることができた。
	目標	43,000	人		
	実績	45,969	人		
	評価	A:目標を達成できた			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①地域の社会教育の拠点として多くの市民に積極的に活用されているが、若い世代の利用が少ないなど、利用者に偏りが見られるため、さまざまな年齢や性別の方が利用できるような取組が必要である。 ②施設の老朽化が進んでおり、計画的な修繕等により、施設の長寿命化や利用者が快適に利用できる環境整備を進める必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☑ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☐ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和5年度	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③公民館短期講座の内容の見直し
	令和6年度	①管理業務を一部委託し、地域性を活かした運営体制づくり ②適宜、施設修繕 ③公民館短期講座の継続実施

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.123

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	放課後子供教室推進事業	担当部署	教育委員会　総合教育人権課
総合計画体系				根拠法令計画など	徳島県放課後子供教室推進事業等実施要綱
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち　なると		事業期間 開始	平成　19　年度
（小項目）		生涯学習			
施策	1	生涯学習の推進		終期	未定
基本事業	3	青少年健全育成の推進			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得ながら、子どもたちがスポーツ・文化活動や勉強、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	事業内容（R4）	①　市内9小学校区で放課後子供教室を引き続き開設し、安定した教室運営をめざす。 ②　各教室の地域コーディネーターで構成される実行委員会を定期的に開催し、教室の運営等について協議・情報交換等を行う。 ③　放課後児童対策事業全体の連携強化を図るため、放課後児童クラブ、児童館及び放課後等デイサービス事業所との合同研修会を開催する。 ④　人材確保策の一環として、大学生等に対し、活動の周知・勧誘チラシを配布する。
実施方針	①地域の特色や人材を活かした様々な体験活動や交流活動を通して、子ども達の安全で安心な居場所づくりを進める ②実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に積極的に働きかけ、引き続き指導者・活動場所の確保を進める。 ③ 国の「新・放課後子ども総合プラン」を踏まえて、放課後児童クラブとの一体的または連携した実施を進める。		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	教室の実施回数	480	546	575	595	605	回
	2	教室の参加児童数	557	500	500	520	520	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	放課後子供教室利用者の延人数		12,739	14,400	15,200	15,700	16,000	人

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①8学校区で開設 ②1学校区新規開設 ③実行委員会の開催 ④放課後児童クラブとの連携 ⑤人材確保措置	①9学校区で開設 ②実行委員会の開催 ③放課後児童クラブとの連携 ④人材確保措置	①9学校区で開設 ②新規教室開拓 ③実行委員会の開催 ④放課後児童クラブとの連携 ⑤人材確保措置	①9学校区で開設 ②1学校区新規開設 ③実行委員会の開催 ④放課後児童クラブとの連携 ⑤人材確保措置	①10学校区で開設 ②実行委員会の開催 ③放課後児童クラブとの連携 ④人材確保措置

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	7,013		7,013	7,540	7,330

事務事業名	放課後子供教室推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	○ 市内9小学校区で放課後子供教室を開設した。 ○ 各教室の地域コーディネーターで構成される実行委員会を年3回開催し、教室の運営等について協議・情報交換等を行った。 ○ 放課後児童対策事業全体の連携強化を図るため、放課後児童クラブ、児童館及び放課後等デイサービス事業所との合同研修会を開催した。 ○ 放課後子ども運営実行委員会を10月と3月（書面開催）に開催した。 ○ 新型コロナウイルスの影響を受け、計画ベースから57回分実施回数が少なくなった。 ○ 安全管理上の観点から、参加人数の多い放課後子供教室において、高学年のみや低学年のみなどの参加制限を行った。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	教室の実施回数	485	518	595	605	605	回
	2	教室の参加児童数	599	592	520	520	520	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		放課後子供教室利用者の延人数	11,472	12,293	15,700	16,000	16,000	人
		目標達成率(実績/目標)		80.9	―	―	―	%

事業費推移（円）	年度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		5,406,931	0	5,747,255	0	5,747,255
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	3,604,000	0	3,824,000	0	3,824,000
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,802,931	0	1,923,255	0	1,923,255

補助制度（名称、補助率など）	徳島県社会教育事業補助金 （県補助金 1/3） 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金（国 1/3 ※県間接補助）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	放課後子供教室利用者の延人数	
	目標	15,200	人
	実績	12,293	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	新型コロナウイルス等の影響を受け、実施回数が計画ベースから57回分少なくなったことと、安全管理上の観点から参加人数を制限したことにより目標に届かなかった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	・利用者増加への対応や教室の継続運営、新規教室を開設するための人材確保の方策が必要。 ・児童クラブとの具体的な連携方法の検討が必要。 ・更なる新規教室の開設に向けて、学校・家庭・地域のニーズ及び実情の確認が必要。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	☑4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	①現在開設している放課後子供教室の安定した運営及び更なるプログラムの充実を図るとともに、新たな放課後子供教室の開設や、放課後児童クラブとの連携強化に向けて、地域の団体・機関等と調整を行う。 ②実行委員会にて、教室運営・活動プログラム等についての好事例について情報共有を行う。 ③放課後児童対策事業の合同研修会を開催し、事業間の連携を強化する。 ④人材確保策の一環として、大学生への活動の周知広報・勧誘活動を進める。 ⑤安定した人材を図るため、謝金単価の引き上げを行う。
	令和6年度	実施内容の充実並びに新たな放課後子供教室の整備に向け、地域の団体・機関に働きかけ、引き続き指導者及び活動場所の確保に努める。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.124

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	新規	事務事業名	鳴門まちなか絵本図書館事業	担当部署	教育委員会　総合教育人権課
総合計画体系				根拠法令計画など	鳴門市子どもの読書活動推進計画
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがい感じるまちづくり			
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまちなると	事業期間	開始	令和　4　年度
（小項目）		図書館			
施策	2	市民参加の図書館運営の推進		終期	年度
基本事業	1	豊かな人生を育む読書活動の推進			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☐ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	市内のいろいろな場所で本と出会い、幼少期から気軽に本に触れられる機会や環境づくりとして、「鳴門まちなか絵本図書館」を創出する。	事業内容（R4）	①親子連れや子どもが気軽に立ち寄ることができる市内の店舗・事業所等から「鳴門まちなか絵本図書館」の賛同者を募集する。 ②市内の高校生・大学生と連携して、絵本回収ボックスを制作し、まちなか絵本図書館における持続可能な絵本の流通システムの構築を図る。（SDGS等をテーマとした学生の有償ボランティア活動を促進。） ③登録店舗として市公式ウェブサイト等で周知する。
実施方針	①まちなか絵本図書館の協力店を募集し、設置する。 ②高校生・大学生と連携し、絵本回収ボックスの制作協力・まちなか絵本図書館PR事業		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	高校生・大学生との連携事業			3	4	6	件
	2	絵本回収ボックス回収冊数			50	50	50	冊
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	登録店舗延べ件数				30	40	50	件

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容			①新規登録店募集 ②回収ボックス製作設置 ③広報活動	継続	継続

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	736		736	348	348

事務事業名	鳴門まちなか絵本図書館事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	○鳴門教育大学のサークルN＊CAPからの図案をもとにタペストリーを作成した。 ○市内35店舗に設置した。 ○市庁舎及び公民館等に絵本回収BOXを設置し、回収した絵本・児童書を補修して、まちなか絵本図書館に配架した。

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	高校生・大学生との連携事業	－	2	完了	完了	完了	
	2	絵本回収ボックス回収冊数	－	291	200	200	200	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		登録店舗延べ件数		35	45	55	65	件
		目標達成率(実績/目標)		116.7	－	－	－	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		ー	ー	621,000	0	621,000
	財源内訳	国庫支出金	－	－	0	0	0
		県支出金	－	－	0	0	0
		地方債	－	－	0	0	0
		その他	－	－	621,000	0	621,000
		一般財源	－	－	0	0	0

補助制度（名称、補助率など）	ふるさと活性化基金繰入金（621,000）

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	登録店舗延べ件数	
	目標	30	件
	実績	35	件
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	・広報紙、ウェブページ、新聞掲載を通じた情報発信が功を奏した。 ・既に図書を置いている店舗からの申込みが多数あった。 ・店舗や市民に広く浸透させいくことが課題。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	気軽に読書が出来る環境を整えるため、令和5年度には有人公民館（9館）にも、まちなか絵本図書館の設置を検討する。 個別店舗毎に点での対応となっているため、線や面での展開について研究する。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	☑ 3.現状維持	□ 4.現状維持(新型コロナ)	□ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	まちなか絵本図書館での絵本・児童書の貸し出しについて検討する。 絵本回収ボックスの設置箇所を増やし回収した絵本・児童書を補修して登録店舗に配布する。 広報媒体を活用し、利用者・設置店舗の増加を図る。
	令和6年度	上記に加え、グッズの作成等を検討する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.125

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	外国語教育推進事業	担当部署	教育委員会　総合教育人権課　教育支援室

総合計画体系			根拠法令計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で　生きがい感じる　まちづくり	学習指導要領（H20　3月），「世界にはばたく鳴門の子ども」育成プラン（H25 5月鳴門市教育委員会策定），「グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言」（H26），「中教審教育課程企画特別部会論点整理」（H27 8月），学習指導要領（平成29　7月）		
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると	事業期間	開始	平成　25　年度
（小項目）		教育行政			
施策	1	教育行政の充実		終期	令和　4　年度
基本事業	6	教育支援体制の充実			

☑ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	国際化への対応が求められる中，小・中・高を見通した外国語教育の充実を図り，豊かな国際感覚とコミュニケーション能力をもった「世界にはばたく鳴門の子ども」を育成する。	事業内容（R4）	①「世界にはばたく鳴門の子ども」育成事業推進研修会・会議の開催 ②英検受験料補助事業の奨励（市内全中学生、全級対象、1人年1回） ③英語力アップ対策講座の実施及び学生サポーターによる指導支援 ④We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施 ⑤市内小中学生対象の意識調査の実施と結果の検証 ⑥グローバル人材講演会の実施 ⑦ALTの学校派遣（幼・小・中）外国語活動支援員の派遣（小） ⑧イングリッシュ・デイ・キャンプの実施　等
実施方針	①達成状況の把握・検証 ②モチベーションの喚起 ③体験の場の設定 ④教員の指導力向上・授業改善 ⑤情報発信		

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	外国語支援員訪問日数（総日数）	742	792	790	未定	未定	日
	2	研修会参加者数（小中学校教職員）	20	202	250	未定	未定	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	中学3年生時にCEFR　A1レベル（英検3級以上）相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合		47	55	60	未定	未定	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①英検受験料補助事業の奨励 ②英語力アップ対策講座の実施 ③児童・生徒の意識調査の実施と結果の検証　等	①英検受験料補助事業の奨励 ②英語力アップ対策講座の実施 ③We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施 ④児童・生徒の意識調査の実施と結果の検証 ⑤グローバル人材講演会の実施　等	①英検受験料補助事業の奨励 ②英語力アップ対策講座の実施 ③We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施 ④児童・生徒の意識調査の実施と結果の検証 ⑤グローバル人材講演会の実施　等	未定	未定

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	8,593		8,593	―	―

事務事業名	外国語教育推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	①「世界にはばたく鳴門の子ども」育成事業推進研修会・会議の開催 ②英検受験料補助事業の奨励（市内全中学生，全級対象，1人年1回） ③英語力アップ対策講座の実施及び学生サポーターによる指導支援 ④We Love NARUTO!～中学生英語発信コンテスト～の実施 ⑤市内小中学生対象の意識調査の実施と結果の検証 ⑥グローバル人材講演会の実施 ⑦ALTの学校派遣（幼・小・中） 外国語活動支援員の派遣（小）

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	外国語支援員訪問日数（総日数）	746	710	790	790	―	日
	2	研修会参加者数（小中学校教職員）	202	212	250	250	―	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		中学3年生時にCEFR　A1レベル（英検3級以上）相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合	54	48	―	―	―	%
		目標達成率(実績/目標)		80.0	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		7,288,604	0	7,476,468	0	7,476,468
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0
		その他	0	0	600	0	600
		一般財源	7,288,604	0	7,475,868	0	7,475,868
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況	ほぼ計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	中学3年生時にCEFR　A1レベル（英検3級以上）相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合	
	目標	60	%
	実績	48	%
	評価	B:概ね目標を達成できた	

成果指標に対する所見	「世界にはばたく鳴門の子ども育成プラン」の最終年度を迎え、成果指標の達成には届かなかったが、プラン策定時と比較すると生徒の英語力は著しく上昇している。また、アンケート調査において外国語学習への意欲の上昇が見られるなど、様々な取組が成果として現れている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成25年に策定した「世界にはばたく鳴門の子ども育成プラン」に基づき、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力、確かな英語力を育成することを目指し事業に取り組んできた。プラン終了の令和4年度を迎え、様々な分野・場面においてグローバル化が加速化し、外国語教育を取り巻く環境が大きく変わっている現状を踏まえ、これまでのプランの大枠を引き継ぎながら、施策の拡充や追加を行い、事業の継続を行う。

今後の方向性	□ 1.廃止	□ 2.要改善	□ 3.現状維持	□4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	「鳴門市英語教育構想」として鳴門への誇りと広い視野をもち、あらゆる人と協働して未来を築く、グローバルな鳴門の子ども「グローナル」人材の育成を目指し、Connect（つながる）をテーマとした4つの柱で事業を展開していく。 〈新規事業〉英語検定受験料全額補助事業、オンライン英会話（モデル校実施）、ふるさと鳴門英語カルタ作成
	令和6年度	前年度の活用状況や課題についての検討を図り、改善を行った上で継続実施する。

実施計画兼評価シート（令和4年度事業分）

事業No.126

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	GIGAスクール構想推進事業	担当部署	教育委員会　総合教育人権課　教育支援室
総合計画体系				根拠法令計画など	文部科学省「教育の情報化ビジョン」「学校教育の情報化の推進に関する法律」
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で　生きがい感じる　まちづくり			
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち　なると		事業期間 開始	令和　2　年度
(小項目)		教育行政			
施策	1	教育行政の充実		終期	未定
基本事業	6	教育支援体制の充実			

☐ 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無　　☑ なると未来づくり総合戦略2020掲載の有無

☐ ふるさと納税寄附金等要求　　☐ ボートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求

◎事業概要（PLAN）

目的	「GIGAスクール構想」推進に向け、校内のICT環境を整備するとともに、校内でICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」が効果的に実践できるよう取り組みを行う。
実施方針	①新学習指導要領では、学習の基盤となる資質・能力の一つとして情報活用能力の育成が求められていることから、必要とされるICT環境を整備する。 ②整備したICT環境を活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう、教員の指導力の向上及び授業改善を図るための取り組みを行う。
事業内容（R4）	①文部科学省が提示している「学校のICT化に向けた環境整備5か年計画」が目標としている水準に基づき、大型提示装置・実物投影機の整備を行う。また、令和2年度に構築した高速ネットワーク環境整備の際、未整備であった通級指導教室、保健室、会議室、職員室等への整備を行う。 ②ICTを活用した授業が効果的に実践できるよう、3校に1名の割合でICT支援員を配置し、機器トラブルに迅速に対応する。また、教職員がタブレット端末を活用した効果的・効率的な授業ができるよう、授業支援やアドバイス、研修会を開催する。また、ネットリテラシー向上に向けた「クラウド対応授業支援システム」の開発運用を行う。 ③鳴門教育大学と連携した「ICTコラボチーム」により、全国に発信できる先進的な取り組みの開発を目指し、実践と検証を行っていく。

指標名			令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
活動指標（実施した事業の活動量を示す指標）	1	教員1人あたりがICT活用に関する研修を受講した回数	2.07	5	6	6	6	回
	2	ICTコラボチームにおいて新規メニューを開発・検討した件数	―	1	1	1	1	件
成果指標（対象にどのような効果があったか示す指標）	指標名		令和2年度実績	令和3年度実績見込	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	単位
	教員のICT活用指導力チェックリストの内「児童生徒のICTを活用を指導する能力」が「ややできる」以上の割合		78.09	65	70	75	75	%

事業の実施内容推移	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	各年度の実施（予定）内容	①ICT環境整備 ②教員向け研修・検討会実施	①ICT環境整備 ②教員向け研修会 ③ICTコラボチーム結成	①ICT環境整備 ②教員向け研修・検討会実施 ③ICTコラボチームでの先進的な取り組みへの実践・検証	①ICT環境整備 ②教員向け研修・検討会実施 ③ICTコラボチームでの先進的な取り組みへの実践・検証	①ICT環境整備 ②教員向け研修・検討会実施 ③ICTコラボチームでの先進的な取り組みへの実践・検証

◎事業費

年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
	当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
事業費推移（千円）	38,202		38,202	24,713	24,713

事務事業名	GIGAスクール構想推進事業

【実績ベース】

◎実施結果（DO）

事業実施内容	令和4年度実施内容	・ICT活用委託支援事業としてICT支援員6名を配置 ・学校・自宅の区別なく安心してタブレット端末を運用するための端末閲覧機能などを搭載した「授業支援システム」の導入 ・校内ICT環境整備として校務系ネットワークの更新、無線LANアクセスポイントの追加 ・ICTコラボチームの開催 ・教員向けICT活用研修の実施

指標名			令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	教員1人あたりがICT活用に関する研修を受講した回数	3	3	3	3	3	回
	2	ICTコラボチームにおいて新規メニューを開発・検討した件数	0	1	1	1	1	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		教員のICT活用指導力チェックリストの内「児童生徒のICTを活用を指導する能力」が「ややできる」以上の割合	83	82	90	95	95	%
		目標達成率(実績/目標)		117.1	―	―	―	%

事業費推移（円）	年　度		令和3年度決算	令和4年度決算			
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和5年度への繰越額	最終事業費
	計		29,722,765	0	38,201,970	0	38,201,970
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,213,000	0	23,498,970	0	23,498,970
		一般財源	25,509,765	0	14,703,000	0	14,703,000
補助制度（名称、補助率など）							

◎評価（CHECK）

今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況	計画どおり

成果指標に対する評価	指標名	教員のICT活用指導力チェックリストの内「児童生徒のICTを活用を指導する能力」が「ややできる」以上の割合	
	目標	70	%
	実績	82	%
	評価	A:目標を達成できた	

成果指標に対する所見	ICT活用研修等により、多くの教員がICT活用の指導に必要となる能力を概ね身に付けることができた。ICT活用を苦手とする職員は一定数いるが、活用例を職員間で共有するスキームができつつある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	教員が自身の児童生徒のICT活用を指導する能力を「ややできる」以上とした割合は、82%となり成果指標は達成できたが、「できる」とした教員は28%にとどまっている。また、「あまりできない」とする教員も一定数おり、教員が受け持つ授業やクラスによってICT活用の頻度や程度に差ができてしまうことが懸念されている。今後、教員間のICT格差をなくしていくことに加え、取得した知識が授業に反映できるよう支援していく必要がある。またGIGAスクール構想は、ICT機器の整備と活用、双方の視点に立ち推進を図る必要があることから、現在持っているICT環境の水準が維持できるよう、導入経年に応じ機器の買換えやメンテナンスを行っていく必要がある。

今後の方向性	☐ 1.廃止	☐ 2.要改善	☐ 3.現状維持	☐ 4.現状維持(新型コロナ)	☑ 5.拡充

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容		
	令和5年度	前年度に引き続き6名のICT支援員を配置し、ICTを積極的に活用した授業がスムーズに行えるよう支援していく。また「なるとうずっ子学力向上パッケージ」の施策として、タブレット端末を活用した「AIドリル」の導入を行い、本市の児童生徒の学力向上を図る。
	令和6年度	前年度の活用状況や課題についての検討を図り、改善を行った上で継続実施する。

【参考】令和４年度決算における入湯税及び引上げ分の地方消費税交付金充当事業一覧

■入湯税

入湯税は地方税法第701条の規定により以下のような費用に充てるものとされています。

- 環境衛生施設の整備
- 観光施設の整備
- 鉱泉源の保護管理施設の整備
- 観光振興
- 消防施設等の整備

〈令和４年度　入湯税の使途状況〉

区　分	事　業　名	事　業　費	当　該　事　業　の　財　源　内　訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源等	
						入湯税	その他
観光施設の整備	観光情報センター管理費	21,628	-	-	53	9,412	12,163
観光振興	鳴門市うずしお観光協会補助金	18,000	-	-	-	9,000	9,000
合　計		39,628	-	-	53	18,412	21,163

※「令和３年度地方税制改正・地方税務行政の運営に当たっての留意事項等について」（令和３年１月２０日総務省事務連絡）により、入湯税の趣旨を踏まえ、「入湯税収の具体的事業費への充当について予算書、決算書の事項別明細書あるいは説明資料等において明示することにより、その使途を明確にすること」とあることから、使途を明示するものです。

■引上げ分の地方消費税交付金

引上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる「社会保障４経費」、「その他社会保障施策に要する経費」については、次のとおりです。

（歳入）　地方消費税交付金（社会保障財源化分）　703,791 千円

（歳出）　社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費　9,725,858 千円

〈令和４年度　引上げ分の地方消費税交付金の使途状況〉

（単位：千円）

事　業　名		経　費	財　源　内　訳				
			特　定　財　源			一般財源	うち引上げ分の地方消費税交付金
			国県支出金	地方債	その他		
社会福祉	障がい者福祉事業	1,933,725	1,500,652			433,073	703,791
	高齢者福祉事業	62,008	85		11,175	50,748	
	児童福祉事業（母子父子福祉事業含む）	3,105,234	2,031,322		168,270	905,642	
	生活保護扶助事業	1,302,865	994,320			308,545	
	小　計	6,403,832	4,526,379	-	179,445	1,698,008	
社会保険	国民健康保険事業	627,936	300,859			327,077	
	後期高齢者医療事業	1,142,166	183,519			958,647	
	介護保険事業	1,026,415	78,361			948,054	
	小　計	2,796,517	562,739	-	-	2,233,778	
保健衛生	救急医療対策事業	32,841				32,841	
	予防接種事業	376,909	250,985		5,974	119,950	
	母子保健事業	90,155	23,886			66,269	
	健康増進事業	25,604	1,004		271	24,329	
	小　計	525,509	275,875	-	6,245	243,389	
合　計		9,725,858	5,364,993	-	185,690	4,175,175	703,791

※「引上げ分に係る地方消費税収の使途の明確化について」（平成２６年１月２４日総務省通知）により、消費税率の引上げにより増加した地方消費税交付金の充当について、使途を明示したものです。